

Working Paper Series

Working Paper #16-01

河井重蔵・弥八研究会編

河井弥八日記 一九四〇年

Graduate School of International Relations

University of Shizuoka

52-1, Yada, Shizuoka, JAPAN 422-8526

<http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp>

【史料復刻】

『河井弥八日記』一九四〇年

前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）

目次

解題

iii

『河井弥八日記』（一九四〇年）本文

1

1940年日記 人名索引

1

※印刷版は日記本文（右綴じ）と索引（左綴じ）混在だが、PDF版は異同がないため、目次を変更してある

【史料復刻】

『河井弥八日記』一九四〇年

前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）

解題

今回復刻したのは、『河井弥八日記』の一九四〇（昭和一五）年分である。当時、河井は侍従次長を辞してから三年余、貴族院議員（勅選）になって二年を経過していた。この年は、まさに激動の一年と言うのがふさわしい。年初めの首相は陸軍大将の阿部信行だったが、陸軍から見放されて退陣。時代の潮流を押しとどめることを期待された海軍の米内光政も、陸軍から倒閣に追い込まれた。新体制を標榜する近衛文麿の登場である。欧州大陸では、ナチス・ドイツが西ヨーロッパを席捲し、孤軍奮闘を続けるイギリスも風前の灯に見えた。日本の朝野には、宗主国がドイツに破れた東南アジアの植民地（仏領インドシナ、オランダ領東インド）への進出をうたう「南進論」が澎湃として起ったのである。

第二次近衛内閣は、内外にわたる政治の刷新をめざした。外交では九月に日独伊三国同盟を締結し、時を同じくして仏領インドシナ北部（現在のベトナム北部）に兵力を進駐させる。国内的には政治・経済体制を革新すべく、新体制運動を展開した。克服すべき対象とされたのは、既成政党や天皇の側近、そして財閥等、従来の支配層であった。それらは「自由主義者」「英米派」「君側

の奸」と目され、政治の中枢から排除されて行く。政党は解散し、代議士たちは大政翼賛会へと一気になだれ込んで行った。そのような時代の流れを、いわば旧勢力の本流であった河井はどのように認識していたのだろうか。研究者ならずとも、興味をそそられるだろう。

このような、時代に即した河井の認識も重要だが、当然のことながら日記の多くは河井の日常の記録に占められている。そこから窺えるのは、旧天皇側近として、貴族院議員として、そして静岡の名望家として、彼がどのような機能を果たしていたか、という従来あまり顧みられて来なかった問題である。

まず、皇室や徳川家に対する崇敬の念に満ちているのは言うまでもない。徳川家達の死去（六月五日）に伴う、大勲位の叙勲申請、家政相談人かつ葬儀委員としての活動、さらに以前から計画されていた伝記執筆と、精力的である。しかし、当時の風潮から、公爵家の将来を憂えていた点は注目される（二月三日）。

また、河井の活動のかんりの部分を占めているのが、慶弔関係である。戦時色が濃くなってきていた当時だが、頻繁に結婚式に招かれ、また縁戚関係も含め縁談を世話していた。日記の中で河井自身も嘆いている（九月二五日）が、訃報の多さには驚かされる。西園寺公望（十一月二四日）湯浅倉平（十二月二四日）のようなビッグ・ネームはもとより、大日本帝国を支えてきた世代の人々が退場して行く感すら抱かせられる。

村出身の戦死者への弔問、出征兵士に送る家族との写真撮影や揮毫は、戦時期の特徴である。出征兵士の消息には一方ならず心を配っており、郷土部隊兵士以外でも、貴族院の内地傷病兵慰問旅行で山陽・山陰にある軍関係の病院を一週間がかりでまわっている（一〇月下旬）。

農業生産とくに天候への目配りも河井ならではであろう。この頃すでに甘藷の増産を推進していたが、この年の成果は上々であった。以下、問題ごとに摘記してみよう。

・ 斎藤隆夫の「反軍」演説と時局

二月二日、民政党の代議士斎藤隆夫は、党を代表して陸軍の「支那事変」收拾方針を激しく批判する演説を行なった。いわゆる反軍演説である。陸軍の反発を受け、斎藤は三月七日に除名の憂き目に遭う（斎藤隆夫除名問題）。斎藤攻撃の中心となった代議士たちは聖戦貫徹議員連盟を結成し、近衛新体制運動の推進勢力となった。その背後には陸軍の指導があったと言われる。河井は演説の翌日に「今後ノ推移、最深ノ注意ヲ要ス。但シ之カ為、議院ノ言論ニ掣肘ヲ受クルカ如キコトアラハ大ニ不可ナリ。〔中略〕言論ノ自由カ議會カラ喪失スルトキ、国家ノ危急到来ノ遠カラサルヲ思フ」と憂慮を募らせていた。二九日には、懲罰問題の情報を得るために民政党の代議士を訪ねるが、不在で空振りに終わっている。斎藤は離党と議事録削除には応じたが、辞任を拒否したため、その処分を巡って民政党内部の対立が深まった。このこと

についても「延イテ小山議長ハ辞職スヘク民政党ハ分裂破壊ニ至ラントス」（三月五日）と憂慮を深め、除名の決定に「之カ余波トシテ民政党及政友久原派内ニ相当ノ溝渠ヲ生スヘシ。結局、立憲政治ノ危機タラントス」と、危機感をにじませている。河井は、斎藤除名運動の背後に存在する危険を感じ取っていた。二月四日の朝刊を読んで「国内ノ危機切迫セルヲ感ス。此際特ニ君側重臣ノ安全ヲ祈ル。又深憂ヲ抱イテ貴族院議事速記録ヲ覆読」し、伊澤多喜男を訪問して「時患ニ付所懐ヲ述」べている。五日に木村尚達司法大臣に官邸に招かれた際、「テロ行為取締ニ付、深甚ナル注意ヲ以テ取締ヲ励行セラレンコトヲ警告」し、翌六日には白根宮内次官に電話で「突発事件ニ対スル警備ヲ忽セニセサルヤウ申告」している。

実は斎藤と同じ日に貴族院本会議では、大河内輝耕が斎藤と同じ文脈で次のような質問をしていた。

東亜新秩序ダトカ、興亜ダトカ、大「アジア」主義ダトカ色々ナコトハ、モウ仰シヤライ方ガ宜イ〔中略〕東亜新秩序ト言ツテモ何ノコトダカ内容ガ分ライ、興亜ナント云フノハ、何処カラガ「アジア」ニナルノカ〔中略〕「ウラル」以東ヲ言フノカ、「スエズ」以東ヲ言フノカ、解釈ノ如何ニ依ツテハ外国ニ重大ナ誤解ヲ起サセル、斯ウ云フコトハ政府トシテハ御避ケニナルベキモノダ

（第七十五回帝国議会貴族院議事速記録第四号）

出席していた河井はその日の日記には大河内の演説があつたことのみを記しているが、翌日に議事録（通例、次の日の『官報』に掲載）を精読していることから、大河内の演説にも注意を払っていたのであろう。斎藤の演説が問題とされた後、八日にいたつて大河内は本会議でこの部分の取り消しを申し出ている。

七月五日には大東塾のメンバーが米内首相、湯浅倉平前内大臣らの暗殺を企てたとして検挙された。たまたま松本を訪れていた河井は帰京後、標的となった一木、鈴木、伊澤の三氏を見舞っている。直後の七月一六日、米内内閣は倒され、翌日の宮中会議はわずか一〇分で近衛の首相奏請を決めた。近衛内閣と新体制運動の到来である。

・ 近衛新体制運動

近衛内閣は八月二八日に第一回新体制準備会を開く。その性格については既に激烈な議論が展開され、「革新」派のみならず各界の代表の取り込みがはかられていた。もちろん貴族院も、その対象である。しかし、これに先立つ二四日、軽井沢にいた伊澤多喜男から河井に対し「新体制ニ付テハ、軽拳スエカラス」と記した書簡が到着していた。河井はこれに「全然同感」として、同成会の例会を延期して会としての対応を先延ばしにしたのである。九月の例会は七日に開催され、新体制問題についての意見交換がなされた。九日には貴族院の各派交渉委員の懇親会が開催され、中御門経恭から各派から三名ずつ出して研究会をつくつて政府に説明を求めているかどうかという提案

があつたが、大勢は時期尚早論で決定には至らなかった。貴族院は新体制の成り行きに警戒していたのである。その後も河井は、さまざまな人と新体制運動について意見交換をしているが、内容は詳らかではない。一〇月一二日、大政翼賛会が発足するが、近衛総裁は発会式で綱領、宣言を発表せず、一同を哑然とさせた。反対勢力への妥協である。

この月の下旬に河井は先述の傷病兵慰問旅行に出たが、鳥取県の皆生分院を訪れた際、夕食会で山本宗吉という中尉（県社会課嘱託）から翼賛会の陣容について「適切ナル質問」を受けた。河井は「人心ノ疑惧深キモノアルヲ感シ、皇国ノ将来ノ為、衷心憂慮ニ堪ヘス」その晩は眠れなかった。そのときに彼が繙いたのはハーパー（Harper, Samuel）の『ソ連政府』（The Government of Soviet Union）という本であり、「皇国ノ前途ニ対シ強キ暗示ヲ与フルモノノ如ク感」じたという。河井にとつて、翼賛会が奉じる新体制は、共産革命に通じるものと思われたのである。

一月に入つて、同成会は渉々ながら新体制準備委員三名を選定し、ついで小委員二名、翼賛会の組織に入る議員数名の推薦が検討されるに至つた。河井は一月二〇日に貴族院各派の議員六人と会合して大政翼賛会についての意見を交換していた。結論は違憲かつ治安警察法違反だったが、議員の多数は「大勢順応論者」と観察されていた。河井はその結果をすぐに次田大三郎、伊澤多喜男らに報告し、各種文書を読んで翼賛会に対する疑念を深めた。さらに元東大総長（政治学・法学博士）の小野塚喜平次教授（貴族院議

員・帝国学士院会員）を訪れて教えを請い、自身でも研究を進めている。月末には貴族院準備委員会の手で翼賛会に置く貴族院部の骨格案が固まるが、貴族院部の部員については三派がそれぞれ「推薦ニ尽力スヘキモ、果シテ承諾ヲ得ヘキヤ否ヤ不明ナリ」と公言される状況だった（二七日）。

もちろん河井の周囲にも翼賛会に呼応する者達がいた。懇意にしていた関屋貞三郎は参加論で、同じ同成会の中川健蔵は翼賛会への入会と貴族院部副部長への就任を熱心に勧めた。しかし、河井は所信を述べて謝絶している。

河井の翼賛会に対する疑念は、二月一九日に開かれた勅選議員の懇親会に結実する。発起人は、河井と水野鍊太郎（交友倶楽部）、川村竹治（々）、山岡萬之助（研究会）、白根竹介（々）、岩田宙造（同和会）、倉地鐵吉（々）であった。出席者は六一名と盛会で、各派の議員から発言が続いた。

この動きと同時並行的に進められていたのは、勅選議員に限らず貴族院議員全般の団結をはかる三派聯盟結成運動であった。将来的には衆議院のような議員倶楽部の設立も視野に入れていたが、とりあえず勅選議員懇親会と三派聯盟結成を先行させる算段となる。その背景には、いわば旧体制の象徴だった貴族院が改革を迫られるおそれがあった。貴族院の側も安穩とはしていられなかったのである。河井によれば、それは貴族院の組織改正のみならず華族制度とその教育にまで及ぶ可能性があった。河井は早手

回しに宮内省の野口事務官に事前の準備を促している（二月六日）。

もちろん、貴族院が一致団結して新体制運動に正面から抵抗したわけではない。先述の中川は河井を熱心に勧誘しており、河井自身も、小坂順造の招きで近衛ブレーン（後藤隆之助、後藤文夫ら）とも会合している（二月二八日）。新体制推進側からも、河井が貴族院におけるキーマンとみなされていたことは疑いない。既に弱気となつてきていた近衛は二日に「精神右翼」の総帥と言われていた平沼騏一郎を無任所国務大臣に、皇道派の柳川平助を司法大臣に任命していた。勅選議員懇親会の発起人である水野鍊太郎も、時を同じくして翼賛会に入会している。このような動きが、翼賛会のさらなる骨抜き化へと連続していくこととなる。貴族院がどのように動いたか、翌一六年の日記が期待される所以である。

・ 全国治水砂防協会の設立

のちに河井が重鎮となる全国治水砂防協会は、この年に設立された。一月二八日、河井は後に砂防の父と称せられる赤木正雄から、会員の募集を託された。その後も会員勧誘と発会式に向けてたびたび相談を受け、二月二三日には公正会一四、五名、同成会六、七名、同和会一名の参加をとりつけている。役員人事では末次信正を会長に据えて伊澤から叱責されたこともあったが、内田重成に顧問を依頼して承諾を得、その事務所として三会堂の一室

を借用するため尽力するなど、積極的に活動した。また十五年度予算での砂防事業予算要求では、赤木の依頼で大河内輝耕、松平外与麿、西原亀三と共に内務大臣に配慮を求めるべく官邸を訪れている。その成果か、砂防予算は要求通りの金額が認められ、河井は「至誠通神ト云フヘク、欣快ニ堪ヘス」と喜んでいる。もちろん、この間も、大井川や京都、岐阜、埼玉等の河川を視察するなど、常に現場の視察旅行を何回も実施していた。

・地方政治の要としての河井弥八

河井が地方政治の様々な問題について調整役を担っていたことは周知の事実だが、どのような機能を果たしていたかを日記の記述から窺い知ることができるのは貴重である。たとえば、この年の五月、貴族院多額納税議員の鈴木与平(六代目)が亡くなり、そのあとを狙って元衆議院議員の三橋四郎次が立候補するが、河井はその意志を知ると静岡市の地盤を固めることを薦めている。また、河井は同じく静岡出身の貴族院議員である柴田善三郎と三橋を推薦することになったが、三橋の立候補を快く思わない勢力の存在と、それらとの調整に心を砕いている様子が窺える。前回復刻した一九五二年の日記でも議員の調整は難物であったことが知られたが、当時の貴族院でも微妙な問題であったことが理解できる。

また、鉄道敷設問題では、信遠三国鉄期成同盟会(一〇月結成)の参与に就任している。信(州)遠(江)三(河)の鉄道をリンク・新設させようとする試みで、辰野豊橋間の私鉄の国鉄への統

合、二俣と佐久間の間に国鉄を敷設させようという計画であった。四月、河井は帝室林野局の岡本監理部長に本件を働きかけていたが、その後、伊澤多喜男、柴田善三郎と浜松市を訪れ、市長、飯田市長代理、二俣町長、県山林課長、土木部総務課長、関係議員らと治山治水問題、そして鉄道問題を協議している。この席で期成同志会の結成と浜松市が中心的に運動するという計画の骨格が固まった(四月一七日)。河井は翌日、掛川町長を訪れて沿道町村との共同運動を薦め、大石森町長とともに浜松市長に面会する手筈を整えている。また、浜松市長に対しては豊橋市に出向いて市長と共同運動を申し入れるよう勧めた。このような動きに対し豊橋側は熱心ではなかったが、とりあえず一〇月には信遠三国鉄期成同盟会が発足する。会長は伊澤、副会長は大口喜六と柴田で、参与には三県の出身議員があてられていた。河井はその人事にかかわっており、遠州側の代表として太田正孝衆議院議員を伊澤に薦めていた(一〇月三日)。さらに副会長人事も柴田と協議している。当初、伊澤は横光浜松市長の勧めで懇意の河井を副会長に据えようとしたが、河井は太田、倉元両衆議院議員とのバランスから自身の就任を固辞し、飯田、豊橋、浜松三市長を委員長、副委員長として議員は援助するというプランでいったんは決した(一〇月七日)。しかし、これに反対した伊澤は、太田の了解をとりつけた上で河井か柴田の副会長就任を要請、最後は抽籤で柴田に決している。この運動は新たな戦争により中断を余儀なくさ

れたが、戦後に再開されることになる。

・農業生産と河井弥八

この年は小雨と低温によって米が不作となった年である。水不足のため既に五月下旬には水道が枯渇したり、麦や茶の収量が減少していた。低温と小雨を憂えた河井は六月中旬に中央気象台を訪れてデータを得ている。寒流が九州まで南下し、暖流は八丈島と小笠原の間を流れているという実測船の数値を知った河井は「今秋は全国的に不作トナルべく、甚恐ルヘキ事態ヲ惹起スルニ至ラン歟」と戦慄して対策の研究を開始した。彼は自分の周囲はもとより、植民地を含む日本全体の降雨状況にも気を配っていた（既に大正末から日本は外地米なしには需要をまかなえなくなっており、さらに前年の朝鮮半島の旱魃で米価が暴騰したことを考えれば、河井の配慮はむしろ当然である）。そして、六月下旬に入っても掛川では田植えができない田が多数発生する状況だった。河井は報徳社の指導者講習会に引き続き開催された座談会で警鐘を鳴らし、北海道、東北からの参加者に状況を訊ねている。七月に入ってから長野県への視察旅行の際も、車窓から見えた山梨県の状況に「雨量不足ノ為、挿秧困難ノ箇所少カラス」と心を痛めていた。その対策の一つである甘藷の生産は順調で、十一月一日の南郷村の収穫では、反あたり収量が一千貫（三・七五トン）を越える畑まで現われた。これは、この年の全国平均の二・九倍強という驚異的数字で、現代でも県平均でこの数字を越える例はわずかである（数値は、農林水産省生産局

生産流通振興課が作成したものを、日本いも類研究会がホームページに掲載したものを利用した）。

・市民生活と戦時体制

東京では世田谷に居を構えていた河井は、市民としての顔も持つており、その社会的地位に応じて、さまざまな役割を担っている。自ら結成に積極的に動いた池ノ上小学校会では会長に就任し（十一月）ているが、戦時体制特有の問題も散見されて興味深い。たとえば、空襲に対応する警防組織だが、既に前年の一九三九（昭和十四）年の四月に、それまでの防護団と消防団を解散して新たな警防団が発足していた。河井は、北沢二丁目隣組の三組の防火隊長をつとめていた、七月、九月と防火演習が実施されたが、七月では「戦時経済ノ大要」について訓話している。そして、一〇月初旬の防空演習に際し、新たな警防団員の選出が迫られていた。警防団設置に際しては、戦争の激化による警察の治安維持能力の低下（大量の兵士を戦地に送ったため）が指摘されている（土田宏成『近代日本の「国民防空」体制』が、人手不足は深刻だった。河井の三組でも組の中から警防団員を出すことができず、「代理人一名ヲ雇入レ〔中略〕、謝礼ハ第三組各戸ヨリ均分負担スル」ことになっている。当時の実情が垣間見えて興味深い。そして社会的地位とは無関係に降りかかってきたのは、食糧不足である。先述した米の不作の影響は供給を直撃した。政府は前年末に米の公定価格を導入して価格統制を開始し、配給機構の整

備を開始したが、なんとか形になったのはこの年八月二〇日の「臨時米穀配給規則」施行とされる『食糧配給公団静岡県支局概史』（一九五二年）。既に六月下旬に河井は東京の自宅では「市民ト同一ノ米食ヲ為ス決シ」家庭購買組合から米を配達してもらっていた。しかし、十一月二四日には備蓄が尽きたため、河井は残った僅かな米に芋を加えて粥を食している。米屋にも在庫はなく「附近ノ妻女数名来店シテ、悲痛ノ叫ヒヲ上ケ居タリ」という状況であった。その日の夜にやっと配達があったものの、翌月二〇日にはそれも尽き、うどんとパンでしのいでいる。河井は石黒農相に世田谷方面の配給停頓状況を直言したが、結局、年末まで周囲の好意に甘えるほかなかったのである。

他にもさまざまな問題について多くのことが記されているが、紙幅の関係からこの程度にとどめたい。まさに『河井弥八日記』は歴史を考える上での宝庫と言えよう。

河井重蔵・弥八研究会について

参考のため、河井重蔵・弥八研究会についての前回のワーキングペーパーの文章を一部加筆修正して掲載する。

二〇〇二年、掛川市は、河井家から旧河井邸と土地、土蔵等に納められていた河井重蔵と弥八関係の膨大な旧蔵史料を譲渡された。史料の全貌を把握して河井家に報告する必要があるため、掛川市教育委員会が二〇〇三年に開始したのが、新たに立ち上げ

られた河井家寄贈資料目録作成調査委員会による目録作成事業である。既に弥八の侍従次長時代の日記が、岩波書店から復刻されていた（一九九三―一九九四年）。これらの史料の価値については、今さら論じるレベルではないことが、当初から想定された。北原勤の呼びかけに応じた地域史研究者を中心に、掛川市教育長から委嘱された一〇名ほどの調査員が、主に夏・冬・春の休みの期間（高校教員を主要メンバーとしていたため）、旧河井邸での任にあたることになる。途中、中断時期はあったが、二〇〇七年まで事業は継続された。夏は冷房がなく締め切った部屋の中で、冬は隙間風に苛まれながらという悪条件の作業だったが、一部は埃まみれとなっていた膨大な史料群との格闘が、往事を偲びつつ続けられた。

現在、確認されているだけで、史料数は四万余点にのぼる。河井重蔵と弥八の巨大な政治活動を窺わせる史料群である。まだ調査が完了していない段階だったが、北原勤が『近現代日本人物史料情報辞典3』（伊藤隆・季武嘉也編、吉川弘文館、二〇〇七）に、「河井重蔵・弥八」の項目を執筆したことで、河井家史料の存在が全国の研究者に知られることになる。その後、諸事情により、史料の閲覧が困難な状況が続いたが、旧河井邸が取り壊された跡に南郷地域生涯学習センターが建設され、敷地内に残る土蔵を改装した河井弥八記念館も二〇一二年に開館となった。史料は教育委員会に申請すれば、閲覧可能である。

河井重蔵・弥八研究会は、上記の事業で調査員を務めた者達を中心として、若干のメンバーを加え、二〇一二年に発足した。二〇一六年三月の構成は、下記の通りである（調査員経験者は*を付した）。

足立洋一郎*（静岡県立西部特別支援学校教諭 日本近代思想史）

北原勤*（元静岡県立高等学校教諭 地域史）

見城悌治（千葉大学国際教育センター・准教授 日本史学、日本近代思想史）

小池善之（静岡県近代史研究会事務局長 日本近代思想史）

清水実*（元静岡県立高等学校教諭 地域史）

前山亮吉（静岡県立大学国際関係学部教授 政治学、日本政治史）

村瀬隆彦*（静岡県立掛川東高校教諭 軍事史・地域史）

森山優*（静岡県立大学国際関係学部准教授 日本史学、日本近代史）

現代史）

山本誠*（静岡県立科学技術高校教諭 日本近世文学）

二〇一二・一三年度に、静岡県立大学教員特別研究費「戦後政治と参議院 河井弥八文書を中心に」が採択され、史料調査と判読作業が開始された。調査の過程で、二〇〇七年までの史料調査では把握できなかった新史料も発見され、研究が深化しつつある。

二〇一四年・二〇一五年度は、新たに静岡県立大学教員特別研究費「河井家文書と日本政治（河井重蔵・弥八を中心に）」として採択され、河井重蔵関係文書も加えて研究を進めている。その成

果は『河井弥八日記 河井弥八手帳 一九五二年』（二〇一四年八月、静岡県立大学大学院国際関係学研究所ワーキングペーパー#14・1）として出版され、河井重蔵宛の田中正造書簡は「田中正造の新発見資料（書簡と風刺画） 掛川市所蔵河井家文書調査より」（『静岡県近代史研究』三九、二〇一四年一〇月）に復刻し、特に後者は静岡のみならず正造の地元栃木県でも大きく報道されるなど、マスコミにも反響を得た。これは、北原・山本・見城・清水が復刻の中心となり、他のメンバーがこれを補完する形で完成させたものである。

今回、日記の筆耕は清水・山本・森山が分担した。解題は森山が執筆し、本文全体のチェックは清水・山本・北原・森山がおこない、索引は清水・山本・森山が作成した。

最後に、本史料の閲覧ならびに復刻を御快諾いただいた河井家当主河井修氏に、感謝の意を表したい。氏の御理解とご援助なしに研究会の活動があり得なかったことは、想像に難くない。末尾で恐縮だが、改めて御礼を申し上げたい。

河井弥八日記

一九四〇年

凡例（書式について）

- 1 仮名遣いは原文のままとした。
- 2 句読点は適宜補った。
- 3 旧字は基本的に常用漢字に置き換えるが、人名は表記のままとした（正字は正字、略字は略字）。
- 4 一行に二行書いている場合（註的な意味で）は≧≡で括った。
- 5 ママ カ 「ヨゴレ」「ニジミ」などは、ルビと同様に文字の横につけた。
- 6 本文中の空白は、文字数程度の幅のかっこをとり、「空白」とした。
- 7 「総裁」を「総才」と書くなど、日記ゆえの簡略化については、分かりにくい場合は、文字の横にかっこ「」で正確な字を記載した。
- 8 アルファベット、算用数字は基本的に半角横書きとした。
- 9 抹消部分は、単なる書き間違いを除き、筆耕して抹消線を引いた。
- 10 欄外に記入されている場合は、その日付の最後に「以下欄外」として記入した。
- 11 日記は、日付が変わるごとに、空白一行を挿入した。
- 12 現在では差別的表現と受け取られる記述があるが、歴史的史料のため原文通り記載した。
- 13 プライベートな問題に関する記述については、一部復刻を見送った部分がある。

一月一日（月） 晴 寒

○昨夜快眠ス。早朝起床ス。北風強烈飛雲満天、二千六百年ノ陰難ヲ示スモノノ如シ。

○八時、一同ト共ニ兩陛下ノ聖影ヲ奉拝シ、以テ聖寿ノ無疆ヲ祈リ奉ル。

○九時出發、宮城ヘ赴ク。西溜間ニ控フ。其間多数諸氏ニ挨拶ヲ為ス。

十時二十分ヨリ正殿ニ於テ天皇皇后兩陛下ニ拝賀ス。

○十時四十分、宮城ヲ退出シ大宮御所ニ参賀ス。

○帰途、徳川公爵及徳川伯爵ヘ年賀ス。十一時十分帰宅ス。

○十一時三十分、出發。泰治、興三及なほ子同伴、八幡神社ニ参拝ス。

○年賀訪客少シ。其中一條秀美氏、同夫人、子息。渡辺守三、同史郎兩氏。山田寛司氏、浅井治平氏、落合英司氏、等々面会ス。落合氏ニ晚餐ヲ饗ス。

○正午頃館林三喜男、一也同伴ニテ来賀ス。昼食ヲ共ニス。

○浅井氏ヨリ府立中学校々長就職希望ノ談アリ。依テ岡田知事ニ手紙ヲ呈スルコトトシ、児玉九十、館林兩氏ニ依頼シ部長及課長ヘ交渉セシム。

〔欄外〕

○熊谷三太郎氏代理ヲ以テ年賀シ、越前産蟹ヲ贈ラル。

○本日ハ父上遺品タル木綿ノ綿入及羽織ヲ着用ス。今後盛装ノ

場合、之ヲ例トスヘシ。

一月二日（火）曇 寒冷

○午前中年賀郵便物ノ整理ヲ為ス。又約二十名ニ対スル賀状ヲ発ス。鈴木与平氏ニ対シテ書状ヲ発ス。

○朝岡本愛祐氏来賀ス。

○午後一時半頃佐藤助九郎氏来賀セラル。快談^{マヤ}二時間ニ及フ。氏ノ熱誠真率ナル最敬重スヘシ。伊澤氏ヲ訪ハント欲シタルニ依リ、電話ニテ都合ヲ問ヒシニ昨日ヨリ病 臥ストイフ。依テ他日ヲ期スルコトトス。

○夕、伊東卓治氏来訪ス。帝室博物館ノ目的ニ関シ、一種ノ改革意見ヲ有ス。之ヲ傾聴ス。

二宮先生尊像掛物ノ複製ヲ氏ニ相談セシニ、大塚工芸社ニ交渉スベシトテ快諾セラル。依テ画幅ヲ氏ニ依頼ス。

○夜、山崎昇二郎来訪ス。彼地ノ状況ヲ話サル。新秩序ノ建設前途、実ニ遼遠ナリ。

○夜、要帰京ス。本日ハ帰途由比町志田収氏ヲ訪ヒ、榛葉氏令妹ノ為ニ縁談ニ付問合セタリト云フ。頗之氣ナリ。

〔欄外〕

○重友ハ夜十一時三十分發ニテ岩原ヘスキーニ行ク。

一月三日（水）快晴 寒

○元始祭参列ノ為、九時発車。宮城内賢所参集所ニ赴ク。

天皇陛下御親拝、皇太后陛下御代拝アラセラル後、秩父宮、同妃、三笠宮、賀陽宮、朝香宮、同若宮、東久邇宮、同若宮、北白川宮、竹田宮、同妃、閑院若宮、李王、李鍵公、李鐔公各殿下御拝アリ。次テ首相、各大臣以下拝礼、退出ス。

○参集所ニ於テ佐藤恒丸氏ヨリ女婿某法学士ノ進路ニ付テ意見ヲ問ハル。荒木大将ニ対シテ鵜殿霞舟老女史計画ノ事業ニ付説明ス。

○午後三時、第六天町徳川公爵家ニ至リ、公爵明日、輜重兵第一聯隊へ入隊セラルルニ付挨拶ヲナス。公爵親シク面接セラ。依テ新年ノ賀辞ヲ述へ、入営ニ付切ニ健康ヲ祈ル。

○夕刻、年賀状数葉ヲ認ム。

○なほ子ハ午後ヨリ横浜朝比奈方へ赴ク。一、二泊ノ予定ナリ。

○重友、夜十時五十分上野著列車ニテスキーヨリ帰来ル。

一月四日（木）快晴 寒

○徳川慶光公爵輜重兵第一聯隊へ入営ニ付、八時三十分営門ニ到着、見送ヲ為ス。九時二十分頃公爵ハ宇佐見興屋中將ノ付添ニテ来タル。見送人多数之ニ随フ。一同直ニ営庭ニ入り、元氣ナル公爵ニ深甚ノ敬意ヲ表シ万歳ヲ高唱シテ別ル。十時三十分帰宅ス。

○午前午後二亘リ、新年ノ政務事項ニ付調査ヲ為ス。材料甚多

シ。

○午後、帝室会計審査局藤井弘氏夫人来賀ス。藤井氏ハ二月中旬旬頃凱旋スヘシト聞ク。

○夕、重友ノ同友日本電気会社員江藤、杉山、松岡三氏来ル。重友ト共ニ晚餐ヲ喫ス。

○夕、大森しづ子夫人、久美子同伴来賀ス。九時半頃辞去ス。泰治、興三、之ヲ見送ル。興三八池ノ上駅ヨリ、泰治ハ渋谷駅ヨリ帰ル。

一月五日（金）快晴 暖

○午前中、要ノ求ニ依リ矢田部盛枝氏（二枚）、伊佐勇松氏（一枚）ノ為ニ揮毫ス。其他二枚ニ揮毫ス。

○泰治ハ午後日光へ赴ク。予ノ書ヲモ帶行ス。興三八根津嘉一郎氏逝去ニ付、其邸ニ弔問ス。

○直子夕刻横浜ヨリ帰来ル。同時ニ朝比奈アキ子両児ヲ伴ヒ来宿ス。

〔欄外〕

御万那一尾。

右

皇后陛下ヨリ以

思召賜ハリ候条、御廻シ申上候。

昭和十五年一月五日 皇后宮職

河井元皇后宮太夫殿、鮮鯛一尾ヲ下賜セラル。

一月六日(土) 晴 寒

○朝、皇后宮職ニ出頭。小倉事務官ニ面会シテ、鮮鯛御下賜ニ対シ御礼言上方ヲ依頼ス。北御車寄ニテ記帳ヲ為シ、又寒中ノ

天機并 御機嫌奉詞ヲ記帳ス。

○文部省ニ大村次官ヲ訪ヒ、紀元二千六百年祝賀ニ際シ、佐々井信太郎氏ニ対シ恩賞奏請ノ件ヲ依頼ス。

○午後三時十五分発列車ニテ帰村ス。七時四十四分掛川著。

恩賜ノ鮮鯛半身ヲ携行ス。

東京駅ヨリ熱海マテ松井穰氏(大和村)ト同車ス。氏ノ意見ヲ聴ク。

一月七日(日) 晴 暖

○午前十時、掛川報徳館ナル新年常会ニ出席ス。佐々井副社長、鷺山、田辺両常務理事、乗松、横田、石川、其他多数幹部モ出席シ、会員三百名ニ達ス。

先ツ龍尾社司ニ依リテ祭典ヲ行ヒ、儀礼ヲ了リテ佐々井副社長ノ新年ノ挨拶アリ。了テ予モ亦約三十分ニ亘リテ挨拶ヲナス。一時マテ休憩。ソレヨリ佐々井副社長ノ「天の岩戸明の意義」ニ関スル講演アリ。三時過散会ス。

○夜、石野元治郎氏来訪ス。頗元氣宜シ。旧年ノ厚誼ヲ謝シ、新年ノ行事ヲ議ス。

○夕、山崎常磐氏ヲ往訪ス。内山眞龍翁表彰ノ件ニ付、書類ノ所要部数ヲ相談ス。又書類ノ内容ニ付所見ヲ述フ。

明日二俣ニ内山家ヲ訪問スルコトス。

〔欄外〕

○皇后陛下恩賜ノ鯛ハ之ヲ刺身及吸物トナシ、本社職員一同午餐ノ時、之ヲ拝戴ス。

一月八日(月) 晴 曇アリ 強風 寒

○午前九時四十一分掛川発バスニテ二俣へ赴ク。計ラズモ山崎常磐氏同行セラル。十一時著。宮澤崑、内山豊太郎両氏ノ出迎ヲ受ケ、直ニ自動車ニテ光明村大谷ニ至リ、縣居翁靈社ニ参詣シ、又眞龍翁ノ墓ヲ展ス。

○ソレヨリ翁四世ノ孫内山基康氏方ニ入り、遺墨ヲ看ル。基康氏ハ多病ノ為、単ニ挨拶アリシニ止マル。山崎^{マヤ}、宮崎^{マヤ}、内山豊太郎三氏ト贈位出願ノ方法ニ付、詳細打合セヲ遂ケ、印刷物四部ヲ受ク。基康氏ヨリ午餐ヲ饗セラル。

○帰途ハ両氏ニ送ラレ、自動車ニテ天竜川ヲ超^{マヤ}エ、鹿島下流右岸ニ於ケル一昨年ノ出水破堤ノ箇所ヲ視察ス。延長七八百間当時ノ状況看ルカ如シ。バス^{マヤ}発著所ニ還リ、二氏ニ見送ラレテ二時五十五分発バスニ乗り、掛川ニ還ル。バス三川村ニ出

テシ時、小笠山ノ火事ヲ望ム。勢、猖獗ナリ。

○十王町ニテ下車シ山崎健太郎氏ヲ訪ヒ、面談ノ上帰宅ス。

○夜、石野元治郎、小柳直吉両氏ノ外、農友会員石野正作、平野忠五郎、岩井六郎、村松幸一、原田惣右衛門、杉山、吉岡、七氏来訪ス。丸山先生ノ来訪ヲ機トシ、村内有志ノ為ニ講話会開会ノコトニ付協議ス。

一月九日（火）曇 強風 頗寒

○昨日午後發生シタル小笠山ノ大火ハ、今朝ニ至ルモ尚終熄セス。早朝村内ヨリモ三十五人ノ警防団ノ出動ヲ見タリ。村役場ニ至リ、村長ニ状況ヲ問ヒシモ要領ヲ得サリシヲ以テ、電話ニテ帝室林野局出張所ヲ見舞ヒ、概略ヲ明ニスルコトヲ得タリ。九時過鎮火ノ報到ル。

○大村留吉ヲ使トシテ角皆太郎市、鷺山恭平、柴田彦平、三氏ヲ見舞フ。

○昨日、家代山田元治氏重態ノ由、内報アリシヲ以テ車テ馳セテ之ニ赴キ見舞ヲナス。夫人ノ外、二三ノ親戚ニ面会ス。容体ヲ聞クニ甚重患ニシテ絶望ニ臨メルカ如シ。慰勵シテ辞去ス。帰途主治医佐藤氏ヲ問ヒシニ感冒ノ為、臥床中ナリトテ面会セス。依テ夫人ヲ介シテ病状ヲ問ヒシニ、数病併發シ加フルニ昨夏以來ノ病衰加ハリ、最早ヤ術ノ施スヘキナク、単ニ数日ヲ支フルニ過キストナリ。

○昇二郎、昇三郎、石間へ元治氏ノ病状ヲ通知スル為葉書ヲ發ス。

○十一時五十七分掛川發ニテ帰京ス。車中、鈴川ヨリ品川迄、町田徳之助氏ト談話ス。

○夜七時、杉本良氏来訪ス。九時マテ談話ス。

〔欄外〕

○丸山方作氏ニ書状ヲ發シ、同氏来十三、十四両日ノ中來訪セラレ、且其席ヲ以テ農友会主催ノ会合ニ於テ講話セラレンコトヲ依頼シ、來著ノ日時ヲモ照会ス。

一月十日（水）晴 寒

○朝、飯田英作氏ニ電話ニテ鈴木与平氏ノ病状ヲ問フ。其結果同氏決算委員辭任ノコトニ付、所見ノ伝言ヲ求ム。

○十時、同成会例会ニ出席ス。塚本、中川、柴田、丸山、入江、小坂（順）、佐藤ノ諸氏出席ス。同成会室ニテ佐藤氏ト共ニ中食ヲ為ス。

○一時三十分、首相邸ニ至リ書記官長ヲ訪フ。不在ナリ。依テ稲田書記官ヲ訪ヒ、(1)二千六百年祝賀ニ際シ、佐々井、片平、鷺山、三氏ニ対スル恩賞ノ件ヲ依頼シ、(2)内山眞龍翁表彰ノコトニ付、所見ヲ述ヘテ配慮ヲ乞フ。其結果ハ既定ノ方針ヲ變フルニ至ラサルモノノ如シ。依テ、何レニシテモ翁ノ事蹟ヲ国学者ニ命シテ調査セシメラレンコトヲ請求シ、承諾ヲ得

タリ。

○二時ヨリ首相官邸ニ於テ国民精神総動員委員会アリ。出席ス。昭和十五年ニ於ケル総動員実施方針ニ付、岡部特別委員長ノ詳細ナル報告アリ。各員ノ意見開陳アリテ之ヲ可決ス。三時四十分散会ス。

○内務省ニ館林三喜男ヲ訪ヒ、通信省村井周一氏ノ健康及勤務ニ付、取調ヲ依頼ス。

○四時四十分東京駅發ニテ帰村ス。高林兵衛、中村円一郎、両氏ト同車ス。又静岡ヨリ山口忠五郎氏モ同車シ来ル。九時五十七分掛川著。留吉ノ出迎ヲ受ケ帰宅ス。

一月十一日(木) 晴 寒

○午前九時四十一分掛川發ニテ中泉ニ至リ、磯部喜作氏ノ出迎ヲ受ケテ自動車ニテ見付報徳館ニ至ル。鷺山理事特ニ同行セラル。

○見付ニ於ケル新年常会ニ臨ミ、午前中約一時間半ニ至リ講演ヲナス。午後ハ社長会ニ出席シ三時半マテ訓示、協議、事務指示等ヲ行フ。聴衆多ク甚熱心ナリ。四時二十二分中泉發列車ニ送ラレ掛川下車帰宅ス。

○帰途山崎常磐氏ヲ訪フ。氏ハ去八日、二俣へ赴キシ為、少シク健康ヲ害シアルヲ以テ臥床中ナリシモ、起キ出テテ少時面会シ、予ノ報告タル昨日稲田書記官往訪ノ内容ヲ聴取セラル。

○夜、山崎常盤氏ノ紹介ニテ中国内河航運公会大原分会、西緝虎宮普光路二号住小路七郎氏来訪ス。堀ノ内農学校教諭角皆〔空白〕氏案内セラル。小路氏ハ支那ニ於ケル宣撫方法ノ有害無効ナル実例ヲ挙ケテ之カ改革ヲ望ミ、又情報網確立ノ急要ヲ絶叫セラル。九時頃堀之内へ帰ル。

○鈴木嘉作氏来訪ス。子息カ住友へ採用セラレシヲ謝ス。一泊ス。

〔欄外〕

○丸山方作氏ヨリノ返書到著、十四日ヲ約セラル。依テ此書状ヲ平野忠五郎氏ニ交付シ準備ヲ求ム。

一月十二日(金) 晴 大寒

○八時五十三分發ニテ金谷ニ至リ、ソレヨリバスニテ川崎ニ赴キ培本塾ヲ訪フ。須原主事ニ面会シ近状ヲ問フ。又鶏卵ノ發送ヲ、近衛公、松平宮相、湯浅内府、及本間先生、及自宅ニ送付ヲ依頼シ、金二十円ヲ託ス。

○十時過、報徳社河合亮之助氏来塾シ、直ニ同社ノ常会ニ出席ヲ求メラル。乃之ニ応シ直ニ出席ス。十二時迄講演ヲ為ス。

○食後培本塾ニ至リ、主事及塾生ヲ集メ撮影ヲナス。同所出身ノ在外兵士ニ送ランカ為ナリ。

○一時過報徳館ニ還リ社長会ヲ開ク。三時四十分散会ス。河合氏、須原氏等ニ送ラレ四時發バスニテ金谷ニ還リ、掛川ニ著、

帰宅ス。報徳社ヨリ神饌供物タル蜜柑ヲ贈ラル、頗大果美味ナリ。

○七時、石野元治郎氏来訪。丸山方作先生講話ニ関シ、打合せヲ為ス。

○直子夕刻帰来ス。

一月十三日(土) 晴 天穏暖和

○朝、平野忠五郎氏来訪。丸山先生講話ニ付、打合せヲ為ス。

又原田清四郎氏モ来訪ス。茶畑管理ニ付、小作料未納者ニ土地返還ノ請求ヲナスコトヲ託ス。之ニテ管理ヲ解約ス。

○直子同伴、神宮寺ニ墓参ス。又真如寺、神宮寺ニ参拝ス。

○帝室林野局出張所ニ至リ、小笠山火事ニ付、見舞ヲ述フ。岡元所長アリ。詳細ナル説明アリ。此時節ハ実地視察ノ希望ヲ述ヘシニ、所長ノ厚意ニ依リ、横須賀分担区玉木技手ヲ派シテ案内セシメラル。

十二時二分掛川発袋井ニ下車シ、駅前ニテ昼食ヲナス。十二時五十分発輕便ニテ新横須賀ニ至リ、自動車ニテ西大谷ノ谷ニ入り、仔細ニ山火跡地ヲ視察シ、玉木技手ノ説明ヲ聴取ス。了テ自動車ヲ返シ、徒歩ニテ小笠神社ニ至リ拝礼。ソレヨリ結縁寺ヲ経テ帰宅ス。自動車下車ハ二時、帰宅ハ四時十五分ナリ。厚ク玉木氏ノ労ヲ謝ス。

○榛葉勇次郎氏、予ノ求ニ依リ森町三五銀行ヨリノ帰途来訪ス。

乃令妹縁談ニ付、要ノ意ヲ通シ、志田収氏調査及角皆文子ノ手紙ヲ渡ス。氏ハ大ニ之ヲ喜ヒ、速ニ諾否ヲ決シ要ヘ通スヘシト答フ。晩食ヲ呈ス。

一月十四日(日) 晴 頗寒

○丸山方作先生八時五十三分著ニテ来ル。依テ停車場ニ出迎ヘ自宅ヘ案内ス。先生ヨリ吉田藩、蜜柑二種ヲ贈ラル。原田村長来宅、先生ニ照会ス。西郷村有志六名、日坂村杉本氏、紹介ノ有志五名来ル。

○十時、小学校ニ至リ、農友会主催ノ講演会ニ臨ミ講演セラル。午前中、稲作ニ関スル講話アリ。

自宅ニ招キ午餐ヲ呈ス。原田村長、落合校長、袴田銀藏氏ヲモ招ク。又西郷有志、日坂有志ノ為ニ鶏ノケンチンヲ用意ス。一時再開、甘藷作ニ付説明アリ。一同感動甚シ。三時半終講散会ス。四時十九分發ニテ三ヶ日ヘ帰ル。依テ之ヲ駅頭ニ見送ル。且謝礼トシテ金十円ヲ呈ス。

○午前中、和田岡村有志五名、吉岡八二郎氏ノ紹介ニテ来リ、先生ニ面会ヲ求ム。先生、諸氏ニ面会シ、来廿六日和田岡村ニ赴キ座談会ヲ開キ、二十七日稲作実地指導ノコトヲ約セラレ。依テ斯ル場合ニ農友会員ノ参加ヲ乞ヒテ承諾ヲ得タリ。

○南郷村農友会ハ本日ヲ機トシテ、稲及甘藷ノ試作地ヲ設クルコトヲ決定ス。

〔欄外〕

○山田元治氏昨夕七時四十五分逝去セシ由、午前十時頃通知アリ。依テ四時四十分頃弔問ス。此時ハ既ニ遺骸ヲ火葬場ヘ送りシ後ナリ。遺族ヲ厚ク慰問シ、香料十円ヲ呈ス。直ニ帰宅ス。

帰途昇三郎及昇二郎へ電報ス。

○杉本良氏五時四十分頃来訪ス。本日ノ講演ニ出席スルヲ得サリシヲ遺憾トセラル。晩食ヲ呈ス。

一月十五日（月）晴 強風 寒

○朝、七時四十分發ニテ清水ニ赴ク。直ニ自動車ヲ雇ヒ、庵原村ナル駿河東報徳社ニ至ル。片平信通先生ノミ在リ。

○駿河東報徳社新年常会ハ十時半ヨリ開会セラル。儀礼ノ後、予ハ一時間半ニ亘リ講演ヲ為ス。食後社長会ヲ開キ、三時終了ス。片平翁ノ薫化甚大ナルヲ驚嘆ス。

本日ノ会合ニ於テ、予ノ回示シタル甘藷耕作ノ写真力紛失シタルハ遺憾ナリ。片平翁モ大ニ之ヲ憂慮セラレタリ。

○三時過、片平家出入リノ自動車屋主人来リ、静岡ノ大火ヲ告ケ、且片平家親戚見舞ノ為、翁ノ乗車ヲ勸ム。予ハ翁ノ健康ヲ憂ヒ、之ヲ止メントセシニ果サス。依テ翁ノ勸ニ従ヒ翁ト同車シテ静岡ニ赴ク。先ツ停車場前ニ至リシモ既ニ列車ノ通行ナシト聞キテ引返シ、清水公園前ヲ過キ水落町ノ親戚、新

通七丁目ノ親戚ヲ見舞ヘルニ同行シ、引返シテ清水停車場ニテ別ル。翁ハ直ニ帰宅セラル。

○清水駅長ヨリ特急列車ノ折返シ運轉アリト聞キ、之ニ乗リテ帰宅ス。六時五十分頃發九時三十分品川著。ソレヨリ電車、帝都電車ニ依レリ。清水ヨリ大平駒槌氏、櫟木幹雄氏（朝鮮郵船会社）ト同車ス。

〔欄外〕

○石間尚、角皆利策両名ニ対シ、山田元治氏ノ逝去通知ヲ發ス。

○堀之内駅ヨリ榛葉忠藏氏同車、同氏女婿志朗氏ノ、富良野出張所勤務ヨリ転シテ名古屋支局内ニ来ルヤウ、当局ニ依頼セシコトヲ懇請セラル。

一月十六日（火）晴 大寒

○昨夕七時半、電報ヲ以テ村宅ニ対シ東京帰宅ヲ通セシモ、本日夕刻到着セシ故、留吉及石野元治郎氏大ニ心配シ、終日問合せ居タリ。

○九時十五分發ニテ掛川ニ帰ル。静岡駅ハ停車セス、乗客ハ清水、草薙ニテ下車シ又用宗ニテ乗車ス。沼津以西ノ混雑、言語ニ絶ス。

○午後ヨリ報徳社ニ於テ遠州各郵便局長ノ會議アリ。予ハ之ニ臨ミテ講演ヲナス約束ナリシ故、品川駅ヨリ三時著ノ電報ヲ發シ置キタルニ會議ハ早朝ニ至リ俄ニ延期トナリシ為、違約

ノ責ヲ免ルルコトヲ得タリ。

報徳社ニ出頭シ、信用組合ニ鷺山氏ヲ訪ヒ、又戸塚重一郎氏ノ酒店ヲ見舞ヒテ五時頃帰宅ス。

○今朝、村内出征軍人宅ニ至リ、撮影ノ予定ナリシモ予ノ不在ナルニ依リ、石野氏、村長ノ計ヒニテ延期セラレアリ。好都合ナリキ。

○夕刻、原田村長、平野収入役、石野元治郎氏等来リ居リ。予ノ為ニ安全ヲ祝セラル。

○夜、山本米吉氏来訪シ、揮毫ヲ求メラル。

一月十七日(水) 晴 暖

○午前八時五十三分ニテ静岡へ赴キ火災見舞ヲ為ス。

呉服町通ヲ經テ県庁ニ至リ、知事、総務部長、学務部長ヲ見舞フ。知事ヨリ侍従御差遣ニ対スル件ニ付、所見ヲ求メラル。

次ニ市役所ニ至ル際、篠田中将及杉本良氏ニ出会ス。両氏ニ誘ハレテ消防自動車ニ便乗シ、三十五銀行本店ニ中村円一郎氏ヲ訪ヒ、更ニ商工会議所ニ尾崎元治郎氏ヲ訪フ。両氏共ニ不在ナリ。会議所ニ於テ片岡録朗氏ニ面会シ、各種ノ状況ヲ聴ク。又携フル所ノ握飯ヲ頒チテ、篠田、杉本、村松三氏ト共ニ食ス。篠田氏ハ準急ニテ帰京ス。

食後杉本氏ト同車。三橋氏、戸塚重一郎氏(不在)、ヲ見舞ヒ市役所ニ市長ヲ訪フ。去ラントスルニ当リ尾崎元治郎氏ニ面

会ス。氏ニ誘ハレテ市役所ノ塔上ニ昇リテ下瞰シ詳細ノ説明ヲ聴ク。再ヒ商工会議所ニ返リ、尾崎氏ノ談ヲ聴キタル後、自動車ヲ供セラレテ大東館別館、八木氏、戸塚氏(海野氏共)ヲ見舞ヒ、草薙駅ニテ運転手ニ紛^{マヤ}レテ汽車ニ登リ、四時四十八分掛川著帰宅ス。

〔欄外〕

○直子ハ午前十時發ニテ名古屋へ赴キ、〔空白〕氏ヲ訪フ。一泊ス。

○商工会議所ニテ徳川公爵家扶安井氏ニ出会フ。氏ハ昨日来岡。公爵家ヨリノ見舞金一万円ヲ市ニ寄付セリト云フ。又金五百円ヲ大東館主人ニ見舞ハル。予カ同館別館ヲ見舞ヒシニ主婦人ノ感謝、譬フルニ物ナカリシヲ見タリ。

○夜、西南郷村長武藤氏、石野元治郎氏ト共ニ来訪シ、掛川町トノ合併問題ニ付意見ヲ交換ス。

一月十八日(木) 晴 寒

○早朝、原田惣吉氏来訪。昨日、国安川ニテ釣リタル沙魚ヲ贈ラル。

○袴田銀蔵氏ヲ報徳社ニ訪ヒ、昨夕武藤村長来訪ノコトヲ報告シ、同氏夕刻ニテモ村長往訪アリタキ旨ヲ求ム。

○九時四十五分バスニテ森町へ赴ク。中山博氏ト同車ス。森町報徳館ニ於ケル常会ニ臨ミ講演ヲ為ス。食後社長会ニテ

講演ヲ進メ三時終了。更ニ諮問事項、協議事項等ニ入り、三時半閉会ス。三河国大和市川藤五郎来会ス。頗盛会ナリ。

○森町報本社ニ榛葉勇次郎ノ来訪ヲ求メ、令妹縁談ノコトヲ問ヒシニ、一同協議ノ上快諾シ、直ニ書面ヲ以テ東京宅へ返事セリト答フ。掛川へノ帰途、榛葉氏トバスニ同車ス。

○直子ハ時刻名古屋ヨリ帰宅ス。

○東京昇三郎ヨリ電報ニテ予ノ在否照会アリ。夕刻在宅ノ旨ヲ答ヘシニ、夜七時四十四分著ニテ帰来ス。種々要談ヲ為シ一泊ス。

〔欄外〕

○昨日、静岡ヨリ灰燼ヲ吸ヒシ為、鼻加答児ヲ発シ気分悪シ。森町報本社ハ寒氣酷烈ニシテ気分更ニ悪シ。

一月十九日（金）晴 強風 最寒

○昇三郎ハ八時五十三分ニテ静岡へ赴キ、各所見舞ノ上帰阪ノ予定ニテ、午後一時三十一分掛川通過、留吉荷物ヲ車中ニ届ク。

○原田村長ノ来訪ヲ求メ、掛川町ニ南鄉村併合問題ニ付其経過ヲ問フ。而シテ予カ昨夏、町有志ノ来訪ニ対シ述ヘタル意見ヲ告ゲ、此問題ニ善処ヲ求ム。其中ニ西南郷トノ合併ハ考慮ノ価値アルヘシト告ク。村長ハ不動ノ態度ナリ。

○石野元治郎氏ノ来訪ヲ求メ、右会見ノ内容ヲ告ゲ、速ニ之ヲ

武藤西南郷村長ニ内報シ置カレンコトヲ依頼ス。尚予ハ一昨夜武藤村長ト会見セシコトハ、原田村長ニ言及セサリシコトヲモ告ケンコトヲ求ム。

○西郷村松浦定吉氏ノ息〔空白〕氏来訪。弟和雄氏、住友製鋼部ニ採用確定セシニ付、謝意ヲ伝ヘラレンコトヲ求ム。依テ留吉ニ託シ、駅頭ニテ之ヲ昇三郎ニ通ス。

○午前十一時五十七分發ニテ帰京ス。直子同伴ナリ。車中ニテ町田徳之助、村松啓一、宮田光雄諸氏ニ出会フ。

○要ヨリ明日ノ渡辺史朗氏ノ結婚式ニハ出席セストノ話ヲ聞ク。又、榛葉令嬢ノ見合ヒハ二十一日ニ決定セシニ付、廿日出京ノ回答アリシ由ヲ聞ク。

〔欄外〕

○朝来、西風強ク名古屋以西吹雪アリ。寒氣凜烈タリ。感冒少シク癒エタルモ、東上ノ車中雑踏トナリ、沼津以東身動キモ成ラス、頭痛烈シ。

○寛一氏ニ其後ノ状況ヲ聞ク。職務上ノ異変ナシ。増田氏ニ会见ヲ勧ム。

○女中ノ土田仲江、夕刻ヨリ苦悩ス。堀先生ヲ迎へ、診察セシメシニ腹膜炎（慢性）ニ罹リ容体輕カラスト云フ。依テ先生ノ意見ニ從ヒ之ヲ郷里ノ両親ニ報シ帰郷セシムルニ決ス。

一月二十日（土）晴 大寒

○感冒ノ気味アリ。終日不快ナリ。

○朝、静岡育英会主事塩島氏ニ、電話ニテ静岡市内見舞ノコトヲ報告ス。

○十時過出發。聖路加病院ニ至リ、鈴木与平氏ヲ訪問シ病状ヲ見舞ウ。ソレヨリ決算委員辞任ノコトヲ相談ス。直ニ帰宅ス。

○午後ハ不在中ノ日記ヲ記入ス。

○伊佐勇松氏來訪ス。鮎ヲ贈ラル。

○榛葉勇次郎氏母堂、令嬢ヲ伴ヒタ刻來泊ス。直子ハ品川駅マテ出迎ヘタルモ、遂ニ出會セス。空シク歸ル。

〔欄外〕

○鈴木寛一氏ハ午後退庁後、静岡市ヘ赴キ八木氏ヲ見舞フ。

○重友モ本日退出後遠州ヘ赴キ一泊、明日静岡市ノ罹災者ヲ見舞ヒタル上、帰京スル予定ナリ。

一月二十一日(日) 快晴 大寒

○朝、片平信通、岡田正吉、福田武三、其他諸氏ヘ書状ヲ認ム。

○向坂均一氏逝去ノ由ニ付、嗣子保治氏ニ対シ弔詞ヲ呈ス。

○午前中家中ノ清掃ヲ為ス。

○午後、渡辺史朗氏新夫人同伴來訪ス。母堂會見、桓次氏モ共ニ來ル。渡辺氏ヘ火災見舞金五十円ヲ呈ス。此中昇二郎、昇三郎分各十円アリ。

○二時過杉山東一氏、石井英之助氏母堂來訪ス。角皆利策氏ノ

案内ニ依ル。文子モ疾クヨリ來リ手伝ヲナス。ソレヨリ杉山氏ト榛葉春子嬢ト會見ヲナス。款談二時間計リニテ去ル。角皆ハ石井氏方ヘ見送ル。

角皆ハ石井氏方ヨリ電話ニテ杉山氏ヨリノ結婚申込ヲ為シ、当方ヨリ承諾ヲ答フ。

夕刻角皆來訪シ、結納ノ日ヲ相談シ來廿六日ト定ム。

京城榛葉孝平氏ヘ結婚成約ノ旨ヲ電報ス。

○角皆夫婦ハ九時頃發足横浜ヘ歸ル。

○九時頃重友、寛一兄、静岡ヨリ歸來ル。

一月二十二日(月) 晴 大寒

○九時二十分貴族院ニ出頭ス。小林書記官ヲ訪ヒ、縁談ニ付キ配慮セラレタルニ対シ、謝意ヲ表ス。瀨古書記官長、松平議長ヲ訪ヒ、去十八日各派交渉會ニ欠席ノコトヲ詫ブ。

○庶務課ニ至リ、静岡市大火義捐金十円ヲ納入ス。

○十時十分頃開會ス。諸般ノ報告ノ後、議長ヨリ來三十日迄休會ノコトヲ諮リ、異議ナク可決シテ散會ス。

○小坂順造氏ノ自動車ニテ丸ビルニテ氏ニ別レ、帝室林野局ニ至ル。岡本監理部長ヲ訪ヒ、榛葉士郎氏ノコトヲ依頼シ、又小笠山大火災対策ニ付、岡元出張所長ノ所見ヲ伝フ。

○帝室博物館ニ伊東卓治氏ヲ訪ヒ、二宮先生画幅調整費ノ内容ヲ問フ。了テ渡部総長ヲ訪フ。食堂ニテ総長ヨリ午餐ヲ饗セ

ラル。

○一時四十分日本俱樂部ナル伊澤先生古稀祝賀会実行委員会ニ出席ス。会員氏名録、及和田画伯筆ノ肖像ヲ見ル。之ヲ本日同氏ニ呈スルコトトス。次ニ山崎朝雲氏ヘノ謝金ヲ相談シ、野口明氏ノ意見ヲ問ヒタル上、増額セサルニ決ス(千二百円)。最後ニ絵葉書ヲ作り各員ニ頒ツコトトス。ソレヨリ小坂氏ノ自動車ニテ伊澤氏ヲ訪ヒ、^{判読不能}「」木下氏同行ス。帰途ハ木下氏、伊澤氏方ニ居残り、小坂氏ト東横脇ニテ別ル。

〔欄外〕

○昨夜不眠甚シク、今曉四時ニ至ル。

○要ハ感冒ニテ昼間臥床ス。

○日本俱樂部ニ至リ、前三ヶ月分会費及諸費二十円八十錢ヲ支払フ。

○昨日午後○時五十分頃、野島崎ヲ距ル三十五海里ノ地点ニ於テ、米國ヨリ帰航中ノ浅間丸ニ対シ英國軍艦ハ停船ヲ命シ、乗組船客独乙人ノ軍籍ニ在ル者二十一名ヲ拉致シタルノ事実アリ。朝野ノ激怒ヲ招ケリ。

一月二十三日(火) 朝曇 十時頃ヨリ晴 大寒

○朝、金鶏学院ニ電話ニテ丸山方作先生ノ在否ヲ問ヒシニ、早朝埼玉県下ニ出發セリトノコトニ付、書状ヲ發ス。又、其旨ヲ原田村長ニ通知ス。

○佐藤助九郎氏ニ静岡火災見舞謝状ヲ呈ス。福田町落合裏次氏ニ、去十五日遠州三等局長会議不参ニ付、返書ヲ發ス。又、湯浅、松平、両大臣ニ対シ培本塾ヨリ鶏卵送付ノ旨ヲ通ス。

○十二時過中央亭、日本國際協會午餐会ニ出席ス。下村宏氏ノ海南島視察談、上海所見談アリ。此中、汪精衛氏側要人ノ五ヶ条ノ質問、聯銀券ト物資問題ハ甚重要ナリ。後者ハ予カ内地ニ於テ觀察セシ所ト全然一致ス。講演後大口喜六、松岡洋右諸氏トノ間ニ有益ナル談話アリ。二時半散会ス。

○三時過一木男爵ヲ往訪ス。報徳社ニ於ケル理事監事補欠選任ノ件、永安善種金積立ヲ励行スヘキヤノ件、二宮先生尊像掛物調製ノ件等ヲ相談ス。大ニ先生ノ健康ナルヲ喜フ。

○六時過鈴木俊一氏來訪ス。發送電事業ニ付、現状ヲ聴取ス。
〔欄外〕

○瀬古書記官長ヨリ浅間丸事件ニ付、政府ヨリ説明アルヘキニ依リ、明日午後三時首相官邸ニ來集ヲ求メラル。

一月二十四日(水) 晴 大寒

○十時半頃同成会例会ニ出席ス。浅間丸事件ニ付、政府ノ説明ヲ聴クコトニ付意見ヲ交換ス。

○十二時、貴族院ニ書記官長ヲ訪問ス。紀元節奉祝文起草ニ関シ、吉田増藏氏ヲ貴族院ノ囑託トナスノ件ニ付、書記官長ヨリ相談ヲ受ク。

○一時頃長谷川赴夫氏読書室ニ来リ会见ス。氏ノ多額納税者議員当選異議ノ争訟ニ付、談話アリ。

○二時頃佐藤恒丸氏、女婿水谷元吉氏《厚生省嘱託北品川町四ノ七一八》来訪ス。氏ニ文官試験ヲ受クルニ非サレハ文官タルヲ断念スヘキヲ告ケ、受験ヲ熱心ニ勧告ス。

○三時前書記官長ノ車ニ乗ツテ首相官邸ニ赴キ、浅間丸事件ノ顛末ヲ有田外相ヨリ聴取ス。外相ハ又、日米通商航海条約廃棄ノ後ノ結果ニ付説明ス。次テ各委員ノ質問ニ対シ、吉田海相、有田外相ノ答弁アリ。最後ニ松平議長ヨリ挨拶ヲ述ヘテ四時頃散会ス。

○夜、山崎昇二郎ヨリ電話ニテ、今夜十一時廿五分発ニテ西行、昇三郎方ヘ一泊ノ上、上海ヘ赴クト云フ。

一月二十五日(木) 晴 大寒

○朝、鈴木寛一兄岐阜ヘ帰ル。

○朝、福島市大町油井佐太郎氏ヘ青年団旗揮毫ニ関シ照会状ヲ認ム。又静岡大村武雄氏ニ日本発送電会社就職ニ付、問合せヲナス。

○正午、帝国ホテル グリルニ於テ長谷川赴夫氏ト会见ス。午餐ヲ饗セラル。

○大日本航空会社ニ中川健蔵氏ヲ訪ヒ、長谷川氏ヲ同成会ニ入会勧誘ノコトヲ依頼ス。

○上野公園科学博物館ニ朝比奈ヲ訪ヒ、甘藷栽培成績ヲ同館発行雑誌ニ記載ノコトニ付、写真及説明書ヲ提供ス。朝比奈ヨリ茶葉ニ含有セラルル砒素ノ分量検出方法中ノ一段階ニ付、改良意見ヲ茶業試験場ヘ通スルヤウ依頼セラル。

○夕、榛葉夫人及春子嬢来泊ス。

○女中土田仲江ノ父ヨリ明朝来訪(今夜急行ニテ出発)ノ電報ヲ受ク。

一月二十六日(金) 晴 大寒

○榛葉春子嬢結婚ニ付結納受領ノ用意ヲ為ス。十時半頃角皆文子、杉山隆一氏方代表トシテ結納ヲ持来ル。榛葉母堂、令嬢ト共ニ之ヲ受ケ、榛葉勇次郎氏ヨリノ結婚ヲ託ス。簡単ナル祝飯ヲ呈シ自動車ニテ送ル。文子ハ目黒駅ニテ東一氏ト出会ヒ石井氏ヘ赴ク。

○十一時過山形県上ノ山町和泉町今野順吉氏来訪ス。女中土田仲江養父ナリ。要ヨリ病状ヲ説明ス。氏ハ明朝再来。同人ヲ郷里ヘ連帰ルト云フ。

○村井修一氏ノ健康状況ニ付、蒐集シタル材料ヲ堀医学士ニ呈示シテ判断ヲ求メシニ、胸囲甚狭ク体重少ク、且肺門淋巴腺ニ罹リシコトアルノ点ニ於テ健康上ノ疑ヲ述ヘラル。

○東横ニ至リ理髪ス。

○榛葉母堂ハ今夕他ニ一泊シ、明日帰国スト云フ。

〔欄外〕

○館林多久次氏ノ婚約成リ、本日結納ノ交換ヲ為ス。

一月二十七日（土）晴 大寒

○朝、今野順吉氏来訪ス。面会ノ上、土田中江^中ノ病状ニ付談話ス。其結果東北帝大杉村七太郎博士ニ今野氏紹介ノ名刺ヲ渡ス。

○今野氏、中江^中ヲ連レテ山形県ヘ帰ル。

○十一時過貴族院ニ至リ、図書室ニテ調物ヲ為ス。

○十二時、書記官長ノ食堂ニ至リ食事ヲ為ス。長世吉氏モ在リ。本日、資格審査委員会ヲ開会シタリト云フ。

長氏ノ求ニ依リ、日本国際協会入会ノ紹介者トナリ入会セシム。

○一時半、東京会館ナル北支、蒙彊開發并中支興産ノ状況ヲ活動写真ニテ見ル。四時半頃散会ス。

○五時半、三会堂ナル帝国治山治水協会ニ出席ス。夕食ヲ共ニシ、九時頃マテ協議ス。

〔欄外〕

○神谷八太郎氏母堂、昨日逝去ノ由、石間尚ヨリ速達便ニテ通知アリ。弔電ヲ發ス。

一月二十八日（日）晴 大寒 強風

○早朝、赤木正雄氏ヲ訪問ス。砂防协会会员募集ノコトヲ託セラ。予ハ神都計画内容調査ヲ求メ、又舗装道路修理交渉ヲ依頼ス。

○鈴木与平氏ノ為ニ決算委員辞任願書ヲ作り、之ヲ氏ニ送付ス。

○大村武雄氏ヨリ日本發送電会社ヘ就職希望ノ由、回答アリシヲ以テ之ヲ鈴木俊一氏ニ送り配慮ヲ請フ。

○福島市大町油井佐太郎氏来訪シ、青年団旗ニ揮毫方ニ付回示アリ。

○午後○時十八分品川發ニ乗リ帰宅ス。茅ヶ崎マテ男爵関義寿氏ト同車ス。車内ノ雑踏甚シカリシモ熱海ニ至リテ漸ク緩和セラル。

○今朝、伊澤某氏ヨリ面会ヲ求メラレシニ付、之ヲ断リ電話ニテ用件ヲ問ヒシニ、鵜殿霞舟女史計画ノ記念碑建設ニ関シ、画家山口氏ニ不正アルヲ以テ予ノ意見ヲ求メ、之ヲ糺弾セントスル由ナリ。予ハ斯ル事件ニハ絶対ニ介入セスト告ケ、又斯ノ如キ醜惡ヲ藏スル事業ニハ今後助力スル能ハスト述ヘ、断然絶縁ス。

一月二十九日（月）晴 風強ク 大寒

○八時二十九分發ニテ中泉ニ至リ、神谷八太郎氏ヲ訪ヒ、母堂逝去ニ付哀悼シ靈前ニ焼香拝礼ス。九時三十五分中泉發ニテ掛川ニ帰ル。

○大日本報徳社ニ出頭シ田辺理事ニ会見ス。(1)理事、監事補選方法ニ付意見ヲ交換シ、(2)永安善種金積立ヲ勵行スルノ可否ニ付社長ノ意向ヲ伝へ、(3)二宮先生肖像掛物調製ノ件ニ付協議ス。

○帝室林野局出張所ニ岡元所長ヲ訪問ス。

○十二時前帰宅。石野元治郎氏ノ来訪ヲ受ケ十二時半出發。左ノ通り出征応召軍人家族ノ撮影ヲ為ス。午後四時半帰宅。

石野弘重、 亀井恒吉、 石野正義、 石野幾太郎、

原田九郎左衛門、

櫛田政雄 鈴木太郎 神谷吉蔵 杉山太郎

杉山島吉、

村松良平 松井勇 杉山徳一 西川藤作

兼堀昇

戸塚廣二 中山章二 溝口晴男 笹藪金作

石野氏ニ茶菓ヲ呈ス。

○大津市福田武三氏へ報徳叢書一部ヲ呈ス。

〔欄外〕

○今朝、大阪市内ニ省線ガソリンカーノ転覆事変アリ。死者百八十名ニ達ス。

歌御会始。迎年新世。

御製

西ひかしむつみかはして栄ゆかむ 世をこそいのれとしのは

しめに

皇后宮御歌

この秋のみのりよかれといのるかな ためしなき世のとしを
むかへて

皇太后宮御歌

にひとしに大みよいのるまこゝろは 神もたすけて守ります
らむ

一月三十日(火) 晴 寒

○午前八時五十三分發ニ乗リ静岡ニ下車ス。大東館及両替町ノ戸塚氏焼跡ヲ訪フ。又三十五銀行ニ中村円一郎氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。

ソレヨリ商工會議所ニ片岡録朗氏ヲ訪ヒ、復興ノ状況ヲ問フ。又電話ニテ戸塚重一郎氏ヲ見舞フ。

○片岡氏ノ好意ニテ自動車ヲ供セラレ十一時六分静岡發ニテ帰東ス。

駅ニテ中村円一郎氏ニ邂逅ス。又海野真岳氏、戸塚氏ノ代理トシテ清水マデ同車ス。戸塚氏ヨリ天城山火災保険金ヲ三十万円ニ増加スルノ件(十六万円増加)ニ付勸告アリ。直ニ同意ス。之ハ昨秋予カ往訪セシ時ニ既ニ決定セシ件ナリ。予ハ戸塚氏ニシテ家屋復旧ノ為木材ノ所要アラハ、其数量ハ無償ニテ提供スヘキニ依リ、其数量ヲ示サレタシト伝言ス。

○静岡ヨリ清水ニ至ルノ車中ニテ日本平付近ノ山火猖獗ナルヲ望ム。

○興津ヨリ加藤泰通氏同車ス。目黒ニテ別ル。

○六時ヨリ首相官邸ニ於ケル首相ノ各派交渉委員招待晚餐会ニ出席ス。首相ハ内外險艱ノ時ニ処シテ一死報効^マノ決心ヲ語り、議員ノ協力ナル援助ヲ求メ、松平議長ハ之ニ応シテ議院モ亦協力邁進、其職務ヲ尽スヘキヲ告ケテ謝辞トス。八時頃散会ス。

一月三十一日(水) 晴 大寒

○昨夜不眠甚シ。

○電力不足益々急迫ヲ告ケ関西各地ノ送電停止セラル。是未曾有ノ大事件ナリ。

○鈴木与平氏ニ明日登院如何ヲ問フ。十日マテ欠席ト答フ。而シテ其手續ハ貴族院田村属ニ依頼シタリト云フ。

○十時、出征兵安永隆君ヲ八幡神社ニ見送ル。町内ヨリノ見送人甚少シ。

○十時四十分頃佐藤恒丸氏来訪ス。女婿水谷元吉氏文官試験受験ニ付問ハル。

○館林マス子来リ留守番ヲ為ス。直子ハ榛葉春子嬢ト夕刻マテ外出ス。

○一時半頃、要ト共ニ第二陸軍病院ニ院長成田雄三大佐ヲ訪問

シ、徳川慶光公爵ノ病氣ヲ見舞フ。今朝来、肺炎ノ兆候アリトテ憂慮セラル。面会謝絶ナリ。夫人来訪シアリシモ面会セズ。院長ヲ介シテ刺ヲ通シテ帰ル。

○表装師古川澄^{ニシミカ}雄氏ニ黄興書額^カ面一、梁鴻志書掛物一、其他四点ノ表装ヲ依頼ス。

二月一日(木) 曇 一時晴 寒

○八時半、要、春子同伴八幡神社ニ参詣ス。

○九時半、貴族院ニ登院ス。本会議アリ。首相外相ノ演説ニ次ギ陸相海相ヨリ、昨年四月以来ノ戦況ニ付報告アリ。ソレヨリ大河内正敏氏ノ質問演説アリ。首相及商工相之ニ答弁シテ延会トナル。

○加藤政之助氏質疑演説取消ノ為、登院出席ス。帰ル時玄関内ニテ顛倒、額其他ニ負傷ス。之ヲ医務室ニ見舞ヒシニ、生命ニ別条ナシト云フ。

○幸俱樂部幹事ノ懇親会アリ。幸俱樂部ニ出席ス。倉知氏ノ朝鮮ニ於ケル創氏運動、岩倉男ノ静岡火災ノ破壊消防ノ不活動、御用邸防禦ノ為、一般民家ノ被害アリシコトノ談。予ハ之ニ対シ消防及警防団ノ組織改正後ノ不訓練ヲ報告ス。伊澤氏ノ東京大震火災ノ人災ナリシコトノ談アリキ。

○東久世男ト共ニ中川氏ノ車ニテ貴族院ニ帰り、衆議院ノ議事ヲ傍聴ス。首相外相蔵相ノ演説、陸海両相ノ報告アリシ後、

小川郷太郎氏ノ質問演説アリ。各相之ニ答へ六時半頃散会ス。

二月二日（金）曇 午後雨 夜雪 寒和ク

○午前九時五十分、第八部会ニ出席ス。予算委員舟橋子辞任ニ付補欠選挙ヲ行フ。大河内正敏子当選ス。部長欠席ニ付理事トシテ代理ス。

○本会議アリ。国務大臣演説ニ対スル質疑トシテ子爵大河内輝耕君演説ス。次ギニ内藤久寛君ノ石油政策ニ関スル質疑アリ。十二時過散会ス。

○培本塾出身者加藤弥一、杉浦実、増田一男三氏へ書状ヲ呈ス。去月十二日培本塾ニテ撮影セシ写真各一葉ヲ送ル。

○午後二時ヨリ衆議院ノ本会議ヲ傍聴ス。東郷実氏、斎藤隆夫氏ノ質問演説アリ。五時過散会ス。

帰途降雨ノ為、佐藤助九郎氏ノ自動車ニテ四谷駅ニ送ラル。

二月三日（土）曇 寒冷

○昨夜降雪三寸、万物蘇生ノ思アリ。朝植木ノ雪ヲ掃フ。

○朝、木原清氏ヨリ電話ニテ同氏午後來訪、貴族院ヨリ望月氏ノ告別式ニ赴カンコトヲ誘ハル。午後一時半同車、告別式ニ至ル。

○十時貴族院ニ至リ、読書室ニ於テ昨年ノ委員会速記録ニ就キ、予ノ予算分科会ニ於ケル言論ヲ讀ム。官吏賞与ノ目ヲ予算中

ニ発見セシハ欣快トスル所ナリ。

○長谷川起夫氏貴族院ニ來訪ス。直ニ内談室ニ誘引シテ会談ス。氏ノ当選無効訴状ヲ見、又氏ノ答弁書ヲ讀ム。二三ノ点ニ付テ所見ヲ告ク。又瀨古書記官長ノ命ニ依リ佐藤書記官ヨリ交付セラレタル住居ニ関スル研究ヲ貸与ス。

○読書室ニテ瀨古書記官長ノ訪問ヲ受ケ、二千六百年祝典ニ於ケル行賞ノ件、徳川公ニ対スル恩賞ノ件等ニ付、所見ヲ交換ス。

○食後読書室ニ入り、櫛田政雄、杉山島吉両氏へ写真ヲ贈ル。

○木原氏ノ自動車ニ同車シ、望月軍四郎氏ノ告別式ニ臨ミタル後、満鉄支社ニ至リ要談ヲ為ス。木原氏ヨリ徳川家達公伝記編纂係設置ノ内容ヲ示サレ、予ニ其顧問タランコトヲ求メラル。之ヲ議ス。

〔欄外〕

○木原氏ニ対シテ時勢ノ変転甚シキヲ告ケ、公爵家ノ将来ニ付杞憂ヲ披瀝ス。

○衆議院ニテハ昨日ノ斎藤隆夫氏ノ演説ハ政府ノ怒リヲ買ヒ、氏ノ進退問題ヲ惹起シタリ。今後ノ推移、最深ノ注意ヲ要ス。但シ之カ為、議院ノ言論ニ掣肘ヲ受クルカ如キコトアラハ大ニ不可ナリ。

○夜九時頃、小林書記官ヨリ衆議院ノ状勢ヲ報告セラル。言論ノ自由カ議會カラ喪失スルトキ、国家ノ危急到来ノ遠カラサ

ルヲ思フ。

二月四日(日) 晴 大寒

○昨夜長眠ス。雪後寒氣強烈ナルモ、氣分甚爽快ナリ。

○朝刊新聞紙ヲ讀ミ、国内ノ危機切迫セルヲ感ス。此際特ニ君側重臣ノ安全ヲ祈ル。又深憂ヲ抱イテ貴族院議事速記録ヲ覆読ス。

○十一時過伊澤多喜男氏ヲ訪ヒ、時患ニ付所懷ヲ述フ。午餐ヲ饗セラル。信州ヨリ到来セル赤腹魚ノ魚佃。モロコノ煮付甚佳味ナリ。

○一時三十分頃一木男爵ヲ訪問ス。報徳社理事監事補欠ノ件、永安善種金積立奨励ノ可否ニ関スル件等ニ付報告ヲ為ス。又福島市大町青年団旗揮毫方ニ付、過日油井佐太郎氏ヨリ申出ノ件ヲ復命シ依頼ヲ為ス。其他時事ニ付指導ヲ受ク。

○鈴木貫太郎男ヲ訪問シ疎遠ヲ謝シ、時候見舞ヲ述フ。夫人ハ少シク感冒ニ罹リ居ルモ、男爵ハ元氣ナリ。

○夜、伊東卓治氏來訪ス。氏ハ興亜院ヨリ北京大学教授トシテ就任ヲ求メラレタル由ニテ予ノ意見ヲ問ハル。予ハ之ニ対シ大ニ賛成ス。

〔欄外〕

○丸山方作氏ヨリ葉書ヲ以テ、同氏今回高松宮殿下ヨリ表彰セラレタル由通信アリ。真ニ慶賀ノ至リナリ。

二月五日(月) 晴 寒

○朝、館林三喜男ノ來訪ヲ求メ要談ヲ為ス。

○原田喜之助中尉ニ対シ両親ノ写真ヲ贈ル。

○二時頃貴族院ニ至リ、衆議院ノ議事ヲ傍聴ス。大口喜六、高田耘平両氏ノ演説ヲ聴キテ止ム。ソレヨリ讀書室ニテ菊芋ニ付テ調査ヲ為ス。

○小林書記官ヲ訪ヒテ要談ス。

○五時半司法大臣ヨリ官邸ニ招カレ、晚餐ヲ饗セラル。両議長各派交渉委員出席ス。食後、司法省提出法律案及予算案ノ内容ニ付説明アリ。八時頃散会ス。

予ハ居残り、特ニ大臣ニ対シテロ行爲取締ニ付、深甚ナル注意ヲ以テ取締ヲ励行セラレンコトヲ警告ス。

二月六日(火) 曇 夕雨 夜雪 冷

○本会議アリ出席ス。鉄道大臣ヨリ去月二十九日大阪市内西成線ニ於ケルガソリン車転覆慘事ノ報告、外務大臣ヨリ浅間丸事件ニ付英国ト交渉内容ノ発表アリテ後、内藤久寛氏ニ対スル首相商工相ノ答弁アリ。菅澤重雄、松井茂両氏相次テ質疑ヲナシ、正午過散会ス。

○午後一時半、予算委員会ニ於テ追加予算ノ審議ヲ行フニ先チ、陸相ヨリ秘密會議ヲ要求シテノモンハン事件ノ経過ヲ詳細ニ

説明セシニ依リ之ヲ傍聴ス。松村義一氏ノ質疑、甚強烈ナリ。

○白根宮内次官ニ対シ、電話ヲ以テ突発事件ニ対スル警備ヲ忽セニセサルヤウ申告ス。

○二時ヨリ議長応接室ニ於テ、紀元節ニ議長ヨリ奉呈スヘキ賀表案文起草委員会ニ委員トシテ出席ス。出席者ハ正副議長ノ外、一條公、林伯、山岡氏、千秋男、今園男、伊澤氏、織田氏、竹越氏及予ナリ。今回新ニ囑託トナリタル吉田増藏氏執筆ノ草案ニ付、審議シタル上同氏ノ来席ヲ求メ之ヲ決定ス。ソレヨリ之カ取扱方ヲ協議シ、五時頃散会ス。

〔欄外〕

○登院ノ途上井上通泰博士ニ出会ヒ、内山眞龍翁ノコトヲ問フ。

○夜、高松宮附吉島事務官ニ、電話ニテ丸山方作氏カ高松宮家ヨリ表彰セラレタル事情ヲ聴ク。

○夜、山崎朝雲氏ヨリ書状ヲ以テ、伊澤先生ノ木彫完成ノ報告ヲ受ク。

二月七日（水）曇 冷

○十時半、貴族院読書室ニ於テ小坂順造氏ト会见シ、伊澤氏寿像ニ彫刻スヘキ文字ノ執筆者ニ付相談ノ結果、工藤壮平氏ト決定シ、電話ニテ氏ノ都合ヲ問ヒタルニ、旅行中ナリト云フ。依テ野口明氏ニ問ヒ、宮内省宗秩寮木村宗吉氏ニ依頼スルニ決ス。

午後小林書記官ニ面会シタル後、宮内省ニ至リ同氏ニ依頼シテ直ニ之ヲ受領ス。野口、林両事務官ノ厚配ニ依レリ。

○瀬古書記官長ヲ訪ヒ、賀表揮毫者選定ニ付相談ヲ為ス。但シ書記官長ヨリ進ンテ希望アラハ推薦セントノ程度ナリ。

○内山眞龍翁事歴書ヲ井上通泰博士ノ閲ヲ経ル為、文書函ニ入ル。

○南郷村ヨリ出征ノ兵士六名ニ対シ書状ヲ贈リ、写真ヲ封入ス。

○子爵大久保立氏ノ令息急逝ニ付、六時過同邸ヲ弔問ス。大久保子爵及令夫人ニ面会シ弔意ヲ表シタル上、焼香拝礼ス。

○鈴木寛一兄岐阜ヨリ来著、投宿ス。

○興三八午後ヨリ腹痛烈シ。夕方堀先生来診セシニ輕キ腸加答児ナリト云フ。

〔欄外〕

○午後、大村留吉ヨリ明八日午後三時山田元治氏ノ葬儀アリトノ電報到著ス。

○須山温圭氏ヨリ林業試験場ノ作品数点ヲ贈ラル。

二月八日（木）晴 最寒

○十時本会議ニ出席ス。先ツ追加予算案一件ヲ可決シ、次ニ法律案三件ヲ上程、順次特別委員ニ附託ス。ソレヨリ質疑続行、松井茂氏ノ分ニテ延会トナル。

質疑ニ先チ子爵大河内輝耕氏ハ過日ノ発言中若干ノ部分ヲ自

発的ニ取消ス旨ヲ述フ。

○議事散会直後、議長室ニ於テ各派交渉委員会アリ。出席ス。

議長ヨリ来十一日奉呈スヘキ賀表ノ取扱方ヲ諮ハル。其結果、議員（交渉委員ノ首席者——一条氏）ヨリ發議シ議長ニ起草ヲ一任スルコトトシ、議長ノ所案ニ対シテハ全会一致可決スルニ決ス。

岩田宙造氏ヨリ、汪政權樹立關係ノ報告ハ本會議ニ於テセラレンコトヲ要求ストノ希望出テ、全員之ニ賛成シ、議長ハ之ヲ書記官長ヲシテ政府ニ申入ルルコトヲ諾ス。

交渉会散会后、起草委員ノミ居残り案文ヲ決定ス。

○衆議院食堂ニテ蕎麦ヲ食フ。

○交渉会ノ結果ヲ同成会員へ通知スルコトヲ三浦安藏氏ニ速達便ニテ託ス。

〔欄外〕

○賀表ノ揮毫ハ野口明氏ノ配慮ニテ木村宗吉氏ニ依託セラル。

○伊澤先生寿像ニ彫刻セラルヘキ文字ハ木村氏ノ筆ニ成レルヲ以テ、議院ニ於テ塚本、柴田、丸山、次田、小林諸氏ニ示シ、又小坂氏ニ電話ニテ打合セヲナス。ソレヨリ郵便ニ託シテ山崎朝雲氏へ送ル。

○要ハ明治神宮へ参拝シ、午後三時十五分發ニテ帰村ス。榛葉春子ヲ伴フ。

○重光簇氏令娘、昨朝逝去ス。依テ之ヲ見舞ヒ、又高井孝藏氏

ヲ訪ヒテ清風会ノ弔問ヲ依頼ス。

二月九日（金）晴 大寒

○九時半頃長谷川直敏將軍ヲ訪ヒ、紀元節祭参列ノ為参内ノ時、予ノ自動車ニ同乗センコトヲ勸メ同意ヲ得タリ。

○慶応病院ニ加藤政之助氏ヲ見舞フ。経過頗順当ニテ本日午後退院スト云フ。

○十一時前貴族院ニ至リ、読書室ニテ憲法制定ノ歴史ニ付取調ヲ為ス。昼食ハ中央食堂ニ於テス。肉食ヲ避クル為ナリ。三時半退出、帰宅ス。途中鈴井方ニテ電報複写簿ヲ求ム。代ニ十三銭ナリ。

○重友夜、重光氏ヲ弔問ス。玉串料金五円ヲ供ス。

○塚本準藏氏ヨリ茶葉ニ含有ノ砒素検出方法ノ一部ニ関シ、発見者ニ紹介ヲ求メラル。依テ氏ノ書状ヲ朝比奈貞一二送り、氏ニ対シテハ朝比奈宛ノ紹介名刺ヲ郵送ス。

○山崎常磐氏ヨリ内山眞龍大人表彰ノ件、及神明宮昇格願ノ件ニ付、高山昇氏ノ書状ヲ送來ル。

○角皆太郎市氏ヨリ小笠神社昇格ニ関シ社司〔空白〕氏ニ面会ヲ求メラル。

二月十日（土）晴 大寒

○鈴木寛一兄今朝農林省ニ出勤。辞職ノ手續ヲ了シタル上、岐

阜へ還ル。

○本会議アリ、出席ス。一条公爵ヨリ明十一日紀元節ニ付、賀表拝呈ノ動議ヲ発シ、其起草ヲ議長ニ一任センコトヲ發議シ、其趣旨ヲ演説ス。林伯、矢吹男等ノ賛成アリテ全会一致之ヲ可決ス。議長、乃予メ起草ニ係ル賀表案文ヲ朗読シ院議ニ諮フ。全会一致起立シテ之ヲ可決ス。ソレヨリ法律案一件ヲ特別委員ニ付託シテ、國務大臣ニ対スル質疑ニ入り、阪谷男、山隈康氏質疑シ正午過散会ス。

○早朝、瀨古書記官長ヨリ賀表案ニ関シ、昨日吉田増蔵氏ヨリ強硬ナル意見アリ。関屋氏偶登院アリ、大ニ吉田氏ト折衝セラレシ由ヲ内報セラル。登院後瀨古氏ヲ訪ヒ所見ヲ述へ、又散会後関屋氏ト面会シテ謝意ヲ表ス。

○散会後議長応接室ニ、静岡市大火見舞金処理方ニ付發起人ノ集会アリ、出席ス。醵金三千八百九十円、之ヲ厚生省ヲ經テ市長へ送付ニ決ス。

○二時、文部省ニ開会ノ報徳経済学研究会ニ出席ス。上田辰之助教授ノ東亜新秩序ノ建設ト報徳主義ニ関スル講話アリ。四時散会ス。

〔欄外〕

○早朝杉本良氏ヨリ電話アリ。同氏昨夕来京セリト云フ。又台湾人学生蘇茂鈺氏、予ヲ来訪スヘシトテ都合ヲ問ハル。

○文部省ニテ佐々井信太郎氏ニ出会ヒ、報徳社ノ要務ニ付打合

セヲ為ス。

○浜松市役所中村勝五郎氏ニ対シ二十五日出席ノ旨、電報ス。

○赤坂錦水方ニテ元貴族院職員タリシ議員ノ晚餐会ヲ開ク。東久世、長谷川、宮田、長、河井出席ス。八時散会ス。

二月十一日(日) 晴 寒和ク

○朝、紀元節早旦ノ高千穂峰祭事ヲ聴ク。

○七時五十分發車、紀元節祭典ニ赴ク。長谷川將軍同車セラル。然ルニ車、二重橋際ニテ故障ヲ生シテ動カス。依テ將軍ト共ニ徒歩ニテ賢所参集所ニ至ル。参列者甚多ク二千人ヲ超ユ。天皇陛下御親拝、皇后陛下御代拝、皇太后陛下御代拝アリ。皇族ニハ秩父宮、同妃、三笠宮、閑院大宮、若宮同妃、賀陽宮、同妃、久邇宮、同大妃、梨本宮妃、朝香大宮、若宮、東久邇宮、同妃、若宮、北白川宮、竹田宮及大妃、各殿下、王族ニハ李王、同妃、李鍵公、同妃、李鐫公各殿下御参拝アラセラル。臣下ハ約二十名宛中央拝所ニテ一列一札ヲ為シテ退下ス。

○三矢林野局長官ノ自動車ニ同乗ヲ乞ヒ、東御車寄ニテ参賀シ東京駅送ラル。ソレヨリ省電、帝都電鉄ニテ帰ル。凡テ將軍ト同行ナリ。

○午後在宅。「帝国憲法ノ真精神」ニ付、講演ノ資料ヲ集ム。

○榛葉孝平氏七時半頃来訪ス。春子嬢婚約成立ニ付謝意ヲ表セ

ラル。氏ノ榛葉勇次郎氏ニ対スル厚意、感服ノ至ナリ。電力問題各種産業相剋問題等ニ付、有益ナル談話ヲ聴ク。十時半頃帰ル。

〔欄外〕

○詔書

朕惟フニ、神武天皇惟神ノ大道ニ遵ヒ、一系無窮ノ宝祚ヲ継キ、万世不易ノ丕基ヲ定メ、以テ天業ヲ経綸シタマヘリ。歴朝相承ケ、上仁愛ノ化ヲ以テ下ニ及ホシ、下忠厚ノ俗ヲ以テ上ニ奉シ、君民一体以テ朕カ世ニ逮ヒ、茲ニ紀元二千六百年ヲ迎フ。

今ヤ非常ノ世局ニ際シ、斯ノ紀元ノ佳節ニ当ル。爾臣民宜シク思フ神武天皇ノ創業ニ騁セ、皇図ノ宏遠ニシテ皇謨ノ雄深ナルヲ念ヒ、和衷戮力益々国体ノ精華ヲ發揮シ、以テ時艱ノ克服ヲ致シ、以テ国威ノ昂揚ニ勗メ、祖宗ノ神靈ニ対ヘンコトヲ期スヘシ。

御名御璽

昭和十五年二月十一日 各国務大臣副署

○詔書

朕紀元二千六百年ニ当リ、皇基ノ愈々固ク国運ノ益々盛ナルヲ懌ヒ、特ニ有司ニ命シテ恩赦ノ事ヲ行ハシム。百僚衆庶、其レ克ク朕カ意ヲ体セヨ。

御名御璽

昭和十五年二月十一日 各国務大臣副署

二月十二日（月）曇夕小雨 冷

○本会議アリ、登院出席ス。山隈康、中野敏雄両氏ノ質疑アリ。十二時過散会ス。

○正午ヨリ中央亭ニ日本国際協会午餐会アリ。入江氏ノ自動車ニ同乗出席ス。坂西利八郎氏ノ日支事件調整案ニ対スル支那人ノ意見ニ付テ講話アリ。事変ノ拾収ノ容易ナラサルヲ憶フ。

○服部時計店ニ至リ金側ノ取換ヲ依頼ス。其結果Mardinハクローム側ノ有無不明、Howardハクローム側取換可能ナリ。而シテ何レモ金側ヲ分離シテ持帰ル。機械ハ預置ク。来十九日出来ノ予定ナリ。

○貴族院ニ至リ読書室ニテ取調ヲ為ス。

○内田明氏ヲ會計係ニ訪ヒ、予算中ニ新設セラレタル賞与ノ目ニ付、之カ設置ノ趣旨及運用方法ヲ問フ。

○正午頃培本塾蘇茂鉦氏来ル。又午後杉本氏ト共ニ貴族院ニ来訪セシモ不在ナリ。夕両氏来訪ス。蘇氏ニ報徳青年講習会ニ参加スルコトヲ勸ム。又明日ノ貴族院ノ傍聴券ヲ与フ。杉本氏ヨリ富国捷徑ヲ返還セラル。又氏ニ大震災善後会誌、帝都復興録及武女道記ヲ貸ス。

〔欄外〕

○丸山方作氏へ高松宮殿下御表彰ニ付祝賀書ヲ送ル。

○塚本準蔵氏ヨリ謝状到著ス。依テ之ヲ朝比奈貞一へ送ル。

○原邦造氏へ甘藷栽培法ナル冊子ヲ送ル。

○榛葉良男氏ノ申出ニ依リ来廿八日湯日報徳社ノ五十周年記念会ニ出席ヲ訳ス。

○木原清氏ヨリ電話ノ席ヲ以テ徳川家達公、協調会々長ノ辞任ヲ申出テラレタル由ヲ聞ク。

二月十三日（火）雨 寒和ク

○朝、鈴木俊一氏ニ貴族院ノ議事傍聴ヲ勸ム。田村属ニ依頼シテ傍聴券ヲ交付ス。杉本良氏、蘇茂鉦氏モ傍聴ス。

○十時本会議アリ。小倉正恒氏ノ関西ニ於ケル電力不足対策ニ付テノ質問演説アリ。米内首相、勝通相、藤原商工相之ニ答フ。十二時前延会トナル。

○研究会八条子ヨリ各派交渉委員一名宛ノ集会ヲ求メラレ第一内談室ニ集会ス。八條子、橋本伯、一条公、矢吹男、織田、竹越諸氏来集ス。八條子ヨリ、衆議院ニテハ本日ノ会議ニ於テ一昨下賜セラレタル詔書奉戴決議ヲ為スニ付、貴族院ニテモ之ヲ為スヲ可トスルヤニ付、意見ヲ纏メタシトノ發議アリ。予ハ之ヲ不可トスルノ意見ヲ述フ。一条公モ同論ナリ。各員隔意ナキ所見ヲ交換シ、遂ニ予ノ意見ノ如ク決ス。

○伊澤氏ヨリ右件ニ関シ議長ニ問ハレシ由、内談アリ。予ノ意

見ト一致ス。

○入江貫一氏ト中央食堂ニテ昼食ス。

○一時半議長応接室ニテ各派交渉会アリ、出席ス。政府ノ新聞記事掲載禁止事項ノ内示アリ。此事項ハ議員ノ言論ヲ制限スルノ効果ヲ有セスト雖、各派ニテハ夫々所属議員ニ内示スヘシトノ申合セヲナス。

〔欄外〕

○重友、昨夜来感冒ニ罹リシカ如ク發熱アリ。終日臥床ス。夜堀先生ノ来診ヲ乞フ。格別ノコトナシ。

○高宗武、陶希聖兩人カ一月二十日香港ニテ發表シタル事項ヲ読ム。

○読書室ニテ明治初年頃ノ予算、其他財政ノコトヲ取調フ。又昭和三年以来ノ新年歌会始メノ御製御歌ヲ拝写ス。

二月十四日（水）晴 暖

○終日家居。住居ニ関スル学説ヲ調査ス。

○片平信通翁ニ対シ徳川家正公ヨリ揮毫ヲ賜ハルヘキニ付、縦書横書何レヲ希望スルヤ、又其大キサヲ照会ス。

○横濱市役所中村勝五郎氏ニ対シ、公民教育指導者講習会々員（浜松）ニ資格、男女ノ別、其数及教育程度如何、又予ノ講演ハ講義体トスヘキヤ等ヲ照会ス。

○朝、塚本準蔵氏ヨリ昨日谷口氏ヲ伴ヒ上京、朝比奈ヲ科学博

物館ニ訪問セシニ、朝比奈ハ数日来病氣ノ為欠勤中ニシテ、面会スルヲ得サリシ旨報告アリ。併セテ謝意ヲ表セラル。然ルニ其後朝比奈ヨリ電話アリ。谷口氏昨日横浜宅ヲ訪問セシ由ニテ、朝比奈ハ本日ヨリ出勤セリト云フ。

○重友ノ經過少シク輕快ナルカ如キモ尚發熱アリ。午後堀先生ノ診察ヲ受ク。

○四時半、軍人会館ニ於テ静岡育英会理事会アリシモ欠席ス。

○六時頃赤木正雄氏來訪。来二十五日帝国砂防協会ノ創立大会ヲ開催スヘキヲ以テ、會員募集及副會長選定ノコトヲ相談アリ。

二月十五日(木) 晴夕ヨリ雨 寒和ク

○今朝ノ各派交渉委員会ノ議題ニ関シ、昨夜十時半頃小林書記官ヨリ報告アリ。依テ朝其内容ヲ伊澤、塚本両氏ニ電話シ、且私見ヲ述フ。又各種参考書ニ依リテ研究ヲ為ス。

○九時半ヨリ議長応接室ニ開カレタル各派交渉委員会ニ出席ス。政府ヨリ本日ノ秘密会ニ於テ議員ハ手記ヲ為ササルコト、及速記ヲ付セサルコトノ希望申出アリシニ対シ、如何ニ処スヘキヤノ件ヲ協議ス。前者ハ各派議員ニ通告スルニ止ムルコト、後者ハ従来ノ慣行ヲ改メサルコト、即《速記ヲ付シ翻訳ヲ為シタル上、嚴封ヲ施シテ保管スルコト》ニ決定シ、其旨ヲ政府ニ通告スルニ決ス。

○十時四十五分頃會議。米内首相ヨリ日支国交處理ニ関スル經過ノ報告アリ。秘密会ニ於テ之ヲ聴取ス。之ニ対シ丸山鶴吉氏ヨリ熱心ナル質疑演説アリ。政府ハ之ニ答ヘズ。秘密会ヲ終リ安場保健男ノ電力問題ニ関スル質疑アリ。勝通相、児玉内相之ニ答ヘ、十二時廿五分散会ス。

○一時半、予算委員会ヲ傍聴ス。

○二時過ヨリ五時半マテ讀書室ニ入り取調ヲ為ス。

○要、土肥出身女中〔空白〕まさヲ連レテ帰京ス。国枝ヲ解雇シ、帰郷セシム。

二月十六日(金) 晴 寒強

○昨日ノ議場ニ於ケル首相ハ、如何ナルコトモ答弁セスト議長ノ丸山氏ニ告ゲタル点、問題トナル。審議遂行上重大ナル結果ヲ生スヘシ。

○本會議ニ出席ス。追加予算二件、予算外契約一件、法律案四件、悉ク可決トナル。

○瀨古書記官長力次田大三郎氏ヲ招待セシニ付陪招ヲ受ク。

○五時マテ讀書室ニ於テ取調ヲ為ス。

○六時、東京會館ニテ小林太吉氏長男正氏ト伊藤良治氏二女睦子嬢、結婚披露アリ、出席ス。要ハ別ニ來ル。盛会ナリ。

○帰途代々木駅マテ柴田氏ト同車ス。

○重友經過佳良ニシテ、本日ハ平温ニ復セリト云フ。

二月十七日(土) 晴 寒

○十時過貴族院ニ至リ、読書室ニ於テ議會史及兒島惟謙氏ノ事跡ニ付調査ヲ為ス。五時帰宅ス。

○石間壬生弥十二時前來著ス。明日文理科大学ニ於テ、盛岡高等農林学校ノ入学試験ヲ受クト云フ。午後ハ試験場ニ往復ス。

○重友平温ニ復シ、元氣宜シ。友人二三人來リ見舞フ。

○館林三喜男有田ヨリ歸來ルト云フ(十一日歸省)。

二月十八日(日) 晴 頗寒

○終日家居。帝國憲法制定史ニ付取調ヲ為ス。大ニ進捗ス。

○六時頃黒田新平氏來訪ス。最近農林技手ニ転任シ、木材統制課ニ勤務スト云フ。其所ヲ得タルヲ慶賀ス。夕食ヲ共ニス。

○重友ハ益々輕快ナリ。

泰治ハ午前、腰痛甚ダシク嘔吐ヲ催ス。午後及夜ノ二回堀先生來診ス。其結果胃痙攣ナルカ如シ。夜ハ輕快トナル。

興三八武蔵高校入学試験ニ付、手伝ノ為出校ス。

壬生弥ハ盛岡高等農林学校入学試験ヲ受ク。

二月十九日(月) 寒、和ク

○十時貴族院ニ至ル。控室ニテ赤木正雄氏ニ面会ス。

其結果岩倉道俱男ヲ訪ヒ、砂防協会ニ入会旨勧誘ノコトヲ依

頼ス。

○瀬古書記官長ヲ訪ヒ、伊林初次郎氏ノコトヲ問フ。其結果館林ヲ招キ昼食ヲ共ニシ、ふさ江嬢縁談ノコトヲ相談ス。

夕刻瀬古氏読書室ニ來リ伊林氏ノコトヲ詳話セラル。

○検査室ニテ祭祀ノ本質ニ付取調ヲ為ス。

○食堂ニテ一杉慶平氏ニ面会ス。氏ハ今月初旬専売局ニ転任シ、事務打合せノ為滞京中ナリト云フ。四時頃読書室ニ來リ身上ニ付相談アリ。

○伊澤氏ヨリ首相ノ「答弁セス」トノ意見表示ニ対スル処置方ヲ相談アリ。

○石間壬生弥ハ明治神宮ニ参拝ノ後歸国ス。興三、品川迄案内ス。

二月二十日(火) 雨 冷

○朝館林三喜男來訪ス。伊林氏ノコトヲ話ス。履歴書ヲ渡ス。

○服部時計店ニ至リ、ハワード及ナルダン両時計ノ側取換成レルヲ以テ之ヲ受取ル。

○貴族院ニ登院ス。瀬古書記官長ヲ訪ヒテ、首相ノ答弁セストノ件ニ付処理方法ヲ進言ス。

○読書室ニテ取調ヲ為ス。

○柴田善三郎氏ヨリ電話ヲ以テ、今夕六時人見次郎氏ヨリ築地二ノ十二、米田家方へ招カレシヲ以テ共ニ出席センコトヲ勸

メラル。之ヲ諾ス。

○六時、米田家方ニ至リ饗応ヲ受ク。九時過池尾芳蔵氏モ来席シ、電力問題ニ付説明ヲ聴ク。十一時過散会。池尾氏ノ車ニ同乗シ、渋谷駅付近ニテ別ル。

〔欄外〕

○早朝、昇三郎ヨリ電話ニテ縁談ノ調査ニ関シ報告アリ。

二月二十一日（水）曇

晴 寒和ク

○昨夜睡眠不足ニシテ終日頭痛アリ。

○瀬古書記官長ヨリ首相不答弁事件ニ付電話アリ。登院ノ後、書記官長ニ至リ内容ヲ詳細ニ問フ。

○昨夜人見次郎氏ノ求ニ依リ、山王ホテル滞在中ノ榛葉孝平ニ人見氏会見ノコトヲ申入レ、其結果本日正午日本俱樂部ニテ昼食ヲ為シタル上、会談ノコトニ決定ス。

○読書室ニテ少シク調査ヲ為シタルモ終ニ纏ラス。

○正午、日本俱樂部ニ至リ榛葉氏ト会食シ、了テ人見氏ヲ榛葉氏ニ紹介ス。

○日本俱樂部例会アリ。同盟通信記者横田〔空白〕氏ノ汪政府樹立運動ノ側面觀ナル講演ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○一時四十分頃小坂順造氏ト共ニ発車、宮内省ニ野口事務官ヲ訪ヒ、三人ニテ林町一四二、ニ山崎朝雲氏ヲ訪問ス。伊澤先生ノ寿像ヲ受取り、謝金千二百円ヲ呈ス。ソレヨリ途中ニテ

野口氏ト別レ、伊澤氏ヲ訪ヒ之ヲ進呈ス。

〔欄外〕

○館林マス子午後來訪ス。一也ヲ伴フ。

二月二十二日（木）晴 頗寒

○十時登院。小林書記官ニ面会シテ、伊澤先生寿像処理ノ件ヲ報告ス。

○憲法制定ノ歴史ヲ調査ス。

○瀬古書記官長ニ面会シ、首相不答弁事件其後ノ状況ヲ問フ。其結果伊澤氏ト打合セヲナシ、円満解決ノ方法ヲ協議ス。伊澤氏ハソレヨリ日本俱樂部ニ来リ、五葉会有志岩田、芳澤両氏ト相談シタル後、瀬古書記官長ヲ訪フ。

○熱海、山王ホテル滞在中ノ米山梅吉氏ニ対シ、明日ノ議事ヲ報告シ登院ヲ求ム。同氏夕刻帰京ノ由電話アリ。

○夕、赤木正雄氏来訪シ、全国砂防治水協会々員募集并発開式進行方法ニ付相談セラル。

○夜、榛葉孝平氏来訪ス。春子嬢縁談ニ付謝意ヲ表セラル。緩々談話十一時廿分頃山王ホテルへ帰ル。

二月二十三日（金）晴 寒

○本会議アリ。劈頭ニ大蔵大臣ノ総予算案ニ関スル説明アリ。次テ岩田宙造氏ハ緊急事件トシテ政府ニ対シ、議員ノ質疑ニ

答へサルノ態度ニ関シ適切ナル質疑ヲ為ス。首相之ニ答へ疑問ヲ一掃ス。

ソレヨリ法律案ヲ上程、委員付託ト為シ、予算案ニ対スル議員ノ質疑ニ入ル。正午休憩、午後一時半再会ス。

○三時十五分東京駅ヨリ乗車帰国ス。七時四十四分著、大村留吉ノ出迎ヲ受ク。

○赤木正雄氏ノ依頼ニ依リ、全国治水砂防協会々員ノ募集ヲ為ス。公正会ニ於テ十四五名、同成会ニテ六七名、同和会ニテ一名ヲ得タリ。

二月二十四日(土) 晴 寒

○八時過自宅ヲ発シ、出征軍人西川藤一、杉山徳一両家ニ至リ、更ニ家族ヲ撮影ス。

○九時、掛川報徳社ニ至リ役員会ニ出席ス。決算及理事監事補欠ノコトヲ相談ス。

十一時ヨリ役員会アリ。別項ノ件ヲ議了ス。

○掛川報徳社ニテ山崎常磐氏ノ来訪ヲ受ク。

○又、土方村白井貢、角皆太郎市、青野実平三氏、報徳社へ来訪ス。郷社小笠神社ヲ県社へ昇格願ノ件ニ付懇談アリ。

此時帝室林野局出張所長岡元傳一氏ヲ招キ白井氏ニ紹介ス。

○静岡市尾崎元次郎氏ヨリ書状来着。市立中学校長人選ノ依頼アリ。杉本良氏ノ意見ヲ聴ク。

○吉岡八二郎、鈴木理一郎両氏ニ面会ス。又培本塾須原芳雄氏モ来社セシニ付面会ス。氏ハ青年講習会ニ加入ノ蘇茂鉦氏ヲ訪問セシナリ。

二月二十五日(日) 雨 冷

○朝、原田村長来訪ス。板沢山分割処分完了シ登記済トナリシコト、及西板沢山へ部分林造成計画ヲナシ、県営造林ヲナスニ決セリトノ報告アリ。過日撮影セシ写真ヲ呈ス。

○九時三十七分発ニテ中泉へ向フ。佐々井、鷲山両氏ト同車ス。ソレヨリ見付報徳社ニ至リ、大日本報徳社總會ニ出席ス。

食後簡単ナル講演ヲ為シ、一時五十分発ニテ中泉ヨリ浜松へ赴ク。

○浜松著。直ニ小島屋旅館へ赴キシニ満員ノ為断ラル。又平野屋ニテモ断ラレシヲ以テ商工会議所ニ来リ休憩ス。其間講演材料ヲ整理ス。五時頃市役所ヨリ加瀬学務課長、中村勝五郎両氏来訪ス。

市長及宮本甚七氏、病中ノ由ナルヲ以テ之ヲ見舞フ。

六時夕食ヲ饗セラル。七時過開講、公民教育指導者約六十名ニ対シ「帝国憲法ノ真精神」ニ付三時間ノ講演ヲナス。十時三十分終了ス。了テ会議所ニ休憩。十二時十二分発ニテ帰東ス。寝台ニ入ルコトヲ得テ好都合ナリ。

二月二十六日(月) 晴 頗寒

○午前五時十五分品川下車、渋谷、池ノ上ヲ経テ帰宅ス。

○十時貴族院ニ出院ス。予算委員会ニテ四時マテ物資動員計画ニ関スル質疑応答ヲ傍聴ス。

○静岡県都市計画長地方事務官服部富士雄氏ニ貴族院ニテ面会ス。県営運動場設置費ニ対シ徳川公爵家ヨリ寄付金ヲ醸出スルノ件ニ付テナリ。氏ヲ木原家令ニ紹介スル為名刺ヲ与へ、且電話ニテ木原氏ニ通ス。

○日本倶楽部ニ至リ休憩ス。其間丸ビル桜組ニ至リ乗車券入ヲ求ム。代二円ナリ。又日本倶楽部ニ於テ建部遯吾氏ノ議会ニ於ケル演説ヲ読ム。

○新議員大谷五平、熊谷三太郎、小板梅吉、佐藤助九郎、塩田團平、五氏ヨリ星ヶ岡茶寮ニ招カレ晚餐ヲ饗セラル。伊澤、次田、柴田、青木、入江、建部、小坂順造諸氏モ出席ス。九時散会。小坂氏ノ車ニ同乗シテ帰ル。

○鈴木二平来泊ス。

二月二十七日(火) 晴 寒

○朝、伊澤多喜男氏ヨリ電話ニテ全国治水砂防協会々長ニ末次信正氏ノ推サレシヲ不快トスルノ嚴談アリ。予ノ軽卒ナリシヲ謝ス。

○鈴木二平ヨリ武見太郎氏縁談推薦ヲ受ク。二平ハ帰国ス。

○本会議ヨリ出席ス。予算案質疑ヲ続行ス。大蔵公望男及田澤義鋪氏ノ演説ハ何レモ適切ナリ。殊ニ田澤氏カ政府ノ議院ニ対スル態度ニ付、首相ニ質シタルハ最佳ナリ。満場大ニ拍手ス。

○午後、予算委員会ニ於テ日支国交調整問題ニ関スル質疑応答アリ。秘密会ナリ。中山太一氏、大河内輝耕子、出淵勝次氏ニテ散会ス。

○静岡尾崎元次郎氏へ、明日金谷へ往復スルニ付静岡駅通過ノ時刻ヲ電報ス。

二月二十八日(水) 晴 北風強寒

○下湯日報徳社創立滿五十年記念祝典ニ出席ノ為、金谷へ赴ク。四時半起床、五時池ノ上ヨリ電車、渋谷ヨリ省線ニテ品川ニ至リ、五時四十三分發ニ乗ル。品川ヨリ静岡迄戸塚重一郎氏ト同車ス。十時二十八分金谷下車。下湯日ヨリ出迎ヲ受ケ、自動車ニテ十一時頃榛葉良男氏方ニ至リ休憩ス。榛葉氏其他多数有力者ニ面会ス。榛葉氏ヨリ午餐ヲ饗セラレ、一時東泉寺ナル同地報徳社ノ会場ニ臨ム。記念式挙行ノ後、一時半頃ヨリ三時過マテ時局ニ関スル講話ヲナス。三時三十分辞去。自動車ニテ金谷へ送ラレ、四時五分發ニ乗リ帰ル。下湯日出身ノ人松本甲太郎氏ト同車、渋谷駅ニテ別ル。十時帰宅ス。

○報徳社本社ヨリ袴田銀蔵氏下湯日ニ派遣セラレ、二千六百年

記念事業へノ寄付者一木男爵へ恩賞申請ノ為、略歴其他ノ事項調査ノコトヲ託セラル。依テ明日男爵ニ面会スヘキヲ以テ之力取扱ヲ諾ス。

○静岡ヨリ沼津迄尾崎元次郎氏同車ス。新設ノ市立中学校長人選ニ付依頼アリ。一応之ヲ謝絶ス。而シテ田澤義鋪氏ニ取次クコトヲ諾ス。

〔欄外〕

○昨日午後二時頃、陸軍少将宝蔵寺幸雄氏外五名、飛行機ニテ帰京ノ途、京都府山崎ノ上空ニ於テ機体空中分解シ全員墜死ス。

二月二十九日（木）晴 頗寒

○午前十時貴族院ニ出頭シ、予算委員会ヲ傍聴ス。

○衆議院齋藤代議士懲罰問題ノ成行ハ大ニ注視ヲ要ス。依テ二三ノ代議士ニ面会ヲ求メシニ、何レモ不在ニテ目的ヲ達セス。是レ或ハ党首脳部ヨリ戸別勧誘ヲ受ケ居ル為ナランカ。

○南郷村出征軍人等六名ニ対シ、書状ヲ認メ写真ヲ贈ル。

○四時三十分軍人会館ニ至リ、静岡育英会理事会ニ出席ス。一木会長、飯田、篠田、児玉、中島、緒明諸氏出席ス。先ツ明年度予算案ヲ議決シ、次ニ理事三名ノ補欠選任ヲ行フ為候補者ノ詮議ヲナス。其結果、加藤虎之亮、江藤徳三、宇佐見興屋三氏ニ内交渉ヲ為スコトニ決ス。又理事石田禮助氏ヨリ申

出アリタル辞任ニ対シテハ、一応留任ヲ乞フニ決シ交渉ヲ予ニ託セラル。ソレヨリ評議員会并卒業学生送別会ノ期日ニ付協議シ、五時三十分散会ス。

○一木男爵ニ対シ報徳社總會ノ状況ヲ報告シ、且理事ノ選任ニ関シ、鷲山理事ニ異議アリシコトヲ告ク。又河合亮之助氏ノ理事就任ニハ相当難色アル状況ヲモ報告ス。宮本甚七氏病氣ノコトヲ報告ス。

○今朝、鈴木寛一兄来京セシ由ニテ、夜来泊ス。

〔欄外〕

○六時内務大臣ヨリ官舎ニ招待セラル。交渉委員多数出席ス。

○帰途、柴田善三郎氏ノ車ニ同乗ス。篠田氏京城大学総長ニ転任決定ノコト、及大竹十郎氏ノ離任ノコトヲ聞ク。大竹氏ニ関シテハ慎重ナル取扱ヲ要スルモノト思ヘリ。

○汪精衛ヲ中心トスル支那中央政府樹立ノ場合、祝意ヲ表スル為、特派使節トシテ徳川公ヲ煩ハスヘシトテ交渉スル由、朝日新聞夕刊紙上ニ発表セラル。裏面ニ策動アルモノト認メ木原家令ニ警告ス。

三月一日（金）雪 冷

○十時ヨリ本会議アリ。登院出席ス。

○午後予算委員会ノ傍聴ヲ為ス。出淵氏ノ対独関係質疑アリ。

○宮内省宗秩寮林事務官ヨリ一木男爵ノ履歷書ヲ送付セラレタ

ルニ付、直ニ掛川町報徳本社へ郵送ス。

○貴族院調査課ヨリ昭和十五年二月マテノ十四年度ニ於ケル国債募集成績調査表ヲ提出セラル。

又農林省黒田新平氏ヨリ送ラレタル、木材ノ円ブロック内へ移出金額昭和十四年分調査ニ依リ、事変以降連年ノ分ヲ計算ス。

○徳川公ニ支那新政權特派使節委嘱ノ朝日新聞記事ノ出所ハ参謀本部ナリシコト、書記官長ヨリ報告アリ。單純ナル過誤ナルカ如シト雖、今後ノ変化ニ対シ注意ヲ要ス。木原氏ニ報告ス。

○徳川公爵伝記編纂顧問ニ選定セラルル由ニ付承諾ス。

○加藤虎之亮、江藤得三両氏ニ対シ、静岡育英会理事就任ノ交渉ハ電話ニテ之ヲ行ヒ、直ニ承諾ヲ得タリ。

〔欄外〕

○桑原虎雄少将感状ヲ授与セラレシ由、夕刊紙上ニ発表セラル。同郷ノ榮譽ナリ。

○夕刻帰途、故陸軍中将宝蔵寺幸雄氏ノ宅ニ至リ、夫人令息ヲ弔問ス。

○鈴木寛一兄、陸軍獣医学校ニ至リシモ用務ヲ弁セス。明日ニ延期セラル。依テ間ヲ利シテ成田新勝寺ニ参詣ス。

○石間壬生弥盛岡高等農林学校ノ入学試験ニ合格セシ由、同人ヨリ通知ヲ受ク。

○重友四五日来齒痛甚シ。長尾博士ノ診断ニ依レハ、親不知齒ノ歪生ニ由ルト云フ。

三月二日（土）晴 暖

○十時過皇后宮職ニ出頭シ、清宮殿下ノ御生誕ヲ奉賀ス。

○内大臣ヲ訪問ス。約一時間間談ス。又蓮沼侍從武官長ヲモ訪問ス。

○宗秩寮ニ野口、林両事務官ヲ訪ヒ退出ス。

○帰途レーンボー方ニテ昼食ス。

○貴族院ニ出頭、鳩居堂ヨリ画箋紙五十五枚ヲ求ム。

又調査課ニ立寄り予算案関係ノ重要参考書ヲ覽ル。読書室ニ入り、臨時陸軍資材資金特別會計法ニ付調査ヲ為ス。

○四時青山齋場ニ至リ、宝蔵寺中将以下ノ告別式ニ於テ焼香。中将ノ遺骨ハ五時過北沢二丁目ニ帰着ス。要、之ヲ出迎フ。

○重友ハ齒痛益烈シキヲ以テ高等齒科医学校ニ至リ診察ヲ受ク。

○鈴木寛一兄ハ午後陸軍獣医学校ニ至リ、ソレヨリ帰宅ス。今夜沼津泊ノ由。

○夕刻赤木正雄氏来訪ス。全国治水砂防協会ノコトニ付謝意ヲ表セラル。

〔欄外〕

○河合亮之助氏ヨリ報徳社理事受任ノ旨、通知ニ接ス。

○佐々井信太郎氏ヨリ来信。報徳社理事監事参事等、全員ノ承諾ヲ得ルコト。満拓公社ヨリ同氏ニ対シ約二十日ニ亘リ来満ヲ求メタル案内状、本社ニ来著セシコトヲ報セラル。

○初倉村下湯日報徳社長大石分平氏ニ対シ謝状ヲ發ス。

三月三日(日) 晴 暖

○十時頃元貴族院速記士薦野孝卿氏来訪ス。昨年林茂淳氏力速記功労者トシテ銀盃ヲ下賜セラレタルニ対シ、林氏ハ功労者ニ非ストナシ、恩賞奏請ハ政府ヨリセシヤ宮内省ヨリセシヤヲ問ハル。

○館林三喜男明夕出發。中支方面へ旅行スヘキヲ以テ、午前中ニ来訪スルノ約ナリシモ竟ニ来ラス。午後マス子来リ、来否不明ノ由ヲ告ク。

○渡邊千冬子敗血症ニ罹リ重態ノ由、昨夕刊紙上ニテ承知ス。依テ午後聖路加病院ニ至リテ令息ニ面会シテ之ヲ見舞フ。病院ニテ関屋貞三郎氏ニ出会フ。氏ト共ニ鈴木與平氏ヲ見舞フ。夫人ニ面会シテ病状ヲ問ヒシニ食欲減退シテ衰弱加ハレリト云フ。

○関屋氏ノ自動車ニ同車シテ同氏宅ニ至ル。最近ノ状況各般ニ付見聞ヲ交換ス。

○浜松商工会議所会頭鈴木幸作氏、市役所中村勝五郎氏ニ対シ、去二十五日ノ厚配ヲ謝ス。而シテ中村氏ニ対シテハ速記録原

稿ノ一覽ヲ求ム。

○夕刻ヨリ国史大年表第四卷ニ就キ徳川家達公事蹟ヲ取調ブ。
〔欄外〕

○愛知県丸山方作氏ノ病氣見舞状ヲ發シ、且昨日宮中ニテ拝受シタル御茶菓子ヲ其促進呈スル為、小包郵便ニ託シテ發送ス。

三月四日(月) 晴 暖

○本会議アリ、十時登院出席ス。長谷川赳夫氏ノ選挙争訟ハ同氏ノ失格ニ非スト議決ス。

○午後一時、内談室ニ於テ特別委員数決定ノ各派交渉会アリ。出席ス。其決定ノ結果伊澤、柴田両氏ト同成会々員ノ割当ヲ行ヒ、之ヲ議事課長ニ届出ツ。

○大日本報徳社、二千六百年記念事業ニ対シ二十円以上寄付者ニ贈呈スヘキ副社長揮毫用画箋紙五十五枚ヲ求ム。代金十八円。

○夕食後、予ノ揮毫スヘキ分ニ対シ揮毫ヲ始ム。十三枚ニテ中止ス。中々ノ大事業ナリ。

○要ハ朝、日本赤十字社特志看護会ニ出頭シ、繙帶巻ヲ為ス。午後本間先生ヲ訪問ス。

○館林三喜男ハ午後十一時發ニテ支那へ出張ス。上海、南京、漢口、濟南、青島ヲ視察シ二十七八日頃帰京ノ予定ナリ。

○代議士高木象太郎氏昨日逝去ス。

三月五日（火）曇 暖

○金子堅太郎旧葉山ニ於テ重患ナルヲ以テ八時四十分頃出發、見舞フ。武麿氏病氣中ナル由ニテ家人ニ会ヒ病状ヲ問フ。十二時頃品川著、渋谷ヲ經テ帰宅ス。

○夕刻迄家居。報徳社ノ為、揮毫ヲ為ス。夜九時ヨリ再継シ総計三十枚ヲ書ク。

○六時、児玉内務大臣ヨリ官邸ニ招カレ晚餐ヲ饗セラル。嘗テ内務省関係官庁ニ奉職セシ貴族院議員等ヲ招カレシ会合ナリ。約四十名来会シ歓談湧クカ如シ。年長者山本達雄男ニシテ川上親晴、木場貞長両氏之ニ次ク。

○齋藤隆夫氏ハ議場ニ於ケル釈明ノ方法困難トナリ、昨夕遂ニ辞意ヲ表明セサルノ決意ヲ懲罰委員長其他ニ發表シテ熱海ニ退去シ、富士屋旅館ニ投ス。是ニ於テ同氏除名処分ハ必至ノコトトナリ、延イテ小山議長ハ辞職スヘク民政党ハ分裂破壊ニ至ラントス。

三月六日（水）晴 暖

○九時四十分頃登院ノ上、宮城ヘ赴ク。十一時二十分頃ヨリ本会議ニ出席ス。多数ノ法律案ノ第一読会アリ。其中、神宮閣係特別都市計画法案外一件ノ特別委員ニ指名セラル。

○皇后陛下御誕辰ニ付奏賀ノ為、皇后宮職ヘ参入ス。鈴木前侍

從長及夫人ト共ニ特ニ皇后陛下ニ拝賀ノ光栄ヲ賜フ。感喜極リナシ。退下、直ニ貴族院ニ登院ス。

○午後一時三十分満鉄支社ニ木原清氏ヲ訪問ス。増上寺ニ境内地ノ無償下付ノ件ニ関シテ、徳川家ヨリモ御墳墓所在地ヲ同寺ニ提供スヘキヤニ付、家政相続人会ニ附議スルニ先チテ所見ヲ諮ハレシナリ。一応所見ヲ述ヘ、且河田烈、松尾宗教局長ヲモ訪ハレンコトヲ勸ム。公爵ハ身上ニ関シ抱懷スル所ノ杞憂ヲ述フ。

○小林次郎氏ヨリ推薦セラレシ有永弘人氏ノコトヲ姉崎正治氏ニ問フ。又柴田善三郎氏ニ鈴木俊一氏ノ意向ヲ問ハレンコトヲ依頼ス。

○瀨古書記官長ヲ訪ヒ、舘林ふさえ子ノ縁談ニ関シテ依頼ス。
〔欄外〕

○小笠神社陞格ノ申請ニ関シ西尾子爵ニ旧記資料ヲ以テスル助力ヲ乞フ。其結果ヲ白井貢氏ヘ報告ス。

○衆議院懲罰委員会ハ齋藤隆夫氏ノ処断ヲ為スニ付、大ニ遅延ス。

○皇后陛下特別ノ御思召ヲ以テ御万那（鮮鯛）一尾ヲ下賜セラル。

○大日本報徳社ノ為ニ揮毫五十枚ヲ完了ス。又佐々井氏揮毫ノ料紙ハ郵便ニ託シ同氏宅ヘ送付ス。

三月七日(木) 少雨 冷

○十時三十分皇后宮職ニ出頭シ、順宮殿下ノ御誕辰ヲ奏賀ス。

又昨日恩賜ノ鮮鯛ニ付、御礼ノ為記帳ヲ為ス。

次ニ吳竹寮ニ至リ藤井御養育掛長ニ面会シ奏賀ス。

○貴族院ニ出頭ス。午後一時半ヨリ開会ノ神宮關係特別都市計畫法案外一件ノ特別委員会ニ出席ス。委員長ニ曾我子爵、副委員長ニ井田男ヲ推シ、児玉内相ノ説明ニ次キテ質疑ヲ為ス。四時散会ス。

○上海山崎昇二郎ニ対シ航空郵便ヲ發シ、〔空白〕見太郎氏ノ性格其他ヲ問フ。

○大日本報徳社ニ対シ揮毫五十枚ヲ送付ス。

○帰途東横ニテ斬髪ス。

○榛葉春子、若杉夫人ト來訪ス。

○山崎順一郎氏代理、夕刻來訪ス。山崎好知氏令息農業大学入學志願ニ付配慮ヲ求メラル。掛川中学校長留任運動ニ付テハ折角ノ申越ニ拘ラス輕拳シ難キ旨、順一郎氏ニ伝言ヲ依頼ス。
〔欄外〕

○衆議院ニテハ齋藤隆夫氏ノ除名ヲ議決ス。之カ余波トシテ民政党及政友久原派内ニ相当ノ溝渠ヲ生スヘシ。結局、立憲政治ノ危機タラントス。

三月八日(金) 曇 冷

○故久宮殿下御命日ナルヲ以テ九時二十分豊島ヶ岡ニ至リ御墓ヲ拝ス。歳ヲ重ヌルコト十有二、境内ノ梅花正ニ紅ナリ。

○竹田宮大妃昌子内親王殿下、今日午前二時二十七分薨去遊ハサレタル由、陵墓守長ニ上氏ヨリ聞ク。依テ本日御代拝御差遣ハ俄ニ御中止トナレリ。

○十時半貴族院ニ出頭。十時ヨリ開会ノ神宮關係特別都市計畫法案外一件、特別委員会ニ出席ス。十一時五十分散会ス。

○瀬古書記官長ノ好意ニ依リ午後二時發、宮城ニ至リ、天機并御機嫌ヲ奉伺シ更ニ大宮御所ニ奉伺ス。ソレヨリ竹田宮邸ヲ拜問ス。品川駅ニテ書記官長ニ別レ、省線電車及バスニ依リテ帰宅ス。

○夕六時島田農林、櫻内大藏、勝通信、松野鉄道四大臣ヨリ新喜樂方ニ招待セラレアリシモ、宮廷御凶事ノ為延会セラル。

三月九日(土) 雨 冷

○本会議アリ出席ス。予算委員第二分科会ニ於ケル丸山鶴吉氏ノ台湾及朝鮮ノ統治ニ関スル質疑ヲ傍聴ス。

○柴田善三郎氏ヨリ縁談ニ関シ鈴木俊一氏ノ意向ヲ伝ヘラレル。

○読書室ニ入り特別都市計畫法關係事項ノ調査ヲ為ス。

○四時半徳川公爵家ニ至リ、先ツ木原家令ニ面会シ打合せヲ為ス。次テ家政相談人会ニ出席、昭和十四年度歳入歳出決算十

五年度追加予算、不動産有価証券価格見積表等ヲ審議シ、又増上寺境内墓地所有権ヲ大蔵省ニ対シテ確認セシメ、国有土地台帳ヨリ抹消シテ公爵有トナスノ申請書、及此墓地ヲ増上寺へ無償交付ニ付、付帯条件ノ内容ニ付協議ス。

右ノ後一同晚餐ヲ饗セラル。

食後居残り、家正公及木原氏ヨリ、公爵、協調会長辞任ノ件ノ報告アリ。対処方法ヲ相談ス。次ニ予ハ赤十字社長在任ニ対スル各種ノ批評ヲ詳述シ、対策トシテ執ルヘキ私案ヲ述フ。十一時過自動車ニテ送ラレテ帰宅ス。

〔欄外〕

○徳川公ニ面謁ス。四肢ノ自由ヲ欠クモ、血色良ク肥満シ元氣旺盛ナリ。公ノ為、相応ノ報効ヲ希フモ体力之ヲ許サス。遺憾至極ナリ。故ニ今後ハ晩節ヲ完ウセラレンコトヲ期スルノミ。

○松平繁子夫人昨年一月二十〔空白〕日出産アリシトテ、令嬢ノ写真ヲ家正公ヨリ示サル。公爵夫人ノ御計ヒナリ。

三月十日（日）晴 暖

○午前十時過、木下蔭高氏往訪、病氣見舞ヲ為ス。夫人応対セラレ、同氏去七日逝去セラルト云フ。寔ニ驚愕ノ至ナリ。乃チ室ニ入り遺骸ヲ拝ス。長子矢助氏ハ未任地愛媛県ヨリ帰ラス。次子某ハ帝大卒業試験準備ノ為家ニ在ラス（之ハ故人ノ

遺命ニ依ル）。厚ク夫人ヲ弔慰ス。

○加藤虎之亮氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。(1)育英会理事選任方法ニ付テ、(2)徳田政信氏全快ニ付、学資供給方法ニ付テ相談センカ為ナリキ。

○岩波文庫中、道元禪師語録及吾妻鏡第二巻ヲ求ム。

○午後一時、川合改次郎氏来訪ス。作品一点ヲ持来ル。尚氏ノ希望ニ応ジ、予約一枚ニ加入ス。総額百五十円払込期間二年余リナリ。

○二時頃伊藤保三郎氏来訪ス。味知瀬平氏ノ為ニ徳川家正公ノ御揮毫ヲ乞ヒ、用絹二種ヲ持来ル。又原川樵ノ木茶屋ニ於ケル明治天皇御少休事歴調査二種ヲ返還セラル。市立中学校長人選ノコト、県下中学校長異動ノコト等ニ付談話ス。四時過帰ル。

○新ニ女中ヲ雇入ル。宇都宮市在。

〔欄外〕

○陸軍記念日ナルヲ以テ市街戦ノ実演ヲ行ヒ、市民教育ヲ為ス。

三月十一日（月）晴夜雨 寒

○十時ヨリ神宮関係特別都市計画法案外一件、特別委員会アリ、出席ス。午後二時原案ヲ可決シテ散会ス。

○午後三時、徳川公爵家ニ至リ木原家令ニ面会ス。公爵ノ協調会長辞任ニ関スル件、侯爵ノ健康自覚方法ニ関スル件等ヲ相

談ス。又、昨夜鈴木哲郎出征ニ付、国旗ニ揮毫ヲ乞ヒタルニ木原氏ヨリ家正公ノ揮毫、木原中将、安井少将ノ揮毫ヲ与ヘラル。又、公爵夫人ノ御好意ニ依リテ鉄砲除符サムハラ二枚ヲ頂ク。

○夕刻昇三郎来ル。夕食ヲ共ニシ談話ス。一泊ス。

○要ハ早朝、明治神宮ニ参拝シ、鈴木哲郎ノ武運長久ヲ祈ル。

○ソレヨリ日本赤十字ニ出頭シ繙帶巻キヲ為ス。

徳川家正公等ノ揮毫セシ日章旗及守符ヲ速達郵便ニ託スル為、中央郵便局ニ赴ク。

三月十二日（火）晴 風強ク寒シ

○本会議アリ出席ス。神宮関係特別都市計画法案等アリ。十一時過散会ス。

○ソレヨリ予算委員会ニ至リ傍聴ス。四時頃全会一致ヲ以テ総予算案以下三案ヲ可決ス。

○長谷川赳夫氏ニ招カレ帝国ホテルニテ昼食ス。建部遯吾氏モ招カル。帰途長谷川氏ニ同成会入会ヲ勧誘セシニ今期議会中ハ無所属ニ居ル意思ナリト語ラル。

○同成会員ヲ特別委員ニ推薦スルニ付、会員中二種々ノ希望アリテ不平ヲ抱ク者アリ。依テ月番幹事ノ名ヲ以テ伊澤氏ニ対シ、希望ノ案件ニ付申出ツヘキヲ通告ス。

○昇三郎ハ今朝、住友支社ニ出頭ス。夜十一時発ニテ帰西スト

云フ。

○帝国治山治水会幹事須山温圭氏貴族院ニ来訪シ、災害防除森林施設計画拡充ニ関スル建議提出ニ付相談アリ。

三月十三日（水）晴 寒

○朝、要ト共ニ関屋氏ヲ訪ヒテ病氣見舞ヲ為ス。又夫人ニ面会シテ福富〔空白〕氏ノ縁談、他ニ進行中ナラスヤヲ質ス。

○貴族院ニ登院ス。

書記官長ニ面会シ、伊林氏ニ関スル警察方面ノ報告書ヲ示シ、要点ニ付報告ヲ乞フ。

○速記録ニ至リ故木下蔭高氏ノコトヲ問フ。

久保春海氏ニ面会シテ静岡育英会ノコトヲ聞ク。又山崎好知氏令息好敏氏ノ為ニ農業大学入学ニ付配慮ヲ乞フ。

○貴族院調査課ヲ訪ヒ、各種ノ委員会ニ提出セラレタル参考書全部ヲ読書室ニ備付ケ、議員ノ閲覧ニ供セラレンコトヲ求ム。

○夜、杉本良氏来訪ス。農家ノ状況ニ付説明ヲ聴ク。生椎茸及独活ヲ贈ラル。

三月十四日（木）晴 暖

○今暁、雷雨アリシモ、夜十二時過マテ調物ヲ為シ、熟睡セシ為之ヲ知ラス。

○本会議アリ、出席ス。

○十一時、内大臣府ニ湯浅内大臣ヲ訪問シ、伊澤先生古稀祝賀会参加人名簿ニ題名ヲ定メ、揮毫セラレンコトヲ依頼ス。小坂順造氏ト同行ナリ。

○正午、日本国際協会ノ午餐会ニ出席ス。那須皓博士ノ北支農村開發事業ニ付講演アリ。時節柄、最敬聴ニ直ス。刺ヲ呈シテ謝意ヲ表ス。

○貴族院ニ帰り、書記官長ニ面会ス。伊林氏ノコトヲ聞ク。調査課ニ至リ国債ノ消化關係事実ヲ取調フ。

読書室ニ於テ速記録ヲ読ム。

○六時ヨリ新喜楽方ニ開会セラレタル島田、櫻内、勝、松野四大臣ノ晚餐会ニ出席ス。研究会以外ノ五派ノ交渉委員ヲ招カレタルナリ。九時散会、柴田氏ノ自動車ニ同乗シテ帰ル。代々木駅ニテ別ル。

○井上通泰博士ヨリ南天莊先生自伝ヲ贈ラレ之ヲ読了ス。又博士ニ対シ、故内山眞龍翁贈位ノ件ニ尽力セラレンコトヲ依頼ス。

〔欄外〕

○登院ノ途、電車中ニテ偶然大畠徹雄氏ニ出会フ。明日ノ貴族院ノ傍聴券ヲ与フル為、田村属宛名刺ヲ交付ス。

○去八日、故久宮殿下ノ御墓前ニ奉供ノ為、皇后職ニ依頼シテ調査セシ供物料金八円ヲ松本属ニ支払フ。

○戸塚重一郎氏ヨリ十三日付ヲ以テ平山地上権地火災保険額、

十四万円ヲ二月二十四日ヨリ一ヶ年間契約シ、保険料六六二円六六銭、此二割引五一〇二五銭（四脱）ヲ三月五日帝國海上火災保險会社ニ支払ヒ、契約書ハ戸塚氏方ニ保管ストノ通知ヲ受領ス。

三月十五日（金）晴 冷

○朝、なほ子ノ履歷書二通ヲ認メ関屋令夫人へ郵送ス。

○本会議アリ、出席ス。昭和十五年度総予算案、各特別会計予算案、其他予算關係案ヲ上程ス。予算委員長井上匡四郎子、二時間ニ亘リテ委員会ノ経過及結果ヲ報告ス。之ニテ休憩ニ入り、午後一時半再開。鷹司公爵、植村子爵ノ質問アリタル後、八條隆正子一時間余ノ長演説ヲ為シ、各案ニ賛成ス。斯クテ全員起立ヲ以テ可決ス。

ソレヨリ順次各法律案ニ入り、五時散会ス。

○杉本良氏、大畠徹雄氏外一名、予ノ紹介ニ依リ傍聴ヲ為ス。

○要ハ横須賀海軍病院ニ入院将兵ヲ見舞フ。

○館林マス子、咽喉ヲ害シ臥床ス。

○泰治ハ殆全快ス。

○夕、伊佐勇松氏来訪ス。

三月十六日（土）晴 寒

○故昌子内親王殿下御葬儀ニ参列ス。八時半出發、九時半豊島

ヶ岡ニ到ル。十時十五分靈柩御列著、十一時頃ヨリ御葬儀ヲ行ハセラル。

三陛下御代拝、喪主殿下御拝礼アリ。秩父宮兩殿下、高松宮兩殿下、三笠宮殿下、閑院宮同若宮兩殿下、伏見宮同若宮寡妃殿下、東伏見宮寡妃殿下、賀陽宮同妃兩殿下、久邇宮殿下同多嘉王寡妃殿下、梨本宮兩殿下、朝香宮三殿下、東久邇宮三殿下、北白川宮三殿下、李王殿下、李〔空白〕公同妃兩殿下、山階宮御代拝アリ。十二時過退下ス。瀬古書記官長ノ好意ニ依リテ自動車ニ同乗、市ヶ谷駅ニテ下車シ省線ニテ帰宅ス。

○昼食後貴族院ニ至ル。読書室ニテ取調物ヲナス。

○夜、加藤虎之亮氏來訪ス。徳田政信氏再就学ノ件、静岡育英会理事補欠方法ノ件ニ付談話ス。

〔欄外〕

○黄興ノ額面出来ス。

三月十七日(日) 晴 寒

○少シク感冒ノ気味アリ。終日家居ス。

○衆議院ハ本日増税案各案ヲ可決ス。

○朝、堀庫一氏ヲ訪ヒ、清風園居住者ノ為ニ種痘ヲ執行セラレシコトヲ乞ヒ、之カ方法ニ付打合セヲ為ス。

眞島幸次郎氏ヲ訪ヒ、右件ニ付協議ス。

清風会幹事高井幸藏氏ノ來訪ヲ得テ、右件実行ヲ依頼ス。

○財団法人培本塾本年卒業生、鈴木與志郎、稻田敬藏、中島吉太郎、松村榮次、松下麟一、八木俊夫、六氏ニ対シ報徳叢書一部宛ヲ贈呈スル為、各部ニ贈呈ノ旨ヲ記入シ署名ヲ為ス。塾主事須原氏ヘ鶏卵代及送料不足額三円七十錢ヲ送ル。

三月十八日(月) 晴 寒

○本会議アリ出席ス。税制改正案第一読会ヲ開キ、特別委員附託トナル。岩田氏ノ検事ノ職務執行并監督ニ関スル質疑ハ甚切要ナリ。米穀臨時措置法案改正ヲ可決シ一時前散会ス。

○散会后、議長ノ招集ニ応シテ各派交渉委員会ニ出席ス。梅ヶ小路子爵在職三十年ニ達シタルニ由リ、之カ表彰方ニ付協議シ、事務局案ヲ可決ス。次テ矢吹男ヨリ税制案ニ対スル質疑割当方ニ付提議アリ。之ハ当該委員会ニ於テ決定スヘキ問題ナルモ、自派委員ニ念ノ為申通スルコトト決ス。

○食堂売切レニ付、中央食堂ニ於テ中食ス。汚穢甚シ。

○一時半ヨリ石炭増産計画ニ関シ、藤原商工大臣ノ説明ヲ聴ク。

○国税改正案委員会ヲ傍聴ス。

○控室ニ居残り、衆議院予算委員会速記録ヲ読ム。

○六時議長ヨリ招待ヲ蒙リタルヲ以テ東京会館ニ出席ス。頗盛會ナリ。議長ノ重任ノ挨拶、甚宜シ。九時帰宅ス。

○内務省囑託溝口駒造氏來訪。議院ニテ面会ス。明治天皇聖徳

調査ニ関シテナリ。

三月十九日（火）晴 寒

○朝、徳川公爵家訪問。鈴木哲郎出征ニ付御守札及揮毫ニ対シ謝意ヲ述フ。又、伊藤保三郎氏ヲ経テ依頼セラレタル味知瀬平氏ノ為ニ絹地ヲ持参シ家正公ノ揮毫ヲ乞フ。

○貴族院ニ出頭シ税制改正委員会ヲ傍聴ス。午後ハ石炭増産計画ニ対スル民間側ノ批評ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○四時半、軍人会館ニ開会ノ静岡育英会評議員会ニ出席ス。昭和十五年度予算案ヲ可決シ、次テ理事三名ノ補欠選挙ヲ行ヒ、会長ヨリ宇佐見興屋、江藤得三、加藤虎之亮三氏ヲ指名セラシ。ソレヨリ塩島主事ヨリ会務報告アリ。最後ニ依田四郎氏ヨリ徳川総裁御近状ヲ問ハレシニ対シ、家正公ヨリ説明及謝辞アリ。同氏ハ又慶光公除隊後ノ御健康ヲ問ヒシニ、評議員古澤〔空白〕氏之ニ答フ。ソレヨリ貸費生、寮生ノ送別会アリシモ出席セス早退ス。米山氏ノ車ニ同乗、虎ノ門ニテ別ル。○六時虎ノ門晚翠軒方ニ開カレタル貴族院各派交渉委員懇親会ニ出席ス。来場者二十七名、今後年三四回開会ノコト、次回幹事ハ研究会及同和会トスルコトヲ議定ス。八時半散会ス。

〔欄外〕

○葵会ニ資金一円ヲ塩島氏ニ手交ス。

○報徳先賢富田高慶、福住正兄両翁ノ油絵肖像ハ、昨日合同運

送会社北沢出張所ニ託シテ荷造ヲ為シ、今朝同所ヨリ渋谷駅ニ発送手續ヲ了シタリ。依テ此事ヲ掛川町ノ本社ニ通知ヲ発ス。

三月二十日（水）曇 暖

○本会議アリ、出席ス。日本肥料株式会社法案特別委員ニ指名セラル。報国債権ノ発行ニ対シ小山松吉氏ノ反対的質問アリ。

○議員内田重成氏ニ全国治水砂防協会顧問タランコトヲ勧誘シテ承諾ヲ得。依テ其旨電話ヲ以テ内務省赤木技師ニ通知ス。

○午後二時ヨリ日本肥料株式会社法案特別委員会開会セラレシニ出席ス。先ツ大隈侯ヲ委員長ニ橋本伯ヲ副委員長ニ互選シ、直ニ会議ヲ開キ、島田農林大臣ヨリ本案内容ノ説明ヲ聴ク。ソレヨリ資料ノ提出ヲ求め、大体、論ニ付政府ノ意見ヲ問ヒ三時散会ス。

○読書室ニ入り、右案ニ関スル調査ヲ為シ、六時二十分退出ス。

○明日ハ特別委員会ヲ開カルヘキヤニ付、委員会ニテ協議アリシニ依リ、開クヘカラストスルノ意見ヲ開陳シテ可決セラル。

〔欄外〕

○忠霊塔建設費トシテ金拾円ヲ寄附ス。但シ内地ニ建設スルモノニ使用セラレンコトヲ条件トス。

○議員梅小路定行君議員勤続三十年ニ及フニ付、議長ヨリ表彰方ヲ議員ニ諮ヒ、同子爵ヲ除キ全会一致可決ス。次テ議長起

草ノ表彰文ヲ可決シタルニ対シ、子爵ヨリ懇切ナル謝辞ヲ述ヘラル。

梅小路子爵へ祝意ヲ表スル為金二円ヲ寄附ス。

三月二十一日(木) 晴 暖

○終日家居、日本肥料株式会社法案ニ付調査ヲ為ス。本件ニ付鈴木梅太郎博士ヲ訪ハントセシニ、既ニ満洲へ帰ラレタリト言フヲ以テ果サス。

○十一時頃、元帝室林野局技師大畠徹雄氏来訪ス。久々ニテ後話ス。氏ハ近ク北支へ旅行スヘシトノコトニテ、木原中将ニ紹介スルヲ約ス。

○午後二時頃故木下蔭高氏令息来訪ス。

○堀医師ニ就キ種痘ヲ受ク。要同伴ナリ。なほ子、一也、女中一名モ受ク。

○要ハ本間先生ヲ訪問ス。

○重友ハ日本電気会社新設ノ寄宿舎ニ移ル。

○泰治ハ早朝出發。スキーノ為、日光湯本へ赴ク。

○興三八武蔵高等学校尋常科卒業ノ通知ヲ受ク。14/82

○夕六時、丸ノ内会館ナル静岡県縁故者会ニ出席ス。湯浅内大臣、小濱知事、山内総務課長、稻森静岡市長、松井、柴田、白根、飯沼、長、松村、大竹武太郎、長谷川、宮本、尾崎、山田、坂本諸氏等、四十余名出席ス。木原清氏モ出席ニ付、

大畠氏ノコトヲ紹介ス。十時帰宅ス。

〔欄外〕

○黄興ノ額ヲ応接間ニ掲揚ス。来三十日、支那新政権樹立ノコトニ確定セラレタレハナリ(二十日中央政治会議)。

三月二十二日(金) 晴 頗寒

○昨夜睡眠完カラス。今朝淡雪アリシヲ見ル。

○十時ヨリ日本肥料株式会社法案委員会アリ出席ス。休憩後引続キ開会。午後四時散会ス。

○本会議アリ、四時ヨリ出席ス。

○湯浅内大臣ヨリ伊澤先生古稀祝賀会ノ為、賛同者名簿ニ命名シ揮毫セラレタキ旨依頼セシニ対シ、出来上リタリトノ報アリ。依テ小坂順造氏ト相談ノ上、三浦氏ヲ代理トシテ遣シ、之ヲ受取ル。

○鈴木信太郎氏母堂逝去ス。本日青山斎場ニ於テ告別式ヲ行ハレタルヲ以テ、伊澤氏ノ自動車ニ同乗シテ之ニ赴キ焼香シ、議院ニ帰ル。

○赤木正雄氏ノ依頼ニ依リ、全国治水砂防協会顧問募集ノ為、研究会橋本伯爵ニ依頼ス。伯爵ニ難色アリ。

○西尾子爵ヨリ同家ノ小笠山神社崇敬ノ来歴書ヲ渡サル。依テ直ニ白井貢氏へ郵送ス。

○一木男ヲ訪フ。頗之氣ナリ。亡夫人ノ靈前ニ焼香ス。仰徳館

記事ヲ示サル。頗大作ナリ。文章流麗、能ク意ヲ尽ス。揮毫、亦頗佳ナリ。

三月二十三日（土）晴 頗寒

○本会議アリシモ午前中出席セス。午後再会ノ時、出席ス。

○午前十時ヨリ日本肥料株式会社法案委員会ニ出席ス。午後ノ会議ニ於テ重役選任ニ付、衆議院修正ヲ削除スルノ修正案ヲ提出セシモ、賛同者三名ヲ得タルニ過キス。斯クシテ全会一致可決セラル。委員長ハ討議ノ余地ヲ与ヘス散会シタルハ輕卒ナリ。

○農会法改正案特別委員ニ指名セラル。依テ散会後読書室ニ入り取調ヲ為ス。

○昨日、大畠徹雄氏ニ対シ木原清氏ニ紹介セシニ、大畠氏今日木原氏ニ面会スルヲ得タル由、電話ニテ謝意ヲ表セラル。

〔欄外〕

○鉄道省ヨリ新ナル乗車券ヲ送付セラル。依テ旧券返還ヲ為スト共ニ、之カ受領証ヲ郵送ス。

三月二十四日（日）晴 寒

○朝、鷺山恭平氏ヨリ来書。此程同氏上京中、足部ヲ負傷シ未快癒ニ至ラス。報徳社ノ事務遂行上、遅延ヲ免レストノコトナリ。依テ直ニ返書ヲ呈シ、杉本良氏ノ援助ヲ得ラレンコト

ヲ乞フ。又杉本氏ニ之ヲ通ス。

○本会議アリシモ出席セス。十時ヨリ農会法中改正案委員会ニ出席ス。三時再会、五時頃原案ヲ可決ス。

本会議ニハ委員会休憩中出席ス。

○六時ヨリ東京会館ナル故武富時敏先生追憶会ニ出席ス。来会者百五十名、御家族ヲ招待ス。食前、池田秀雄氏發起人ヲ代表シテ挨拶ヲ述ヘ、町田忠治氏、若槻礼次郎男、伊澤多喜男氏ニ追憶談ヲ求メラル。一同深ク感銘シ故人ヲ近思ス。之ニ対シ遺族某氏挨拶ス。ソレヨリ食堂ニ入り、卓上大隈信常侯、大島健一將軍及織田萬博士ノ近憶談アリ。又某氏ノ唇堂先生詩四首朗吟アリ。九時散会ス。

○農林省水産局落合英司氏議院ニ来訪ス。北海道庁長官及青森県知事ニ紹介ノ名刺ヲ与フ。

〔欄外〕

○詔書ヲ以テ議会会期二日ノ延長ヲ命セラル。

○不在中、白井貢、青野実平、外一氏来訪ス。小笠神社昇格願ノ件ニ関シテナリ。

○山崎好知氏、令息ト共ニ来訪ス。不在中ナリ。

三月二十五日（月）晴 寒

○早朝、福田町機業家「」氏妻女来訪ス。此程闇取引ヲ行ヒシコト発覚シ、主人拘禁セラレタリトテ善後策ヲ問ハ

ル。氣ノ毒ナルモ良策ヲ知ラス。唯從順信実ヲ告クヘキヲ論ス。

○本會議アリ、出席ス。税制改革案（国税、地方税）ヲ可決ス。又農会法中改正案ヲ可決ス。

○要ハ赤十字社ニ出頭シ繙帶卷ヲ為ス。

○夕、榛葉春子來訪ス。夕食ヲ出ス。

○館林葉子氣管支カタル再發シ再臥床ス。

〔欄外〕

○東京市電氣局ヨリ電車、自動車優待乗用券（九月末マテ）ヲ送り來ル。

○種痘善感二顆アリ。夜、堀先生ヲ訪ヒ診察ヲ受ク。

三月二十六日（火）曇 暖

○本會議アリ、出席ス。臨時資金調節法案ニ付テハ興國債券發行ニ關シ小山松吉氏ノ反對論アリ。採決ノ際、予モ亦起立セス。赤字公債案全会一致ニテ通過ス。休憩ノ時、議長室ニテ各派交渉會アリ。二千六百年記念祝賀會寄附ノ件ハ、議長之ヲ斡旋セサルニ決定シ、來三十日汪政權政府成立ニ付、貴族院ヨリ祝電ヲ贈ル件ハ議長一任ニ決ス。午後、追加予算案、優生法案、木炭需給調節法案等ヲ可決ス。最後ニ衆議院提出案ハ一括シテ上程シ、委員ニ附託シテ散會ス。時二六時ナリ。

○帝國治山治水協會須山温圭氏ノ申出ニ依リ、來月十一日林業

試験場視察、二十六、七兩日森林砂防事業視察ノ二件ハ、公正會柴山男爵ヨリ公正、同成、同和三會派希望者ヲ取纏ムルニ決ス。

○元侍從海江田幸吉氏薨去ニ付、議院ヨリノ歸途往訪弔問ス。玉串料金十円ヲ呈ス。八時半マテ居ル。

三月二十七日（水）晴 寒

○貴族院ニ於テ第七十五議會ノ閉院式ヲ行ハル。十一時、内閣總理大臣米内光政氏ハ勅命ヲ奉シテ恭シク勅語ヲ奉讀ス。

○瀨古書記官長ト會見ス。議長ノ支那新政權樹立祝賀ノ為、貴族院ヲ代表シテ支那ヘ赴クノ件ニ付所見ヲ求メラル。又、伊林初次郎氏ハ近ク北京ヘ赴任スヘシトノコトヲ聞ク。

○正午、首相官邸ニ於ケル各大臣ノ午餐會ニ出席ス。二時過帰宅ス。

○歳費半年分、小切手ニテ支給セラル。

○館林三喜男、朝九時四十一分品川著ニテ歸京ス。マス子、興三及一也、之ヲ出迎フ。夕刻館林來訪ス。十時頃マテ旅行談ヲ聴ク。

○要ハ午後榛葉春子同伴、横浜ニ至リ杉山東一氏ヲ訪問ス。興三八一也ト横浜朝比奈方ニ至リ一泊ス。

○泰治ハ奥日光ニテスキー練習中、胃痙攣ヲ起シ、矢田部氏方ニ引揚げ來リ、三四日來治療中ナリト云フ。

〔欄外〕

○杉村七太郎氏ヨリ土田ナカエノ病状ト手術トヲ報シ来ル。

三月二十八日（木）晴 頗寒

○西北風強クシテ寒氣甚シ。砂塵天ヲ掩ヒテ闇シ。

○十一時三十分参内。拝謁ヲ賜リタル後、賜饌ノ光栄ニ浴スヘキノ処、海江田元侍医ノ葬儀ニ赴キ之ヲ拝辞ス。

○九時三十分ヨリ海江田子爵邸ニ於ケル葬儀ニ列ス。十時ヨリ十一時半マデ庭上ニ立チテ会葬者ニ挨拶ス。

○二時二十分頃青山南町二丁目玉窓寺ナル故入江幹一郎氏ノ告别式ニ至リ焼香ス。金五円ヲ香料トシテ奠ス。

○徳川家正公ヨリ片平信通翁并味知瀬平氏ノ為ニ揮毫成レリトテ、使ヲ以テ之ヲ送届ケラル。依テ夫々両氏へ書留郵便ニテ發送ス。

○興三、一也ハ夕刻横浜ヨリ帰来ル。

○夜、赤木正雄氏来訪ス。五月京都府下ノ砂防状況視察ニ招カル。土木局内ノ河川課ノ砂防事業ニ対スル嫉視アリ。甚苦々シキコトナリ。人民ノ禍ナルノミ。

三月二十九日（金）晴 暖

○海軍航空隊、海軍航空技術廠、軍艦摩耶見学ノ為、八時三十分東京駅發特別列車ニテ横須賀へ赴ク。田浦ニテ下車。直ニ

海軍航空隊用意ノ自動車ニ乗り同隊ニ至リ、飛行機發射機ノ發射、各種航空飛行機、各種訓練、飛行服、用具、伊藤公憲法起草記念碑、各種發動機、風洞、プール、カタパルト、等ヲ視、兵員ノ中食ヲ饗セラル。

○食後、軍艦摩耶ニ乗ル。一時四十五分出港ス。之ヨリ爆撃目標タル霧中標的ヲ艦尾五百米ニ曳航ス。而シテ其成レル頃潜水艦ノ襲撃アリ。二時二十分頃敵編隊爆撃機（九機ツヽ）二隊来襲、標的ヲ目掛ケテ爆弾ヲ投ス。此間敵戰鬥機隊ニ対スル防衛戰鬥機隊ノ空中戦アリ。次テ艦上戰鬥機隊、水上偵察機隊ノ艦橋掃射、煙幕展張、艦上攻撃機隊ノ電撃運動アリ、終テ霧中標的掲收セラル。三時、横浜入港、三時四十分棧橋上陸。市自動車ニテ横浜駅ニ送ラレ、四時十七分發電車ニテ帰ル。

○横須賀海軍航空隊司令桑原少将ニ出会ヒ、少将ノ無事ナルヲ見テ欣快ニ堪ヘス。

○夜、岐阜鈴木正夫氏来著ス。四月ヨリ扶桑海上保險会社ニ勤務ノ為ナリ。

○夜、泰治日光ヨリ帰来ル。

〔欄外〕

○千葉県農林技師土井久之氏来訪ス。不在ノ為面会セス。

○榛葉勇次郎氏来京訪問ス。明日、春子嬢結婚ニ付テナリ。

三月三十日(土) 曇 冷

○朝、久保春海氏ヲ訪問シ、夫人ノ病氣ヲ見舞フ。去二十日深更吐血アリ。二十七日夜、復吐血シ胃潰瘍ト診断セラル。頗重体ナリ。医療ニ付相談ス。

○十一時半徳川公爵家ニ木原家令ヲ訪問ス。先ツ家正公カ片平、味知両氏ノ為ニ揮毫ヲ与ヘラレシヲ深謝ス。次ニ家令ヨリ徳川家達公伝記編纂所職員ノ俸給額ニ付相談ヲ受ク。久保夫人病氣見舞ノ為、植村澄三郎氏ヲ煩ハシ、氏ノ主治医馬場辰二氏ノ往診ヲ請フニ決シ、木原氏ヨリ電話ニテ其事ヲ植村氏ニ依頼ス。植村氏之ヲ快諾セラレ直ニ其手配ヲ為ス。
中食ヲ饗セラレ帰宅ス。

○一時半、明治神宮前大礼会館ニ於テ、角皆夫妻ノ媒酌ヲ以テ杉山東一、榛葉春子ノ結婚式ヲ挙ケシニ依リ要ト共ニ臨席ス。両家親族ノミ集合シ滞ナク之ヲ終了ス。ソレヨリ茶菓ヲ饗セラル。四時頃退出ス。

○五時頃朝鮮銀行員川合彰武氏来訪ス。緩話ノ隙ナキヲ以テ、バス、地下鉄ニ同車シ新橋ニテ別ル。氏ハ第一ホテルニ滞在ス。

○六時、熊谷三太郎氏ヨリ築地八百善方ニ招カレ鄭重ナル晚餐ヲ饗セラル。伊澤、塚本、入江、小坂諸氏モ出席ス。八時半頃退出、熊谷氏ノ事ニテ九段ヘ赴ク。

〔欄外〕

○八百善方ニテ食事中、要ヨリ電話ニテ久保春海氏夫人危篤ノ由、熊谷年郎氏ヨリ急報アリシ由ヲ通シ来ル。依テ熊谷三太郎氏ニ謝シ、氏ノ車ニ送ラレテ九時頃久保氏ヲ訪問ス。

本日午後ヨリ容体急変セシ由ニテ、親戚及医師集リ居リ。又縁故者多数会合シ、各所ヘ電話電報ニテ急ヲ告ク。

十時過輸血ヲ行ヒシニ、其結果著シク良好ナリ。依テ多数来集者ヲ促シテ夫々帰宅セシメ、予ハ要ト共ニ久保氏方ニ居残ルコトトス。

○汪精衛氏ヲ中心トスル国民政府、南京ニ還都ス。

三月三十一日(日) 曇 冷

○昨夜、久保氏方ニ留ル。要モ亦留レリ。病夫人ノ経過佳良ニシテ意識明瞭トナレリ。十二時頃、医師ノ打合せヲ終リ、宿直者ヲ定メ夫々帰宅ス。見舞人モ亦夫々帰宅セシメタリ。特ニ久保氏ノ疲憊ヲ惧ル。

○七時頃、要帰宅ス。予ハ塩島氏九時頃来リシヲ以テ引継ヲ為シ帰宅ス。午後一時ヨリ三時頃マテ熟睡ス。

○重友、久保氏ヲ見舞フ。丸ボーロ一箱ヲ呈ス。

○鈴木正夫氏麹町区平河町一ノ一、加藤五郎方ニ移転スルニ決ス。但シ荷物ノ到著スルマテハ予ノ家ニ滞在ノ予定ナリ。

○夜、伊東卓治氏来訪ス。北京大京^{ママ}招聘ノ件ニ付相談アリ。九時半頃マテ談話ス。

○館林マス子両児ヲ伴ヒ帰宅ス。

〔欄外〕

○門標盜難ニ罹リシモ本日ヨリ掛替ヲナス。

四月一日(月) 半晴 寒冷

○朝、八幡神社ニ参詣ス。

○篠田治策氏ヲ訪問ス。

○八時三十分小田急電車ニテ新宿駅著。陸軍省ノ案内ニ依リ立川飛行場見学ニ赴ク。九時十一分発車(特別車)、西立川駅下車、徒歩ニテ航空隊技術研究所ニ赴ク。十時十分陸相代理阿南次官ノ挨拶アリ。次テ(1)新旧両機種ノ性能(主トシテ速度)比較(《並列低空飛行ニ依ル》)、(2)イー十五式及九七式戰鬥機ノ単機空中戰鬥(《高度約千五百米上位イー式、低位九七式》)、(3)空中射撃訓練《九七式一機標的率引ニ対シ九七式二機各五回突進写導射撃》、(4)地上目標(飛行機)ニ対スル九七式三機ノ実包射撃(《炎上セシム》)、(5)空中戰鬥訓練。九七式単機訓練及九七式編隊《九機編隊群(八〇〇米)ニ対シ六機群高位(一二五〇〇)ヨリ攻撃ス》、(6)編隊群飛行《九七式重爆機三一機、各機ニ議員五名搭乗、八王子、横浜、月島、千住、板橋ヲ経テ帰還》、(7)特殊飛行。九七機三機ニテ編隊宙返、縦隊宙返、急降下、上昇横転、終テ単機ニテ各種特殊飛行実施、ソレヨリ同場ニ陳列セル福山機《九五式戰鬥機》、大内機

《八八式偵察機》、齋藤機《九七式戰鬥機》、水崎機《九七式爆撃》ヲ見、之ト各種新式機トヲ比較觀覽ス。又鹵獲セルイー十五型及十六型戰鬥機、ノモンハン戰利品(各種爆弾、焼夷弾、信管、曳火信管、コマルキー機関銃二種、イー十六用防楯鋼板、酸素吸入機等)、戰車(日、独、英、蘇各種)ヲ見タル後、中食ヲ饗セラル。

○一時三十分頃西立川発立川ニテ乗換へ省線渋谷ヲ経テ帰宅ス。

〔欄外〕

○帝国治山治水協會須山温圭氏ト電話ニテ、視察旅行ニ付打合せヲナス。

○掛川報徳社ヨリ電話ニテ、来六日祝賀会へ宮内、厚生両大臣ノ臨席ヲ乞フ様希望ヲ通シ来ル。

○夕、篠田治策氏来訪ス。

○夜、徳田政信氏来訪ス。病氣回復セシ為、国学院大学へ編入試験ヲ受クヘシト云フ。欣喜ニ堪ヘス。

○鈴木正夫氏ハ住友海上火災保險会社へ今日ヨリ出勤ス。

四月二日(火) 曇 暖

○十時頃久保春海氏ヲ訪ヒ、夫人ノ病氣ヲ見舞フ。依然小康ヲ保ツト云フ。

○十一時、帝室會計審査局ニ至リ、安樂、藤井両氏ノ凱旋ヲ祝

ス。安樂氏ニ面会セシモ、藤井氏ハ帰省中ノ由ニテ面会セス。
木下長官、角倉事務官ニ面会ス。

○十二時、日本国際協会午餐会ニ出席ス。「空白」博士ノ支那新政府ノ財政經濟問題ニ関スル講話アリ、甚有益ナリ。

○二時頃服部時計店ニ至リ、曩ニ側ト交換ヲ行ヒタルHowardノ秒針脱落ヲ修繕セシメ、又時差ノ修正ヲ頼ム。五日間ヲ要スト云フ。

○三時、帝室林野局ニ岡本監理部長ヲ訪ヒ、(1)千頭御料地内森林鐵道乗車取計依頼ノ件、(2)三信鐵道国営移管及中部二俣間予定鐵道線繰上敷設ノ件、(3)金原財団処理ノ件、(4)高尾氏令弟縁談ノ件等ヲ陳フ。

土岐秘書課長ニ電話ニテ大日本報徳社へ大臣又ハ代理官ノ臨席ヲ乞ヒ、及ヒ祝辞ヲ依頼ス。其結果大金総務課長ヨリ交渉ヲ受ク。

厚生次官岡田文秀氏ヲ訪ヒ、同上ノ件ヲ依頼シ承諾ヲ受ク。

○一木男ヲ訪ヒ、右両省ノ件ヲ報告セシニ、宮内省ノ方ハ不要ノコトニ決定セラル。

〔欄外〕

○夕刻、植村澄三郎氏ヲ訪ヒ、久保氏ニ対スル厚意ヲ謝シ、又徳田政信氏ノコトニ付謝意ヲ表ス。

偶マ勤王家御贈位申請計画ヲ告ケラル。予モ亦内山眞龍翁ノコトヲ告ク。甚有益ナリ。

四月三日(水) 夜風雨強 暖

○朝、篠田治策氏ヲ訪問ス。

○東横百貨店ニ至リ斬髪セントセシモ満員ノ為中止ス。齒刷子、安全剃刀ノ齒ヲ求メテ帰宅ス。

○午後、衆議院ノ速記録ニ付、各種ノ取調ヲ為ス。夜、十時半終了ス。

○大金宮内省総務課長ニ、電話ニテ一木男爵ノ御意向ヲ伝ヘ謝意ヲ表ス。

○夕刻ヨリ西南風強ク豪雨ヲ伴フ。雨漏リアリ、食堂ヲ浸ス。

○植村澄三郎氏ハ徳田政信氏ニ対シ、育英会貸費額ニテ不足スル学費ノ貸与ヲ申渡サル。真ニ望外ノ幸福ナリ。依テ此事ヲ加藤虎之亮氏ニ電話ス。

○内山眞龍翁贈位申請書尅部ヲ植村澄三郎氏へ郵送ス。

○柴田要次郎氏、去月三十一日午後四時三十五分狭心症ニテ急逝。本日告別式アリシモ之ニ赴カズ。

四月四日(木) 快晴 暖

○早朝犬ヲ連レテ清風園内ヲ散歩ス。街灯ノ破損セシモノヲ発見シ、之ヲ修理ヲ高井幹事ニ依頼ス。

○朝、関屋貞三郎氏ヲ訪問ス。熱海へ転地中ノ由ニテ夫人ニ面会ス。なほ子ノ縁談ニ付配慮セラル。

○貴族院事務局ニ至リ調査ヲナス。又、瀬古書記官長ニ面会シテ、伊林初次郎氏ノコトヲ問フ。

○午後帰国ノ用意ヲ整へ、三時十五分發ニ乗ルニ決ス。荷物ハ興三之ヲ持ち、要ト共ニ出發ス。予ハ岡田厚生次官ニ電話ノ所用アリシヲ以テ遅レテ發ス。渋谷駅ニテ出會フノ打合せニ基キ、要等ヲ搜シタルモ来ラス。遂ニ東京駅ニ至リ、所定ノ汽車ニテ待チシモ来ラス。依テ其汽車ニテ品川ニ歸リ、東横ニテ斬髪シテ帰宅ス。斯クテ本日ノ出發ヲ断念シ、明日正午掛川著ニ決定シ、其旨ヲ大村留吉ニ電報ス。

○要ハ愛の家觀劇会ノ為、山崎金五郎氏、伊佐勇松氏ヲ訪フ。然ルニ伊佐氏ハ時刻來訪シテ行違ヒトナレリ。同氏急キ帰宅ス。

四月五日（金）午後風雨 冷

○午前六時出發、品川六時五十三分發列車ニ乗り歸国ス。泰治、興三品川マテ荷物ヲ持ちテ送來ル。十二時二分掛川著、大村留吉ノ出迎ヲ受ケ、荷物ヲ大村ニ託シ、直ニ報徳社ニ出頭ス。

○一木社長二時十五分著ニテ來社セラレ、明日ノ記念祭其他ニ付、要務ノ打合せヲナス。明日ノ祭文ニ付テハ原案ニ大修正ヲ加ヘラル。又恩光録ナル出版物ニハ不都合ノ点アルヲ發見ス。此小冊子ハ社員ニ配布セサルニ決定セラル。

○全国ヨリ多数社員來集ス。明日ノ盛会ヲ想ハシム。

四月六日（土）晴 寒

○朝、落合友三郎氏來訪ス。氏ハ南郷小学校校長在職二年、今回原田村校長ニ転任セラル。村民大ニ氏ノ德ヲ慕フ。

○大日本報徳社先賢慰靈祭ハ午前九時半ヨリ行ハレ参列ス。即、安居院、富田、福住、岡田三先生ノ額ヲ掲ケ、社長以下、職員并松井中央教化団体聯合会理事長松井茂氏、及遺族参列、松尾社司ニ依リテ行ハレタリ。次テ故鈴木良平先生ノ掲額慰靈祭ヲ行ヒ、遠藤一夫氏謝辭ヲ述フ。

○十時ヨリ紀元二千六百年祭奉祝記念祭ヲ行ハル。厚生大臣代理参与官飯村五郎氏、文部大臣代理社会教育官小山隆氏、小濱静岡県知事、其他ノ來賓及片平、松井両顧問ヲ初メトシ、全国各社代表及社員六百余名参列シ順次式ヲ了ス。社長ノ祭文、式辭。厚生大臣ノ式辭、文部農林両大臣ノ祝辭、知事ノ祝辭等アリ。正午終了。社長ハ飯村、小濱、松井、小山、片平五氏ヲ山口楼ニ招キ午餐ヲ呈ス。佐々井氏、河井、之二列ス。迎徳館建築費寄附者ヲ表彰セラル。

○一時ヨリ全国報徳社々員大会アリ。儀礼ノ後、式辭、報告、決議アリ。是亦、盛会ニシテ四時頃終了ス。此決議ハ安居院、富田、齋藤、福住、岡田三大人各先生ノ墓参ヲ決ス。依テ予ハ代表四名（県、富山県、福島県矢部氏、浜松天神町中村氏）ト共ニ倉真村岡田三先生ノ墓参ヲナス。

○大村留吉ノ甥大村善平、明後日入営ニ付挨拶ノ為来訪ス。

〔欄外〕

○大日本報徳社記念事業資金トシテ五百円ヲ寄付セシニ付、知事ヨリ表彰状ヲ与ヘラル。

○南郷村小学校長ニ新任セラレタル藤田〔空白〕氏来訪ス。(予不在ナリ)

○夕刻、石間尚来訪ス。今般学校先輩ヨリ鐘紡社農業部ニテ経営スル茶業方面ヘ転出ノコトヲ勧誘セラレタリトテ諾否如何ニスヘキヤウ相談アリ。氣ノ毒ニ感スルモ家庭ノ事情之ヲ許サスト決ス。

山崎昇二郎ノ意見ヲ問ヒタル上、返事スヘキヲ勧告ス。

四月七日(日) 晴 寒

○朝、平野伊三郎氏来訪ス。妻女病氣、輕快ニ向フトテ大ニ謝意ヲ表ス。

○松浦嘉三郎氏ノ遺族ヲ訪ヒ弔意ヲ表ス。

○朝、掛川報徳社ニ黒田節三氏来訪。菊川改修記念碑建立ニ付、山本達雄男ニ篆額揮毫ノ依頼方ヲ申出ツ。

○九時三十分ヨリ二宮佐藤両先生例祭、及十四年本社各館出張所常会出席優良報徳社及団体表彰式アリ。列席ス。午後加藤文理大助教授、矢部善兵衛氏、河井、佐々井副社長ノ講演アリ。三時半終了ス。

〔欄外〕

○昨今両日寒氣甚シク感冒ニ罹ル。

四月八日(月) 晴 暖

○朝、掛川町ニ松井孝氏ノ入営ニ付訪問ス。揮毫及写真撮影ヲナス。

○望月氏ヲ訪ヒ弔問焼香ヲ為ス。満洲ヨリ帰省中ニテ面会ス。

○九時三十七分發ニテ大村善平入隊ニ付、駅頭ニ見送ル。

○一木報徳社長九時四十五分袋井駅發ニテ帰京セラルルニ付、掛川ヨリ同車シ静岡迄見送ル。車中ニテ打合セヲ為ス。掛川ニテハ驚山理事外事務員多数見送ル。静岡ニテハ知事、尾崎父子見送ル。

○小濱知事自動車ニ同乗シテ県庁ニ至リ、知事ニ対シテ報徳社長代理トシテ一昨日及昨日ノ出席、及代理官出席ニ付謝意ヲ表ス。

○高野学務部長ヲ訪ヒ、培本塾補助費支給ノコトヲ問フ。又、掛中学校長更迭ニ付テ説明ヲ求メ意見ヲ述フ。十二時二十二分發ニテ掛川ニ帰ル。

○報徳社ニ出頭、驚山理事ニ面会ス。報徳学校設立ノ件ニ付、意見ヲ交換ス。其結果鈴木町長ノ来訪ヲ求メ、協議數項ニ及フ。

〔欄外〕

○南郷村訓導二名来訪ス。

○出征軍人杉山太郎、平野敏央両氏及西郷村松浦清三郎氏外五氏并小柳直吉氏ノ為ニ揮毫ス。小柳氏及石野元治郎氏来リ手伝フ。

石野氏ニ夕食ヲ呈ス。

○原田清四郎氏来訪。板沢山下戻ニ付建碑ノコトニ付、原田村長ノ意向ヲ伝フ。

○夜、山崎好知氏来訪。令息好敏氏中央大学ニ入学セシ由ニテ挨拶ヲ述フ。帰途、自動車溝ニ車ヲ踏入ル。

四月九日（火）晴 風強冷

○朝早く起キテ昨夕ノ揮毫ヲ検セシニ、墨淡クシテ甚意ニ満タス。依テ西郷村諸氏ノ分ト小柳氏ノ分ハ書直シニ決ス。

朝、小柳直吉氏来訪セシニ付、其旨ヲ断ル。

○村役場ニ原田村長ヲ訪フ。次テ小学校ニ藤田校長ニ訓導ヲ訪フ。

○九時挙張神社ニ至リ、本日入営ノ藤井次三郎、戸塚〔空白〕両氏ノ出發ヲ見送ル。掛川駅前ニテ別ル。

○九時五十六分發ニテ東京ニ帰ル。山崎順一郎氏夫人、態々見送ラル。小柳、松浦清三郎、原田惣右衛門、原田萬四郎、平野伊太郎等諸氏見送ル。四時頃帰宅ス。

四月十^{〔十一の一を抹消〕}日（水）晴 冷〔日付を赤丸で囲む〕

○大日本報徳社ノ二千六百年記念祝賀会ニ対シ祝意ヲ表セラレタルヲ謝スル為、文部省社会教育局ニ小山隆教育官ヲ訪ヒ大臣ニ謝意ヲ述フ。次ニ農林省ニ出頭、文書課事務官清井正氏ニ就キ大臣ニ謝意ヲ表ス。ソレヨリ厚生省ニ飯村参与官ヲ訪ヒ謝意ヲ表シ、又吉田厚生大臣ニ面会シテ礼ヲ述フ。

○中川健蔵氏ヲ航空会社ニ訪フ

○新橋、橋善方ニテ天ぷらヲ食シタル後、三会堂ニ至リ、帝国治山治水協会ニ須山温圭氏ヲ訪ヒ、見学視察旅行ノコトニ付打合セヲナス。

○同成会ニ三浦安蔵氏ヲ訪ヒ、一月ヨリ六月分会費三十円ヲ支払フ。

○久保春海氏ヲ訪ヒ夫人ヲ見舞フ。経過良好ナリ。対面ス。

○夜、大島徹雄氏来訪ス。来十三日北京方面へ視察旅行ヲ為スト云フ。依テ氏ノ希望ニ依リ木原清將軍ニ紹介ス。將軍ハ明日午前ヲ約セラル。

〔欄外〕

○館林三喜男ハ群馬県警察部長ニ転任ス。

〔原本では十一日のページに記入〕

四月十^{〔手書き一追加〕}一日（木）晴 暖〔日付を赤丸で囲む〕

○朝、山下寅雄氏来訪ス。氏ハ三月京大法学部ヲ卒業シ、某鋼

板会社へ就職セリト云フ。

○九時五十分出發。十時十五分目黒駅著。公正会、同和会ノ有志諸氏ト農林省林業試験場ノ視察ニ赴ク。帝国治山治水協会須山温圭氏等幹旋セラル視察議員二十二名、場長不在ニ付、主席技師河田杰氏ノ挨拶ニ次キ某技師ヨリ一般ノ説明ヲ聴ク。ソレヨリ香坂昌康氏、場長藤岡光敏氏ノ挨拶アリ。昼食ヲ饗セラル。食後各実験室ヲ巡覽シ五時半終了ス。場ノ自動車ニ送ラレテ目黒駅ニ着、直ニ帰宅ス。

○重友ハ奥歯五枚ヲ抜キタリトテ来リ病臥ス。

○館林ふさえ子ハ、午後二時瀨古書記官長ノ官舎ニテ伊林初次郎氏ト見合ヒヲ為セリト云フ。館林方ニテハ大ニ満足ヲ表シ居レリ。

夕刻マス子来其事ヲ報告ス。

夜、杉山東一氏新夫人春子ト共ニ来訪ス。緩々談話ス。

〔原本では十日のページに記入〕

四月十二日（金）晴 暖

○大日本報徳社ニ対シ各所礼訪ノ報告ヲ発ス。

○鷺山恭平氏ニ対シ「近世日本ノ儒学」ヲ呈ス。

○十一時頃館林三喜男来訪ス。(1)ふさえ子縁談ノ件、(2)転任ニ付各種用意ノ件ヲ相談ス。マス子モ亦来ル。

○二時学士会館ニ杉村七太郎氏ヲ訪問ス。氏ハ今夏停年ニテ退

任スト云フ。東京ニ於ケル住所其他ニ付相談、談話アリ。旧友ハ甚懷シ。

○帰途、植村澄三郎氏ヲ訪フ。二千六百年祝典ニ際シ御贈位ヲ願フニ付相談ス。

○夜、杉本良氏来訪ス。氏ノ身上ニ関シ相談アリ。報徳社事業ニ関シ所見ヲ交換ス。

皇后陛下恩賜ノ書籍「高皇后伝」「内訓」及「女訓」ヲ貸ス。

〔欄外〕

○重友ハ抜歯ノ為發熱三十八度七分ニ及フ。夜、近所ノ齒医来診、消毒ヲ為ス。

○泰治ハ今暁、腹痛甚シク、大ニ苦悶ス。堀先生来診二回、遂ニ腎臓ノ結石病ト診断セラル。

四月十三日（土）曇 暖

○十時貴族院各派交渉委員会アリ出席ス。皇軍慰問ノ為、代表者ヲ満洲（二班）、北支（二班）、中支及南支ヘ派遣スルコトヲ協議決定ス。尚、書記官長ヨリ万国議員同盟、万国議員商事会議ノ開否ニ関スル判断ノ報告ト、之ニ伴ヒ南洋又ハ南米方面視察団派遣ニ付テハ更ニ時機ヲ俟テ交渉会ニ附スヘシトノ報告アリ。次テ議員側ヨリ議長ノ渡支ニ付資格如何、彼我両政府ノ取扱方如何等ニ付、剴切ナル質問アリ。議院ノ尊嚴ヲ發揚シ、且使命ヲ完ウスルニ十分ナルヘキヲ希望シテ、其

具現ヲ当局ニ要求スヘキコトヲ求ム。議長ハ深ク之ヲ謝シ実行ヲ約ス。

○同成会控室ニ於テ塚本清治、柴田善二郎両氏ト時事ヲ談話ス。
○正午ヨリ衆議院食堂ニ於テ、両院有志ノ両院議長及代表議員ノ渡支者歓送会アリ出席ス。佐々木、田子両副議長ノ送辞、松平、小山両議長ノ謝辞アリ。一時四十分散会ス。出席議員約百五十名、両院相半ス。同成会出席者七名ナリ。

○二時ヨリ文部省ニ開カレタル報徳経済学研究会アリ出席ス。東京商大助教授板垣與一氏ノ独逸ノ政治経済学ノ問題ト題スルゴツトル経済学ノ講演アリ。杉本良氏入会ニ付其紹介人トナル。帰途杉本氏ト同道ス。

〔欄外〕

○重友、昨夜来発熱甚シク、全身各所発疹ヲ見ル。堀先生ノ診断ヲ乞ヒシニ猩紅熱又ハ水痘ナラント云フ。

○昇三郎ヨリ館林ニ対シテ祝賀ノ手紙ヲ寄セ来リ、金五百円ヲ贈ラル。

○館林ハ午前十時大臣ヨリ辞令ヲ伝達セラル。

○パール^{マイ}。バック夫人ノ大地ヲ読始ム。

四月十四日(日) 小雨曇 冷

○八時過瀬古書記官長、伊林初次郎氏ヲ伴ヒテ来訪ス。伊林氏ト館林ふさえ子トノ婚約成立。即昨日瀬古氏官邸ニ於テ結納

交換ニ付、伊林氏ヲ紹介セラル。十時頃マテ要モ共ニ接待ス。瀬古氏ヨリタ、晚翠軒ニ招カル。

○高井孝蔵氏ヲ訪ヒ清風会總會開催ノ件、本年度支出報道超過取調ノ件、明年度予算編成ノ件ヲ依頼ス。後刻高井氏来訪シ支出超過ノ件ヲ取調ヘタルニ七八円ノ残額アリト報告セラル。

○午後右件ニ付相談ノ為、眞島幸次郎氏ヲ往訪ス。不在ナリ。

○十一時頃小林次郎氏来訪ス。(1)瀬古書記官長トノ関係ニ付テ報告アリ。(2)議長ノ南京政府往訪ノ件、(3)汪兆銘政權ノ実力観測、(4)阿部全権起用ノ経緯、殊ニ青木一男氏随事情等ニ付談話ヲ聴ク。甚タ有益ナリテ餐ヲ呈ス。なほ子ノ縁談ニ付、配慮セラル。二時半頃マテ談話ス。

○六時瀬古氏ノ招ニ応ジ、要ト共ニ晚翠軒ニ赴ク。伊林初次郎氏、館林ふさえ子、館林夫妻ヲ招カレ、夫人ト共ニ大二接待セラル。感謝ノ至ニ堪ヘス。九時頃散会、地下鉄ニテ帰ル。

○館林ハ各所へ挨拶ノ為、終日駆廻ル。マス子同伴ナリ。此為女中まさヲ貸与ス。

〔欄外〕

○重友診療ノ為、堀先生三回来診セラル。病氣ハ猩紅熱、水痘ノ中間ノ如キモノト云フ。経過良好ナリ。専ラ家庭ニ在リテ治療シ消毒ヲ嚴重ニスルコトニ決ス。

○泰治ハ午後排尿ノ際、結石ノ一部破碎シタルモノヲ排出ス。

神経痛アリ。大体臥床ス。

○篠田治策氏ヨリ明夕、晚翠軒ニ招カレタルモ重友病氣ノ為ニ出席ヲ断ル。

四月十五日(月)晴 冷

○朝、米山梅吉氏へ氏ノ問合ニ係ル小坂家ノコトヲ電話ニテ報告ス。

○十一時頃瀬古書記官長官舎ニ至リ、夫人ニ面会シテ昨夕ノ厚遇ヲ謝シ、更ニ館林ふさえ子縁談ニ付キ配慮セラレタルヲ深謝ス。

○貴族院ニ瀬古書記官長ヲ訪ヒ、右件ニ付深謝ノ意ヲ表シ、更ニ又松平議長ノ南京行ニ関シ、書記官長トシテ深甚ノ尽瘁アラシコトヲ求メ、心付キノ点二三ヲ挙ケテ参考ニ供ス。

田村属ニ対シ七十五議会委員会速記録中所望ノモノノ調達ヲ頼ム。

○正午、日本国際協会午餐会ニ出席シ、駐ソ二等書記官齋藤輝宇良氏ノ最近ノ蘇聯事情ニ関スル講話ヲ聴ク。二時退出ス。

○三時頃千駄ヶ谷徳川公爵家ニ至リ、公爵ヲ見舞フ。又、公爵伝記編纂所ニ入り、井野邊所長外三名ニ面会ス。

家正公、明日静岡へ赴カルルモ、東照宮ノ御例祭ニハ不参スヘキヲ以テ之ヲ諒セラレンコトヲ乞フ旨、伝言ヲ依頼ス。

〔欄外〕

○館林三喜男ハ午前八時三十分上野発列車ニテ単身赴任ス。

○重友経過良好ナリ。体温通常トナリ、又発疹概ネ消散ス。

○泰治ハ益々良好トナル。殆平常ニ近シ。

四月十六日(火)晴 暖

○朝、山口錦洲氏来訪ス。鵜殿備前守等ノ下田開港記念碑建設ノ件ニ付、従来ノ経過及将来ノ方法等ヲ説明セラル。之ニ依リテ意外ノ障碍アリシヲ知ル。山口氏ヲ三輪修三氏ニ紹介ス。

○眞島幸次郎氏来訪ス。清風会總會ニ関シ相談ス。

○鈴木夫人沼津ヨリ來ル。大森夫人同伴シ來ル。

○須山夫人来訪ス。有賀氏トノ縁談ニ付報告アリ。要、面会ス。

○午後三時十五分發ニテ帰郷ス。今回ハ伊澤多喜男氏来泊ノ予定ナルヲ以テ夜具ヲ携フ。渋谷駅ヨリ託送ス。

○柴田彦平氏昨日逝去セシ由、東京宅ヨリ電報アリ。

〔欄外〕

○山口氏ハ、建碑事業ノ資金ハ同氏ノ揮毫ヲ以テセハ取得不能ナルヘキヲ以テ、大家ヲ網羅スル画会ヲ催スコトト為シタルヲ以テ其旨ヲ報告シ、且賛同者ヲ得タシトノコトナリ。而シテ鵜殿女史ハ、伊澤氏カ予ノ命ナリト称シテ氏ヲ會計主任トナスヘシト迫リシ事実ヲ以テ、予ニ対シテ悪感ヲ抱ケリト云フ。

然レトモ予ハ伊澤某ヲ識ラス。其女史ニ迫リタル事柄ハ全然

虚構ニシテ、予ノ最迷惑トスル所ナルヲ告ケタルニ、山口氏ハ大ニ惑ヲ解キ、又其旨ヲ直ニ女史ニ談話スヘシト謂ヘリ。

四月十七日(水) 晴 暖

○早朝南郷村役場ヲ煩ハシ、大坂村役場ヨリ柴田氏十五日午後十時逝去、十九日午後三時葬儀ノ由ヲ知ル。

○十時五十分發ニテ浜松ヘ赴ク。十一時二十四分著。丸菱ニテ中食ス。十二時四十分頃市役所ニ横光市長ヲ訪問ス。本日ノ会合ニ付、打合セヲ為ス。二時頃商工会議所ニ赴ク。鈴木幸作氏其他ト会同ス。

○伊澤氏ハ北原代議士、木下信氏、土木部長杉山宗次郎氏、飯田市長代理助役、県會議員有志等ト共ニ二時六分著。柴田氏ハ二時五十四分著、一同商工会議所ヘ参集ス。浜松側ハ市長、鈴木、津倉、井上、市會議員、県議、二俣町長内山氏、県山林課長、土木部総務課長、金森清茂氏等出席ス。

協議事項ハ治山治水問題及鉄道問題ニシテ、後者ハ、(1)辰野豊橋間四電省管移管又ハ少クトモ省管委任、(2)予定線佐久間線達成ナリ、横光、伊澤、井上、鈴木、津倉、木下、市議長、北原、杉山、山林課長、河井等發言ス。其結果、治山治水問題ハ本会ニテ基幹トナリ、県庁、県治山治水協会ト連絡ヲ取り、適切ナル行動ヲナスコト、鉄道問題ハ期成同志会ヲ作り、市ヲ中心トシテ各地ニ聯絡シテ、即時実行ニ着手スル

コトニ決シ、六時散会ス。ソレヨリ一同ハ市長ノ招宴ニ臨ミシモ、伊澤氏ハ発熱ノ為、弁天島丸文ヘ赴ク。予モ氏ト同車シテ丸文ニ至リ、医師ヲ迎フル手配ヲナス。未、来ラサルモ八時二十七分發ニテ帰ル。

四月十八日(木) 曇 暖

○朝、掛川町役場ニ出頭シ鈴木町長ヲ訪ヒ、昨日ノ状況ヲ報告シ、掛川町モ亦此鉄道問題ニ付、沿道町村ト共ニ共同運動ヲナスヘキヲ告ケ、速ニ浜松市長ヲ訪問スヘキコトヲ勸ム。町長ハ森町長ト電話ニテ打合セヲ為ス。横光市長宛紹介ノ名刺ヲ呈ス。

○午後一時三十六分發乗合ニテ大坂ヘ赴ク為、停車場ニ至リシモ發車ナシ。已ムヲ得ス。普通ノ自動車ヲ雇ヒテ發ス。柴田氏ノ親戚某氏ヲ同乗セシム。二時過大坂著、下車ノ後、少シク徒歩、柴田家ニ至ル。未亡人、主人、はま子、其他ニ弔意ヲ表ス。三時半読経了リ出棺。貞永寺ニ至リ挙式、四時半式終ル。

柴田家ノ配慮セシ自動車ニテ帰宅ス。

○不在中横光市長ヨリ「伊澤氏氣分宜シ、明日帰京ノ予定」トノ電報アリ。

○東京宅ヨリ、柴田氏死去セシモ帰国不能ナル由ノ、山崎昇二郎ノ電報ヲ送リ来ル。

四月十九日(金) 晴 暖

○伊澤多喜男氏見舞ノ為、弁天島へ赴ク。午前七時二十二分發八時十九分著。直ニ丸文別館ニ至リテ見舞フ。昨日ハ發熱アリ、浜松日赤病院長山田博士ノ診察ヲ受ケ看護婦二名附添ヒ居タリ。柴田氏亦在リ。今朝平温(三五・九)ニ復ス。午前中、山田博士來診、横光市長、鈴木幸作、津倉龜作両氏同車ニテ來訪ス。

伊澤氏ノ希望ニ依リ看護婦ヲ解雇シ、終日平臥ス。夕刻マテ發熱ナシ。市長等ハ二時頃浜松へ帰ル。柴田氏ト予ハ丸文ニ泊ル。

○横光市長ニ対シ、自ラ大口豊橋市長ヲ訪問シ、共同運動ニ出ツルノ協議ヲ遂ケラレンコトヲ力説ス。昨日飯田市有志ハ帰途ニ於テ豊橋市側ヲ訪問セシ由ヲ聞ク。

四月二十日(土) 晴 夕曇 夜風雨 暖

○伊澤氏經過佳良ニシテ、昨日ハ平温ナリ。九時山田博士來診ス。博士ノ所見ヲ問ヒ、伊澤氏本日帰京スルニ決シ、乗車ノ手配ヲ市役所ニ依頼ス。出發前横光市長來リ、大ニ世話セラ

ル。
十一時出發十一時三十分發ノ特急富士ニ乗ル。柴田氏同行ス。津倉、井上、市會議長、助役等諸氏見送ル。

予ハ伊澤氏ト別レ市役所ニ至リ、市長ト今後ノコトヲ相談ス。簡單ナル中食ヲ饗セラレ十二時二十分發、一時二分掛川著ニテ帰宅ス。

○本日ハ村有林植栽狀況視察ノ予定ナリシモ、午前中不在ナリシ為之ヲ果スヲ得ス。依テ村役場ニ原田村長ヲ訪ヒ挨拶ヲ述フ。

○掛川町役場ニ出頭シ、鈴木町長ヲ訪ヒ鐵道問題ヲ報告シ、掛川町トシテ將來執ルヘキ態度ニ付相談ス。吉岡八二郎氏、山崎順一郎氏、亦之ニ与カル。町長ハ昨日大石森町長ト共ニ横光市長ヲ訪問(《不在》)セリト云フ。

○帝室林野局出張所ニ岡本^(元)所長ヲ訪フ。所長ノ厚意ニ依リ明後二十二日、白山御料林ノ視察ヲナスコトナル。

四月二十一日(日) 風雨 午後晴 冷

○丸山先生謝恩会ニ臨席ノ為、豊橋へ赴ク。

早朝、西郷村松浦清三郎氏外二名來訪ス。皆同行ノ士ナリ。氏等ノ説明ニ依リ小柳直吉氏ノ同行ヲ求ム。八時二十九分掛川發十時三分豊橋著。出迎ノ自動車ニテ市立図書館ニ至ル。十時半開会。丸山会々員静岡市服部〔空白〕氏開会ノ辞ヲ述ヘ、丸山先生ニ記念品トシテ机一脚ヲ呈ス。次テ予及大口喜六氏并大河戸龍秀師ノ祝辞アリ。丸山先生之ニ答ヘ休憩ス。來会者二百余名、近來見ル能ハサルノ盛会ナリ。會員ノ至誠

熱烈、火ノ如シ。

中食ノ後、講演会アリ。大日本報徳社教学部長小野仁輔氏、大口喜六氏ノ講演アリ。三時四十分頃散会ス。

ソレヨリ有志ト共ニ晚餐会ニ臨ミ、六時二分発車ニ大口市長ニ送ラレテ乗車、七時三十五分掛川ニ帰ル。真ニ感激ノ大会ナリ。丸山先生ヨリ蜜柑一箱、筍一籠ヲ贈ラル。

四月二十二日(月) 晴 冷

○帝室林野局掛川出張所長岡元傳一氏ノ案内ニテ大代御料林ノ視察ヲ為ス。七時四十分掛川発金谷ニテ大井川鉄道ニ乗換ヘ八時五十分福用駅下車、徒歩ニテ八高山ニ向フ。十時半社務所著、休憩十一時過出發。天然林ノ伐木状況ヲ見、檜植栽林ヲ視察シテ県山林会経営ノ椎茸栽培地ヲ視察シ、二時大代休泊所ニ著ス。四時過休憩中食ヲ為シ、又需ニ応シテ揮毫ス。

四時前出發、徒歩ニテ大代ニ出テ、番生寺ニ鷲山喜十郎氏ヲ訪ヒ、柿、蜜柑ノ栽培状況ヲ視テ薄暮、金谷ヘ急歩、七時十四分發ニ乗リ掛川ニ歸リ所長ト別ル。

金谷分担任寺田五郎平氏ハ白光山社務所ヨリ番生寺マテ同行世話セラル。此日徒歩全惣六里余、甚有益ナリキ。

○石野元次郎氏来訪シ在リ、九時過マテ談話ス。

四月二十三日(火) 晴 寒冷

○午前八時五十三分發ニテ帰京ス。藤枝ヨリ中村円一郎氏ト同車ス。氏ノ台湾ニ於ケル茶業経営ニ付説明ヲ聴ク。静岡ニテ別ル。

品川ニテ乗換ヘ三時頃帰宅ス。

○帝室治山治水協合理事須山温圭氏ニ電話ニテ来二十六日群馬県視察旅行ヲ断リ了解ヲ求ム。

○寒氣甚シク感冒ノ氣味アリ。

○六時ヨリ日本橋浜町富久屋方ニテ長谷川赳夫氏主催ノ晚餐会ニ出席ス。徳川義親公、溝口直亮伯、松岡均平男出席ス。主人側ハ宮田氏、長氏及予ニシテ總計七名ナリ。歓談、九時散会ス。

○山崎昇三郎、上海ヨリ一昨夕帰京セシ由ヲ聞ク。

○大村ますえ、病氣ナリ。医療ニ関シ注意ヲ与フ。

〔欄外〕

○重友ハ病氣全快ス。猩紅熱ニハアラスト云フ。

○泰治ハ平癒シ、既ニ登校中ト云フ。

○鈴木正夫氏ハ昨日ヨリ麴町区平河町ニ移転シ、みさ子夫人ハ昨日岐阜ヘ帰レリト云フ。

四月二十四日(水) 晴 寒冷

○寒冷ノ為、感冒ニ罹リシヲ以テ午前中臥床ス。

○伊澤多喜男氏ノ病状ヲ問フニ、伊東ニ帰臥シ平常ニ復セリト

云フ。

○丸山方作氏ヨリ書状到着。過日予ノ出席ヲ大ニ感謝セラル。依テ氏ニ返書ヲ認メ、「明朗漫氣」ヲ松岡男、宮田氏、長谷川氏へ惠贈セラレンコトヲ乞フ。

丸山会々員篤農家平松八平次氏（宝飯郡国府村）ヨリ蜜柑ヲ、古田豊平氏（八名郡舟着村日吉）ヨリ柿ヲ、磯部幸一郎氏（豊橋市飯村町）ヨリ甘藷ヲ贈ラルヘシトノ予告ヲ丸山氏ヨリ受領ス。

○松岡均平男へ甘藷栽培法一冊ヲ呈ス。

○五時半ヨリ学士会館ニテ三橋達郎氏ト松岡鈴子嬢トノ結婚披露宴アリ、出席ス。柴田善三郎氏ノ挨拶ニ対シ、桜内蔵相祝辞ヲ述へ、予ノ乾盃辞アリ、八時半散会ス。蔵相、安藤博士、小濱知事、篠田中将、久保氏等ト談話ス。

〔欄外〕

○明日ハ靖国神社臨時大祭ナルヲ以テ出席スヘキノ処、感冒ニ付欠席ニ決定シ、陸軍省へ不参加ヲ出ス。

○吉田善佐氏来訪シ、神代文書研究者某医学博士ノ為ニ宮内省図書寮へ紹介ヲ依頼セラル。

四月二十五日（木）曇 冷

○感冒未癒エサルヲ以テ、靖国神社臨時大祭ニ参列セス。

○朝、赤木正雄氏来訪。去二十三日ノ治水砂防協会会合ノ状況

ヲ報告セラレ、更ニ五月十七日ヨリ視察旅行ヲナスヘキ旨、案内セラル。

○長福人氏来リ、終日畑ヲ開拓ス。午後直子帰来リ、大ニ之ヲ手伝フ。

○鈴木正夫氏来訪ス。午後帰ル。

○不在中、山積セル書類ノ整理ヲナシ、諸方へ返書ヲ發ス。

○新任岩手県知事山内義文氏来訪、挨拶ヲ述ヘラル。

○福島夫人、要ヲ来訪ス。小野田氏ノコトニ付、談話セラル。

○大村武雄氏来訪ス。今般日本發送電会社員ニ採用セラレ清水火力發電所勤務ヲ命セラレタリトテ挨拶ヲ述ヘラル。

○七時ヨリ東横電灯部代沢派出所ニ清風会總會ヲ開ク。会計報告ノ承認ヲ得、本年度予算ヲ議シ会費十錢ノ増徴ヲ可決ス。ソレヨリ庶務報告（入退会、種痘、清掃、舗装手入等）アリ。幹事ヲ選挙ス。二見孝平、黒崎英蔵、小畑敏四郎、宮崎堯、四氏、当選ス。次テ幹事長ノ選挙ヲ行ヒ、予当選ス。九時散会、出席者十四名ナリ。

〔欄外〕

○愛知県宝飯郡国府町平松八平次ヨリ蜜柑一箱ヲ贈ラル。氏ハ熱心ナル丸山会員ノ一人ニシテ、柑橘園五町歩ヲ所有ス。

四月二十六日（金）晴 暖

○朝、服部時計店ニ至リ、Howard懷中時計ヲ受取ル。《文字板締

付、時間補正》

○貴族院事務局ニ出頭シテ、速記録ノ不足ヲ受取ル。又滿支各方面皇軍慰問団加入者ヲ問ヒ、佐藤助九郎氏ノ為ニ南支団参加ノ申込ヲ為シ、事務局ノ了解ヲ得テ氏ノ諾否ヲ電報ヲ以テ照会ス。

予ノ北支第二班参加ハ近藤書記官ヨリ大ニ勧誘ヲ受ケシモ、之ヲ断念スルコトトス。

○小林書記官ト同車シテ岡田文秀氏ヲ訪問。小林氏ト別ル。

○山崎昇二郎ヲ訪ヒシニ、一昨日大坂村ニ帰り、未帰京セスト云フ。

○六時、帝国ホテルニ於テ、森田茂介氏ト庵地洋子嬢トノ結婚披露宴アリ、出席ス。山崎昇二郎来会ス。盛会ナリ。九時半帰宅ス。

〔欄外〕

○重友病氣全快シ本日出勤ス。

渋谷税務署ニ就キ、所得税申告ニ付、取調ヲ為ス。

○国民政府南京還都慶祝等、南京ニ於テ盛大ニ行ハル。

四月二十七日（土）曇、急雨、南風強 暖

○朝、高井孝藏氏ヲ訪ヒ、清風会新旧幹事事務引継会開催ノコトヲ依頼ス。夕刻同氏来訪。明夕七時半予カ宅ニ来集ノ旨ヲ報セラル。

○篠田治策氏ヲ訪問ス。

○終日家居。各種ノ印刷物ヲ読ム。其中、パール、バックノ大地中篇ヲ耽読ス。又国際知識所載ノ各論文、甚有効ナリ。

○中村円一郎氏ノ為ニ、高山三郎氏ニ電話ニテ依頼ス。其結果ヲ中村氏ニ通信ス。高山氏来月十日頃迄滞京ニ付面会ヲ勧ム。

○三橋四郎次氏ヨリ新茶ヲ贈ラル。

○杉本良氏ニ対シ米穀需給調節、木炭配給ニ関スル衆議院委員会速記録ヲ呈ス。

○富山県佐藤助九郎氏ヨリ南支方面皇軍慰問団参加ノ旨、事務局へ直接ニ返電アリシ由、電話アリ。

○夕、鈴木正夫氏来訪、帝劇見物ニ遣ル。泰治モ看劇ス。愛の家資金募集ニ応シテナリ。

四月二十八日（日）雨、夕ヨリ晴 冷

○朝、徳田政信氏来訪。東洋大学へ入学許可トナリシ由ヲ告ク。氏ノ需ニ依リ静岡育英会資金出願ノ紹介人トナル。

○午後一時発横浜ニ至リ、角皆利策ヲ訪フ。縁談ニ付キ問ヒ、且頼ム。又人絹ノコトヲ聴ク。四時半退去帰宅ス。

○七時半ヨリ清風会新旧幹事ノ事務引継会ヲ催ス。高井、岩井、小畑、里崎四氏来会ス。協議ノ結果、前期ニ小畑（庶務）、里崎（会計）両氏ヲ煩ハシ、後期ニ二見（庶務）、宮崎（会計）両氏ヲ煩ハスコトトシ、各種事務ノ打合せヲナス。而シテ高

井、岩井両氏ヨリ明日夫々ニ引継ヲナスコトヲ申合セ、九時
前散会ス。

○ソレヨリ散歩ス。冷氣甚シ。

四月二十九日(月) 晴 冷

○八時二十三分上野發臨時列車ニテ前橋へ赴ク。十時五十一分
著。館林夫妻及葉子ノ出迎ヲ受ケ、徒歩ニテ官舎ニ至ル。

昼食後館林及二児ト共ニ県庁裏附近ヲ散歩ス。ソレヨリ一旦
帰宅シ、更ニマス子ヲ加ヘ郊外ノ遊園地マテ散歩ス。往復里
余、両児能ク歩ミタルモ大ニ疲労ス。夜一泊ス。

○群馬県各地ハ霜害殊ニ多シ。今曉異常ノ寒氣ヲ感シタリ。

○館林ニ天明三年浅間山大噴火記録利根川史ヲ供シ、以テ県治
ノ資トナサレム。

四月三十日(火) 晴 暖

○昨夜熟眠ス。

○館林ハ今朝高松宮殿下、太田町ナル中島飛行機製作所へ御来
臨遊ハルルニ付、知事代理トシテ之ニ赴ク。八時發車、予ヲ
前橋駅ニ送ル。八時二十三分發、マス子、葉子、見送ル。十
時三十分上野著、省電ニ乗換ヘ東京駅ニ下車ス。

○帝室林野局ニ岡本監理部長ヲ訪ヒ、去十七日浜松市会合ノコ
トヲ報告ス。部長ヨリ信遠関係方面ノ御料材伐出量調査表ヲ

受ク。次ニ寸又川上流視察ノ件ニ付、林野局ノ配慮ヲ求ム。

○大井川電力会社ニ結城安次氏ヲ訪ヒ、議員団視察旅行ニ付、
便宜ヲ与ヘラレンコトヲ求ム。偶マ金谷ヨリ、支配人中村嘉
平、主任技術者鈴木高次両氏来合セアリ。臨時車特發ノコト
ヲ諾セラル。又大井川電力会社常務取締役後藤茂氏モ在リ。
千頭旅館、崎平發電所見学ニ付、配慮ヲ諾セラル。

○右件ニ付、議員側勧誘方ヲ華族会館ニテ関義寿男ニ依頼ス。
〔欄外〕

○四時半ヨリ五時半マテ華族会館ニテ高楠博士ノ「東西思潮合
流ノ機縁」ナル講演ヲ聴ク。此会合ハ小村侯、松岡、近藤両
男ノ發起セルモノニシテ、甚有益ナリ。来聴者亦多シ。

○所得額届出ヲ為ス。

五月一日(水) 晴 暖

○早朝犬ヲ連レテ清風園ヲ散歩ス。

○一木男爵病氣ノ由ヲ野口明氏ヨリ昨日聞キタルヲ以テ、十一時
過往訪ス。去月中旬感冒ニ罹リシヨリ以来、三回程高熱アリ、昨
日来三ヒ下熱セリト云フ。若夫人ニ導カレテ病牀ニ見舞フ。直ニ辞
去ス。

○十二時中央亭ナル日本国際協会午餐会ニ出席ス。外務省欧亜局
第三課長石井清氏ノ蘭領東印度問題ニ関スル講話ヲ聴ク。的確
ニシテ甚有益ナリ。

○徳川家正公三同車シテ華族会館へ赴ク。車中大森某氏カ某学校ニ二宮翁銅像ヲ建立スルニ付、「報徳」ノ二字ヲ揮毫セラレンコトヲFrazee氏ヨリ依頼アリシ件ニ付語ラル。三会堂マテ送ラル。

○三会堂ニ須山温圭氏ヲ訪ヒ、帝国治山治水協会ノ視察旅行ノ状況ヲ聴ク。東横ニテ斬髪シ五時頃帰宅ス。

○山崎昇二郎夕刻来訪ス。夕食ヲ共ニシ十時過マテ談話ス。明後夕発、上海へ帰任スト云フ。

○重友本日文書係ニ転任、人事係兼務ナリト云フ。

五月二日(木) 晴 暖

○早朝飯田英作氏ヨリ鈴木与平氏今曉逝去ノ由通知アリ。八時過聖路加病院ニ弔問ス。夫人、嗣子夫妻及室伏氏等ニ面会ス。室伏氏ニ対シ議院へ届書提出ノコト、特旨叙位申請ノコト等ヲ相談ス。

○貴族院ニ出頭シ右届書ヲ認ムルコトヲ依頼ス。室伏氏ヨリ使ヲ以テ之ヲ受取ル。

○幸俱樂部ニ矢吹男爵ヲ訪ヒ、大井川方面視察旅行案ヲ実行スルニ付希望ヲ問フ。男爵ハ九日、十日ニ困難ナリト答フ。依テ六月十日ヲ期スルコトトシ、林野局及大井川鉄道ニ其旨ヲ通セシニ、矢吹男ヨリ十六、七両日ノ中ニテハ如何トノ申出アリ。依テ再變更ニ付岡本管理部長、結城安次氏ニ協議決定ス。旅行予定表其他ノ手續ハ幸俱樂部ニテ行フコトトス。

○佐藤助九郎氏ヲ訪問シ南支方面皇軍慰問ノ件ニ付談話ス。

○日本俱樂部總會アリ。出席セシカ直ニ退出帰宅ス。

○落合伊作氏、夫人子供ヲ連レ上京来訪セシニ、予メ打合せナカリシ為面会ヲ得ス。遺憾且氣ノ毒ナリ。

〔欄外〕

○鈴木与平氏逝去ノコトヲ関屋貞三郎、柴田善三郎、中村円一郎三氏ニ通ス。

○城所長六氏長男和一氏、赤堀永佐氏長女和子嬢結婚披露ニ付、六時水交社ニ出頭ス。

○頗盛会ナリ。軍令部次長近藤信竹中将同夫人、陸軍歩兵大佐山口金吾氏、城所元七氏、鈴木二平等ニ面会ス。

五月三日(金) 晴 南風強 暖

○早朝例ノ如ク散歩ス。

○朝、鈴木二平来訪ス。十時頃帰ル。昼頃ノ列車ニテ帰宅スト云フ。

○二時茶業組合聯合會議所ニ中村円一郎氏ヲ訪フ。貴族院議員ノ大井川方面視察旅行ニ付依頼ヲナス。氏ハ天城山事業ノ処理ニ付所見ヲ質サル。予ハ之ニ対シテ適當ノ方法ヲ考慮セラレンコトヲ求め、厚ク謝意ヲ表ス。三橋氏多額議員立候補ノコトニ付中村氏ノ意見ヲ問フ。中村氏ヨリ大村武雄氏ノ態度不可ナル旨ヲ告ケラル。

○四時鉄道協会ニ開会ノ日本国際法協会總會ニ出席ス。諸般ノ報告ノ後決算ヲ承認シ予算ヲ可決ス。ソレヨリ婦人部ノ報告アリ。

了テ石井会長ノ国際關係ニ関スル所感ニ付テノ演説アリ。次ニ小川郷太郎博士ノ日本ト支那ノ經濟關係ニ付講演アリ。甚有益ナリ。七時ヨリ晚餐会アリシモ欠席ス。八時帰宅。

○鈴木正夫、大森健一郎兩人來訪ス。大森ハ一泊ス。

○小説 Pearl S. Buck ノ大地第二篇 Sons of 讀了ル。

○小田原勇氏ヨリ新茶一缶ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○徳川公爵家々令木原清氏ヨリ電話アリ。「鵜殿霞舟女史去月二十日死亡シタルニ付、記念建碑資金募集ノ為ニスル画会ハ開會困難トナリ、從テ建碑亦行ヒ難シ。然ルニ女史ノ言ニ依レハ女史ハ公爵家ヨリ公債ヲ贈ラルノ約アリトノコトニ付、之ヲ頂戴シテ事業遂行ノ資ト致度」トノ書面、女史ノ親戚ト称スル某女ヨリ到着セリトテ、之ニ対スル意見ヲ問ハル。予ハ其虚偽ナルヘキヲ告ケ從來ノ不信行為ニ付説明シ、断然拒絶セラルヘキヲ答フ（四、一六記事参照）。

五月四日（土） 曇夕雨 暖

○早朝散歩ス。例ノ如シ。

○午前中、貴族院幸俱樂部有志議員ノ大井川方面旅行ニ付、帝室林野局小畑事務官、安藤茶業試験場長、彭城富士電專務ヘ電話。清水館ヘ電報。小林名古屋支局長、茂呂千頭出張所技手、中村大井川鐵道支配人、大石吉田村長、茶業試験場、宮本茶業

組合聯合会理事ヘ書狀ヲ発ス。又三浦安藏氏ニ依頼シテ以上及大井川電力、大井川鐵道ヘ日程ヲ送付ス。

○三橋四郎次氏ヘ電話ニテ貴族院多額納税者議員立候補ノ意向ノ有無ヲ問ヒ、卑見ヲ述フ。氏ハ先輩ノ勧誘アリ、且有力ナル援助ヲ得ルニ於テハ出馬ノ意アリト答ヘラル。而シテ静岡市ノ向背ニ依ルヲ以テ、出馬ニ先チ之ヲ確保スヘシトスルノ意見ニ一致ス。

○午後、要ト共ニ角替ヲ横浜ニ訪問セントシテ用意ヲ為シタルニ、横浜市故朝田又七氏未亡人來訪シタルヲ以テ中止ス。

○夕、長松院小塚宗憲師來訪ス。夕食ヲ呈ス。

○大森健一郎ハ午後一時頃下谷山崎方ヘ赴クトテ辞去ス。

〔欄外〕

○米内内閣總理大臣ヨリ国民精神總動員本部ノ設立ニ伴ヒ、精動委員會廃止セラレタリトテ、委員トシテノ尽力ニ対シ謝意ヲ表スルノ書狀四月二十六日附ノモノ本日到着ス。

○上海法幣暴落、去二日ヨリ始マル。我国ノ金融界經濟界ニ及ホス影響ノ益深刻ナルヲ憂ヒシム。

五月五日（日） 小雨 冷

○帝大創立記念日ニ当リ各部展覽会アリ。泰治ノ誘ヒニ依リ工學部冶金科ヲ見學ス。十時半、要、なほ子、興三同伴出發、之ニ赴ク。大森健一郎ヲ誘ヒシモ遂ニ來ラス。正門前ニテ空シク待チシモ竟ニ要領ヲ得ス。冶金ニ関スル各種ノ成績ヲ觀、又自動車製作ノ

活動写真ヲ看覽ス。二時本郷四丁目明治製菓食堂ニテ中食シ、電車ニテ帰ル。

○端午ノ節ニ当リ強飯柏餅等ヲ喫ス。又菖蒲湯ニ入ル。

○夕、角替利策来訪ス。なほ子縁談ニ付調査ノコトヲ諾セラル。甚好都合ナリ。今朝電話ニテ往訪ノ都合ヲ問ヒシニ、午後学会ニ出席ノ為出京ストノコトニテ序ヲ以テ来訪ヲ得タリ。九時四十分頃帰ル。

○興三夕刻ヨリ頭痛アリ。夜三十八度五分ニ達ス。

五月六日(月) 晴 冷

○興三発熱ノ為休校ス。重友モ亦欠勤ス。午後、堀先生来診ス。興三八風邪、重友ハ胸部レントゲン写真撮影ヲ要ストノコトナリ。

○三時軍人会館ニ於ケル培本塾理事会ニ出席ス。柴田、篠田、榛葉、小田原、須原主事出席。十四年度決算ヲ研究シ、十五年予算案ヲ議了シ且将来歳入確充ノ方法ヲ論議ス。此点ハ柴田氏ノ考慮ニ一任ス。最後ニ評議員会ヲ十一日午後二時ト定ムル由ヲ聞キ、五時半散会ス。

○六時ヨリ中学校長ヲ招キ静岡育英会ノ懇談会アリ。出席ス。今朝育英会ヨリ此会中止ノ由電話アリシモ、誤ナリシコト分明ス。然レトモ主人側ハ久保、飯田、篠田、児玉、宇佐美ノ諸氏ニ過キス。校長側ハ静岡葦山両校長ノミノ欠席ナリ。食事ヲ為シ懇談ス。予ハ八時退出、急キ帰宅ス。

○遠州学友会水泳部幹事長壽彦、大塚博両氏来訪。水泳部関係者ノ遠足会、用品(船、筏、脚立)新調費寄附募集、会務実行方法改善方(部長更任)等ニ付意見ヲ交換ス。

〔欄外〕

○伊澤多喜男氏ヨリ電話アリ。一昨日伊東ヨリ帰京セリト云フ。而シテ病氣ハ平癒セシモ身体衰弱容易ニ回復セスト云フ。

○一木男爵ノ容体ニ付電話ニテ見舞ヒシニ、最近平温ニ帰シ漸次良好ナリト云フ。

○佐々井信太郎氏ヨリ書状到着。同氏来十四日渡満旅行ニ赴クト云フ。

○朝、福島夫人来訪ス。要面会。結婚問題ニ付談話ス。

五月七日(火) 晴 暖

○十一時伊藤和三郎氏ヲ訪ヒ病氣見舞ヲ為ス。氏ハ三月末肺炎ニ罹リ危急ニ陥リシモ回復シタリトテ応接室ニ来リ面会ス。午前午後二旦リ予算委員会速記録ヲ読ム。

○午後四時軍人会館ニ於テ静岡育英会理事会アリ。出席ス。(1) 静星寮土地建物買収ノ件 (2) 十四年度決算確定ノ件 (3) 理事及学務委員トシテ朝比奈策太郎氏推薦ノ件ヲ議ス。米山監事ヨリ石田礼助氏ノ辞意ヲ翻ス能ハストノ報告アリ。

○夕、角替利策氏来訪ス。小川氏ニ問ヒタル結果ヲ報告セラル。

〔欄外〕

○安部磯雄氏ヲ党首トスル勤労国民党ハ、階級闘争ヲ誘起スル虞アルモノトシテ、結党ヲ禁止セラレタリ。

五月八日(水) 半晴 暖

○朝、散歩例ノ如シ。

○同成会例会(十時)ニ出席ス。塚本清治、入江貫一、米山梅吉、大谷八平諸氏出席ス。伊澤氏ヨリ病氣回復セシモ、疲労甚シキ故ヲ以テ欠席ノ旨電話アリ。時事ニ付所見ヲ交換ス。甚有益ナリ。十二時散会ス。

○十六、十七両日ノ大井川方面産業視察旅行計画ニ付、事務関係ノ打合せヲ為ス。

○一時頃貴族院事務局ニ瀬古書記官長ヲ訪ヒ、無事帰朝ヲ祝ス。偶マ松平議長登院セラレシヲ以テ祝意ヲ表ス。読書室ニ於テ防共關係條約文ニ付取調ヲ為ス。

○瀬古書記官長來訪セラレ御土産品ヲ贈ラル。

○要ハ伊藤、笥岡夫人ト塚本夫人ヲ訪問ス。

○重友ハ寛醫院ニ至リ診察ヲ受ケ血液沈降試験ヲ受ク。又寛博士ノ紹介ニ依リ帝大ニ至リ胸部ノ写真ヲ撮ル。

〔欄外〕

○入江貫一氏ヨリ同氏所有宅ノ整理費二十二円二十銭ヲ受取ル。夕刻植木屋來リ之ヲ渡ス。

五月九日(木) 晴 暖

○早朝散歩ス。例ノ如シ。

○九時男爵松岡均平氏ヲ訪ヒ、大井川方面産業視察旅行ニ際シ、氏ノ希望ニ係ル丸山方作氏トノ面会ハ不可能ナル旨ヲ告ケ、諒解ヲ求ム。ソレヨリ大日本報徳社ノ事業及培本塾等ニ付説明ヲナス。

○十一時頃幸俱樂部ニ出頭、公正会古谷氏ニ面会シテ、昨日大井川鐵道会社中村嘉平氏ヨリ受領セル時刻表ヲ示シテ新二日程表ヲ作成シ、旅行参加議員及關係方面へ名簿ト共ニ配布方ヲ依頼シ、且石間尚及中村嘉平氏へ謝狀ヲ發ス。参加者議員十三名也。

○日本俱樂部ニ至リ中食ス。ソレヨリ茶業組合ニ中村田一郎氏ヲ訪ヒ、前記旅行ニ付打合せヲ為ス。偶宮本雄一郎氏モ來会アリ、同氏ニ面会シテ依頼ヲナス。其結果中村氏邸へモ立寄ルコト、藤相鐵道山田平四郎氏、榛原魚田組合長久保田恭氏へ依頼狀ヲ發ス。

○横浜新興俱樂部ニ佐々井信太郎氏ヲ訪ヒシニ、秋田県へ出張中ナリト面会ヲ得ス。角替ヲ纖維工業試験所ニ訪ヒ、小野田潔氏ノコトニ付取調ヲ結果ヲ問ヒ、又志方、館、武居三教授ニ照会ヲ依頼ス。

〔欄外〕

○午後伊佐勇松氏來訪。越後帰省ノ報告ヲナス。夕食ヲ饗ス。

○福島夫人來訪ス。小野田氏ニ関スル件ニ付要へ内話アリ。其結果夫人ヨリ縁談ヲ断リ來レル真相明瞭トナリ、從テ予ノ京都行ヲ中

止スルニ決シ、其旨ヲ角替へ通知スル為夜書状ヲ發ス。

○夜、鈴木正夫氏來訪ス。一昨日徴兵検査ノ結果、甲種合格ニ決定セリト云フ。

五月十日(金) 晴 暖

○朝、真島幸次郎氏ヲ訪ハントセシニ、同氏ト途上ニテ邂逅ス。依テ清風会ノ用件ヲ相談ス。

長谷川直敏氏ヲ訪ヒ右件ニ付、隣組会合ヲ行ヒテ解決セラレシコトヲ乞フ。其結果山田豊氏ヲ訪ヒシモ、不在ナルカ如ク空シク帰ル。

○午後伊澤夫人及高子來訪ス。夫人ハ夙ク帰り、高子夕刻マテ留ル。角替文子恭子同伴來訪シ高子ト面會ス。

○角替文子ノ談ニ依レハ、利策氏ハ今朝長野県へ出張セリト云フ。而シテ予ノ昨夕投函セシ書状ハ今朝到着セサリシ由ナルヲ以テ、更メテ其内容ヲ告ケ、京都行ヲ断念シタルヲ以テ角替ヨリ志方、館、岡博士ニ対スル紹介状ノ發送ノ見合セヲ求ム。

○今井田清徳氏ノ告別式アリ。青山会館ニ至リ焼香ス。

五月十一日(土) 晴 暖

○午前七時出發。帝都、省線ニ依リテ品川駅ニ出テ七時五十八分ノ汽車ニ乗り、十二時五十分藤枝下車。バスニテ静波ニ赴キ培本塾評議員会ニ出席ス。杉本良氏ト藤枝ヨリ同車ス。評議員会出席

者ハ、柴田、河井、大石、小田原各理事、大石、杉本各監事、相良町長ニシテ、欠席ノ評議員十八名アリ委任状到著シアリ。柴田理事長ヨリ十四年度決算十五年度予算二付大体ノ説明アリ。決算ヲ承認シ次ニ予算案ヲ可決シテ三時半終了散會ス。

○大石川崎町長ノ求ニ依リ柴田氏ト共ニ額面各一枚ヲ揮毫ス。又戦死兵士ノ為ニ墓碑面題字三枚ヲ書ス。

○静波駅ニテ柴田氏ト別レ五時五十一分發ニテ地頭方ニ赴キ、更ニ乗合ニテ御前崎ニ至リ、旅館中西屋ヨリノ出迎ヲ受ケ同旅館ニ投宿ス。

○夜、旅館主人ヨリ御前崎村ノ状況ヲ聴ク。同村ノ實力驚嘆ニ値ス。戸数七百、遠洋漁船十四隻〔各二百屯、六七十名乗組〕。昨年漁獲金額約百万円。甘藷切干収入十七万円、同一段歩収量七百貫等ニシテ、他町村ニテ土地ヲ購入スル者アリ。築港ノ必要痛切ナルモ之カ実現ヲ見ルニ至ラス。故ニ漁獲物ハ清水港其他へ陸揚ケスト云フ。背後交通路トシテ村組合道路ヲ地頭方ニ向テ築造中ナリ。

五月十二日(日) 晴 薄暑

○六時ヨリ七時マテ下御前ノ突端海岸マテ散歩ス。旅館主人ヨリ九時五十五分發自動車ノコトヲ聞キ、同四十五分發著所ニ至リシニ、時刻改正既ニ發車セリト云フ。已ムヲ得スシテ次ノ發車ヲ待ツ。此間約一時間半、小学校ニ至リ漁船体操具其他ノ設備ヲ見

ル。太平洋制覇ノ力此所ヨリ發スルヲ痛感ス。

○十時二十五分發ノ乗合ニテ堀之内駅ニ向フ。車中超満員トナル。十一時四五分著。十二時六分發ニテ清水ニ向フ。藤枝ヨリ山田平四郎氏ト同車シ、議員団ノ為自動車用意ノコトヲ打合ハス。清水ニテ下車。自動車ヲ雇ヒ、故鈴木与平氏ノ葬儀ニ赴ク。

○鈴木氏ノ葬儀ハ忠愛高等小学校講堂ニテ行ハル。予ノ未見ノ盛儀ナリ。式終テ未亡人及喪主一郎氏ニ面会シテ弔意ヲ述フ。鈴木氏ノ自動車ニ依リ清水駅ニ還リ、三時四十七分發ニテ東歸ス。横浜野村洋三氏ト同車ス。又偶然京城ヨリ上京中ノ老夫妻ト同席、渋谷ニテ別ル。昼食ヲ得ル能ハス大ニ疲ル。

〔欄外〕

○浜松市長横光吉規氏ヨリ、帝国製帽会社ニ命シテ特製セシメラレタルソフト帽一箇ヲ贈ラル。

○熊谷三太郎氏ヨリ敦賀特産竈焼鯖二尾ヲ贈ラル。

○堀庫一氏ヨリ富山産鱒すし一箱ヲ贈ラル。

○三浦孫平次氏出征ストテ重友ヲ訪フ。重友一友ヲ招キ送別ノ為会食ヲ為スト云フ。

五月十三日(月) 細雨 冷

○朝、篠田治策氏ヲ訪問ス。氏ハ此程来耳下腺炎ニ罹リシモ大体快癒セリト云フ。熊谷三太郎氏ヨリ贈ラレタル竈焼鯖一尾ヲ呈ス。

○堀医師ヲ訪ヒ健康診断ヲ受ク。

○終日家居ス。

○老乞児来リ、表門ニ雨宿リス。居ルコト三時間計ニシテ去ル。夕刻復来ル。重友之ヲ諭シテ去ラシム。夜、巡查派出所ニ至リ之力取締ヲ求ム。園内居住者ノ為ニ之ヲ申出デシナリ。

〔欄外〕

○健康診断ノ結果 1. 心臓。肥大ナラス静脈管ノ異音依然タリ

2. 血圧。一五〇。前回ニ同シ 3. 尿中蛋白無。糖1/100。

○河合亮之助氏ヨリ新茶一缶ヲ贈ラル。

○議員ノ大井川方面視察ニ関シ、県事務官秋山次郎氏及藤相鉄道山田平四郎氏へ書状ヲ發ス。

〔日記枠外〕

七月十七日 記事参照

五月十四日(火) 晴 涼

○早朝散歩ス。

○赤木正雄氏来訪。京都行特急券ヲ渡サル。

○十一時頃出發、三越ニ至リ齋藤洋氏ニ対シカフス鈕ヲ贈ル。代金十五円ナリ。甚兵衛方ニテ昼食ス。

○三宅坂ニテ陸地測量部地図大江山、三岳山、養老ヲ求ム。

○貴族院事務局ニ出頭。瀨古書記官長ヲ訪フ。支那視察談ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○四時半ヨリ華族会館ニ於テ、高楠博士ノ東西文化ノ調和ニ関スル

講話(第二回)ヲ聴

ク。五時四十五分散会ス。

○七時頃館林三喜男来泊ス。明日ヨリ警察部長会議ニ出席ノ為ナリ。

〔欄外〕

○松浦興市氏ヨリ新茶二斤ヲ贈ラル。大村留吉ヨリ転送アリ。

○丸山方作先生ヨリネーブル柑一箱ヲ贈ラル。之ハ三ケ日町丸山香^{判読不能}□園産ニシテ、嗣子秀夫氏栽培ニ係ルモノナリ。

五月十五日(水) 晴 涼

○早朝散歩ス。例ノ如シ。

○終日家居。旅行ノ用意ヲ為ス。又、宮内省大臣官房秘書課ニ対シ、恩給外ノ所得年額届書ヲ提出(郵送)ス。

○館林ハ今日ヨリ警察部長会議ニ出席ス。七時半出発、明治神宮靖国神社ニ参拝ノ上、九時内務省ニ出頭ノ由ナリ。

○群馬県ノ治水事業ニ付、曩ニ須山温圭氏ヨリ送付セラレタル書類ニ付取調ヲ為ス。

○高子午後一時発ニテ大阪へ帰ルニ付、要及なほ子之ヲ東京駅ニ見送ル。

○夕、鈴木正夫氏来訪ス。

○夜、志田収氏来訪ス。なほ子縁談ノコトニ付紹介セラル。
〔欄外〕

恩給外所得年額届 金六千九百五円 内訳 田所得一、四九二円 畑^リ二六七 宅地^リ一二五 以上静岡県小笠郡南郷村ヨリ生スル分 畑所得四八六 以上同県同郡上内田村ヨリ生スル分 貴族院議員歳費 三、〇〇〇 二男重友給料九七五 但日本電気株式会社ヨリ受タル分 同人賞与五七〇 同上 右御届申上候也 昭和十五年五月十五日 東京市世田谷区北沢二一一 河井弥八

宮内大臣松平恒雄殿

〔日記粹外〕

○六月二十三日参照〔朱字〕

五月十六日(木) 曇次第二晴 薄暑

○公正会主催大井川方面産業視察旅行ノ一員トシテ、且又案内者トシテ出発ス。七時四十五分東京発。一行八明石元長、奥田剛郎、北大路信明、北島貴孝、杉溪由言、千田嘉平、高崎弓彦、坊城俊賢、松岡均平、三須精一、村田保定、矢吹省三、八代五郎造ノ十五男爵、小坂梅吉氏及予ニシテ公正会事務員古谷〔空白〕氏同行世話セラル。沼津ニテ特別弁当ヲ求ム。静岡ニテ小濱知事、秋山事務官出迎ヘラル。又宮本雄一郎氏県茶業組合聯合会議所理事トシテ、所員一名ヲ随ヘ同行終日世話セラル。十二時五十分藤枝下車、藤相山田平四郎、吉田村長大石廉一両氏ノ出迎アリ。山田氏ノ配慮ニテバスニ搭乗、川尻ニ向フ。一時廿分川

尻、魚田組合著。久保田恭氏ヨリ実地ト組合事務所ニテ説明ヲ聴ク。ソレヨリ水産試験場ニ至リ視察。二時半中村氏邸著、秀平氏ノ招待ヲ受ケ少憩ス。

三時四十分牧ノ原農林省茶業試験場著、出村要三郎技師ノ説明ヲ聴ク。了テ金谷駅ニ赴ク。千田男《宮本理事山田氏ト同車》ト別レ原頭ナル御野立所ニテ眺望シ、五時五分新金谷駅著。山田氏ト別レ帝室林野局技師木戸三郎、千頭出張所長廣澤繁夫、大井川電力羽島連、白川應則、富士電力土木課長諸川雄二郎等諸氏ノ出迎ヲ受ケ、特発列車《中村勝平支配人配慮》ニ依リテ千頭ニ向フ。六時九分崎平著、発電所ヲ視察シ六時五十六分同所發七時千頭著、清水館方ニ投宿ス。車中ニテ廣澤氏ト明日ノ予定ヲ打合ハス。

〔欄外〕

○昼食ハ予メ桃中軒ニ注文シアリ。沼津ニテ受取ル。

○藤枝ヨリ新金谷迄ノ自動車(乗合一、タクシー一)ハ茶業会議所ノ接待ニシテ、山田平四郎氏世話セラル。中村円一郎氏不在ナリシモ、秀平氏接待セラル。同邸訪問ハ予定セサリシモ、過日円一郎氏ノ申出アリシニ由リ一同訪問シタリ。

○山田氏ハ静岡ヨリ金谷マテ案内セラレ、大石氏ハ中村邸ニテ別ル。木戸技師ハ名古屋支局ヨリ諸川氏ハ東京本社ヨリ来ル。

五月十七日(金) 晴 薄暑

○議員団一行十五人ハ七時三十分千頭發特発ノ森林鉄道ニテ寸又川上流ニ向フ。木戸技師、唐沢所長及諸川土木課長等同車案内セラル。斯クテ伐木事業水電事業、堰堤等ヲ視テ三時過帰着。三時五十七分千頭發五時六分金谷著、十時半東京著ノ予定ナリ。一行ニ対シテハ帰途静岡ニテ茶菓子弁当ヲ配慮セラル。

○予ハ一行ト別レ小坂梅吉氏ト共ニ八時三十七分發ニテ金谷ニ向フ。金谷マテ戸塚長四郎氏同車案内セラル。十時二十分金谷發小坂氏ハ東京ヘ向ヒ、予ハ静岡ニテ下車ス。

車中中村円一郎氏ト邂逅シ深甚ノ謝意ヲ表シ、又多額納税者議員ノ補欠選挙ノコトヲ問フ。

○十一時四十八分静岡發ノ特急燕号ニ乗り、全国治水砂防協会ノ視察旅行ニ加ハル。車中ニハ大河内輝耕子、保科正昭子、柴山昌生男、江口定條氏、俵孫一氏、植原悦二郎氏《葦崎町長杉山幸男》、木曾三四郎氏、真鍋勝氏(以上議員)、工博真田秀吉氏アリ。赤木正雄氏ハ一行ヲ世話セラル。四時二十五分京都著、田子一民氏、田中好氏、中井一夫氏加入シ、府知事川西実三氏、砂防課長長嶺要氏、河港課長八木三男氏、技師紙谷齊治氏及《府会副議長宮津町長》岡田啓治郎氏ノ出迎アリ。之等諸氏亦一行ニ加ハリ出發(四、三〇)六時三十一分福知山ニ著。旅館平佐方ニ投宿ス(全員四旅館ニ投宿)。

五月十八日(土) 晴 薄暑

○五時江口、赤木両氏ト旧城址朝暉丘ニ登リ四顧ス。ソレヨリ由良川堤ヲ散歩ス。

○八時出発自動車ニテ雲原村ニ向フ。一行ハ前記ノ外小川郷太郎氏ヲ加フ。九時金山村ノ境ヲ踰エテ雲原村ニ入ル。此時村長西原亀三氏出迎フ。村境ニテ大江山赤石嶽放牧事業《五百町歩ヲ三分シ其一ツ、ヲ用フ。牧牛四万頭目標》説明ニ始マリ当生帰ノ抑制栽培《貯藏雪ヲ利用ス》、桑園改良及農家移転ニ依ル蚕増産、上三岳川堰堤、耕地交換整理ト農家ノ移転実績、之ニ依ル自作農ノ創設。便所ノ改良ニ依ル寄生虫絶滅計画。各種砂防実績ノ説明等アリテ、村長ノ邸ニ招カレ文庫ヲ見、記念撮影ヲ為ス。ソレヨリ横尾川筋ノ農耕地交換砂防実施ヲ見テ、再ヒ西原邸ニ入り昼食ヲ饗セラル。用フル所ノ原料悉ク其地ノ所産ナリ。鱒、鮒、当生帰、酒、自然薯、椎茸等咸佳味ナリ。ソレヨリ役場ニ至リ施設ノ概要ヲ聴キ、又各種貯金ノ制度ヲ説明セラル。了テ産業組合ノ柿渋製造工場ヲ見、深山川整地、鱒谷川養鱒、与謝峠牧場ヲ視察ス。

○宮津ヘノ途上与謝村ニテニッケル鉱採掘会社ノ現況視察、加悦町ニテ丹後縮緬組合精練工場視察ヲ為シ、五時三十分宮津町茶六別館ニ投宿ス。

〔欄外〕

○雲原村ノ興隆ハ村長西原氏ノ力ナリ。同村ハ昔ヨリ水害ヲ被ルコト夥シカリシヲ以テ、先ツ各川ニ砂防ヲ行ヒ、之ニ伴ヒテ農地整

理交換及農家ノ移転ヲ実行シ、牧畜植林等ニ及、独活、鱒、柿渋等各種ノ産物ニ努メ、又畜牛ハ各戸ニ頭ヲ標準トシテ驀進ス。而シテ村民一致努力已マサルハ、村長西原氏ノ指導ニ依ル。

村内、雲原川境域砂防費左ノ如シ

雲原川本流 一三、一八三《国庫補助砂防工費》三兵川 一五九、九二八 上谷川 二九、三五〇 山谷川 二五、〇八七 横尾川 二七、四七三 深山川 一〇、〇一四 鱒池谷川 四、〇一二 合計 二六九、〇四七

五月十九日(日) 晴 薄暑

○朝、京都府土木部長岩崎雄治、宮津土木事務所長畑董両氏来訪ス。

○七時旅館出発。汽艇ニ依リテ山嘉旅館前棧橋ヲ出テ宮津湾ヨリ水路ヲ進ミ、与謝海ニ入り七時四十分一ノ宮前ニ上陸。直ニ国幣中社籠神社ニ参リ、拝ス。ソレヨリケーブルニ依リ傘松ニ登リ、天橋ノ美景ヲ觀賞ス。休息中撮影アリテ、再ヒケーブルニテ府中ニ下リ宮前ニテ乗船、文殊棧橋ニ上陸、橋立神社ニ詣テ引返シテ智恩寺ヲ觀、十時六分天橋立駅発京都ニ向フ。町長岡田啓治郎氏天橋立綱索鉄道株式会社専務山本三省氏等大ニ周旋セラル。綾部駅ニテ西原氏ト別レ一時二十八分京都駅著、二時三十一分京都発四時三十分大垣三下車ス。小川氏杉山氏京都ニ下車ス。

○知事宮野省三氏等出迎フ。知事ト同車シテ養老ニ向ヒ、千歳楼ニ

入ル。一同眺望絶佳ノ客室ニテ知事ノ饗応ヲ受ク。

○食後江口氏ト暗黒ナル森林ノ中ヲ散歩ス。旅館ノ入口ノ茶室ニ導カレ之ニ入りテ寐客ノ怒ヲ買フ。

五月二十日(月) 晴 薄暑

○五時江口氏ト共ニ赤木技師其他数氏ノ案内ニテ、滝及対岸ヲ散歩ス。

○八時一行ハ養老滝ヘ赴ク。其間予ハ江口氏ト旅館ニ留リ其帰ル^マ待ツ。八時半自動車ニテ出発。先ツ古津村般若谷ニ至リ宏大ナル工事ノ完成セルヲ視察ス。同村出身代議士伊藤東一郎氏亦来リテ大ニ説明セラル。ソレヨリ帰途ニ於テ山崎川ヲ見、更ニ滝川ノ工事未完成ノモノヲ見ル。斯クシテ工事ノ効果一目瞭然タリ。而シテ最近最憂フヘキハ、連山ノ材木悉ク伐採セラルコト、是ナリ。過クル所ノ各地木材山積ス。而シテ薪材最多キヲ見ル。十一時半帰宿ス。

○千歳楼ニテ昼食シ、一時十分自動車ニテ発ス。一時三十五分養老駅ヨリ貸切電車ニテ桑名ニ向フ。車中ニテ赤木技師、内務省名古屋土木出張所長、伊藤代議士等ヨリ説明ヲ聴ク。桑名ニテ俵氏ト別ル。二時四十七分桑名発三時七分名古屋著。駅長室ニ入ル。名古屋市会副議長等来訪シ、茶菓ヲ饗セラル。

○三時四十五分発植原代議士、柴山男ト別レ東上ス。沼津ニテ江口氏、横浜ニテ関男、真田博士ト別ル。東京マテ同車セシハ大河内

子、小川氏、木檜氏、赤木氏ナリ。徹頭徹尾赤木氏ノ配慮ニ頼ル。九時著。十時帰宅ス。

〔欄外〕

○矢田部夫人来泊。

○館林三喜男ハ今夕帰任セリト云フ。

五月二十一日(火) 晴 暖

○昨夜熟眠ス。

○終日家居。旅行中ノ書類ノ整理ヲ為ス。又不在中受領セル書状其他ノ用件ヲ処理シ、各方面ヘノ謝状ヲ発ス。

○大掃除ノ定日ナルヲ以テ、貴族院当番明ケノ人二人来リ行フ。○夕刻赤木正雄氏来訪シテ挨拶ヲ述ヘラレ、且旅費ノ負担ハ会ニ於テ為スヘシト申出テラル。予ハ赤木氏ノ配慮ヲ深謝スルト共ニ、各人ヲシテ相当ノ旅費ヲ負担セシムルヤウ強キ希望ヲ述フ。

○浜松市役所中村勝五郎氏ヨリ去二月二十五日ノ講演ニ対スル文部省ノ謝儀金五十円ヲ送ラル。

○青森県知事ヨリ十四年度分ノ支払通知書(金十四円八十銭)ヲ受ケタルモ、予ノ関知セサル所ナルヲ以テ其書状ヲ掛川本社ニ返還シテ、取調ノ上適當ノ処理方ヲ頼ム。

○故鈴木與平氏令嗣一郎氏来訪。謝意ヲ表ス。

○銀座裏ニ今朝出火アリ。西谷染物店全焼ス。

〔欄外〕

○朝比奈アキ子、今朝十一時女兒分娩。母子健全ノ由電話アリ。

○若槻某氏ヨリ電話ニテ入田整三氏ノ紹介アリト称シ、予ニ対シ旧川越藩主ノ嫡子ニ紹介ヲ依 頼アリ。

○中華民國国民政府特派使節一行、今朝東京ニ著ス。全員二十二名陳公博氏(立法院長兼政治訓練部部长)ヲ正專使トス。

○岡山県藤井静一氏ヨリ塩蒸鯛一尾ヲ贈ラル。

五月二十二日(水) 晴 暑

○早朝起床ス。泰治及興三カ青少年学徒ニ賜リタル勅語奉戴式ニ出動スルヲ以テナリ。興三八五時半泰治ハ七時出發ス。

○十時同成会例会ニ出席ス。伊澤、柴田、小坂梅吉三氏モ出席ス。伊澤氏ト三信問題等ニ付談話ス。

○十一時四十五分貴族院ニ出頭ス。両院議長ノ中華民國国民政府特派使節一行招待午餐会ニ出席ス。両院議長副議長各派交渉委員等七八十名ニテ一行ヲ歓迎ス。食堂ニテハ松平議長及小山議長ノ歓迎辞アリ。之ニ対シテ陳公博氏ノ挨拶アリ。何レモ通訳ヲ附ス。宴終テ一同ハ院内ヲ案内セラレ、三時過中央玄関前ニテ記念ノ撮影ヲ為ス。服装ヲ自由トナシタル点、宴後直ニ退出シ來賓ヲ置去リニシタル議員多カリシ点等不滿少カラス。

○丸ビルニ至リ榛原方ニテ封筒及書翰箋ヲ求ム。

○雲原村及養老方面視察ノ記事ヲ整理ス。

〔欄外〕

○独軍仏白ニ進出、著シク、英仏ノ危機逼ル。

中華民國国民政府赴日答礼使節

專使 陳公博 立法院長

副專使 褚民誼 行政院副院長兼外交部 〃 長

使節 陳群 内政部長

〃 林柏生 宣伝部 〃 長

〃 陳君慧 中央政治委員会委員

參贊 陳伯藩 立法院外交委員会委員長

〃 紀華 〃 經濟委員会委員長

〃 湯澄波 工商部次長

〃 徐本謙 中央懲戒委員会委員

隨員 吳兆連 海軍部軍械庁々長海軍少將

〃 高勝岳 軍政軍參事陸軍少將

〃 張超 文官処秘書

〃 李蔭南 行政院參事

參贊 徐世清 内政部礼俗司 〃 長

隨員 譚覺眞 外交部參事

參贊 楊鴻烈 宣伝部編審主任

隨員 孫湜 駐東京弁事所 〃 長

〃 孫理甫 外交部科長

以上簡任

秘書 耿善鼐駐東京弁事書秘書

〃 鐘任寿 宣伝部秘書

〃 張而康 政治訓練部專員

〃 周東伯 外交部專員

以上右專任 合計二十二名

五月二十三日(木) 晴 薄暑

○朝、矢田部盛枝氏來訪ス。神職會議ノ為滯京セシモ終了ニ付、午後帰任スト云フ。十二時頃帰ル。

○午後木村通氏來訪ス。滿洲方面ノ經濟事情ニ付質問ニ応シテ説明セラル。

○四時頃岡田忠彦氏ヲ訪ヒ、碾茶三缶ヲ呈ス。同氏及夫人不在ナリ。

○学士会館ニ至リ飯田英作氏ニ面会ス。久保春海氏ヨリ同氏ヲ經テ申入レラレタル縁談ノコトヲ聴取ス。同氏ノ厚意ヲ謝シ、帰宅ノ上相談スヘキヲ答フ。

○六時齋藤常三郎氏嗣子洋氏ト松井健氏長女すみえ子嬢トノ結婚披露會、学士会館ニ在リ。招カレテ出席ス。男爵山川洵氏媒酌人トシテ披露ヲ為シ、辰野澄氏祝辭ヲ述ヘ、松平恒雄氏ノ發聲ニテ乾杯ヲ為ス。頗盛會ナリ。八時半頃退出。岡本愛祐氏ノ自動車ニ便乗シテ帰宅ス。

○館林マス子、葉子ヲ伴ヒ來泊ス。

〔欄外〕

○近年久シク降雨ナシ。水道枯渴シテ市民ノ困難甚シ。年末ノ食糧不足ヲ憂フ。

○独軍長驅英仏海峡ニ達シ英國攻撃ノ時機迫ル。

五月二十四日(金) 曇 冷

○十時頃一木男爵邸ニ至リ病氣見舞ヲ為ス。新夫人不在ニ付、護衛警察官〔空白〕氏ニ就キ近來ノ經過ヲ聴ク。

○帝室林野局三矢長官ヲ訪ヒ、大井川上流視察ノコトヲ深謝ス。又岡本監理部長真崎業務部長ニモ挨拶ス。然ルニ偶小林名古屋支局長ニ出會ヒ謝意ヲ表ス。和田御用掛ニ面會シ、全国治水砂防協會ノ事務所トシテ三會堂ノ一室借用ヲ依頼セシニ、真崎氏ニ申入ルヘシトノコトニテ同氏ニ依頼ス。真崎氏ハ又佐藤銀五郎博士ニ依頼セヨト謂ハル。

○富士水電ニ彭城社長ヲ訪ヒシニ不在ナリ。依テ諸川雄二郎氏ニ面會シ謝意ヲ表ス。次テ大井川電力及鐵道ニ結城安次、後藤茂両氏ヲ訪フ。

○第一八五回國際協會午餐會ニ出席ス。アメリカ局第二課長洪澤信一氏ノペルー国リマ府邦人排斥暴動ニ関スル講話ヲ聴ク。

○藤井種太郎博士ノ招ニ依リ、西晋一郎博士歡迎晚餐會ニ出席ス。六時過藤井邸著、西博士ノ外、堀維孝氏、加藤虎之亮氏ニ在リ、快談十時ニ及ヒ散會ス。駅マテノ自動車ヲ饗セラル。新茶丸ボ

ーロヲ呈ス。

〔欄外〕

○昨日飯田英作氏ヨリ内話アリシ件ニ付、要ト相談ス。

○富藤洋氏新夫人ト共ニ来訪ス。

○杉本良氏来訪ス。過日同氏ニ供覧セシ高皇后伝、内訓及女訓
《御下賜名》ヲ返サル。

○赤木正雄氏来訪シ、過日旅行ノ実費トシテ金二十五円ヲ請求セ
ラル。直ニ之ヲ支払フ。三会堂ノ室借入ノ件ニ付、報告ヲ為ス。

五月二十五日(土) 雨 冷

○久々ニテ降雨アリ。天地一新ノ思アリ。然レトモ未水量ノ不足ヲ
充スニ足ラス。

○十時徳川公爵邸ニ至リ、敏子様御結納済マセラレタルヲ祝賀シ、
併セテ相談人及井出財政顧問ヨリ進呈スヘキ御祝品ノコトヲ申出
テ、之ヲ取扱ヲ安井家扶ニ依頼ス。《御品物代百円外、魚料若干
ヲ井出、直野、土方、成田、河井、井出ニテ進上、品物調達ヲ安
井氏ニ託ス》

○十一時公正会ニ於テ開会セル、伊藤正徳氏ノ欧洲ニ於ケル海軍ノ
状況ニ関スル講話会ニ出席シテ傍聴ス。議論的確、甚有益ナリ。

○十二時幸俱樂部午餐会アリ。出席ス。

○幸俱樂部ニ於テ花房崎太郎氏ヨリ、公正会、同成会、同和会ノ
歴史ノ原稿ヲ渡サル。本月中ニ閲覽シテ返付ノコトヲ約ス。二時

日本俱樂部ニ至リ右原稿ヲ読ム。

○三時二十分寛繁博士ヲ訪問シ、重友病氣ニ付説明ヲ聴キ、又今
後手当ノ方法ヲ問フ。

○夕、野口明氏来訪ス。一木先生ノ近状ニ付談話アリ。主治医山川
博士ハ樂觀スト云フモ、臥床長キニ亘ルヲ以テ十分ノ加養ヲ要ス。

○宮本甚七翁伝記完成披露会アリシモ、出席スル能ハス。依テ編纂
者山本巴水氏ニ対シ祝電ヲ呈ス。

五月二十六日(日) 晴 冷

○終日家居。公正会ノ沿革史ヲ読ム。

○午後、伊佐勇松氏来訪シ、戦死軍人騎兵上等兵勲八等功七級
三宅盛利氏《浜町二ノ八九 三宅利平次氏二男》ノ経歴ヲ語り、
予ニ一書ヲ求メラル。之ヲ快諾ス。

○昇三郎夕刻来訪。晩食ヲ共ニス。北支満洲視察談アリ。なほ子縁
談ニ付心配セラル。一泊ス。

○夕刻、遠州学友会講演部幹事五名来訪ス。講演会開催ノコト。
部長改選ノコト等ニ付意見ヲ交換ス。

○泰治ハ今朝学友ト共ニ日光清瀧ノ古河製鍊所見学ニ赴ク。

○午後大森夫人来訪ス。土肥ヨリ来レル女中まさ帰国ニ付、連レ帰
ル。

○矢田部夫人夕刻日光へ帰ル。

五月二十七日(月) 晴 薄暑

○八時過、昇二郎住友支店へ赴ク。今夕帰阪ノ途ニ就クト云フ。

○直子ノ履歴及親族書ト写真トヲ昇二郎ニ託ス。

○小林次郎氏来訪ス。

○十二時十五分東京汎太平洋俱樂部第六百回午餐会ニ出席ス。
来会者約百五十名、頗盛会ナリ。余興大ニ振ヘリ。木村通氏モ来会ス。

○貴族院事務局ニ武村守衛長ヲ訪フ。氏ノ求ニ依リ北支第二班ノ為ニ新茶ヲ宮本雄一郎氏ニ依頼スル手紙ヲ発ス。

○植村澄三郎氏ヲ訪フ。平山省齋翁伝記及年譜ヲ与ヘラル。

○一木男ノ健康、徳田政信氏ノ学費貸与ノ件ニ付相談アリ。植村氏ノ自動車ニ同乗シテ軍人会館ニ至ル。

○静岡育英会評議員会ニ出席ス。(1)決算承認。(2)追加予算案可決。(3)理事補欠ヲ決定ス。次テ理事会ヲ開キ本年度貸費生採用ノ件ヲ決定ス。

○要、マス子、なほ子ハ横浜ニ朝比奈アキ子ヲ訪問ス。

〔欄外〕

○高子ヨリ昇二郎宛ノ葉書、夕刻到着ス。ソレニ依レハ公ニ腹膜炎ノ気味アリト云フ。

五月二十八日(火) 曇 涼

○早朝、徳田政信氏へ貸費不採用ニ付、加藤虎之亮氏ニ打合セヲ為

シ、夕刻植村澄三郎氏往訪ノコトヲ通告ス。

○六時二十分発大和田ニ至リ貴族院ノゴルフ競技会ニ参加ス。長、小林両氏トplayス。Out 55 In 59 611シテ、In 59ヲ採リ 114トナル。会費金十五円ヲ支払フ。又ロッカーヲ借入ル。二時四十五分ヨリ大和田発ニテ先ニ帰ル

○四時三十分ヨリ華族会館ニ於ケル高楠博士ノ講演会ニ出席聴講ス。五時半散会。

○六時植村澄三郎氏ヲ訪ヒ、徳田政信氏ノ件ニ付報告ヲ為ス。其序ヲ以テ贈位叙爵申請ノ件ニ付談話アリ。七時過辞去ス。徳田氏ノコトニ関シテハ、本日塩島金一郎氏ノ来談アリシ由ヲ聞ク。

○夜、伊藤文一郎氏来訪ス。九時過去ル。氏ノ境遇同情ニ堪ヘサルモ、一貫不退転ノ心事感服ノ至ナリ。

五月二十九日(水) 晴 薄暑

○朝、加藤虎之亮氏ヨリ徳田政信氏ノコトニ付電話アリ。今夕同氏植村氏ヲ往訪スヘシト云フ。

○正午、日本国際協会午餐会アリ。海上ビル内中央亭支店ニテ行ハル。犬養健氏ノ日支国交調整ニ関スル具体的説明アリ。大ニ啓発セラレタリ。会衆多数、多大ノ感動ヲ受ク。

○三時十五分東京駅ヨリ乗車帰国ス。中村田一郎氏(藤枝迄)、宮本雄一郎氏(静岡迄)ト同車ス。車中ニテ県内最近ノ経済事情ヲ聴ク。大村留吉ノ出迎ヲ受ケ、徒歩帰宅ス。車中握飯弁当ヲ食

フ。

○平山洋三郎男、名古屋ニ赴クトテ同車中ニ在リ。藤枝ヨリ掛川迄所見ヲ交換ス。

〔欄外〕

○県内一般ニ降雨少ク畑作ニ被害アリ。麦收穫不足ノ所モ見受ケラル。茶ノ数量ハ二割減ナルモ価格暴騰、農家ハ意外ノ収益ヲ挙げタリト云フ。

五月三十日(木) 晴 薄暑

○九時報徳社本社ニ出頭ス。十時ヨリ開会セシ御臨幸十周年記念会ニ出席ス。求ニ依リ、御聖徳ノ一端ヲ謹述ス。記念会後、懇話会開会セラル。鷺山理事司会者トシテ挨拶ヲ述ヘ、ソレヨリ(1)各社ノ紀元二千六百年記念事業ニ関スル報告及施設方法ニ付、熱心ナル協議アリ。(2)国民生活ノ徹底策ニ付テモ多数ノ傾聴スヘキ意見続出ス。最後(3)報徳学校設立ノ協議ニ入り、意見ヲ交換セシモ未具体案ヲ見ルニ至ラスシテ三時散会ス。此日モ握飯ヲ持行キタリ。田辺、河合両理事、榛葉、西ヶ谷、片平、大木、太田、横田、杉本、小野氏等発言ス。

○四時過帝室林野局掛川出張所ニ岡元所長ヲ訪ヒ、培本塾生ノ今夏御料林作業手伝方ニ付協議ス。其結果須原主事ニ書面ヲ発シ不日(成ルヘク速ニ)打合セノ為所長ヲ訪問アランコトヲ求ム。

〔欄外〕

○本日静岡新報夕刊ニ湯浅内大臣辞任シ、後任トシテ佐佐木侯爵就官セラルヘシトノ記事アリ。湯浅内府ノ辞任ノ愈切迫セシヲ感ス。

五月三十一日(金) 半曇半晴 薄暑

○早朝、原田清四郎氏来訪シ、茶畑小作料同氏分及角皆清吉氏分一二、六〇銭ヲ渡サル。

○十時過、報徳社ニ出頭ス。郡農会ニ乗松技師ヲ訪ヒ、本年度各種農産増収計画及其実施方法ニ付説明ヲ求ム。

○本社ニ於テ報徳社小野、太田、戸塚、岩竹、袴田其他諸氏ノ為ニ座談会ヲ開ク。米穀問題ニ関シ十二時半ヨリ一時四十五分ニ及フ。

○午後二時鷺山理事ノ案内ニテ掛川信用組合ニ出頭ス。鷺山氏ノ外吉岡八二郎、黒田芳松、黒田節三、加藤安吉、鈴木理一郎、榛葉謙吉、太田、戸塚、小野、諸氏出席(山崎好知、山崎順一郎両氏欠席)。諸氏ノ需ニ応シテ時局ニ関スル談話ヲ試ム。其間約二時間半。五時ヨリ鷺山氏ノ饗応ヲ受ク。

六月一日(土) 晴 暑

○午前中村社ニ参詣シ、西川杉山両家ニ至リテ撮影ス。又村役場ヘ赴キシモ、村長及収入役不在ナリシヲ以テ、要件ヲ女事務員ニ託

シテ帰宅ス。

○終日家居、取調物ヲ為ス。

○朝、片岡録朗氏来訪ス。明朝令兄ノ鮎獵ニ参加ヲ誘引セラル。然ルニ明日ハ報徳社ノ常会ニ出席スヘキ予定ナルヲ以テ厚意ヲ謝シテ之ヲ断ル。

〔欄外〕

○掛川豊橋間鉄道ノ開通式アリ。二俣ニ盛大ニ举行セラル。

六月二日(日) 少雨晴 薄暑

○今晩降雨アリ。少量ナリシモ万物蘇生ス。九時頃歇ミ次第ニ晴天トナル。

○七時小柳直吉氏方ニ至リ甘藷苗場ヲ見ル。西郷村松浦清三郎氏外一氏来リ、苗蔓切及作畝整地ノ指図ヲナス。村青年来援ス。

○溜池ノ水量ヲ見ル。又簡易木炭窯ヲ撮影ス。

○九時頃平野忠五郎氏来訪。本年配給ヲ受ケタル肥料調書ヲ交付セラル。

○十時ヨリ大日本報徳社本社ノ常会ニ出席ス。求ニ依リ宣伝戦ニ就テト題シ講話ヲ為ス。ソレヨリ丸山方作先生ノ食糧ノ増殖ニ関スル有益ナル講演ヲ聴ク。食後鷺山理事ノ「御民われ生ける驗あり」ナル講話、吉岡八二郎氏ノ「科学ト非科学」ナル講話アリ。三時散会ス。

○三時四十一分発ニテ東京ニ帰ル。掛川ヨリ山田平四郎、宮本雄一

郎両氏ト同車ス。

○加藤虎之亮氏ヨリ徳田政信氏ニ関スル事実取調ノ結果ニ付報告アリ。

〔欄外〕

○湯浅内大臣依願免官トナリ、木戸侯爵内大臣ニ任セラル。

六月三日(月) 曇 薄暑

○早朝、伊澤氏ニ電話ヲ以テ最近ノ政情ヲ問フ。

○早朝、野口明氏ニ電話ヲ以テ一木男ノ病氣輕快ニ赴ケルヲ聞ク。

○朝、木村恵直氏来訪シ、兵庫県技手農学士某氏ノ為ニ希望ヲ述フ。予ハ其不可ナルヲ極言ス。其結果平山洋三郎男へ書状ヲ呈ス。

○瀨古書記官長来訪ス。議長ノ南京ニ於ケル待遇等ニ付説明セラル。

○午後湯浅前内大臣ノ宅ニ至リ病氣見舞ヲ為ス。

○帰途木原清氏ヲ訪ヒ病氣ヲ見舞フ。

○五時過木原氏夫人ヨリ、公爵今朝ヨリ発熱セラレ肺炎ノ兆アルモ、木原氏臥床中ナルニ付、予ニ参邸ヲ求メラル。依テ直ニ公爵家ニ電話ニテ模様ヲ伺フ。夜八時頃参邸ス。安井家扶ニ面会ス。又青柳主治医ニ就キ説明ヲ聴ク。偶然家正様ニモ御目ニ懸ル。帰途正門ニテ八田侍医頭ニ出会ヒシヲ以テ、引返シテ面会シ九時半帰宅ス。

〔欄外〕

○鈴木寛一兄夜来泊ス。正夫氏モ来リ夕食ヲ為ス。亦一泊ス。

○徳川公容体大要、昨二日ヨリ元氣衰フ。今朝体温三八度ニ達ス。

爾来漸次上昇、三時頃三九・七、脈一一〇、呼吸四七、腹部張満、息苦シ。青柳博士診療、三時八田侍医頭来診ス。左肺ニ於テ肺炎ノ徴アルモノトシテ手当ニ勉ム。二時間毎ニ強心剤ヲ注射ス。元氣アリ、頭腦明晰ナリ。夕八時、三八・九、脈一〇九ニシテ強度稍加ハル。呼吸三二。身体肥満ニシテ心臓疾患アリシコトハ、毫末ノ樂觀ヲ許サスト云フ。青柳博士宿泊ス。

〔日記粹外〕

○三橋四郎次氏ヨリ一日附書状ヲ以テ、多額議員立候補ノ意思アル旨ヲ通知セラル。

六月四日(火) 半晴 暑

○朝、八田侍医頭ニ対シ徳川公ノ病状ヲ問フ。甚樂觀ヲ許サスト云フ。

○朝、江口定條氏来訪ス。有益ナル談話アリ。

○終日家居シ種々ノ家務ヲ弁ス。

○十時過、寛一兄歸去ス。今夕土肥泊。明日岐阜へ赴クト云フ。

○徳川公ノ容体ニ関シ、夕刻迄公爵家ヨリ報告ナシ。依テ電話ニテ問ヒシニ要領ヲ得ス。又安井家扶モ既ニ帰宅セリト云フ。是ニ於テ八田侍医頭ニ電話ニテ問ヒシニ、本日ハ疲労甚シク加ハリ、漸次重篤ヲ加フヘク、又何時急変アルヤモ知レストノ答ヲ得タリ。直ニ安

井家扶ニ其旨ヲ電話シ、且即刻公爵家ニ出勤シ、各般ノ手配ニ着手スヘキコトヲ勧告ス。

○九時二十分頃出発、十時十五分頃徳川邸ニ着ス。直ニ平井博士ニ面会セシニ、急勢急激ニ加ハリ二時間ヲ保シ難シト云フ。木原家令病ヲ推シテ出勤ス。家職一同及相談人來集ス。親族続々來集ス。○十一時過病床ニ至リ見舞フ。又瀬古書記官長ニ電話ニテ大勲位叙賜ノ取扱ヲ石渡書記官長ニ通センコトヲ求ム。又中川赤十字社副社長ニモ同様依頼ス。時ヲ経ルニ從テ益危篤ニ陥ル。

六月五日(水) 晴 薄暑

○午前零時四分徳川公薨去ス。順序ニ從ヒ拝訣ヲ為ス。

○先是、高松宮妃殿下御來邸ニ付御接待申上ケ居リ、御臨終ニ間ニ合ハズ。殿下ニ薨去ノコトヲ聞召サレ、御訣別ノ上御帰邸遊ハサル。

○一時四十分瀬古書記官長ノ車ニ同乗帰宅ス。

○七時起床、静岡育英会、一木男、伊澤氏等へ電話ス。又中村円一郎氏へ電報ヲ發ス。

○九時徳川邸ニ赴キ諸般ノ事ニ關係ス。午後ヨリ弔問者ニテ雑踏ス。静岡県知事モ特ニ來弔ス。

○飯御船入ハ八時執行ノ筈ナリシモ用意出來ス。十一時半頃ナラント云フ。依テ、九時辞邸、帰宅ス。

○中川日赤副社長ヨリ、赤十字社葬ノ代リニ葬儀費中ニ若干金ヲ

呈出シ、以テ公爵永年ノ功勞ニ酬イタシトノ内話アリ。予ハ之ニ対シ私見ヲ述ヘタリ。徳川慶光公ヨリ、報恩ノ為贈金ノ内話アリシ由ヲ木原家令ヨリ聞ク。

〔欄外〕

○大勲位賜叙ノ件ニ付、午前○時半公邸ニテ近衛公ニ面会ス。又一時頃松平議長ニ面会シ、特ニ依頼シ議長自ラ首相ヲ訪問セラレンコトヲ乞ヒ、承諾セラル。伊澤氏ヨリ賞勲局総裁ニ異存ナシト報セラル。

○位階陞叙ノ件ニ付テハ、宮相ニ依頼アリシコトヲ知ル。予ハ面会ノ機ヲ逸ス。

○午後四時頃右件ニ付、瀬古書記官ヨリ確報ヲ受ケ感激ス。

○五時過石渡内閣書記官長、大勲位仮記及勲章ヲ伝達セラル。

○叙従一位ハ明日賜叙セラルヘシト云フ。

○徳田政信氏来訪ス。帰宅ノ時面会ス。氏ノ為ニ昂然不羈、勉学邁進ヲ勸ム。

六月六日(木) 曇晴 薄暑

○九時頃徳川邸ニ出頭ス。来弔客甚多シ。之ニ対シテ応接ニ当ル。

○午後一時ヨリ二時迄各宮邸ヨリ御弔問使ヲ差遣ハサレシニ依リ、接待役ヲ勤ム。

○二時過 久邇宮大妃殿下御来邸アリ。奉導并御接待申上ク。喪主拝接ス。

○二時過家政相談人会アリ。喪儀費予算案ヲ審議決定ス。総額十万円ナリ。

○四時半済生会事務所ニ至リ、中川赤十字社副社長ヲ待ツ。

○五時三十分頃面会ス。赤十字社ヨリ公爵家ニ対スル金員贈呈ノ件ハ、其趣旨ニ付十分ノ考慮ヲ求ム。

○夜七時過青柳博士ノ来邸ヲ求メ、御遺骸ニ対スル処置ニ付意見ヲ問ヒ、之ニ基キテ今後ハ拝謁ノ為対面ナキコト定ム。

○八時過御船入式ノ読経アリ。相談人トシテ参列ス。九時四十分式終ル。十時辞去ス。

〔欄外〕

○午前十時三十分

天皇陛下御使

十時四十分 皇后宮使 十時五十分 皇太后宮使 御弔問アリ。喪主家正公拝接セラル。予ハ奉導ノ任ニ当ル。勅使 小出侍 従 皇后宮使 小倉事務官 皇太后宮使 清閑寺事務官

○従一位特叙位記ハ松平康昌侯三時半宮相ヨリ伝達ヲ受ク。

○静岡茶業組合会議所理事宮本甚七氏ヨリ茶半斤入五十缶ヲ作り、貴族院議員団慰問旅行ニ付、所定ノ列車ニ搬入スヘシト回答アリ。依テ之ヲ武村守衛長ニ通シ、其手紙ヲ転送ス。

六月七日(金) 曇 蒸暑

○十時徳川家ニ出頭ス。

○一時ヨリ葬儀委員會議アリ。打合セヲナス。

○二時大久保立子ト同車、貴族院ニ至リ各派交渉委員會ニ出席ス。徳川公爵ノ薨去ヲ哀悼シ特別ノ弔辞ヲ呈スルノ件ヲ議決シ、議長起草ノ案文ヲ可決シテ散会ス。直ニ公爵邸へ帰ル。

○午後八時ヨリ葬儀委員會アリ。十時散会ス。ソレヨリ御遺骸ヲ拝ス。大久保子ノ自動車ニ同乗シ、渋谷駅ニテ別レバスニテ帰ル。

○徳川宗敬伯、各宮家ニ至リ御礼ノ記帳ヲ為ス。

○皇太后陛下ヨリ御料理百人前ヲ下賜セラル。夕食ノ時一同之ヲ拝戴ス。

○中川日本赤十字社副社長ヨリ本日役員会ニ於テ公爵ノ同社ニ尽瘁セラレタル功績ヲ感謝シ、深甚ノ弔意ヲ表シ金員ヲ贈リテ香料トスル旨ヲ決定セシ由、内話アリ。

〔欄外〕

○英米兩國大使ヨリ公爵御薨去ニ付、寄セラレタル弔辞ハ懇切鄭重ヲ極ム。殊ニ米大使ハ五六両日半旗ヲ掲ケ、十一日ニモ之ヲ掲クヘシト通知セラル。尚米大使ハハル國務長官ヨリ特別ノ弔意ヲ表スヘシトノ訓電ヲ受ケシニ依リ、外務省ヲ通シテ公爵家ニ致サルヘキモ、不取敢此事ヲ内報ストノ書簡ヲ寄セラル。

○独大使家正公ヲ来弔ス。独国政府及赤十字ヲ代表シ、又自己ノ資格ヲ以テ深甚ノ弔意ヲ表スル旨ヲ告ク。

六月八日(土) 晴涼

○夜中驟雨アリ。雷鳴ヲ伴フ。量少キモ万物蘇生ス。

○伊澤先生古希祝賀会經費不足額実行委員分担額、金十九円三十三銭ヲ振替ニテ小坂順造氏ニ支払フ。

○十時前徳川家ニ出頭ス。宮家御使、皇后宮使ノ御弔問多シ。出テ迎接ス。

○明日ノ賜誄ノ儀ヲ行ハルニ付、勅使御使奉迎ノ方法ニ付望月宮内属ノ指示ヲ受ケ、又実地ニ就キテ研究シ更ニ細目ヲ立案ス。夜印刷成ル。依テ之ヲ関係アル少数ノ委員ニ頒ツ。

○一時ヨリ委員會會議アリ。出席ス。賜誄ノ儀、入棺ノ儀、発柩ニ付祭儀、発柩、葬儀及告別式、埋棺等ニ付所部ノ報告ヲ受ケ決定ヲ為ス。

○衆議院ニテハ各派交渉会ヲ開キ、最鄭重ナル弔詞ヲ呈スルコトヲ決定シタル由、瀨古貴族院書記官長ヨリ報告ヲ受ク。

○式場ニ於ケル弔詞朗読ハ貴族院、衆議院、日本赤十字社、済生会、協調会、及静岡育英会ト決定ス。中川赤十字社副社長ト同社ノ弔詞朗読ノコトニ付相談ス。

〔欄外〕

○十一時貴族院議長徳川邸ヲ訪ヒ、貴族院ノ弔辞ヲ朗読シテ奉奠ス。

○閑屋貞三郎氏徳川公邸ヲ弔問セシニ付面会ス。又氏ハ九時ヨリ十時マテ通夜セラル。

○夜八時半ヨリ九時半マテ通夜ヲ為ス。

○帰途大久保子爵ノ車ニ同乗シ、東横脇マテ送ラレテ帰宅ス。

六月九日(日) 晴驟雨 涼

○培本塾須原主事ヨリ六日産出ノ鶏卵五十八箇(八百匁)ヲ湯浅倉平氏ヘ送リシ由、通知到著ス。依テ湯浅氏ヘ書状ヲ呈シ見舞ヲ述フ。又須原氏ヘ代金三円五十五銭ヲ振替ニテ送ル。

○九時半徳川家ヘ出頭ス。勅使、皇后宮使及皇太后宮使奉導拝接、奉送迎ニ付打合セヲナス。奉導ハ勅使ニ宇佐美中將、皇后宮使ニ河井、皇太后宮使ニ中島中將担当ニ決ス。二時勅使御来邸、賻贈ヲ賜フ。皇后宮使皇太后宮使相踵テ御来邸、恩賜アリ。又賜誄ノ儀アリ。公ノ榮譽大ニ輝ケリ。

○四時ヨリ委員總會アリ。出席ス。

○八時ヨリ納棺式行ハル。親戚ノ来会者六十余名。納棺前読経ノ時参集シ、焼香ノ後歸去ス。而シテ納棺後ニ二十名残留焼香セシノミ。手違ヒモ甚シト云フヘシ。畢竟是レ不統制ノ結果ナリ。斯クテ十一時五十分式終了ス。例ニ依リ大久保子ノ車ニ同乗シテ渋谷ニ来リ、帝都線ニ依リテ帰宅ス。時二十二時廿五分ナリ。

〔欄外〕

○亡公爵令夫人ヨリ予カ毎年選上セシ紅茶ハ公爵ノ最嗜好セラレシ所ニシテ薨去ノ当日マテ御用ヒアリシ由。而シテ其日ニテ品切レトナリタリト承リ、且喜ヒ且不思議ノ感ニ堪ヘス。

六月十日(月) 晴 薄暑

○九時過マテ睡眠ス。

○十時頃代沢小学校ニ至リ、府會議員選挙ニ付投票ヲ為ス。

○十一時過、徳川家ニ出頭ス。一時ヨリ総委員會会アリ。出席ス。

○高松宮妃殿下、午後八時ヨリ九時頃マテ御通夜遊ハサル。

○九時ヨリ十時マテ通夜ヲ為ス。

○十一時過、帰宅ス。

〔欄外〕

○天皇陛下伊勢太神宮^{マヤ}ヘ御親拝遊ハサル(京都ヨリ御往復)。

○伊国モ参戦ヲ宣言ス。

六月十一日(火) 晴 涼

○昨夜睡眠十分ナラス。

○十時上野公園寛永寺葬儀事務所ニ出頭ス。

靈柩ハ徳川家ニテ出棺祭ヲ行ヒシ上、十一時出発、十一時三十五分寛永寺ニ安著セラル。家政相談人、真野、土方、成田、河井及大久保子、木原ノ六名ハ棺側ニ扈從ス。靈柩本堂ニ入り正面ニ安置セラル。

ソレニ休憩、弁当ヲ食フ。十二時三十五分ヨリ著席、一時葬儀開始セラル。勅使、皇后宮使、皇太后宮使御拝アリ。次ニ閑院宮、伏見宮兩殿下御親拝、次ニ各皇族殿下ノ御代拝、次ニ王族三殿下ノ御代拝アリ。ソレヨリ貴族院(松平議長朗読)、衆議院

〔小山議長朗読〕、日本赤十字社（徳川副社長朗読）、恩賜財団済生会、協調会及静岡育英会ノ弔辞朗読アリ。喪主遺族親族ノ焼香、米大使夫妻、暹公使、独大使、英大使等ノ焼香、各団体代表ノ焼香アリテ、三時ヨリ告別式ニ入ル。四時過マテニ約三千人ノ焼香アリテ式畢ル。

寛永寺ニテ弁当ヲ食ヒ、更ニ自動車行列ニテ墓地ニ至リ埋葬式ヲ行ヒテ、休所ニ歸リ九時マテ休息ス。ソレヨリ自動車ニテ墓前ニ至リ、埋葬後ノ読経ニ参列。焼香ノ上九時半出發、帰宅ス。

〔欄外〕

○天皇陛下 樫原神宮畝傍御陵御親拝。

六月十二日（水） 晴 薄暑

○十時過、幸俱樂部ニ出頭。同成会例会ニ出席ス。

○入江貫一氏ニ就キ宮内官恩給法ノ適用ニ付説明ヲ受ク。又土岐秘書課長ニ電話ヲ以テ指示ヲ乞フ。

○新橋、甚兵衛方ニ至リ中食ス。廉直ナリ。

○十二時三十分頃貴族院事務局ニ出頭。瀬古書記官長ニ面会シテ、徳川公ノ葬儀手伝ニ関シ謝意ヲ表ス。

○一時半ヨリ予算委員室ニテ藤原商工大臣及島田農林大臣ノ説明ヲ聴ク。了テ食堂ニテ茶菓ノ饗応ヲ受ク。

○伊勢丹ナル俳画会展覽会ヲ見ル。大谷五平氏之カ会長タリ。甚面白シ。

〔欄外〕

○天皇陛下 泉山御陵桃山御陵御親拝。

○大日本山林会名誉会員ニ特選セラレタルノ総裁、梨本宮殿下ヨリノ辞令（六月十一日付）ヲ送付セラル。

六月十三日（木） 晴 暑

○午前中、繁田誠一、丸山方作、佐藤善治郎其他数氏へ書状ヲ認ム。又繁田氏へ甘藷栽培法ヲ呈ス。佐藤氏ヨリ上代帝都ノ史蹟ヲ贈ラル。

○三橋四郎次氏ヨリ面会ヲ求メラレシニ付、三時日本俱樂部ニテ会见ス。氏ハ今回貴族院議員ノ補欠選挙ニ出馬セントスルノ意思アリ。目下着々準備中ナリ。依テ柴田氏ト共ニ可能ノ範圍ニ於テ応援セント答フ。氏ハ明後日親族会議ニ臨ミ、来十八日出京スヘシト云フ。

○帰途東横ニテ斬髪ス。思ヒ切りテ短ク刈ル。

○夜、塩島金一郎氏来訪ス。静岡育英会ニ対スル県費補助増額ノ見込アリトテ、其方法ニ付指示セラル。

○午後一時徳川家ニ葬儀委員ノ集会アリシモ出席セス。

〔欄外〕

○天皇陛下 還幸。

○貴族院ノ慰問団北支第二班ノ慰問用新茶四半斤入五十缶箱入ノモノ代金四十円六十銭ヲ静岡県茶業組合聯合会議所理事宮

本雄一郎氏へ振替貯金ニテ送付ス。今朝武村氏ヨリ代金未払ノ由通知アリ。

六月十四日(金) 晴 暑

○朝、井上匡四郎子ヨリ、電話ニテ来十九日徳川公ニ関スル放送ヲ依頼セラレタルニ付、之カ内容トナルヘキ事項ニ付相談アリ。又他ニ適当ナル人ナキヤヲ問ハル。依テ電話ニテ家正様ニ伺ヒタル上返事ス。其結果材料ノ蒐集ヲ瀬古貴族院書記官長ニ依頼ス。

○木原清氏ノ病状ヲ電話ニテ見舞フ。次第ニ輕快ニ向ヘリト云フ。

○大日本山林会長佐藤銀五郎博士ニ対シ、電話ニテ名誉会員ニ特選セラレシニ対シ挨拶ヲ述ヘ、何等カ梨本宮殿下へ御礼申上クヘキヤヲ問フ。

○要ノ希望ニ依リ関東断食寮へ神奈川県足柄下郡酒匂村小八幡ニ至リ、寮長ニ面会シ断食ノコトヲ依頼ス。金五十円ヲ要ニ渡シテ帰ル。(往路)品川一一、四〇—〇、五八国府津、バス、寮、(帰路)バス、小田原四、四五—六、二〇品川

〔欄外〕

○天皇陛下多摩陵へ御親拝アラセラル。

○今朝独軍巴里ニ入ル。

六月十五日(土) 曇 冷

○朝、丸ビル内仁井田法律事務所ニ松山高四郎氏ヲ訪フ。不在ナ

リ。更ニ他日ヲ期シテ退出ス。

○丸ビル内台湾物産館ニテ生地色。パナマ帽ヲ求ム。代金十二円ナリ。

○中央气象台ニ岡田台長ヲ訪問ス。昨年十二月以来ノ降雨量ト平年量トノ比較ヲ知ランカ為ナリ。台長ヨリ主任技師大後美保氏ニ紹介セラレ、氏ノ室ニテ有用ナル資料ヲ得タリ。又台長ヨリ本年ノ乾燥ハ、寒流カ東海岸ニ沿ヒテ遠ク九州マテ南下シ、暖流ハ遙ニ内地ヲ離レ、八丈島ト小笠原島トノ間ヲ流ルルノ変調ニ基クモノナリトテ、実測船ノ報告ニ基キテ説明セラル。果シテ然ラハ今秋ハ全国的ニ不作トナルヘク、甚恐ルヘキ事態ヲ惹起スルニ至ラン歟。深憂ニ堪ヘス。依テ家ニ帰り、之カ対策ニ付攷究ヲ始ム。

六月十六日(日) 曇 涼

○十時過一木男ヲ見舞フ。輜太郎氏ニ面会ス。今回ハ病氣漸ク平癒シ、本日入浴スヘシト云フ。依テ病氣ノ何ナルカヲ問ヒシニ、肺炎ニシテ一時ハ重体ナリシモ、近頃ニ至リ漸ク安神ノ程度ニ入リシ由ナリ。而シテ今夏ハ鎌倉ノ別荘ニテ静養シ来春マテ継続セラルヘシト云フ。切ニ男ノ壮健ヲ祈ル。時事ニ付談話ス。

○十一時過、山崎覺次郎博士ヲ訪ヒシニ、甚元氣宜シ。徳川公薨去ノコト、一木男ノ病状ナトヲ話ス。又静岡育英会ノ総裁推戴ノコトニ付テモ所見ヲ述フ。

○一時頃帰宅ス。此頃ハ外出先ニテ食事ヲ為スコトヲ好マス。成ルヘク帰宅スルコトトシタリ。外部ノ食物ハ不潔ニシテ不味甚シキヲ以テ

ナリ。

○午後、正法眼藏随問記ヲ読ム。又若干ノ繕物ヲ為ス。皆意ノ趣ク
所ニ從ヘルナリ。

○鈴木正夫氏来訪ス。二時頃帰ル。

〔欄外〕

○下條賞勲局總裁ニ対シ、徳川公大勲位賜叙ニ付、深甚ノ謝意ヲ
表スル為、一書ヲ呈ス。

○泰治午後ヨリ気分悪シキ由ニテ臥床ス。夕食ヲ為サス。

○夜子爵井上匡四郎氏ヨリ、徳川公ニ関スル放送ニ付相談アリ。明
日貴族院ニ於テ会見ヲ約ス。

○元女中土田仲江ノ要求ニ依リ、預リ置キタル荷物二箇ヲ合同運
送ニ託シテ發送ス。

六月十七日(月) 雨 冷

○昨夜来降雨アリ。相当量ニ達ス。終日歇マス。万物蘇生ス。

○十時頃貴族院ニ瀨古書記官長ヲ訪ヒ、家達公実話海外放送ノ日
ハ七月五日ニ延期セラレタル旨ヲ告ケ、且諸般ノ準備ヲ進行ス。

井上子議院ニ来リ、各種ノ打合せヲ為ス。

○木原清氏瀨古書記官長ヲ訪ヒシ由ニテ、読書室ニ来リ面会ス。

○読書室ニテ十四年十五年ノ曆ニ就キ各月ノ雨量ヲ各測候所ニ就
キ取調べ、大後技師ノ調査ニ係ルモノニ記入ス。帰宅ノ後夕刻マテ
此事ヲ繼續完了ス。

○松山高四郎氏ヲ丸ビル仁井田事務所ニ訪問ス。なほ子ノ縁談ニ付
談話ヲ聴ク。

○夕、朝比奈貞一來訪ス。昭和九年東北地方冷害調査ヲ持来ル。
是レ予カ先年入手セシ書類ナリ。

〔欄外〕

○仏国政府ハ昨日独逸ニ降伏ス。英ハ单独ニテ戦争継続ノ意ヲ発表
ス。

○ソ聯ハリトアニアヲ強圧ス。

六月十八日(火) 晴 蒸暑

○早朝、晴天ナリ。園内ヲ散歩ス。昨日ノ降雨七七m_{mm}ナリト云フ。

○徳川公ノ二七日法要ヲ上野寛永寺内御霊屋ニテ行ハルヲ以テ、
案内ニ依リ参会ス。此日ハ御血筋ノ御親族ノ外、第六天公爵御三
家御三卿ニ止マリ、其他ハ参会セラレス。予等相談人ハ全員参会
ス。九時ヨリ開始、十一時焼香ヲ終リ、墓拝ヲ為ス。十一時十分
退出。真野、井出、両氏ト鶯谷駅ニ出テ両氏ト別レ、日本俱樂部
ヘ赴ク。

○日本俱樂部ニテ柴田善三郎氏ト出会フ。三橋四郎次氏十一時四
十分頃来訪シ、予等ヲ誘ヒテ銀座西七丁目哥磨方ニ至リ中食ス。

六月十九日(水) 晴 暑

○早朝、佐々井信太郎氏ニ電話ニテ問合セタル結果、明日ノ大日本

報徳社ノ講習会開会式ニ臨席ノ決意ヲナス。其結果(1)大金宮内省総務課長ニ対シ速達便ヲ以テ明日天覧仕合陪觀ヲ拝辞ス。(2)今夕ノ林政研究会ニ欠席ノ通知ヲ為ス。

○伊澤氏ニ電話ニテ最近ノ健康狀況ヲ問フ。

○朝、篠田治策氏ヲ訪問ス。

○二時出發東京駅ニ至リ、三時十五分發列車ニテ帰郷ス。七時四十四分掛川著。大村留吉ノ出迎ヲ受ケ徒歩帰宅ス。ます枝健康ヲ回復セリトテ大ニ元氣ナリ。

○掛川地方ニ降雨量少ク植付不能ノ箇所少カラスト云フ。

六月二十日(木) 晴 蒸暑

○早朝、黒田テル子女史來訪ス。県ノ米禁輸令ニ対シ特殊扱ノ便法ナキヤヲ問ハル。一応其不可能ナルヲ説ク。

○八時二十分大日本報徳社ニ出頭ス。八時四十分ヨリ第七回国民精神總動員報徳式指導者講習会開会式ニ臨ミ、会長代理トシテ所定ノコトヲ行フ。開会式了テ十時過ヨリ講習会ニ入り、中央教化団体聯合会守屋榮夫氏ノ講話アリ。正午休憩、一時ヨリ三時マテ続行セラル。之ニテ一旦散会ス。

守屋氏ハ三時四十一分發ニテ帰京セラレタルヲ以テ之ヲ駅頭ニ見送ル。ソレヨリ一旦帰宅、衣ヲ更メテ五時十分再報徳社ニ出頭。夕食ノ後七時ヨリ九時マテ座談会ニ出席。之ヲ主宰ス。各自ノ自己紹介アリ。了テ會員ノ希望ニ依リテ鷺山理事ハ静岡県ノ概要

ヲ、袴田囑託ハ掛川町ノ歴史ヲ説明ス。最後ニ予ハ欧州ニ於ケル飢饉ノ危険ト我国ニ於ケル食糧不足問題ニ付テノ卑見ヲ述ヘ、特ニ本年ノ海流異変ニ付説明シ、更ニ北海道東北方面ヨリ來会者ニ季候狀況ヲ問フ。九時散会ス。

○夜、石野元治郎、小柳直吉両氏來訪シ在リ。十時半迄農事ヲ談ス。

〔欄外〕

○天津問題解決シ租界トノ交通遮断ヲ解除ス。

○仏国ハ我要求ノ全部ヲ容レテ仏領安南ヨリ蔣介石援助ノ為、物資ヲ供給セスト約シ、我国ヨリノ監視官ヲ安南ノ各地ニ駐在セシムルコトヲ承諾シタリト云フ。

六月二十一日(金) 晴 蒸暑

○今曉夙ク覺眠ス。

○自動車ニテ自宅ヲ發シ、八時五十三分發ノ列車ニテ東上ス。大村留吉駅ニ見送ル。車中ニ鈴木幸作氏在リ。東京迄同車ス。又掛川ニテ戸塚宏昌氏ト同車ス。藤枝ニテ中村田一郎氏、同秀平氏ト同車ス。此三氏ハ静岡ニテ別ル。三時頃帰宅ス。

○内地棉ノ実ヲ男爵松岡均平氏及三宅福馬氏へ呈ス。

○夕、朝比奈貞一來訪ス。夕食ヲ呈ス。横浜ニテモ昨夕大雷雨アリ。朝比奈方ノ入口ニ近キ電柱ニ落雷アリト云フ。

○なほ子ハ今朝、朝比奈方ニ至リ、夕、瑛子同伴ニテ歸來ル。

〔欄外〕

○昨夜東京大雷雨アリ。航空局ニ落雷発火シ大蔵省ヨリ神田橋ニ至ルノ間、御濠端ノ各官庁ヲ全焼ス。遺憾甚シキコトナリ。

六月二十二日(土) 晴 暑

○昨夜暎子帰宅ヲ欲シ困却ス。

○朝、貴族院書記官長瀬古氏ヨリ電話ニテ同氏米国大使館参事官 Doonan氏訪問ノ要領ヲ報告セラル。

○貴族院ニ至リ読書室ニ昭和十四年十五年ノ曆本ヲ返却ス。

○徳川公爵家ニ安井家扶ヲ訪ヒ御菓子料ヲ贈ラレシヲ謝ス。又公爵伝記編纂所ニ井野辺博士ヲ訪ヒ、公爵ノ幼時ニ付問フ。安井氏ニ対シ御祝品、御葬儀并御法事ノ供物料金ヲ問フ。未清算ヲ経サル故、取調ノ上報告セラルヘシト云フ。

○榛葉康子、若杉夫人ト共ニ来訪ス。康子ハ五時過ニ帰ル。

○伊佐勇松氏来訪ス。昼食ヲ呈ス。

○夕、朝比奈貞一來リ夕食ヲ共ニス。帰ル時瑛子ヲ連レ帰ル。

○赤木正雄氏来訪シ、三会堂ニ事務所ヲ借入レタルコトヲ謝セラル。

○江口定條氏ヨリ来月三日ヨリ九日ニ亘ル信州登山旅行ノ日程ヲ送来ル。

○住友縫之助氏ヨリ大雷火ニ付見舞状ヲ受ク。返書ヲ認ム。

〔欄外〕

○満洲国皇帝陛下新京御発輦、大連ヨリ軍艦日向ニ御搭乗御来訪

ノ途ニ上ラセラル。

六月二十三日(日) 晴 暑

○朝、江口定條氏訪問ノ為都合ヲ問ヒシニ沼津ニ在リト云フ。

○成田勝郎氏ヲ訪ハントセシニ亦不在ナリ。午後同氏ヨリ電話アリ。用件了ル。

○赤木正雄氏ヲ訪ヒ、砂防事業ノ遂行ニ付意見ヲ問フ。

○三橋四郎次氏ノ為、多額納税者議員トシテ推薦状ヲ起草ス。

○午前中陸地測量部ノ地図ヲ整理ス。

○鈴木寛一氏ニ書面ヲ呈シ、草津山本泰次郎氏ヨリ依頼アリタル、婦恋村所在山林売却ノ件ニ付、希望者ナキヤヲ照会ス。

○午後二時過、故淡近澄氏ノ邸(目黒区自由ヶ丘九〇二)ニ至リ告別式ニ臨ミ焼香ス。本多猶一郎、寛克彦、諸氏ト出会フ。

○午後、鈴木正夫氏来訪ス。夕食ヲ呈ス。九時頃帰ル。

○本日ヨリ市民同一ノ米食ヲ為スニ決シ組合ヨリ米十四疋ヲ配達セシム。

○世田谷警防団第三分団第二支部長坂本正雄氏辞任シタルニ付、其後任トシテ澤田愛蔵氏就任セシ由ノ挨拶状ヲ澤田氏ヨリ受ク。

○直子ハ寛医院ヲ訪ヒ、重友診察料ヲ支払ヒ且謝礼ヲ呈ス。

〔欄外〕

○我南支軍ハ香港ノ陸上封鎖ヲ敢行スル為、国境線ニ近ク敵前上陸

ヲ行ヒ急追中ナリ。

○独仏停戦協定ハ昨日コムピエーニニテ成立ストノ報アリ。

○宮内大臣官房秘書課長ヨリ昭和十五年ノ恩給外ノ所得ハ六千二百二十六円ト決定シタル旨

宮内省恩給令第四三条第一項第四号ノ規定ニ依リ、普通恩給年額ノ一部六百六十円ヲ停止セラレ、実収年額金二千六百四十円ト決定。停止期間ヲ十五年四月一日ヨリ十六年三月三十一日マテトスル旨通知(各通)ヲ受領シタリ。

〔日記粹外〕

◎五月十五日参照(朱字)

六月二十四日(月) 晴涼

○朝、三橋四郎次ノ為ニ多額納税者ニ与フヘキ推薦状ヲ浄書ス。

○東京駅九時十五分発列車ニテ静岡ヘ赴ク。午後一時三十分著。

三橋氏ノ出迎ヲ受ケ、直ニ大東館別館ニ至ル。三橋氏推薦準備会ニ出席ス。主催者鈴木八郎左衛門氏ノ外中村円一郎、同秀平、尾崎孝一、桜井久彦、清水、片岡、増田、鈴木文吉、足立、小塩孫八其他諸氏ノ外、東京ヨリ河井、柴田氏出席ス。先ツ鈴木八郎左衛門氏挨拶ヲ述ヘ、三橋氏推薦ノ趣旨ヲ明シテ一同ノ協力ヲ求ム。之ニ対シテ三橋氏謝辞ヲ述ヘ従来ノ行懸リヲ説明シ、中村尾崎両先輩勧誘ノ下ニ立候補スル所以ヲ告ケ、一同ノ援助ヲ求ム。次ニ中村円一郎氏従来ノ沿革ト今回尾崎元次郎氏訪

問ノ内容トヲ披露シテ、三橋氏ノ応諾ヲ謝ス。最後ニ柴田氏ハ三橋氏及一同ニ対シテ挨拶ヲ為ス。予モ亦一言ヲ附加ス。斯クテ柴田氏ト予ト連名ノ推薦状案ヲ示シ、柴田氏ハ四時三十分發急行ニテ夫人ト共ニ帰京シ、予ハ四時五十二分發ニテ帰ル。

○榛葉孝平氏数日前上京セリトテ来訪シ在リ。十一時半マテ歓談ス。

〔欄外〕

○近衛公枢密院議長ヲ辞任ス。原副議長ハ議長ニ任セラルヘシ。副議長ハ未定ナリ。

○宮内省内藏寮ニ対シ六月支給セラルヘキ恩給ノ請求書ヲ發ス。

六月二十五日(火) 晴暑

○皇太后陛下御誕辰ニ付、奉賀ノ為ハ八時三十分發車、大宮御所ニ至リ記帳ヲ為ス。九時十分頃帰宅ス。

○関屋友彦氏、大河内正倫子長女寿美子嬢ト結婚セラルルニ付、訪問シテ祝意ヲ表ス。肴料トシテ金二十円ヲ呈ス。

○貴族院読書室ニ至リ調物ヲ為ス。

○正午、議長官舎ニ於ケル議長主催ノ中支南支皇軍慰問議員団ニ対スル慰労午餐会ニ出席ス。議長ノ挨拶アリ。之ニ対シ蜂須賀正氏侯謝辞ヲ述フ。

食後報告会アリ。今井五助氏ハ中支班ヲ代表シテ報告ヲ為シ、安場保健男補足的報告ヲナス。次ニ蜂須賀侯ヨリ南支班ノ報告ア

リ。三時散会ス。

○貴族院読書室ニ至リ四時迄調物ヲ為ス。

○四時半ヨリ華族会館ニテ高楠博士ノ講演ヲ聴ク。五時半過散会ス。直ニ帰宅ス。

〔欄外〕

○貴族院事務局ヲ経テ紀元二千六百年記念菊花御紋章入ノ木盃一箇ヲ下賜セラル。

六月二十六日(水) 曇 驟雨 蒸暑

○朝、井上匡四郎子ヨリ電話ニテ、米国大使ハ徳川公ニ関スル放送ヲ承諾セラレシ由通知アリシコト、及井上子ノ放送ノコトモ米国放送局ニテ承諾セシコト、并大使井上子放送時間ノ割当等ニ付報告アリ。

○十時同成会例会アリ。出席ス。伊澤、塚本、柴田、米山、小坂順造、熊谷諸氏参集ス。新党問題、枢密院議長副議長選任事情、農業用水処理方ニ関スル総動員委員会審議内容、年内旱魃ノ状況等ニ付意見ヲ交換ス。

○十二時日本国際協会午餐会アリ。中央亭ニ開カレ出席ス。食後公使館一等書記官大森元一郎氏ノ加奈陀ノ近状ニ関スル講話ヲ聴ク。

○中央気象台ニ大後美保氏ヲ見舞ヒ、火災ニ対シ見舞ヲ述フ。又気温ノ月次表、雨量月別表ニ関スル取調方法ニ付指示ヲ受ク。岡田

台長ニ伝言ヲ依頼シテ去ル。

○丸ビル榛原ニテ巻紙ヲ求メ、三橋四郎次氏推薦状ヲ認メ柴田氏へ郵送ス。

○重友ヨリ其後ノ体温表、レントゲン写真、日赤医師ノ意見書ヲ送來ル。次第二回復スルモノノ如シ。右ヲ堀先生へ提出シ所見ヲ求ム。

〔欄外〕

○満洲国皇帝陛下十一時三十分東京駅御著。天皇陛下御出迎遊ハサレ、御無事赤坂離宮へ入ラセラル。午後御参内、紀元二千六百年ノ祝賀ヲ述ヘラレ御帰還後

天皇陛下御訪問遊ハサル。

○本日二時頃ヨリ少雨アリ。

○興三ハ武蔵高校ノ所有林ニ赴キ下刈ヲ為ス。

○明日岡野順吉氏ノ皇聖報恩会設立アリ。感謝祭慰霊祭及記念講演等行ハルルヲ以テ、需ニ応シ揮毫ヲ為シ、直子ニ之ヲ持参セシム。枇杷ヲ呈ス。

六月二十七日(木) 雨 冷

○終日膏雨。其量甚少シト雖天佑ノ渥キヲ喜フ。降雨ノ範圍ハ関東ヨリ九州ニ及フト聞キ心ヲ安ンス。又榛葉孝平氏ヨリ書状ヲ以テ朝鮮ノ各地ニモ二十五日相当量ノ降雨アリシ由ヲ伝ヘラル。

○朝、徳田政信氏来訪ス。今回上京ノ母堂ヲ同伴ス。

○十時貴族院ニ至リ、書記官長ニ面会ス。井上氏ヨリ聞知セル放送

ノ件ヲ告ケ、更ニ材料ヲ受取ル。読書室ニテ取調ヲ為ス。

○正午華族会館ニ大久保立子ヲ訪フ。昼食ヲ饗セラル。徳川公ノ幼時ノ教育等ニ付テ有益ナル事実談ヲ聴ク。

○二時過三會堂ナル全国治水砂防協會事務所ニ出頭ス。大河内輝耕子、木曾三四郎氏及前川貫一氏來会ス。赤木正雄氏ト将来ノ會合ニ関スル件ヲ談話ス。

○井戸ノモーター工合悪キヲ以テ日立ノ社員來リ修理ス。

〔欄外〕

○二十六日付戸塚重一郎氏書狀ヲ受ク。之ハ火災保険料支払ノ通知ナリ。即、五五、〇〇〇及一五、〇〇〇ノ二口ニ対スル分二五五、一〇錢ヲ廿六日払込ミタルコト、其受領証ハ勸銀支店へ届置キタルコトノ報告ナリ。

六月二十八日(金) 少雨断続 冷

○朝、井上子爵ヨリ電話アリ。徳川公伝原稿ノ速成ヲ促サル。依テ家正公ニ問フヘキ二三ノ事項ヲ除キ、既ニ完成シタルヲ以テ、午後二時華族会館ニ出頭シテ之ヲ提示スヘキ旨ヲ約ス。

○朝ヨリ右原稿ノ浄写ヲ進ム。一時半一ト先ツ完成ス。依テ之ヲ携ヘテ井上子ヲ華族会館ニ訪問ス。

三時瀬古書記官長ノ來訪ヲ請ヒ、右案ノ内容及取扱方ニ協議ス。其結果、明朝全部ノ完成ヲ俟テ米大使館參事官Dooman氏ヲ訪ヒ、同氏ニ英訳ヲ依頼スヘシト決定ス。D氏ニ対スル交渉ハ、予メ

電話ヲ以テ氏ノ都合ヲ問合ハスルコトシ、之ヲ瀬古氏ニ一任ス。井上子ヨリ米大使ノ書簡及放送原稿ヲ示サル。

○四時華族会館ヲ去リ、瀬古氏ノ車ニ便乗シテ四谷駅ニ至リ、ソレヨリ徳川邸ニ出頭ス。四時半ヨリ相談人会アリ。各員出席ス。先ツ家正公ヨリ相続ノ挨拶アリ。相談人ノ任期三年ノ始期ヲ本日ヨリトスル旨ヲ告ケラル。木原家令ヨリ葬儀ノ決算、相続税届出ノ取扱方、既定予算執行方法等ニ付、議題ヲ提出セラル。又家正公ヨリ令嬢結婚問題養子問題ニ付報告アリ。了テ一同晚餐ヲ饗セラル。

〔欄外〕

○相談人一同退出ノ後、予ハ居残りテ家正公ニ面会ス。其要件左ノ如シ。(1)家達公ニ関スル放送手續進行ノ報告及公ノ英国留学事情、学校居所、随行者名等、(2)家正公ヨリ母堂御健康狀況、赤十字正副社長決定内狀、頼貞侯、蜂須賀侯ノコト、貴族院火曜會入会ノコト、其他ニ付種々ノ談話ヲ承ル。十一時特ニ自動車ヲ發シテ送ラル。

○夜二時原稿ヲ完成シテ就褥ス。

六月二十九日(土) 曇晴 冷

○朝、瀬古書記官長ヨリ電話ニテDooman氏本日沼津方面へ旅行シ一日午後帰京スル由ヲ通セラル。

○朝、井上子ヨリ電話ニテ、Dooman氏ニハ翻訳ヲ依頼シ難カルヘシト

テ、適當ナル翻訳者ノ選定ヲ相談アリ。氏ノ考ニ依リ頭本元貞氏ヲ煩ハスコトニ決シ、予モ子爵ト共ニ同氏ヲ訪問センコトヲ諾ス。次テ井上子ヨリ電話ニテ頭本氏、今朝九時頃上野發ニテ旅行スヘキニ付、直ニ東京俱樂部ニ来ラレタシト通セラル。依テ直ニ出發、之ニ赴ク。

○九時、井上子及頭本氏ト東京俱樂部ニ会合シ、原稿ヲ示シテ頭本氏ニ翻訳ヲ乞フ。氏之ヲ快諾ス。依テ其内容等ヲ説明シテ歸ル。

○十時過、貴族院ニ瀨古書記官長ヲ訪ヒ、右ノ次第ヲ報告シDoonan氏ニ会見ノ目的變更ノコトヲ相談ス。其結果ヲ井上子ニ電話ス。

○読書室ニ立寄り最近ノ英書二冊ヲ借りテ歸ル。

○江口定條氏ヨリ電話ニテ信州旅行ノコトヲ確定的ニ通セラル。

○夕、小林次郎氏令夫人来訪ス。

○夕、昇三郎来ル。夕食ヲ共ニス。一泊ス。

〔欄外〕

○ソ国ハ羅国ニ対シニ地方ノ割讓ヲ要求シテ其承諾ヲ得。

○有田外相外交ノ方針ヲ放送ス。

○政府ヨリ物動計画ノ方針ヲ発表セラル。

○一木男爵ヨリ病氣全快ノ挨拶状ヲ受ク。

六月三十日(日) 曇 冷

○八時、赤木正雄氏ヲ訪問シ、江口定條氏ヨリ寄セラレタル旅行表ヲ示シ、氏ノ同行ヲ勸ム。氏ハ来四日差支アルヲ以テ、五日松本ヨリ同行スヘシト諾セラル。依テ歸リテ其事ヲ江口氏ヘ電話ニテ報告ス。

○井上匡四郎子ヨリ、正午東京俱樂部へ来リテ頭本元貞氏ト協議センコトヲ求メラレタルモ、関屋氏結婚式及植村氏往訪ノ予定ニ付之ヲ斷ル。

○昇三郎ハ八時過辭去ス。本日住友社員寮ノ開寮式ニ臨ムト云フ。

○十時二十分頃、三宿町一心塾ニ赴ク。十一時ヨリ関屋友彦氏大河内寿美子嬢ノ結婚式アリ。之ニ臨席ス。藤原銀次郎氏夫妻媒酌セラル。了テ自動車ヲ供セラレ、十二時半頃東京會館ニ至リ、鄭重ナル披露ノ御馳走ヲ蒙ル。藤原氏ノ挨拶ニ対シ、大久保利賢氏ノ祝辭アリ。

○二時半頃、植村澄三郎氏ヲ訪問ス。江川家叙爵申請其他ニ付、相談ヲ受ク。予ノ所見ヲ告ケシニ、大ニ悦ハル。四時半頃辭去ス。

○三宅阪及四谷見附内ニテ地図ヲ求メ帰宅ス。

七月一日(月) 半曇 薄暑

○朝、八幡神社参拝、祈願ヲ為ス。

○物資動員計画ノ内容及有田外相ノ放送演説ニ付、取調ヲ為ス。

○明後朝出發ノ旅行計画ヲ為ス。

○八時頃昇三郎来訪ス。石間信夫負傷セシ由、民友新聞紙上ニ記

載アリシト云フ。九時頃出發。品川ヨリ乗車、大阪へ帰ル。

○石間尚ニ宛テ見舞状ヲ認ム。

七月二日(火) 曇、十一時頃ヨリ晴 蒸暑

○明朝出發ニ付井上子ヨリノ電話ヲ待チシニ、瀬古書記官長ヨリ電話アリ。頭本氏ノ翻訳大体本日夕刻迄ニ出来ノ見込ナリト云フ。

○朝、伊澤多喜男氏ヲ訪問ス。頗元氣ナリ。

○一木先生ヲ見舞フ。久シクシテ漸ク先生ノ健容ニ接ス。慶賀ニ堪ヘス。伊澤氏ト同行セリ。

○鈴木貫太郎男ヲ訪問ス。不在ナリ。夫人ニ面会ス。約一時間計リ待居タルモ、帰宅ナカリシヲ以テ辞去ス。

○湯崎倉平氏ヲ見舞フ。病氣経過佳良ナリト云フ。夫人ニ面会シテ詳細ニ容体ヲ問フ。門内ニ蜜蜂ノ巢箱アリ。帰宅ノ上培本塾ニ依頼シテ鶏卵ヲ呈スルコトトシ、密柑箱二箇ヲ送ラシム。

○新宿中村屋ニテ甘味ヲ得ントセシモ定休日ニテ得ス。空シク帰ル。

○夕、舘林マス子葉子同伴ニテ来宿ス。長尾博士へノ紹介名刺ヲ与フ。

○夜、杉本良氏来訪ス。多額納税者議員補欠選挙ノ状況ニ付テ話サル。依テ三橋氏へ書状ヲ認メ、柴田氏へ電話ニテ打合セヲ為ス。

七月三日(水) 晴 蒸暑

○六時四十分頃出發、新宿ニ至リ八時發松本行ノ準急列車ニ乗

ル。荷物ハ興三列車マテ持来ル。車内ニテ江口定條氏ト出会フ。又赤木正雄氏ハ特ニ来リテ見送ラル。

○山梨県ニ入リテヨリ車中気温甚高ク天光射ルカ如シ。雨量不足ノ為、挿秧困難ノ箇所少カラス。一時五十四分松本著、信濃川水系砂防事務所(中ノ湯)主任技手松山幹之氏、燕山莊取締役赤沼千尋氏出迎ヘラル。

○駅前飯田屋方ニテ休息シ、各種ノ準備ヲ為ス。赤沼氏大ニ幹旋セラル。松山技手ハ赤木技師ヨリノ命ニ依リ特ニ自動車ヲ用意セラル。二時半頃其自動車ニ乗り出發。豊科町、穂高町、有明村ヲ經テ山間ニ入ル。即有明山ノ麓ヲ回リ中房川ニ沿ヒテ遡ル。四時半信濃坂ニテ下車シテ自動車ヲ返シ(五日午前迄ニ九時出迎依頼)徒歩約一時間ニシテ、赤沼氏ノ天溪洞ニ著ス。

○天溪洞ハ赤沼氏、独特ノ設計ヲ為シ、附近所産ノ木材ヲ以テ建築セラレシモノニシテ、設備完ク超凡洒落ニシテ、東天井ノ雪谿ニ対ス。能ク談シ能ク食ヒ九時半就褥ス。松山技手居残ル。

七月四日(木) 晴 涼

○昨日晴天無風ニシテ天氣絶佳ナリシ故ニヤ、今朝雲行啻^{マヤ}フス。時ニ小雨アリシヲ以テ姑ク出發ヲ見会ハスルコトニ決ス。七時十分天溪洞發江口赤沼氏案内。松山氏ニ同行ス。途ハ中房漁泉入口合戦橋際ヨリ左折シ、樺又ハ白樺ヲ主木トスル森林ニ入ル。各所ニテ休憩シ、盛ニ森林ノ美觀ヲ賞ス。江口氏ハ七十六歳ノ老翁ナルモ、

常ニ先登ニ立チ健脚壯者ヲ凌ケリ。合戦小屋以上ハ空氣稀薄ニシテ氣息奄々トナリ、行步亦大ニ鈍レリ。十一時四十分頃燕岳鞍部ナル燕山莊ニ達ス。赤沼氏ハ人夫ヲ連レ十二時頃來著ス。

○此時既ニ登山青年数名アリ。又南安曇郡下某小学校職員生徒男女五六十名アリ。何レモ意氣熾ナリ。

○昼食ノ後暫時午睡ス。四時赤沼氏ノ案内ニテ燕岳ニ登リ五時半帰ル。此日天氣回復シ四方ノ大山悉ク燕岳ニ向テ朝宗スルモノノ如ク、景象雄偉ヲ極ム。而シテ赤沼氏ノ説明ハ甚明瞭ニシテ得ル所多大ナリ。

○九時就褥ス。

七月五日(金) 快晴 暑

○三時半頃小学校児童覺眠ノ声ニ驚カサレテ起床ス。早曉寒冷身ニ泌ミタルモ堪ヘ難キニ非ス。乃チ出テテ莊外ノ高所旗柱ノ下ニ立チテ日出ヲ迎フ。森嚴壯麗言ノ比スヘキモノナシ。東方ハ淺間、白根《日光上野》男体等ヲ境トシ、東南ニ富士、八ヶ岳、白根、駒ヶ岳等ヲ眺メ、近クハ穂高、槍、大天井、常念等ノ摩天嶺長揖ス。後方ノ諸巒其高ヲ競フ所、真ニ天下ノ偉觀ナリ。眺望ヲ貪リテ室ニ入り朝食ヲ喫ス。

○六時十分出發下山ス。八時三十分合戦橋ニ達シ、九時天溪洞ニ入り休息ス。九時三十分洞ヲ出テ十時二十分信濃坂ニ達シ、中ノ湯ヨリ廻送セラレタル自動車ニ乗ル。十一時三十分頃新屋ナル

赤沼氏宅ヲ訪ヒ母堂ニ面會シ、又天蚕飼育ノ要領ヲ問ヒ天蚕糸ヲ見ル。

○十二時三十分松本飯田屋著、中食ス。一時五十四分赤木技師ヲ列車ニ迎フ。

○二時三十分砂防事務所自動車ニ乗ル。梓川方面ヘ向フ。島々、奈川渡、藤川渡、伴ノ渡等ヲ經テ、四時三十分中ノ湯ナル砂防事務所ニ入ル。夕食後少時散歩シ九時就床ス。

〔欄外〕

○俊答剛秀居士ノ命日ナリ。感慨深シ。

○井上匡四郎氏米國ニ向ヒテ放送ヲ為ス。徳川公ニ関シテナリ。米大使モ亦放送ス。

後ヨリ記入〔朱字〕

○今晚前田、カゲ山等大統塾ノ一味二十余名、午前一時半ヲ期シテ某所ニ集合シ、各分担ヲ定メテ政界財界知名ノ士ヲ襲撃スル計畫アリシモ、事未前ニ發覺シテ全員檢挙セラレタリト云フ。一木男、鈴木男、伊澤氏、牧野伯、湯淺氏、町田氏、郷男等ハ夫々警官二三十名ヲ以テ警戒セリ。其中彼等ノ目標トナリタルハ少数ナルカ如シ。

七月六日(土) 晴 暑

○午前八時中ノ湯ナル事務所ヲ發シ、梓川及兩岸ヲ視察ス。先ヅ目下築造中ノ堰堤ヲ見テ赤木技師ノ説明ヲ聴キ、又左岸ニ新成ノ

新崩壊地及県道ヲ見、焼岳大崩壊地ヲ望ミ、大正池ニ出テテ徒歩トナリ、湿原、田代池等ヲ経テ上高地帝国ホテルニ入りテ少憩シ、茶菓ヲ喫ス。次テ上高地温泉場、河童橋ヲ終リトシ、自動車ニテ正午中ノ湯ナル砂防事務所ニ帰ル。

○中食ノ後各方面へはかきヲ呈シ、又明七日午後八時四十六分著ニテ帰京ノ旨電報ヲ発ス。二時三十分自動車ニテ辞去。梓川ヨリ別レテ湯川谿谷ニ入り道路修築工事ノ現場ニテ下車ス。ソレヨリ徒歩約一時間ニシテ四時頃白骨温泉ニ達シ、湯元別館ニ投ス。

七月七日(日) 晴 暑

○五時前起床。江口、赤木、赤沼三氏ト白骨温泉場ヲ散歩ス。早朝ヨリ乗鞍岳登山客若干アリ。手順宜シ。八時出発、徒歩帰途ニ就ク。八時十五分頃松山技手出迎ノ為来レルニ出會フ。赤木技師ヨリ湯川ニ築造セル堰堤ノ効果ニ就キ説明ヲ聴ク。八時四十分自動車ニ乗り出発ス。途中霞沢堰堤及護岸ヲ遠望シ又島々ニテ安曇村役場ニ停車シ、村長三面会ス。ソレヨリ松本市ニ入り、和田峠方面ヨリ流ルル薄川ニ対スル工事所管争ノ現状、浅間温泉脇ヲ流ルル女鳥羽川ニ対スル同上現状ヲ見テ、浅間温泉西石川方ニ入ル。時二十一時四十分ナリ。是等ハ悉ク沿水上ノ重要問題ナリ。

○西石川方ハ江口氏ノ令息夫人ノ家ニシテ待遇甚懇切ナリ。入浴ノ上昼食ス。食後飯田館ヨリ持来レル荷物ヲ整理ス。

○二時十分頃西石川方ヲ辞シ、自動車ニテ旧城址ニ至リ下車展望

ス。江口赤沼両氏ノ説明アリ。二時五十分松本駅著。此所ニテ県土木部松本土木出張所長青木安治氏ノ出迎ヲ受ク。三時十四分発車、江口、赤沼、松山、青木諸氏ノ見送ヲ受ケ赤木氏ト同車帰京ス。八時四十六分新宿著。直ニ乗換ヘ帰宅ス。

〔欄外〕

○日支事件第三周年記念日

○矢田部昌子、昨日来京在宿ス。

七月八日(月) 曇 冷

○朝、赤木正雄氏ヲ訪ヒ連日ノ厚配ヲ謝シ、且斧折カンバノ杖ニ石突ヲ附着スルコトヲ依頼ス。又氏ニ対シ松本ニテ求メタル蜂蜜一缶ヲ呈ス。

○午前中旅行ニ関スル記録ヲ整理シ、且日記ヲ誌ス。

○関屋、瀬古、小林、柴田諸氏ニ電話ス。

○井上匡四郎子ニ電話ニテ対米放送ノコトヲ問フ(内容ヲ笠井氏ニ依テ訂正セリト云フ)。

○館林マス子(葉子同伴)、矢田部昌子午後帰宅ス。

○午後今回ノ旅行ニ世話セラレタル赤沼千尋氏、青木安治氏及松山幹之氏ヘ夫々謝状ヲ呈ス。

○培本塾須原芳雄氏ヨリ、去六日鶏卵一箱ヲ湯浅倉平氏ヘ送りタリトノ通知来ル。依テ代金送料四円及電話料十五銭ヲ振替郵便ニテ送ル。

○三時頃里田新平氏来訪ス。農林省ニ於ケル人事并事務ニ付不備ヲ述ヘ、先輩某技師ノ斡旋ニ依リテ会社ニ入ランカト相談アリ。慎重去就ヲ決スヘキコト、仕事ニ熱心ナルヘキコトヲ諭ス。

○四時頃中村田一郎氏来訪ス。山口忠五郎氏等ニ対スル件報告アリ。

〔欄外〕

○要ハ夜八時頃国府津ヨリ帰来ル。元氣頗ル宜シ。一同大ニ喜フ。

七月九日(火) 曇 冷

○顕徳院殿三五日法会ヲ寛永寺ニ於テ行ハルニ付、八時四十五分頃同寺ニ出頭ス。御家族御親族(≡代拝共≡)家政相談人及家職列席、本堂ニテ読経アリ。了テ高松宮及伏見宮御代香アリ。次テ家正公以下順次焼香ス。ソレヨリ特ニ案内ヲ受ケテ参集セル旧誼者三十名計リノ焼香アリテ十一時頃式ヲ畢ル。相談人等(≡土方、成田、井出、勝氏断≡)ハ午餐(≡精進料理≡)ヲ饗セラレタル後、御墓詣ヲ為シ退出ス。真野氏ノ自動車ニ井出氏ト同乗シ、上野駅ニ送ラル。ソレヨリ省線電車ニテ帰ル。時ニ午後一時ナリ。

○江口定條氏ニ対シ午前七時電話ニテ謝意ヲ表ス。

○去五日早曉ノ襲撃未遂事件ニ関シテ、一木男、鈴木男及伊澤氏ヲ見舞フ。

○午後三時頃大畠徹雄氏来訪ス。四月十五日ヨリ約一ヶ月ニ亘ル北支満洲旅行談アリ。氏ハ近ク北京方面ヘ赴キ独力事業ヲ経営ス

ト云フ。

○四時半ヨリ華族会館ニ於ケル高楠順次郎博士ノ講演ヲ聴ク。東洋哲学史ノ本質ヲ説明スル為、印度哲学ヲ説カル。未知ノ世界甚有益ナリ。

七月十日(水) 晴 蒸暑

○朝、杉本良氏来訪ス。多額議員補欠選挙ノ件ニ付談話セラル。

○十時同成会ノ総会ニ出席ス。塚本、中川、入江、米山諸氏出席ス。ノモンハン慰問談、新政党組成ノ件、近衛公ノ行動ニ対スル批判、外相ノ外交意見発表ニ対スル陸軍側態度ノ批判等ヲ為ス。

○三時十五分發ニテ帰国ス。柴田氏ヲ見付ニ訪フコトトシ、静岡ニテ三橋、片岡両氏ノ出迎ヲ受ケ、八時二分中泉ニ下車ス。柴田氏方〔空白〕氏ノ出迎ヲ受ケ、自動車ニ同乗、見付ニ至リ、十二時頃マテ相談ス。中村田一郎氏ノ立場及三橋氏ノ行動ヲ如何ニスヘキヤヲ主眼トス。予ハ三橋氏ハ立候補ノ為、茶業及中村氏ニ迷惑ヲ及ボサル為、(1)茶業関係ノ公職ヲ辞スルコト、(2)中村氏ヨリ選挙上ノ援助ヲ辞退スルコトヲ声明スルヲ可トスルノ意見ヲ述ヘ、柴田氏ノ同意ヲ得タリ。柴田氏方ニ泊ス。

柴田氏令兄、佐藤一郎氏、佐藤六蔵氏来訪ス。

○明朝、中津川長治氏来訪ノ由ヲ通セラル。

〔欄外〕

○徳川公爵家ヨリ故公爵御書斎備附ノ時計一具ヲ贈ラル。是レ特

別ノ御思召ニ出ツルモノニシテ、恐懼措ク能ハサル所ナリ。

○泰治ハ赤羽ノ陸軍工廠ニ実習ヲ為ス為メ、小石川、富坂町ナル日独会館へ移転ス。

七月十一日(木) 晴 蒸暑

○中津川長治氏、朝、柴田氏方ニ来訪セラル。柴田氏ト共ニ面会ス。

○中津川氏ノ談ニ依リ、昨夕(1)神谷文平氏、予ヲ駅ニ出迎ヘラレシコト、(2)右ハ高林兵衛氏ノ要求ニ依リシコトヲ知り、(1)神谷氏ヲ答訪スルコト、(2)高林氏ニ午前十時半頃遠州病院ニ出頭スルコトヲ通知スルコトニ決ス。

○柴田氏ト同車出發。中泉町役場ニ神谷町長ヲ訪フ。中津川氏案内セラル。柴田氏ハ静岡へ赴ク。

○予ハ浜松ニ至リ直ニ遠州病院ニ至リ、高林氏ニ面会ス。高林氏ハ今回ノ立候補力茶業及中村氏ニ致命的打撃トナルヲ怖レ、津倉氏ト相談ノ上田中廣太郎氏ヲ説キ、山口氏ニ説得セハ如何ト述ヘラル。予ハ一個トシテハ同感ナル旨ヲ答ヘ且柴田氏ト相談ノ上返事スヘキヲ約ス。

○三橋氏ノ来訪ヲ求メ、予ノ所見ニ点ヲ告ケ考慮ヲ求ム。

○十二時廿四分發ニテ静岡へ至リ大東館ニ入ル。中村氏ノ求ニ依リ直三三十五銀行ニ至リ、中村柴田両氏ト会見ス。其結果柴田氏ハ宮崎氏ヲ訪フ。予ハ大東館ニ至リ高林氏へ返事ヲ認メ特便ヲ發ス。

〔欄外〕

○柴田氏宮崎氏ノ訪問ヲ了リ帰来リ、昨日大橋某力中村三橋両氏ヲ告訴セシ由ヲ報セラル。

○右ノ結果中村三橋両氏ノ緊急会合ヲ要スルコトナリシモ、今夕ハ不可能ナルヲ以テ、予ハ大東館ニ宿泊ス。柴田氏ハ東京ニ帰ル。

○中村氏七時頃帰村シ、三橋氏ハ十時四十七分著、帰来ル。依テ予ハ右件ニ付報告ヲ為シ、明朝中村氏ト会見センコトヲ求ム。

七月十二日(金) 曇 蒸暑

○朝、中村三橋両氏会見ノ結果、清水氏ニ命シテ事実ヲ明確ニシ、且法律家ノ所見ヲ求ムルコトトス。

○朝、尾崎元次郎氏来訪ス。経済界其他ノ状況ヲ話サル。

○午後一時過静岡電鉄ニテ清水ニ至リ鈴木与平氏ヲ訪フ。未亡人及第二子ニ面会ス。其中ニ与平氏帰来リ面会ス。了テ電車ニテ大東館ニ帰ル。三橋氏ニ報告ス。

○三橋氏ヨリ、同氏ト中村氏ト会見ノ結果及村松弁護士ノ意見ヲ聴キタル上、事実ヲ明確ニスル為書面ノ提出ヲ三橋氏ニ求ム。而シテ後、適當ナル人ヲ選ヒテ先方ニ注告スルコトトセンコトヲ引受ク。

○七時四十九分發ニテ帰京ス。先是静岡駅ニテ中村氏帰村ノ際会談ヲ為シ、完全ニ打合ヲ了ス。

○夕刻、尾崎元次郎氏、同夫人、同孝一氏夫人来訪セラル。

七月十三日(土) 半晴 蒸暑

○朝、柴田氏ト電話ニテ打合せヲナシ、其結果三橋氏ノ来京ヲ途中ニテ迎へ、予等ノ意向ヲ通スルコトトス。

○東京発九時五十五分発ニテ横浜ニ至リ、同所十時五十九分著ノ列車ニテ三橋氏ニ出會フ。直ニ柴田氏ト予トノ所見ヲ述へ、有力ナル鎮撫者ヲ得ル前提トシテ事件ノ真相ヲ明シ、且之ニ対スル法律上ノ見解ヲ明確ニスルヲ要スルヲ以テ、計算書ノ提出ト訴狀ノ写又ハ要領ノ至急提示ヲ求ム(三橋氏新橋ニ下車、予ハ東京駅下車)。

○中央气象台ニ大後技師ヲ訪ヒ、六月中ノ雨量ヲ問ヒシニ、更ニ技師山田琢雄氏ニ紹介セラレ、同氏ヨリ近日郵送セラルルコトナル。

○学士会館ニ至リ中食ヲ為シ、且JapanTimes紙上米大使及井上子ノ徳川公ニ関スル放送文ヲ讀ム。

○四時過、徳川公爵家ヲ訪ヒ初盆見舞ヲ為ス。安井家扶ニ面會ノ上、靈前ニ至リ焼香ス。家正公、大夫人等ニ御目ニ懸ル。ソレヨリ家正公ト四十分間計リ會談ス。

○夜、泰治帰来ル。

〔欄外〕

○今早曉三宅島大噴火アリ。被害少カラスト云フ。

○昨夕来伊豆南部ニ洪水アリ。被害アリト云フ。土肥ハ激甚地ニ非サルカ如シ。

○英国ハビルマノ蔣援道路閉鎖ニ付、我要求ヲ容レタリトノ報アリ。

七月十四日(日) 晴南風強 暑

○要ハ朝十時四十五分発ニ品川ヨリ乗車、遠州へ赴ク。興三ヲシテ品川乗車マテ見送ラシム。予ハ渋谷ニテ別レ出發ノコトヲ電報ニテ留吉ニ通知ス。

○植村澄三郎氏ノ求ニ依リ往訪ス。江川、関口両氏ニ対スル恩賞奏請申請書ノ原案ヲ披見ス。其他ニモ三氏ノ分アリ。一応通読ス。

○昨夜不眠甚シク今日倦怠甚シ。依テ午後ハ臥床ス。泰治モ少シク感冒ニ罹レリ。

○西南風強クシテ棕ノ木ノ枝、屋根瓦ヲ払落ス。依テ樹ニ登リ枝ヲ切ラント試ミシモ高クシテ能ハス。

○興三ノ友来訪ス(古谷氏)。

○重友ノ荷物ヲ寮主任内田氏持来ル。

○夕、中村円一郎氏ヨリ電話アリ。明日清水氏書類携帶出京スヘキニ付、三時日本俱樂部ニテ會合センコトヲ求メラル。柴田氏ノ都合ヲ問ヒ承諾ノ旨ヲ返話ス。

七月十五日(月) 晴、強風、夕止 暑

○昨夜、蚊軍入来リ睡眠不足ス。偶マ相当強キ地震アリ。又西南風強クシテ障子鳴烈シ。依テ起出テ、戸ヲ鎖ス。

○朝、安井正吾氏ニ電話ニテ家正公御襲爵ノ時刻ヲ問ヒシニ、十一

時ナリト云フ。依テ相談人一同ヨリ御肴料トシテ金五十円呈上ノ取計ヒヲ依頼シ、以上ノコトヲ井出、真野、土方、成田、井出諸氏へ電話ス。

○戸塚重一郎氏ヨリ上半期計算書ヲ寄セラレタルニ付、謝状ヲ呈ス。又宮本甚七氏ヨリ寿像落成ニ付、挨拶及寄贈品アリシヲ以テ挨拶状ヲ呈ス。

○十一時偕行社ニ於テ、第五十四期士官候補生送別会（静岡県出身）アリシヲ以テ出席ス。卒業生四十余人ノ処、半数出席ス。予ハ会長代理トシテ祝辞ヲ述ヘ、宇佐美中将、佐野少将ノ訓辞アリテ午餐ヲ為ス。ソレヨリ安井少将、鈴木中佐（企画院）ノ談話アリ。二時散会ス。

○三時ヨリ日本倶楽部ニ於テ柴田中村両氏ト会見ス。東亜製茶会社支配人清水氏ヨリ決算ニ付説明ヲ聴取シ、取扱方ヲ相談シ、五時半散会ス。

〔欄外〕

○六時頃徳川公爵邸ニ至リ公爵御襲爵ノコトヲ祝賀ス。柴田善三郎氏ト同行ス。

○夕、高林兵衛氏ヨリ電話ニテ、同氏今日田中廣太郎氏ヲ訪ヒシニ、遂ニ面会スルヲ得ス。明日帰国ノ上更ニ山口氏ヲ訪ヒ、再ヒ上京田中氏ヲ訪問スヘシト告ケラル。

七月十六日（火）曇暑

○朝、中村円一郎氏ヨリ電話ヲ受クル為待居タルモ、竟ニ無シ。午後松山高四郎氏ヨリ法律上ノ見解其他ニ付電話アリ。

○朝、柴田善三郎氏ヨリ会社ノ経理方ニ付疑問ノ点ヲ示サル。

○午後二時頃徳田政信氏来訪ス。暑中休暇ニ入りタルヲ以テ両三日中ニ出發帰省スト云フ。健康ノ回復ニ努ムヘキコトヲ特ニ希望シ置ケリ。

○五時半、久保春海氏ヨリ中央亭ニ招カレ出席ス。夫人病氣全快ニ付懇切ナル謝意ヲ表セラル。予ハ一同ヲ代表シテ厚ク謝辞ヲ述ヘ、且夫人ノ益健康ヲ加ヘラレシコトヲ祈ル。食後歓談室ニ満ツ。九時前辞去ス。飯田英作氏ト電車ニテ帰ル。

〔欄外〕

○今朝来内閣ノ雲行雷ナラス、午後四時過米内首相ハ総辞職ヲ行フニ決定シ、直ニ閣員ノ辞表ヲ携ヘテ葉山行在所ニ伺候シタリ。

辞職ノ理由ハ世界新状勢ノ推移ニ伴ヒ、(1)外交ノ刷新ト(2)国内体制ノ改革トヲ急施スヘシトスルノ陸軍側ノ進言ニ対シテ、首相ハ同意ヲ与ヘス、陸相ノ辞任ヲ求メ、同時ニ後任ノ推薦ヲ促シタルモ、後任者ヲ得ル能ハサリシニ在ルモノノ如シ。

七月十七日（水）晴南西風強暑

○十時半頃佐藤助九郎氏来訪ス。南支方面皇軍慰問状況ニ付談話アリ。時局觀ニ付所見ヲ交換ス。

○米内内閣総辞職ノ経緯ニ付テハ、朝日新聞ノ報道最正確ナリ。

○午後一時前首相タリシ人々及原枢府議長、内大臣ノ招集ニ応シテ宮中ニ会議ヲ開キ、全会一致近衛公ヲ首相ニ奏請スルコトニ決定ス。会議時間僅ニ十分ナリシト云フ。松平内大臣秘書官長ハ直ニ興津内大臣ノ使トシテ出向ス。西氏ノ同意アラハ、電話ニテ内大臣ニ之ヲ報告スル打合せナリト云フ。

○二時斯文会編輯川上榮一氏、徳川家正公及塩谷温博士ノ紹介ニ依リテ来訪ス。静岳公ノ為同会ヨリ特輯号ノ雑誌発行ノ計画アリトテ、予ノ協力ヲ求メラル。之ヲ諾ス。又井上子ニ氏ヲ紹介ス。○武村知雄氏一昨日北支ヨリ帰来セリトテ来訪ス。出発ノ際購求セラレタル緑茶代ノ立替四十円六十銭ヲ返済セラル。伊林氏ノコトヲ聞ク。

○四時頃世田谷警察署情報係小野田安雄氏来訪、政情ニ付所見ヲ問ハル。

〔欄外〕

○要ハ二時十分品川著、車ニテ帰京ス。興三、之ヲ同駅ニ出迎フ。元氣宜シ。

○数日来左耳鳴アリ。又気圧ノ変化ニ遭ヘル時ノ如ク、耳中ニ圧感アリ。不快ナルヲ以テ、朝堀先生ノ許ニ至リ診察ヲ受ク。其結果心臓部ノ濁音強大トナリタリ。但シ心臓肥大セス。心身ノ絶対安静必要。血圧百三十五、蛋白無、糖微量(1/100程度?)耳鳴ハ動脈硬化ノ為ナリ。ヨード、チウカルチン剤ノ連続服用ヲ要ス。

〔粹外〕

五月十三日記事参照

七月十八日(木) 晴西南風強 暑

○男爵高崎弓彦氏夫人逝去告別式アリ。参拝ス(九時半、青山斎場)。

○貴族院事務局ニ至リ、読書室ニ於テ徳川公ノコトヲ取調フ。又(1)石橋徳作氏ノ地藏尊建立事業ニ対シ金百円ヲ寄附スルノ申込ヲ為ス。(2)瀬古、小林両氏ヲ帝国ホテルニ招キ午餐ヲ呈ス。

○松山高四郎氏ヨリ電話ニテ静岡地方裁判所検事正安倍輔氏ノコトヲ告ケラル。予ハ氏ニ対シ法律問題ノ解釈ヲ問フ。

七月十九日(金) 晴南風強 暑

○朝、柴田善二郎氏ヲ訪ヒテ所見ヲ交換ス。

○長屋順耳氏ヲ訪問セシモ不在ナリキ。

○十時半頃日本發送電会社総才室ニ増田次郎氏ヲ訪問ス。静岡県多額納税者議員補欠選挙ニ付、三橋氏立候補セシニ、山口忠五郎氏ノ行動奇怪ナルヲ告ケ、県下茶業界ノ為且又中村円一郎氏晩節ノ為ニ、山口氏ニ忠告セラレンコトヲ依頼ス。増田氏ハ之ヲ快諾セラレ、且其他ニモ尚配慮セラレンコトヲ語ラル。

○丸ビルニ松山高四郎氏ヲ訪ヒ、右ノコトヲ告ク。

○中央亭ニ於ケル日本国際協会午餐会ニ出席シ前田多門氏ノ米国

ニ於ケル日本研究ニ関スル講話ヲ聴ク。

○日本俱樂部ニ立寄り増田氏訪問ノ要旨ヲ認メ、之ヲ中村氏及三橋氏へ速達郵便ニテ報告ス。

○東京駅ニテ榮木忠常氏ニ遇フ。茶菓ヲ喫ス。

○東京駅ニテ江口定条氏ニ出会セシヲ以テ、三時十五分ノ汽車ニ同車シ品川ニテ別ル。車中有馬大将、武者小路子爵在リ。談話ス。

〔欄外〕

○東横ニテ斬髮ス。

○増田氏秘書佐藤氏ヨリ電話アリ。司法大臣秘書官大石三良氏ノ配慮アリシ由ヲ告ケラル。明日同氏ヲ訪問スルコトトス。

○柴田氏ニ増田氏ト会見ノ状況及大石秘書官ノコトヲ報告ス。

○夕、泰治帰来ル。一泊ス。

○夕、重友前橋ヨリ帰ル。頗元氣ナリ。

七月二十日(土) 晴西南風 頗暑

○町内ヨリ応召軍人アリ(光澤春男氏)。八時八幡神社ニ赴キ歓送ス。氏ハ砲兵ニシテ現役兵トシテ満洲事変ニ従軍シテ凱旋セシニ、日支事変ニ際シ応召、昨年十一月除隊セラレ、今回更ニ召集セラレタリト云フ。

○増田次郎氏ニ電話ニテ佐藤秘書ヨリノ電話ノコトヲ謝シ、電話ノ内容ニ付テ更ニ明確ナラシメ、其結果今朝大石秘書官ヲ訪フコトトス。増田氏ハ検事局ノ態度決定ノ上ハ、徐ロ三山口氏ニ懇話スヘシ

トノ意向ナリ。

○十時同成会ノ例会アリ。出席ス。中川、入江、塚本、柴田、米山、大谷諸氏出席シ、米内内閣倒潰ノ事情及近衛内閣組織ノ為ニスル四人ノ重要国策會議等ニ付検討ヲナシ、十一時過散会ス。

○十一時過司法大臣秘書官大石三郎氏^(良カ)ヲ訪ヒシニ、同氏ハ昨日黒川検事ニ話シタルモ、松坂検事長不在ナリシ故、本日話スヘシ。又安倍検事正ニ対シテハ、同氏ヨリ速達信書ヲ発シ、中田氏ヨリ事情ヲ聴取スルヤウ申通スヘシト語ラル。依テ日本俱樂部ニ至リ柴田氏ニ此事ヲ報告シ、且其詳細ヲ書状ニ認メ、柴田氏ニ示シタル上丸ビルニ松山氏ヲ訪ヒ之ヲ示ス。松山氏ハ之ヲ速達ニテ中村氏ニ発送ス。之ニテ一応ノ用務ヲ了リ心地シ、安シテ帰宅ス。

〔欄外〕

○夕刻、赤木正雄氏来訪ス。中津産ノ山牛蒡ノ味噌漬ヲ贈ラル。

○夜、渡辺史郎氏来訪ス。最近内閣情報部ニ転任決定シ、明後日発令セラルヘシト云フ。

○ヨード、デオカルチン剤ヲ求メ来リ、今夕ヨリ服用ス。当分連続ノ筈ナリ。

七月二十一日(日) 晴 頗暑

○終日家居。臥床多シ。但シ耳内ノ圧感去ル。

○午後、中村源左衛門氏ヨリ鰻一籠ヲ贈ラル。依テ二十尾ヲ割キ夕食ニ賞美ス。

○館林一也四時頃来著ス。渋谷駅マテ館林ノ知人ニ送ラレ、ソレヨリ
単独ニテバスニテ来リシナリ。

○五時半頃向側郷秀雄氏方ヨリ出火アリシモ直ニ消止ム。消防自
動車駆付ケ来リ、一時混雑ス。浴槽過熱ノ為ナリト云フ。夕刻、
郷夫人令息ト共ニ来訪、挨拶ヲ述フ。

七月二十二日(月) 晴 頗暑

○早朝、中村円一郎氏ヨリ電話アリ。予ノ昨日送リシ書翰ニ対シテ
鄭重ナル謝意ヲ表セラル。又三橋氏ノ形勢益佳良ナルノ報告ア
リ。山口氏ハ未立候補セス。氏ノ態度余リニ乱暴ナルヲ以テ、太田
政孝、田中廣太郎両氏ハ強ク氏ノ立候補ヲ阻止シ居リ。脇田信
吾氏モ同様ノ態度ヲ以テ山口氏ヲ説得スヘク其居所ヲ覓メシモ、
昨日ハ会见ニ至ラサリキト云フ。又三菱重役ハ輸出交付金方表面
ノ問題トナルコトヲ大ニ憂慮セリトアリ。

○終日在宅シ読書ス。頭痛倦怠アリ。甚進捗セス。少シク原稿ヲ認
ム。

○要ハ小林次郎氏ヲ訪フ。又伊藤未亡人ヲ訪問ス。一也同伴ナリ。

〔欄外〕

○内閣成立午後九時親任式ヲ行ハセラル。

首相兼農林相、近衛公

外相兼拓相、松岡洋右

内相兼厚相、安井英二

蔵相、河田烈

陸相、東條英機

海相、吉田善吾

法相、風見章

文相、橋田邦彦

商工省、小林一三

逓相兼鉄相、村田省蔵

企画院総裁無任所大臣、星野直樹

七月二十三日(火) 晴 最暑

○四時半起床五時一也ヲ伴ヒ清風園内ヲ散歩ス。犬同行ナリ。

○顕徳院殿七七日法要参拝ノ為、午前九時寛永寺ニ赴ク。御一家
御一門参列セラル。相談人ハ真野同夫人、井出兄弟、土方、河井
出席、成田欠席ス。十時二十分頃式終了。ソレヨリ御墓ヲ拝ス。
十時四十分退出ス。御菓子ヲ頂キタルモ御預リヲ乞ヒタリ。

○十一時四十分頃議長官舎ニ出頭ス。北支(二班)、満洲(二班)及
ノモンハン慰問団ノ慰労会アリ。食後各団班長ノ報告アリ。甚有
益ナリキ。四時二十分頃散会ス。

○入江貫一氏ノ好意ニ依リ氏ノ車ニ同乗、千駄ヶ谷駅前ニ下車公爵
邸ニ至リ、御菓子ヲ頂戴シテ帰ル。

○帝大工学部ヨリ泰治ニ対シ就職地ニ関スル照会催促アリ。依テ要
ハ夜八時頃、小石川ナル泰治ノ下宿ニ訪問ス。

○興三八朝八時十五分発ニテ赤羽ヨリ日光へ赴ク。今夕ヨリ湯本温泉板屋旅館ニ滞在ノ筈ナリ。

七月二十四日(水) 早朝曇晴 大暑

○昨夜不眠甚シ。

○朝、瀬古保次氏来訪ス。伊林初次郎館林房江結婚届ニ保証人トシテ署名セラル。予モ亦所要ノ記入ヲ為シ、前橋館林方へ速達ニテ送付ス。

○午前午後二亘リ興三ノ室ニ入り、徳川公ニ関スル記事ヲ認ム。進行悪シ。

○要八十二時頃出發横浜へ赴ク。朝比奈、松山、角替等訪問ノ上、今夕、朝比奈方ニ宿泊ノ予定ナリ。アキ子ノ為ニ鰻七尾ヲ割ク。一也及女中みつヲ同伴セシニ、兩人ハ夜九時帰宅ス。

○午後五時ヨリ軍人会館ニ於テ、静岡育英会理事会ヲ開会セラレシヲ以テ出席ス。(1)徳川家正公ヲ総裁ニ推戴ノ件ハ、全会一致可決シテ之ヲ評議員会ニ付スルニ決ス。(2)評議員会ハ八月初頃開会ニ決定ス。(3)家正公ノ同意ヲ乞フ為、不日山崎副会長訪問ニ決ス。(4)石田礼助氏理事辞任ヲ承認シ、之力実行方法ニ付相談ス。(5)家正公襲爵ニ付祝意ヲ表スル為、本会ヨリ鯉節代三百円ヲ贈ルヲ決ス。(6)成瀬達氏外一氏ヨリ徳川公記念ノ為最有効ナル方法ニテ消費セラレタシトテ金百二円ヲ贈ラレシヲ以テ使用方ヲ相談ス。(7)会計検査実施ノ件ヲ相談ス。六時半散会ス。

〔欄外〕

○夜、鈴木正夫氏来訪ス。両三日前岐阜ニ帰省シ、今朝着京セリト云フ。

○八時過泰治帰宅ス。一泊ノ上明日モ亦陸軍工廠へ出勤スヘシト云フ。

七月二十五日(木) 晴 大暑

○早朝、犬ヲ連レテ散歩ス。

○明早朝世田谷区内ノ防火演習実施セラルヘシトノ回章アリ。依テ四斗樽ヲ修理シ水ヲ湛フルコトトス。

○朝、女中みつ母重体ナリト帰宅ヲ求ム。依テ一応日光矢田部氏へ電話ニテ真否ヲ問合ハス。又横浜ヨリ至急要ノ帰宅ヲ求メテ相談ノ上兎三角一応帰宅セシムルコトト決ス。みつハ三時四十分頃ノ汽車ニテ宇都宮へ向ヒシ筈ナリ。

みつ帰郷ノ事由ニ付テハ大ニ疑ハシキ廉アリ。従テ之力取扱方ニ付要なほ子ノ間ニ意見ノ衝突アリ。何レシテモ根本ニ於テ大ニ反省ヲ要ス。

○徳川公爵追懷記事起草ヲ終ルノ予定ナリシモ、終日気分勝レス、殊ニ前項所記ノ次第ニテ殆ト執筆スル能ハス。只焦燥ノ感ニ驅ラル。夜ニ階ニ特殊ノ設備ヲ為シタルモ、又故障ノ為果サス。

○八時過町会副会長阿川昌朝氏来訪シ、明朝防空演習ノ朝会ニ於テ一同ニ対シ訓話ヲ為サンコトヲ求メラル。之ヲ承諾ス。

○中村円一郎氏ヨリ天城山事業ニ付、戸塚重一郎氏提出ノ計算書ヲ送付セラル。

〔欄外〕

○朝、松山高四郎氏ヨリ電話ニテ、今朝ノ報知新聞ニ静岡茶業会社ニ於ケル告訴事件ハ、妥協成立シテ取下ケトナリシ由ノ記事アリト報告セラル。

○右ノ件ハ電話ニテ大石秘書官ニ報告シ、厚配ニ依ル結果トシテ謝意ヲ表ス。

○静岡市三橋氏へ書状ヲ認メ、右件ニ付問合せヲ為ス。又選挙ニ関シ二三ノ要件ヲ述へ速達便ニ託ス。

○夕刻二十四日朝認メタル中村円一郎氏ノ書状ヲ受領ス。二十三日夕刊報知ノ記事ニ付報告アリ。又二十三日中村氏ハ山口氏側同志ト会见セシ由ニテ、内容ヲ概報セラル。

七月二十六日(金) 半曇 稍涼

○四時二十分起床ス。

○北沢二丁目ノ各隣組ニ於テ防火演習ヲ行フニ付、五時ヲ期シテ全担任者八幡神社ニ集合ス。宮城遙拝、黙禱、詔書捧読ノ後訓話アリ。予ハ約十七八分ニ亘リテ戦時経済ノ大要ヲ述フ。了テ挨拶アリテ散会ス。

○午後二時我等ノ隣組ニテ防火演習ヲ行フ町防護団ヨリ係員来リテ、指導及講評ヲ為ス。

○午後阿川昌朝氏来訪シ、今朝ノ講話ニ付謝意ヲ述フ。

○静岡新報昨日ノ紙上ニ山口氏立候補辞退ノ声明掲載セラル由柴田善三郎氏ヨリ電話アリ。昨日中村氏ヨリ申出アリシニ基キ、報知新聞ノ無根記事ニ対スル方法ヲ研究シ之ヲ返書ス。

○夕、鈴木幸作氏夫人ト共ニ来訪ス。二十四日清風園内へ移転セリト云フ。

○夕、高橋正八氏重友ヲ来訪ス。夕食ヲ呈ス。

○夕、泰治実習ヲ終リ帰来ル。

〔欄外〕

○鈴木幸作氏ノ談ニ依レハ、中村三橋両氏ハ一昨二十四日検事局ニ出頭ヲ命セラレ、検事ヨリ取調ヲ受ケタリトノコトヲ、松城兵作氏ヨリ東上車中ニテ聞キタリト云フ。真偽如何。若事実ニ非ストセハ、之ハ速ニ有権者ニ対シテ正誤ヲ要ス。

○瓦屋来リテ風ノ為ニ破損セシ箇所ヲ修繕ス。又重友ハ棕ノ樹ノ枝ヲ切断ス。

七月二十七日(土) 曇午後雷雨 蒸暑

○午前二時半頃油ノ燻臭ニ驚キ蹶起ス。家中ヲ検シタルニ何事モナシ。新蚊帳ノ臭ナルカ如シ。早曉冷氣ヲ感ス。

○終日徳川公追憶記ヲ綴ル。頭痛アリ。憂苦アリ。進行遅々タリ。午後七時一応脱稿ス。夜更ニ之ヲ校正ス。

○午後三時頃赤木正雄氏来訪ス。最近治水砂防協会富山県支部

ノ発会式ニ臨ミ、又黒部川上流ニ於ケル隧道及堰堤ヲ視察セラレタリト云フ。予ノ為ニ斧折カンバノ杖ニ鉄製石突ヲ付ケラル。

○一昨日三橋四郎次氏へ発シタル書状ニ対スル返書到著ス。更ニ同氏ニ対シテ一書ヲ呈ス。

○赤沼千尋氏ヨリ写真十数葉ヲ贈ラル。謝状ヲ発ス。

〔欄外〕

○早朝犬ヲ連レテ清風園内ヲ散歩ス。清風会幹事小畑敏四郎氏ニ書状ヲ以テ鈴木敬三氏方来住ノ由ヲ報告ス。

○午後四時頃雷雨アリ。万物蘇生ノ思アリ。

七月二十八日(日) 半曇 冷涼

○早朝、園内ヲ散歩ス。例ノ如シ。

○終日家居。徳川家達公追憶ノ記ヲ綴ル。時々紛雜アリ。進行意ニ任セス。夜十時半浄書成ル。十二時校了。

○泰治午後一時三十分發特急桜ニテ福岡県八幡へ赴ク。製鉄事業見学ノ為ナリ。出發ニ先チ鰻ヲ割キテ中食ヲ一同ト共ニス。福岡鉱山局長中村幸八氏ヲ往訪スヘキヲ命シ紹介ノ名刺ヲ渡ス。

○植木屋来リテ、屋根瓦ヲ振落シタル棕樹ノ枝ヲ截ル。其他椎ノ枝ヲ詰メ、物乾柱ヲ修理ス。

○重友發熱少シク高シ。昨日井の頭へ散歩セシニ、雷雨ニ遭ヒテ疲労セシニ由ルナランカ。

七月二十九日(月) 晴 暑

○朝九時、江口定條氏ヲ訪問シテ謝意ヲ表シ、紅白葡萄酒各一罎、碾茶二箇ヲ呈ス。

○湯島、斯文会ニ至リ塩谷温博士ヲ訪フ。講義中ナルヲ以テ面会ヲ果サス。御茶ノ水ニ至リ、徳川公追懷ノ原稿ヲ巢鴨六丁目一、二三九川上雷軒氏ニ速達便ニテ送付ス。

○午後疲労ヲ覺エタルヲ以テ三時半マテ午睡ス。頭部圧感アリ。

○四時出發、徳川公爵家ノ家政相談人会ニ臨席ス。真野、井出、成田、土方、井出諸氏出席ス。新公爵家ヨリ襲爵ノ挨拶ヲ述ヘラル。次テ木原家令ヨリ二三ノ事項ニ付テ報告アリ。一同晚餐ヲ饗セラル。ソレヨリ葬儀ノ状況ヲ活動写真ニテ觀覽シ、了テ談話ヲ為シ、九時頃散会ス。

○新公爵ヨリ酒肴料金五千疋ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○木原清氏預リ置キタル左ノ辞令書ヲ受ク。

河井彌八

公爵伝記編纂所顧問ヲ囑託ス

昭和十五年四月一日

公爵徳川家

七月三十日(火) 晴 暑

○早朝喧噪甚シク為ニ覺眠ス。終日不快甚シ。朝散歩ス。《一也ヨウ

子ニ同伴也。

○午前中、昇三郎ヨリ田辺一郎氏ニ関スル調書到著ス。小林次郎氏ニ依頼シテ同氏ト同級生ニ就キ同氏ノコトヲ取調フルコトトス。

○マス子ハ終日各家ヲ訪問ス。

○四時頃、山崎はま子かつ子同伴ニテ来訪ス。三十分ニシテ去ル。

七月三十一日(水) 晴 涼

○終日家居。静臥ス。

○昇三郎ヨリ、朝来京ニ付今夕一泊ノ由電話アリ。

○午後客室ノ洒掃ヲ為ス。

○要ハ昨夜来嘔吐下痢アリ。終日臥床ス。

○館林マス子ハ朝八時十五分上野發ニ赤羽ヨリ乗り、前橋へ帰ル。一也及えう子居残ル。

○富山県佐藤助九郎氏ヨリ、鰯塩乾物ヲ贈フル。

〔欄外〕

○両陛下午前葉山御用邸へ行幸啓遊ハサル。

八月一日(木) 晴 涼

○田辺氏トノ縁談ニ関シ昇三郎ヨリ注意アリ。依テ急速帰国シ、袴田銀藏氏ニ面会ノコトトス。昇三郎ハ今夜十一時半ニテ帰国スト云フ。

○九時頃堀医師ヲ訪ヒ、患部ノ診断ヲ乞ヒシニ、心臓ハ去十七日ニ

比シ雑音皆無ニ帰シ、著シク快方ニ赴キタリ。然レトモ尚心音強シト云フ。血圧百四十。

重友ノ養生法ヲ問フニ、尚期限ヲ定メス安静ヲ守ルヘシト云フ。

○十時半頃久保春海氏来訪ス。夫人全快ニ付、挨拶ヲ述ヘラル。昼食ヲ呈ス。

○疲労甚シキヲ以テ午眠ス。帰国ヲ明朝トス。

○去二十五日、帰宅セシメタル女中みつヨリ電話ニテ、母病氣全治次第、盆過キニ帰京スヘシト通告アリ。

○小笠神社々司白井貢氏ノ要求ニ依リ、同社昇格願書ヲ同氏へ返却スルコトトセシモ、取扱時刻ヲ過キシヲ以テ明日發送ニ決ス。

八月二日(金) 晴 暑

○帰国ス。十時五分品川ヨリ乗車、三時掛川ニ著。留吉ノ出迎ヲ受ケテ荷物ヲ託シ、直ニ大日本報徳社ニ出頭ス。

○帝室林野局出張所ニ所長岡元傳一氏ヲ訪ヒ、培本塾生ノ林業実地指導ニ付、厚キ配慮ヲ深謝ス。岡元氏ヨリ、塾生ノ着実ニシテ、労働ヲ厭ハサルノ美風アルヲ歎賞セラルルヲ聞キ、初メテ意ヲ安ンス。尚塾生ハ、県山林会其他ノ好意ニ依リ、其間椎茸栽培及木炭製造ニ付、夫々専門家ノ指導ヲ受ケタリト云フ。是亦歓喜ニ堪ヘサル所ナリ。塾生等ノ輝ケル面貌見ルカ如シ。所長ハ更ニ、明年二月農閑ノ時ニ於テモ、植栽方ノ指導ヲ為スヘキヲ告ケラル。

○帰途、山崎常磐氏ヲ見舞ヒ、内山真龍翁追賞ノコトニ付、所見ヲ

問フ。

○帰宅セシニ西鄉村精農佐藤雅雄氏ヨリ農事改良ニ対スル有益ナル意見ヲ告ケラル。夕食ヲ呈ス。

○西行ノ車中、沼津ヨリ依田四郎ニ出会フ。《西部伊豆方面水害ノ狀況ニ付談話アリ》。

八月三日(土)冷 小曇

○気分勝レス。少シク頭痛アリ。耳鳴止マス。家居、臥タリ起キタリ。其間過般ノ政変事情ノ研究ヲ為ス。

○朝、小柳直吉氏来訪ス。諸作ニ付、熱心ナル談話アリ。

八月四日(日)小曇 冷

○気分悪シ。依テ前日ノ如ク起居ス。

○朝、石野元治郎氏来訪ス。光明村長宮澤岳氏来訪シ、内山翁表彰申請人タランコトヲ求メラル。之ヲ承諾ス。

○午後、掛川町ニ至リ報徳社ニ出頭ス。午前ヨリ常会アリシモ態ト遅レテ出頭セシナリ。先是鷲山恭平氏来訪、予ノ病氣ヲ見舞ハル。氏ハ再ヒ報徳社ニ返ル予定ナリシヲ以テ、同車出頭セシナリ。常会了テ理事会アリ。定款、規約改正ノ件ヲ相談ス。未定案ヲ得ス。後会ニテ決定ノコトトス。

○佐々井信太郎氏ニ面会ス。満洲移民状況視察談ヲ聴ク。又、日本發送電会社ニ於テ報徳ノ講話ヲナサレシ由ヲ聞ク。

八月五日(月)半曇 冷

○元氣ナシ。起居例ノ如シ。最近ノ国際關係ヲ研究ス。

○原泉村小学校長落合友三郎氏来訪ス。

○光明村長宮澤岳氏来訪シ、予ノ調印スヘキ書類ヲ渡サル。依テ之ヲ東京ニ送り、加印ノ上直接同氏ヘ郵送ノ手配ヲ為ス。

○館林マス子、二児ヲ伴ヒ五時三十七分著ニテ来ル。留吉之ヲ停車場ニ出迎フ。急ニ賑カトナル。

八月六日(火)晴 暑

○九時頃、館林マス子等同伴、墓参及寺詣ヲ為ス。まさ、やえ同行ス。一同ハ旧城天守台ヘ赴キシモ、予ハ真如寺ニテ別レ帰ル。

○山崎常磐氏ヨリ使ヲ以テ、廿世紀梨一函(十二箇)及和蘭陀鰻頭一棹ヲ贈ラレ、予ノ病氣ヲ見舞ハル。

八月七日(水)半曇 冷

○米ノ検査アリ。十四俵ヲ提供ス。

○松浦清三郎氏外一名小柳氏ト共ニ来訪ス。昼食ヲ呈ス。

○館林マス子等二時十三分発列車ニテ出発、藤枝經由相良矢部不二子方ヘ赴ク。

八月八日(木)曇 蒸暑

○朝来、少シク気分宜シ。

○静岡市ニ至リ三橋氏ノ選舉事務所ヲ見舞フ(八、五三―四、一八)。三橋氏下痢ニテ引籠中、中村氏上京ニテ不在ナリ。中田驥郎氏ニ面会シテ要件ヲ弁ス。又、萩田長太郎、尾崎孝一、久保田某氏ニ依リテ大体ノ形勢ヲ知ル。一時半頃三橋氏ヲ見舞フ。病牀ヨリ起出テ、約三十分面会セラル。

○看護兵上等兵故溝口晴男氏ノ宅ヲ弔問ス。

八月九日(金) 冷 午後雨

○今晚驟雨アリ。作物蘇生ス。又、井水少シク増加ス。

○八時廿五分發ニテ浜松ニ至リ、宮本甚七氏ノ病氣ヲ見舞フ。特ニ病室ニ引キテ面会ス。談話約十分ニシテ去ル。氏ノ回復ノ速ナランコトヲ祈ル。

○二俣線及沿道状況視察ノ為、十時十七分浜松發ニテ新所原駅ニ至リ、十一時十四分同所發ニ乗ル。湖西湖北ヲ經テ都田、宮口ヲ通過、二俣野部等總テ初乗車ナリ。三ヶ日辺ヨリ降雨アリシモ、二俣ヨリ断ユ。二時七分掛川著。

○報徳社ニ立寄り、袴田銀藏氏ヲ訪ヒシニ、氏ハ昨日上京セリトテ不在ナリ(小林次郎氏ヨリ有益ナル報告アリシニ由ル)。直ニ帰宅ス。

○夕、館林マス子等帰来ル。昨今両日冷氣甚シカリシヲ以テナリ。一同元気ナリ。

○夕、袴田銀藏氏来訪ス。昨日東京ニ田辺郁太郎氏ヲ往訪セシ由ニテ、其狀況ノ報告アリ。氏ハ今朝要ニ面会セリト云フ。

八月十日(土) 冷 半晴

○昨日外出セシ故疲労アリ。終日家居ス。何等拘束ナシ。

○館林等一時六分發、バスニテ相良へ赴ク。米、野菜等ヲ持行ク。

〔欄外〕

○去七日供出米十七俵代金二八四、六〇錢ヲ受取ル。検査料六〇錢ヲ払フ。

八月十一日(日) 夕ヨリ大驟雨 冷

○午前中家居、読書ス。

○掛川發一、○七ニ乗リ金谷ニ下車一、三一、バスニテ吉田村ニ中村円一郎氏ヲ訪フ。約一時間半許リ談話ス。鈴木文吉氏モ来合セ在リ。四時半頃同家出發、小田平四郎氏用意ノ自動車ニ便乗ス。島田駅ニ送ラレ中村鈴木両氏ト別ル。五時二分島田發五時廿七分掛川著、帰宅ス。途中ヨリ大驟雨ニ遇フ。中村氏ハ静岡ニ出テ名古屋へ赴キ、鈴木氏ハ今夜大阪へ帰ルト云フ。

八月十二日(月) 晴 冷

○昨夜来ノ降雨ニテ万物悉ク蘇生ス。又、浮塵子モ死滅シ、甚好都合ナリ。

○予ノ病氣モ大ニ輕快トナレルカ如シ。

○朝、原田清四郎氏來訪、板沢山茶畑小作料、原田光吉外三名分五円九十錢ヲ受取ル。清四郎氏ニ対シ小作料納未納狀況ノ調査ヲ依頼ス。

八月十三日(火)晴 暑

○暑氣蘇リ、氣分再ヒ爽快ナラス。

○第九回報徳式指導者講習會發會式アリ、午前八時前出社ス。九時開會。予ハ副社長トシテ開會ノ諸儀ヲ行ヒ、且式辭ヲ述フ。講習員ハ全国ヨリ來集セル學校教員六十五名ニシテ、知事代理屬磯部利雄氏、松井博士、森^(岡知カ)農林學校長祝辭等アリ。食後松井氏ノ講演アリ。傍聴ス。博士ハ三時四十分發ニテ歸京(熱海泊)セラレシヲ以テ駅頭ニ見送ル。

○森町長、佐藤泰一郎両氏ノ來訪ヲ受ケ、二千六百年紀念ノ為、二宮先生像建立ニ付揮毫ヲナス。又、佐藤章氏ノ為及鈴木理一郎氏ノ為ニ夫々揮毫ス。

○浜松、横田氏ヨリ、安居院先生ノ事蹟及墓所ヲ聞ク。

○南郷村農會駐在農會技手佐野與市氏來訪ス。

○山田元治氏初盆ニ付、六時半出發、掛川駅前ニ至リ見舞ヲ為ス。

○夕、袴田氏來訪。田邊郁太郎氏ヨリノ書翰ヲ示サル。

○夜、泰治大阪ヨリ歸來ル。

八月十四日(水)晴 暑

○昨夜快眠セシモ氣分爽快ナラス。

○八時五十三分發ニテ静岡ニ赴ク。直ニ城内ナル静岡縣教育會館ニ至リ、育英會ノ學生大會ニ出席ス。支部ヨリハ支部副長高野書記官出席ス。本部ヨリハ久保、飯田、篠田、兎玉、緒明各理事來場セラル。静岡、浜高工、市立一中、其他静岡市長代理(高部氏)、清水市長代理、沼津市長代理、中田驥郎氏等臨席、學生約四十名出席ス。十一時開會。高野支部副長開會ノ辭ヲ述ヘ鄭重ナル訓示アリ。予ハ本部ヲ代表シテ辭ヲ述ヘ、中田氏來賓ヲ代表シテ祝辭ヲ述ヘラル。ソレヨリ篠田理事ノ訓話アリテ、昼食ヲ喫ス。了テ學生ノ自己紹介、希望陳述等アリ。又、理事ハ兎玉、緒明、飯田諸氏ヨリ、來賓ハ静岡市立一中、浜高工、其他ヨリ意見ヲ陳述セラレ、高野副長ノ閉會辭ニテ四時頃散會ス。

○大東館三橋氏ノ事務所ニ立寄り、選舉ノ狀況ヲ聴ク。三橋氏健康ヲ回復ス。又、中田驥郎氏ニモ面會ス。

○五時ヨリ県庁側ト大東館ニテ會食ス。知事、學務部長、課長、視學官等出席ス。七時四十九分發ニテ歸京ス。車中主計中尉飯島之男氏ト同席ス。

〔欄外〕

○泰治ハ予ヲ停車場ニ見送り、ソレヨリ墓參ス。今夜モ一泊ノ予定ナリ。

○帰宅セシニ角替利策來訪シ在ル。新ナル事業ニ入ルヘキヤ否ヤニ

付、協議ス。氏ハ結局多数者ノ希望ニ応シテ、新事業ニ入ルコトトナルヘシ。一泊ス。

○李王職典医高階虎治郎氏逝去セラレシ由ニ付、本日弔電ヲ呈ス。

八月十五日(木)晴 冷

○終日家居。臥タリ起キタリス。気分大二回復ス。

○泰治午後遠州ヨリ帰来ル。

八月十六日(金)晴 暑

○十時半貴族院ニ至リ、瀬古書記官長ニ面会ス。久闊ヲ叙シ久保氏ノ依頼ニ基キ、石橋書記官令娘ノコトヲ取調ルヤウ依頼ス。最近ノ政治体制改革ノコトニ付質問ス。

○石橋徳作氏ニ金百円ヲ寄附ス。之ハ地藏堂建築費ノ中ニ加ヘラレンコトヲ求メタルモノナリ。

○小林書記官ヲ訪ヒ、最近ノ政情ヲ問フ。又、田辺一郎氏ノコトヲ調査セラレシニ対シ、謝意ヲ表ス。

○司法省保護課ニ囑託大石三良氏ヲ訪ヒシニ、不在ナリ。

○同成会ニ至リシニ、花房崎太郎氏ニ面会ス。又同所ヨリ電話ニテ、内閣書記官稲田周一氏ト内山真龍翁ニ対スル恩賞取計ノ件ニ付談話ス。頗困難ナルカ如キモ、更ニ十分研究スヘシトノコトナリ。

○徳川公爵家ニ至リ、公爵薨去以来ノ各種立替費用ノ額ヲ問フ。又、烏竜茶ヲ呈スルモ、缶ナキ故之カ借用ヲ申入ル。

〔欄外〕

○井上匡四郎子ヨリ贈ラレタル徳川公追懷放送演説ノ印刷物ヲ松井茂、江口定條両氏ヘ呈ス。

○川上雷軒氏ヨリ徳川公追憶号トシテ発行セラレタル雜誌斯文ヲ贈ラル。直ニ之ヲ通読シ二三ノ正誤ヲ求メ、且余部アラハ正誤ノ上各一部ヲ井上子及笠井重治氏ヘ転送セラレンコトヲ求ム。

八月十七日(土)晴 大暑

○朝夕ハ涼冷身ニ適ス。昨夜、重友齒痛甚シカリシ為、度々起出ツ。睡眠之カ為ニ少シク不足ス。

○朝、経師屋来リ、金剛山十二瀑画ノ表装成リシヲ持来ル。又、波山画瀑画ノ改装モ成ル。料金十四円ヲ支払フ。

○九時半頃次田大三郎氏ヲ其邸ニ訪フ。時局ニ付説明ヲ乞フ。十一時過辞去ス。

○川上雷軒氏ヨリ、井上子并笠井重治氏ヘ、予ノ寄稿ノ訂正セラレシ斯文各一部ヲ寄贈セラレシ由、電話アリ。

○四時過大江すみ子及令妹来訪ス。なほ子ノ縁談ニ付、兵庫県三田中学校長今西嘉彦氏ノ令息英一氏ヲ紹介シ、履歴書及戸籍謄本ヲ持来ル。厚意ヲ謝ス。

○一銭地藏堂宇建設委員会ヨリ、寄附金ニ対シ謝状ヲ寄来ル。

○徳川公爵家ヨリ、使ヲ以テ茶缶三箇ヲ送付セラル。又、公爵薨去以来ノ立替金三十五円五十銭ヲ其使者ニ託シテ返納ス。

〔欄外〕

○独空軍ノ英京倫敦攻撃ノニュース盛ナリ。

○独大使館ヨリ戦争画報ヲ贈来ル。

八月十八日(日)晴 大暑

○細川護立侯令嗣夫人(近衛公令嬢)ノ告别式(北品川三ノ二五六)ニ至リ拝礼ス。侯、公ニモ悼意ヲ表ス。

○角替利策氏来訪シ在リ。氏ハ纖維工業試験所長ニ所志ヲ述ヘタルニ、所長ハ竟ニ之ヲ許サストテ相談アリ。依テ去就ハ吉岡、平塚両氏ノ協定ニ委任スヘシ。而シテ其結果留任スルナラハ、氏ノ将来ニ付十分ナル見透シヲ付クルコトヲ平塚氏ヲ通シテ依頼スヘシト述フ。又、本件ニ付テハ、特ニ鈴木梅太郎博士ニモ談話シ、場合ニ依リテハ博士ノ配慮ヲ乞フヘキ旨勧告ス。

○角替氏ニ、其希望ニ依リテ榛葉良男氏宛紹介名刺ヲ与フ。

○午後、下川儀太郎氏外一名来訪ス。静岡、母子寮建築進行ノ状況ヲ報告セラル。需ニ依リ昇二郎宛紹介名刺ヲ与フ。

○小林次郎氏、三時頃来訪ス。時事ニ付談話ス。氏ニ甘藷栽培法ナル冊子ヲ呈ス。

○徳川公へ呈上スヘキ自宅製烏龍茶ノ撰別ヲ為ス。

○中等学校野球大会ニテ準決勝ニ、島田商業ハ市岡中学ト戦テ之ヲ破ル。2対1+αナリ。

八月十九日(月)晴 頗暑

○十時過、貴族院事務局会計係ニ至リ、村松属ニ面会シテ恩給額ノ届出ヲ為ス。本年分歳費ノ控除額決定ノ為ナリ。

○読書室ニ入ル。内山真龍翁贈位申請ニ関シ、取調ヲ為ス。

○朝、植村澄三郎氏ヨリ電話アリ。平山省齋先生贈位ノ事由ニ付問ハル。其序ヲ以テ、植村氏ヨリノ申請ハ未内聞ニ達シ戻ラサルニ付、至急取運ハレタキ旨ヲ以テス。

○貴族院ヨリノ帰途、國府種徳氏ヲ訪フ。不在ナリ。

○中村円一郎氏ヨリ書状到著ス。右ニ依レハ、去十六日、山口氏等トノ交渉ハ決裂シ、山口氏ハ告訴ニ依リテ攻撃ヲ止メスト、決意シタル由ヲ通知セラル。然ルニ、告訴人大橋亦兵衛氏ハ其見込ナキヲ以テ、取下ケタキ希望ナリト云フ。

〔欄外〕

○独逸ハ、昨日愛蘭ト友好的の交渉開始ノ旨、發表ス。又、英國ヲ囲メル一定ノ海域ヲ指定シ、其中ヲ航行スル中立国船舶ハ容赦ナク之ヲ撃沈スヘキ宣言ヲ發ス。

○徳川公爵家へ烏龍茶二缶ヲ呈ス。泰治ヲシテ之ヲ持参セシム。

○川上嘉市氏へ井上子ノ対米放送文ヲ送ル。

八月二十日(火)晴 頗暑

○朝、國府犀東氏ニ電話シテ、内山真龍翁贈位ノコトニ付質問ス。

○十時頃、宮内省図書寮ニ芝編修官ヲ訪ヒシニ、不在ナリ。依テ樹

下編修官二面会シテ、日本紀類聚解ヲ一覽ス。又、伴信友全集ヲ借覽ス。會計審査官ヘ木下長官ヲ訪フ。ソレヨリ局員二面会ス。食堂ニテ一同ト会食ス。

○二時頃松山高四郎氏ヲ訪問ス。昨夕、中村氏ヨリ受取シタル書翰ノコトニ付、報告ヲナス。階下森永喫茶室ニテ、茶菓ヲ饗セラ

ル。
○夕、鷺山恭平氏ヨリ、去十八日一木社長ヨリ書翰受領、其結果大日本報徳社ヲ内務省地方局ニテ自治振興中央団体ヲ結成シテ之ニ加入セシムルニ付、留岡局長ヲ訪問セヨトノコトヲ通シ来ル。

○朝、瀬古書記官長来訪シ、石橋徳作氏令嬢ノ写真ヲ持来ル。要、面会ス。

〔欄外〕

○七時半頃、静岡市三橋氏ヨリ電報到著。多額納税議員補欠選挙ノ結果ヲ報告アリ。即、百五十六票中、百五十四票ヲ得テ当選スト云フ。欣喜ニ勝ヘス。依テ直ニ中村円一郎、三橋四郎次両氏ニ夫々賀状ヲ認メ、九時過投函ス。

八月二十一日(水)晴 大暑

○今晚、小雷雨アリシモ、終日晴天トナリ暑シ。夕刻ヨリ遠雷アリ。曇天トナル。

○朝、静岡市三橋四郎次氏ヘ電話ニテ祝詞ヲ述ヘ、且最近ノ状勢ヲ問フ。又、勅任ノ上ハ同成会ニ入会ヲ求メ、同意ヲ得タリ。

○入江貫一氏ト電話ニテ、同成会臨時会ノ開否ニ付相談ス。

○朝、久保春海氏往訪ノ目的ニテ都合ヲ問ヒシニ、不在ナリト云フ。氏ハ十二時過來訪ス。依テ瀬古氏ヨリ聞知セシ所ヲ告ク。其結果ハ夜、電話ニテ瀬古氏ニ報告シ、石橋氏帰朝迄其儘ニ止ムルコトヲ乞フ。

○一時半頃、内務省地方局振興課長村田五郎氏ヲ訪ヒ、自治振興聯盟ニ大日本報徳社ノ加入ヲ通告シ、正式ノ手續ヲ問フ。其結果鎌倉ニ至リ、一木社長ニ之ヲ報告シ、社長ノ指示ヲ得テ鷺山理事ヘ加盟書ノ提出方ヲ依頼ス。

○飯沼神社局長ヲ訪ヒ、小笠神社、神明宮陞格ノ件、内山真龍翁贈位ノ件等ヲ依頼ス。

八月二十二日(木)曇 冷

○朝、杉本良氏来訪ス。静岡県多額議員選挙ニ伴フ影響ニ付テ談話ス。

○書齋ノ整理ヲ為ス。

○丸山方作、湯淺倉平、久野勘、陳源頭《台北州宜蘭專売局報徳講習終了者》、丸尾亨、其他諸氏ニ書状ヲ發ス。

○伊佐勇松氏来訪セシモ面会セス。

○要ハ直子ト共ニ、浅草松屋ナル代用食展覽会看覽ニ赴ク。伊佐氏モ同行ス。

○重友ハ午後ヨリ齒痛甚シク看ルニ堪ヘス。泰治ヲシテ氷ヲ求メシメ

手当ヲ為ス。

八月二十三日(金)晴 暑

○十一時頃、日本発送電会社ニ増田総裁ヲ訪問シ、三橋氏立候補ノ処、意外ニ多数ノ得票ヲ以テ当选シタルニ付、謝意ヲ表ス。又、同会社力報徳主義ヲ採用セシニ付、将来ニ関シ依嘱ヲ受ク。

○総裁室ニテ、静岡県学務部長高野書記官ニ面会ス。部長ヨリ、教育勅語ヲ一木男爵ニ揮毫ヲ願フコトヲ依頼セラル。予ハ内山真龍翁贈位出願ニ対シ、知事力積極的ニ協力セラレンコトヲ求ム。

○服部時計店ニ至リ、ナルダンノ修繕成リシヲ受取ラントセシニ、未完成セスト云フ。同店ノ前ノキリンカフェーニテ中食ス。

○内務省神社局ニ局長飯沼一省氏ヲ訪ヒシニ、不在ナリ。依テ今朝寄セラレタル調査ニ対シ、謝意ヲ表シタル上、内山真龍翁贈位申請書ヲ呈スルコトヲ託ス。又、官国幣社表ヲ与ヘラル。

○貴族院読書室ニ入り、取調ヲ為ス。四時半帰宅ス。

〔欄外〕

○所謂新体制委員ノ名氏発表セラル。

○女中みつヨリ帰京シ難キ旨通知アリ。已ムヲ得ス、他ニ物色スルニ決ス。其方法甚面倒ナリ。

〔原本では二十五日のページに記入〕

八月二十四日(土)晴 頗暑

○朝、堀先生ヲ訪ヒ、健康診断ヲ求ム。其結果心臓部ハ前回ニ比シテ一層健康トナリシ由ニテ、血圧六百三十二ニ下降シタリ。尚、今後服薬ヲ継続スヘシト云フ。

○三橋氏当选ニ付尾崎元次郎、鈴木与平、中津川長治、神谷文平四氏ニ対シテ謝状ヲ発ス。

○三橋氏ハ貴族院議員名簿ヲ送ル。

○軽井沢伊澤多喜男氏ヨリ「明二十五日五葉会開会ノ通知アリシモ出席ヲ断リ、同時ニ塚本清次氏ニ出席ヲ乞ヒシ由。而シテ新体制ニ付テハ、軽挙スヘカラス。同地ニテ芳澤、古島、小坂諸氏ト会见シ、明日議長ヲ往訪スヘシ」トノ書信アリ。右ニ対シ全然同感ノ意ヲ表シ、之カ為ニ同成会例会ハ、今月ハ開会セサルニ決シタル由ヲ答ヘ、尚、三橋氏入会ノ件ニ付、一応ノ所見ヲ送りテ返答セリ。

○柴田氏ハ右手紙ヲ送り、三橋氏入会処理ノコトヲ通ス。

○一条秀美氏、要ヲ来訪ス。

○午後、保井誠一郎氏来訪。此程学習院へ転任セリト云フ。

〔欄外〕

○戸塚重一郎氏ヨリ廿一日附ヲ以テ、昨年度間伐材売却材積ニ付、横山製材所ヨリ異議申出アリシ由ヲ通シ来ル。之ニ対シ事実相違アル上ハ、之ニ従テ処理セラレタシトノ返書ヲ発ス。

○重友、歯痛漸ク減退ス。金冠ヲ去リ、膿汁ヲ流出セシタリト云フ。

八月二十五日(日)晴 暑

○颱風鹿兒島県大島東方ノ洋上ニ在リ。為ニ多少天候ニ異変ヲ感ス。今朝土肥へ赴カントセシモ、都合ニ依リテ中止ス。

○午前午後二ヨリテ揮毫ヲ為ス。即、西原亀三氏ノ為ニ四枚、大日本報徳社ノ為ニ三十六枚ヲ書ス。不慣ノ大事業ナルモ、奉仕ノ為トナラハ幸甚ナリ。

○夕、台所ニ在ル食台ノ脚ヲ修理ス。

○富山県下新川郡小摺戸村小摺戸伊林初四郎氏ヨリ同氏栽培ニ係ル黒部西瓜ノ大ナルモノ一箇ヲ贈ラル。

〔原本では二十三日のページに記入〕

八月二十六日(月) 午後強雨 夕風雨強 涼

○昨日、揮毫ニ疲レタルヲ以テ、終日倦怠ヲ覺ユ。

○台湾米管理問題ヲ読ム。

○興三、午後日光ヨリ帰来ル。

○五時頃三橋四郎次氏来訪ス。多額議員補欠選挙ノ状況ニ付、談話アリ。氏ハ百五十六票中百五十五票ヲ得タルモ其中一票ノ記号ヲ付シアリシニ依リ無効トセラレ、百五十四票ヲ得タリト云フ。又、告訴問題ニ付、詳細談話アリ。結局、告訴者側ニテ持テ剩シノ状況ナリト云フ。山口氏力取テ拒ミタル理由、脇田信吾氏カ提示シタル仲裁案ナト、ツマラヌコトナリ。

○颱風小ナルモ、七時頃東京湾口ニ近ツキタルカ如ク、東北風強ク

雨量多シ。伊豆南端方面ハ風雨強烈ニシテ、被害アリシカ如シ。

○宮澤岳氏ヨリ、二十二日県庁ニ出頭シ、知事及総務部長ニ面会シテ、内山翁表彰ノ願書申達方ヲ依頼セリトノ通報アリ。依テ直ニ返書ヲ認メテ其勞ヲ謝シ、予モ亦、不日知事ニ面会スヘキヲ以テシタリ。

八月二十七日(火)晴 暑

○要、直子ハ朝横浜へ赴ク。角替及朝比奈ヲ訪問ス。

○十時五十分品川発(臨時列車)ニテ沼津ニ至リ、直二一時四十分発ニ乗換ヘ三時四分静岡ニ下車。直ニ県庁ニ出頭、高野学務部長ニ面会ス。部長ヨリ、教育勅語浄書者選定ニ関スル相談ヲ受ケ、依頼ノ方法ヲ決定ス。

小濱知事ヲ訪ヒ、内山真龍翁贈位ニ関スル申請ヲ知事ヨリ提出セラレ、更ニ政府ヲシテ之ヲ実行セシムルヤウ、勸説セラレンコトヲ請フ。之カ為ニハ、予ノ採レル方法、内山翁ノ学問上ノ功績ノ実価、其他恩賞範圍ノ決定ノ不適當、恩赦ノ濫発、神社陞格等ト比較論評ス。知事ハ予ノ意見ヲ傾聴セラレ予ノ希望ヲ納ル。

学務部長室ニ還リ、川合囑託ニ面会シテ、知事ニ談話セルト同一事項ヲ説明シ、政府ニ副申スヘキ文案作成ニ関シ参考トス。

○学務部長ノ厚意ニ依リテ、自動車ヲ供セラレ停車場ニ至リ、四時二十五分発

五時三十七分掛川著、帰ル。隅^ママス子等川崎ヨリ引揚来リ、同

道帰宅ス。

〔欄外〕

○稻作浮塵子多クシテ甚危険トナル。

八月二十八日(水)晴 冷

○朝八時、山崎常磐氏ヲ訪問シ、去十四日帰京以来、内山翁贈位申請ニ関シテ、執レル行動ニ付評価ヲ報告シタル上、(1)武烈天皇御暴虐記事ハ、百済末多王ノ事蹟ナリト断セラレタル内山翁ノ根拠如何ニ付、調査可能ナラハ之ヲ行ハレシコトヲ依頼シ、(2)宮澤氏ヘ伝言及余部送付ノ依頼ヲ為ス。

掛川銀行清算事務所ニ至リシモ、主任者防空演習ノ為不在ナリ。報徳社ニ立寄り、佐々井副社長其他ニ面会ス。

○九時五十六分発ニテ沼津ニ至リ(十二時廿二分著)、大森氏ヲ訪フ。四時同家ヲ辞シ、途中ニテ菓子ヲ求メ、汽船発著場ニ至ル(自動車ヲ供セラル)。桂丸定刻ヲ後ルルコト一時間、五時四十分発七時四十分頃土肥著。二平、二見、橋本等ノ出迎ヲ受ケ、自動車ニテ鈴木方ニ至リ投宿ス。偶然鈴木英氏ノ来泊セルニ会ス。

○午後ヨリ気温降下シ冷氣甚シ。

○館林マス子等ハ八時五十三分発ニテ帰東ス。

○夜、館林三喜男来京、宿泊セリト云フ。

八月二十九日(木)晴 冷

○八時、二平ノ案内ニテ清雲寺ニ墓参ス。其序ヲ以テ分家叔母ノ墓ニモ詣ツ。ソレヨリ鉾山方面ノ田地復旧状況ヲ視察ス。

○九時三十五分発。バスニテ修善寺ニ向フ。途中、城所元七氏同車シ来リ、修善寺駅マテ種々説明ヲ聴ギ、好都合ナリキ。駅ニテ氏ト別レ、十一時三十五分発ニ乗リ、一時伊東ニ著ス。一時四十三分発四時廿四分品川著。直ニ乗換ヘ、渋谷ヨリバスニテ帰宅ス。

○二平ニ対シ女中ノ配慮ヲ依頼ス。

○マス子二児ヲ伴ヒ、昨夜、横浜朝比奈方ニ泊シ、今夕刻来泊ス。

○館林三喜男ハ米穀買入ノ為ニ来京セリト云フ。夜帰来ス。

○伊林初次郎氏ハ、明日飛行機ニテ入京ストノ電報アリシ由ナリ。

○小川やえ女史来訪ス。対座中、顔面赤紅トナリ、眩暈ヲ催シタルモ、暫時ニシテ次第第二平常ニ復シタリト云フ。

八月三十日(金)曇 冷

○八時前、長谷川直敏氏来訪ス。北沢二丁目町会ノ紊乱ニ付テ報告セラル。又、防護演習及清風園事項ニ付テモ談話アリ。十一時過真島氏ヲ訪ヒ、清風園関係ニ付相談ス。

○九時半頃大江すみ子先生同伴ニテ、今西嘉蔵氏令息英一氏ノ三名来訪ス。要ト共ニ接迎ス。右ニ付、夜昇三郎ヘ書状ヲ発シ、英一氏ノコト調査ノ為、元掛川中学校教諭藤井金吾氏ノ住所ヲ問フ。

○午後気分悪シ。依テ四時半頃マテ就褥ス。但其間、秋葉隆氏著、

満洲民族誌ヲ読了ス。

○要ハマス子ト午後小林次郎氏ヲ訪問ス。

○夜、鈴木正夫氏来訪ス。

○夕、中村円一郎氏ヨリ電話アリ。(1)田中廣太郎氏仲裁ノ為、静岡県警察部長ヲ煩ハシ、検事ノ意向ヲ問ハレタルコト。(2)三橋氏ニ対シ刑事上ノ提訴アリシ為、勅任ノ手続遅ルルニ非スヤトノ質問アリトノコトニ付テナリ。(1)前者ニ付テハ初メテ聞ク所ナキヲ告ケ、(2)後者ニ付テハ左様ナル取扱ナカルヘキヲ答フ。

八月三十一日(土)曇 午後晴 冷

○七時半頃、舘林夫妻二児ト共ニ出發。上野ヨリ汽車ニテ前橋ニ還ル。

○身体甚懶シ。依テ午前中就褥ス。

○午後、赤尾敏氏寄贈ノ「滅共反ソカ反英米カ」ナル小冊子ヲ讀ム。又、国際知識九月号ヲ讀ム。

○夕刻、赤木正雄氏来訪ス。大井川上流ヨリ全川ヲ視察セラレ、更ニ三方原、伊豆各地ヲ視察セラレタリト云フ。有益ナル視察談アリ。山葵ヲ贈ラル。

○堀先生ヨリ富山西瓜ヲ贈ラル。

○四時頃、朝比奈アキ子、悠紀子ヲ連レ来ル。又、秋田県出身ノ女中ヲ連レ来ル。

○夕、朝比奈貞一來訪ス。夕食ヲ共ニス。九時過アキ子等ト共ニ横

浜ニ帰ル。

九月一日(日) 半晴半曇 暑

○五時、北沢二丁目各防火群長、八幡神社ニ参集ニ付出席ス。本日ヨリ防火演習開始セラル。

○朝九時四十分頃、要ト共ニ藤井種太郎氏ヲ訪問シ、今西嘉蔵氏ノコトヲ問ヒ、更ニ差支ナキ限りニ於テ、子息ノ健康、人物性行ノ調査ヲ依頼ス。

○二時頃出發青山斎場ニ至リ、故今泉國太郎氏ノ告別式ニ臨ミ、焼香拝礼ス。

○須田町停留場ニテ興三ト会シ、本所震災記念堂ニ赴キ拝礼ス。了テ省線電車ニテ帰宅ス。

○重友ハ十時四十五分發列車ニテ小田原ニ赴キ、某寺ニ一泊、明日遠州ニ至ル予定ナリ。掛川銀行清算配当受領ノコトヲ託ス。

○早朝、前橋舘林マス子ヨリ電話ニテ、伊林初次郎氏、今夕七時三十二分著、入京スト報告アリ。依テ房江子ノ来京ヲ求め、出迎ヘシムルコトトス。夕刻

同嬢、葉子同伴来ル。依テ定刻予ハ要及同嬢ヲ伴ヒ、伊林氏ヲ出迎フ。

〔欄外〕

○真崎脩氏ヨリ、明日退官スル由ヲ以テ、挨拶ヲ述ヘラル。

九月二日（月）曇 朝夕冷 昼暑

○朝、真島幸次郎氏ヨリ、昨日受領セル清風会長宛無名葉書ヲ送届ケラル。依テ之ヲ持チテ、長谷川直敏氏ヲ訪ヒ、更ニ小畑敏四郎氏ヲ訪問シ所見ヲ交換ス。

○一時頃、文部省ニ出頭シ、秘書課長田中義男氏ヲ訪ヒ、内山真龍翁贈位申請ニ関シ陳情ヲ為ス。次ニ、朝比奈策太郎氏ヲ訪ヒ、右件ニ付説明ヲ為シ、協力ヲ乞フ。

○二時過、徳川公爵家ニ出頭シ、植村澄三郎氏ヲ招集セラレタル二千六百年祝典ニ際シ、物故者贈位申請ノ件ニ付、相談会ニ出席ス。植村氏ノ外木原家令、鈴木信吉、福原修、久保春海ノ諸氏出席ス。出願ニ対シ、手續上必要ト認ムル事項ニ付、意見ヲ述フ。

○伊林初次郎氏来訪ス。夕食ヲ共ニス。八時半頃去ル。結婚式ノ日ニ付、相談ス。瀬古氏ノ意見ヲ聴キシニ大体一致ス。

九月三日（火）半晴 暑

○伊林氏結婚日ニ関シ、早朝、館林ト電話ニテ交渉ス。館林モ遂ニ十一日挙式ニ同意ス。要ヨリ瀬古氏ニ対シ右ノ件ヲ相談ス。

○朝、永村清氏ヲ訪ヒ清風会ニ対スル町内ノ誤解ニ付報告ス。又、防空演習ニ際シ、特ニ注意スヘキ事項ニ付相談ス。金久

保栄次郎氏モ永村氏方ニ来リ協議ニ加ハル。

○三橋四郎次氏ト朝電話ス。静岡方面ニ関シテハ格別異変ナシト云フ。氏ハ今朝柴田善三郎氏ヲ訪ヒ、謝意ヲ表スト云フ。

○二時日本俱樂部ヘ赴ク為、バス停留場ニ立ツ。偶マ瀬川弥右衛門氏通過シ、日本俱樂部ヘ赴クトテ予ヲ同車セシメラル。車中種々談話ス。氏ノ好意感謝ニ堪ヘス。

○宗秩寮林事務官ニ電話ニテ囑託木村宗吉氏ニ教育勅語浄書依頼ノコトヲ頼ム。林氏ハ野口事務官ト相談ノ上、之ヲ承諾セラル。依テ事務上ノ打合セヲナシ、其結果ヲ静岡県庁高野学務部長ニ報告（速達）ス。

○三時、日本俱樂部ニテ柴田善三郎氏ニ面会ス。種々ノ事項ニ付交話ス。四時四十分頃退出ス。

〔欄外〕

○恩給請求書ヲ発ス。

○夕、小山正氏来訪ス。内山真龍翁贈位ノ件ニ付、氏ニ依頼ス。

○夜、伊林初次郎氏来訪ス。結婚日取ニ付打合セヲ為シ、種々相談ス。

○服部時計店ニ至リ、予テ側取換ノ為依頼シタルナルダンヲ受取ル。代金三・五十銭ナリ。時差一日一秒ナリト云フ。

九月四日（水）晴 南風 頗暑

○朝、真島幸次郎氏ヲ往訪シ、清風会ニ対スル周囲ノ反感ニ付、

所見ヲ交換ス。十一時過長谷川直敏氏ヲ訪ヒ、右報告ヲ為シ、且今夕ノ町会ニ欠席ニ付、宜シク依頼ス。

○町会長鷺野幸三郎氏ヲ訪ヒ、町会不参ノコトヲ告ク。氏ハ不在ナリシヲ以テ、夫人ニ此事ヲ告ケタル上、近日面会シタキ旨伝言ヲ依頼ス。

○宮澤岳氏ニ書状ヲ贈リ、文部省出頭ノ報告ヲナシ、知事ニモ強ク政府ヘ進言セラレンコトヲ申出ツルヤウ申通ス。

○マス子一時十六分上野著ニテ入京シ、房江娘ノ為ニ買物ヲナス。要、之ヲ手伝フ。マス子一泊ス。

○一時頃三会堂ニ至リ、帝国治山治水会總會ニ出席ス。同会ニテハ解散ト共ニ全會員及財産ヲ社團法人タル帝国治山治水会ニ引継クコトヲ決定シ、法人設立申請ノ件、役員定款等一切ヲ議決ス。五時半散会ス。ソレヨリ満鉄アジア方ニテ開カレタル晚餐会ニ臨席ス。各府県代表其他五六十名出席ス。香坂会長ノ挨拶、三宅氏ノ謝辞アリテ散会ス。

九月五日（木）晴 南風 頗暑

○朝、町会長鷺野幸三郎氏ヲ訪ヒ、清風会ノコト、清風園内居住者ニ対スル反感ノコト、防護団ノコト等ニ付、隔意ナキ話ヲ為ス。

○伊林初次郎氏、瀨古保次氏来訪、伊林氏結婚式場ヲ学士会館トシ、時刻ヲ十一時ト定ム。伊林氏ハ、マス子、房江子ト共

ニ学士会館ニ赴キ現場ヲ視察ス。

○小林次郎氏来訪、今西英一氏ニ關スル調査ヲ示サル。例ニ依リテ厚意謝スルニ辞ナシ。

○午後一時ヨリ二時迄、世田谷区内ニ於ケル防火演習アリ。出勤ス。

○夕、蒲田〔空白〕氏夫人、マス子ヲ来訪、多久次氏、房江子結婚ニ付、祝品ヲ贈ル。

○七時半ヨリ永村氏方ニテ家庭防火群常会アリ。出席ス。

○大江スミ子先生ヨリ電話ニテ、今西氏ヨリ当方ノ決意催促アリシ由ヲ告ケラル。甚以テ当惑ス。

〔欄外〕

○北白川宮永久王殿下、昨日蒙彊^{マヤ}ニ於テ飛行機事故ノ為、戦死アラセラレタル由發表セラル。恐懼ノ至ニ堪ヘス。

○植村澄三郎氏ヨリ、来七日首相及文相ヲ訪問スヘキニ付、予ニ介添ヲ依頼セラル。之ヲ諾ス。

○塚本清治氏ヨリ、来九日ノ各派交渉委員懇親会ノ経費ニ付質問アリ。前回ノ申合せニ依ルモノナルコトヲ答フ。

九月六日（金）晴 南風強 暑

○八時過出發、省線品川下車、北白川宮家ニ至リ、弔問ス。車ヲ返シテ品川駅ニ至リ、東京駅ヨリ北御車寄ニ入り記帳ヲ為シタル上、侍従長、皇后宮大夫ニ面会シ、天機并御機嫌ヲ奉

伺ス。更ニ東京駅ヨリ信濃町ニ至リ、自動車ニテ往復、大宮御所ニ御機嫌ヲ奉伺シテ帰ル。

○午後二時頃出發、新宿三越ニテ海苔（代四円四十五錢）ヲ求メ、中野駅下車バスニテ中野区大和町一三六ニ藤井金吾氏ヲ訪ヒ、今西英一氏ノ性格等ヲ問フ。ソレヨリ高円寺駅ヲ經テ帰宅ス。

○午前十一時真島幸次郎氏ヲ訪ヒ、又、夜八時半頃、途上ニテ長谷川直敏氏ニ対シ、昨日鷺野氏訪問ノ時ノ内容ヲ報告ス。
○防空訓練警戒管制ニ入りシヲ以テ、金久保氏方店員来リ、服務セラル。

〔欄外〕

○故北白川宮永久王殿下ノ御尊骸ハ、今朝張家口ヲ飛行機ニテ御出發、夕五時〔空白〕立川御著。八時十八分宮邸ニ御帰還遊ハサレタリ。

○明日午後二時、故衛生上等兵溝口晴男氏ノ村葬ヲ南鄉村役場ニテ執行スル旨ノ通知狀ヲ受領ス。

○羅馬尼国王カロル二王ハ本日退位シ、位ヲ皇太子ニ讓ル旨親書ヲ發セラル。

九月七日（土） 雨 冷

○本日ハ植村澄三郎氏トノ約束ニ従ヒ、氏ヲ同伴シ内閣及文部省ニ出頭スヘキノ処、差支（次項）ノ為善後処置トシテ、稻

田書記官ニ電話ヲ以テ植村氏ニ面会ヲ依頼ス。又、文部省ヘハ秘書課長ノ電話見當ラサルヲ以テ其方法ナシ。木原清氏ニ電話ヲ以テ予ニ代リテ同行アランコトヲ求ム。

○九時二十分植村氏ヲ訪ヒ右ノコトヲ告ケ、且氏ノ求ニ依リ文部省教学局朝比奈策太郎氏ヘ紹介ノ為、予ノ名刺ヲ植村氏ニ渡ス。

○十時、議長応接室ニ於ケル各派交渉委員会ニ出席ス。北白川宮永久王殿下御戦死ニ付、貴族院ヨリ特別ノ弔辞ヲ捧呈スルニ決シ、其案文ニ関シ審議ス。種々ノ意見提出セラレ、議長ニ決定ヲ一任ス。

○同成会例会ニ出席ス。次田、中川、入江、青木、米山、佐藤、大谷諸氏既ニ在リ。塚本、柴田、平沼三氏ト共ニ出席ス。新体制問題ニ付意見ヲ交換ス。

○中川氏ノ自動車ニ便乗シ、日本俱樂部ニ至リ昼食ス。

○丸ビルニ至リ、ロダンジウカルチン一瓶ヲ求メ、帰途用法ヲ堀先生ニ問ヒ、タヨリ服用ス。

○瀬古書記官長ヲ貴族院ニ訪ヒシニ不在ナリ。他日ヲ期ス。

○警戒管制中ニ見張番ヲ置クノ要アリヤニ付、疑問佐藤氏ヨリ出テシヲ以テ、金久保氏ヨリ鷺野氏ニ問合ヲ求ム。其結果不要ニ歸ス。此事ニ付、予ハ大滝靖氏ヲ訪ヒテ質問ス。佐藤氏ニ之ヲ答フ。

〔欄外〕

○溝口上等兵ノ村葬午後二時南郷小学校々庭ニテ行ハレシヲ以テ、朝、左弔電ヲ原田村長ニ送ル。

故陸軍衛生上等兵溝口春男君ノ英靈ニ対シ衷悼ノ誠ヲ捧ク。

○睡眠中、十一時十分空襲警報ノ発令アリ。直ニ起出テ警備ニ就ク。我組ニテハ岩井氏（代）、佐藤氏及予ノ三名ノミ。組長副組長及高井、西俣、郷三氏ハ起キス。十二時解除セラル。

○榛葉忠藏氏ヨリ富士梨壺箱ヲ贈ラル。

九月八日（日）曇 蒸暑 冷

○昨朝ト同シク、午前五時十分空襲警報アリシモ、耳鳴甚シキヲ以テ起出テズ。直子代テ勤務ス。

○永村清氏来訪、今朝驚野警防団分会長ヲ訪ヒ、第三群ニテハ来月初旬行ハルヘキ防空演習ニ際シ、選出スヘキ団員ナキノ了解ヲ得タル旨報告アリ。「空白」氏ハ今日出發台湾ヘ赴クト云フ。

○海軍少将島内桓太氏病氣重篤ナル由、永村氏ヨリ聞ク。依テ九時往訪見舞フ。夫人及令息ニ面会ス。

○堀先生ヲ訪ヒ、耳鳴ヲ訴ヘ健康診断ヲ求ム。血圧一四〇、心臟異常ナシ。午前十一時ヨリ臥床ス。午後一時間許リ熟睡ス。気分次第ニ輕快ナリ。

○三時頃館林三喜男来訪ス。又、多久次氏モ来訪ス。館林ハ四時過發、瀬古氏ヲ訪ヒ、七時過上野發ニテ帰ルト云フ。多久

次氏モ同時退去ス。

○家庭防災群長ヨリ分会長ノ發令トシテ、空襲警報發令アリタル時ト雖モ、空襲監視人ヲ出スニ及ハスト回答シ来ル。

○午後横田進氏来訪シ、久闊ヲ叙ス。

○三宅福馬氏ヨリ同氏著、修養夜話ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○大東館ヨリ梨一箱ヲ贈ラル。

九月九日（月）雨 冷

○気分宜シカラス、午前中臥床ス。

○十二時華族会館ニ至リ、各派交渉委員ノ懇親会ニ出席ス。食後、中御門侯座長ニ推サレ、各派ニ於ケル新体制問題ニ対スル態度ニ付、披露アリ。次テ座長ヨリ、此際交渉委員中ヨリ各派三名ヲ選シテ研究会ヲ組織シ、政府ヨリ説明ヲ求メ研究ヲ進メテハ如何、ト提議アリシニ対シ、尚早論多ク決定ニ至ラス。三時頃散会ス。

○大久保氏ヨリ一昨七日、議長副議長及書記官長ニ対スル批評ヲ聴キシヲ以テ、食後其内容事實ヲ確カメ、予ノ態度ヲ告ケ置ケリ。

○三時過貴族院ニ書記官長ヲ訪ヒ、大久保子談話ノ内容ヲ報告シ、且事實如何ヲ問ヒ、所見ヲ交換ス。四時過辭去ス。

○館林マス子、房江子同伴ニテ来泊ス。

○夜、重友帰京ス。

九月十日（火）雨 冷 午後晴 暑

○十二時中央亭ニ於ケル日本国際協会午餐会ニ出席ス。食後、朝鮮銀行理事兼北京支店支配人中野正永氏ノ、北支経済事情及聯銀券ニ付テノ講話アリ。甚有益ナリ。

○三時頃日本倶楽部ニ至リ、鎖閑ヲ為ス。其間河原田稼吉氏ニ面会ス。

○伊澤多喜男氏、本日午後四時過帰京セシ由ニテ、電話アリ。依テ電話ニテ最近ノ政情ニ付報告ヲ為シ、且氏ノ意見ヲ聴ク。伊澤氏ハ参信鉄道ノ件ニ付、豊橋側ノ熱意足ラサルヲ憂ヒラル。

○夕、伊林初次郎氏来訪ス。明日結婚式ニ付、打合セヲ為ス。夕食ヲ共ニス。

○泰治日光ヨリ帰宅ス。

○防空演習最後ノ日ナリ。夕刻、毒瓦斯彈避難演習ヲ為ス。毎戸一人ヲ残留セシメ、其他ハ合図ニ從テ、悉ク殖民^{マヤ}学校ヘ群長指揮ノ下ニ避難シタリ。

九月十一日（水）晴 暑

○館林房江子、伊林氏ト結婚ニ付、早朝マス子ト共ニ学士会館ヘ赴ク。予ハ要ト共ニ葉子ヲ連レ、十時二十分頃到着ス。

○十一時双方親戚列座ノ上、式ヲ挙ク。五十分ニシテ芽出度終了ス。十二時頃ヨリ来賓到着。十二時半披露宴ヲ開ク。瀬古保次氏媒酌人トシテ挨拶ヲ述ヘ、長世吉氏一同ヲ代表シテ祝辞ヲ述ヘラル。二時散会。予ハ三時半帰宅ス。

○伊林氏ノ荷物ノ世話ヲ頼ミ、且軍用行李ヲ偕行社ヨリ受取来ル為、貴族院ヨリ小使一名ヲ使用ス。

○伊林氏夕刻来リ荷物ノ取纏メヲ為ス。

○満洲撫順炭坑勤務鳥山徳司氏来訪ス。

○矢田部盛枝氏、夜来訪ス。

○本日、鈴木幸作氏トバスニ同車ス。町会長ニ挨拶スヘキコトヲ告ク。

○陸軍中将榊原昇造氏逝去セラレシ由、新聞紙ニテ承知ス。
〔欄外〕

○三橋四郎次氏貴族院議員ニ勅任セラル。

○本日ノ婚儀列席者、左ノ如シ。

新郎及新郎側

伊林順平（兄）

〃 嘉三郎（〃）

杉本與松（従兄）

杉本長吉（〃）

伊林六郎平（叔父ノ息）

新婦及新婦側

館林三喜男

マス子

多久次

中澤静子

高崎佐右エ門

夫人

其他関係

長世吉、石井忠純、近藤書記官、葉山書記官、木澤事務官、

清水代議士夫人、佐久夫人、斎藤一治、青木親治、井上武

夫、小林次郎、村上徳太郎、同夫人

九月十二日（木）晴 暑 夕雨 冷

○六時半赤木正雄氏ヲ訪問シ、矢田部氏ノ為ニ中宮祠上ノ崩壊
防止ノコトヲ願ヒ、本日午前矢田部氏内務省ニ同氏訪問ノ打

合セヲ為ス。

○八時四十分頃上野寛永寺ニ至リ、顕徳院殿百日法要ニ参加ス。

九時開式、読経十時終了ス。ソレヨリ墓参ヲ為シ、京成電車
及省線ニ依リテ帰宅ス。新宿マテ井出謙治氏ト同行ス。

○伊林氏ノ荷物ヲ鉄道ニ託送スルニ付、颱風ノ為駅ニテ受付ケ
スト云フ。依テ同氏ニ之ヲ通シ、氏ヨリ鉄道省役人ニ請求シ
タル結果、漸ク渋谷駅ニテ受付クルコトナレリ。厄介千万
ナリ。

○食後気分宜シカラサルヲ以テ臥床ス。一時間半許リ睡眠セシ

ニ、爽快ヲ覺エ来レリ。但此時ヨリ蒸暑去リ、冷氣加ハレリ。

○四時頃佐藤恒丸氏来訪ス。故男爵小池正直氏伝ヲ贈ラル。又、

女婿某法学士（厚生省保健局防疫課嘱託勤務）ノ将来ニ付テ、
懇フル所アリ。卑見ヲ述フ。

○夕食ニハ一同ニテ鮎ヲ作り、大二房江夫人ノ為ニ送別会ヲ為
ス。

○河合亮之助氏ヨリ梨果一箱ヲ贈ラル。

九月十三日（金）快晴 冷

○夜来雨斂マリ好晴トナリ、秋光輝ク。

○伊林房江子、九時発燕号ニテ北京ニ向フ。館林夫妻、葉子、
要等、停車場ニ見送ル。駅ニハ伊林氏見送者多数ナリシト云
フ。横浜ニテハアキ子見送ル。

○終日気分悪シ。十一時頃ヨリ臥床、四時半起出ツ。

○朝、金久保栄次郎氏ヲ訪ヒ、今夕開会ノ群長会議ニ欠席ノ旨
ヲ告ケ、去ル八日隣組長永村氏、第三組ハ防護員選出不可能
ノ了解ヲ驚野氏ヨリ得タル由ヲ報告ス。永村氏ハ副組長ナル
金久保氏ニ此事ヲ告ケシテ、旅行セシカ如ク、果シテ然ラ
ハ処置適當ナラス。

○朝、鈴木幸作氏来訪ス。町会長ニ挨拶ノ件ニ付相談アリ。罹
災当時既ニ挨拶済ナリト云フ。而シテ其時贈呈セシ金額ニ付

テハ取調ノ上報告スヘシト約セラル。之ニ対シ挨拶ノ方法ヲ研究スヘキヲ答フ。

○関根俊平氏ヲ訪ヒ、右件ニ付事実ヲ問フ。

○重友ハ午後前橋ヘ赴ク。

○夜、会計検査院書記村田茂氏来訪ス。満洲国文官試験受験ニ付、所見ヲ質サル。筆記試験合格通知ヲ受領セシヲ以テ一路邁進ヲ奨ム。

九月十四日(土) 晴 冷

○朝、金久保榮次郎氏来訪シ、昨夜ノ防火群長会議ノ状況ヲ報告セラル。其結果永村清氏ヲ訪ヒシモ、不在ナリシ為、十七日夜常会開会ニ決ス。

○長谷川直敏氏ヲ訪ヒ、右件ニ付報告ヲ為ス。

○十一時前、貴族院ニ至リ小林書記官ヲ訪フ。偶然ニ保科子爵ト邂逅シ、新体制ニ付所見ヲ交換ス。瀨古書記官長ヲ訪フ。

○文部省ニ朝比奈策太郎氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。報徳経済学研究会ニ出席ス。佐々井信太郎氏ノ新体制ノ意義ト報徳生活ニ関スル意見ノ披露アリ。本件ニ付テハ更ニ次回ニモ各員ノ意見ヲ開陳スルコトトス。

○一木男爵ト面談ノ結果、明後日袋井町ノ一円報徳社結社式ニ出席スルコトヲ約ス。夕、鷲山理事ノ書状ニ接シ、明早朝出發ニ決定ス。

○夕、赤木正雄氏来訪ス。

○夕、杉山春子夫人来訪ス。妹(長崎トラピストノ人)療病ノ為、横浜ニ滞在スト云フ。

○夜、徳田政信氏来訪ス。祖父贈位申請材料書ヲ一見ス。

〔欄外〕

○早朝、静岡三橋氏ト電話ス。即御礼ノ為至急上京参内スルコト、首相、正副議長、書記官長等ヲ訪問スルコトヲ勧告ス。

九月十五日(日) 晴 暑

○四時廿分起床、五時一分池ノ上発電車ニテ渋谷ニ出テ、五時五十三分品川発ニテ掛川ニ向フ。十時五十分著、袴田銀藏氏出迎ヘラレ直ニ報徳社ニ出頭ス。

○報徳社ニテハ研究会アリ。之ニ出席ス。新体制問題其他ニ付談話ス。

○内務省地方局監察課長畠田昌福氏来社ス。鷲山理事ト共ニ社内ヲ案内シ事業ヲ説明ス。

○袴田銀藏氏ニ対シ田辺郁太郎氏側縁談ノ意向ヲ催促セシニ、既ニ昨日發状セリト云フ。而シテ郁太郎氏及夫人ノ意向ヲ詳細ニ説明セラル。

九月十六日(月) 晴 冷

○早朝、石野元治郎、小柳直吉両氏来訪ス。依テ甘藷畑ニ赴キ

栽培ノ成績ヲ実見ス。芳次モ行ク。県農会技手佐野與市氏モ視察ス。同氏ニ対シ、米ノ供出方ニ付依頼ス。

○笹藪金作氏凱旋ニ付、其実家ヲ訪フ。大谷仙次郎氏逝去ニ付、弔問ス。

○九時、掛川報徳社ニ出頭ス。袋井町ニ報徳社結成ニ付、小栗隆平、高橋吉十両氏来訪面会ス。両氏ハ本日午後結成式準備会ヲ開クニ付、社長代理トシテ予ニ対シ出席ヲ求メラレ、其日取ニ付相談アリ。

○帝室林野局出張所ヲ訪問ス。培本塾生ノ御料地実習ニ付、所長及寺田技手ノ意見ヲ問フ。両氏ハ明春、亦実習参加ヲ懇願セラル。依テ其時期場所等ニ付、所見ヲ交換ス。

○笹藪金作氏凱旋ニ付、組中一同御礼ノ為神詣ヲ為ス。

○浮塵子駆除油配給ニ付、高柳商店ニ不正アリ。依テ其事件ヲ村農会ニ報告セシム。其結果所定ノ配給ヲ得タリ。

○夕刻、東京宅ヨリ、用事済次第速ニ帰宅ヲ促スノ電報ヲ受ク。

〔欄外〕

○マスエ本日ヨリ気分悪シトテ、臥床ス。

○重友ノ為ニ、蝮一疋分ノ粉末ヲ贈ラル。

○夜、飛行機発見演習アリ。掛川中学校ヲ中心トシテ行ハル。

○山葵漬御下賜

一山葵漬 竹筒入 壺本 那須御用邸産

右

兩陛下ヨリ賜ハリ候条御差廻シ申上候 此段申進候也

昭和十五年九月十六日 侍従職

元皇后宮大夫河井弥八殿

追テ御礼ノ儀皇后宮大夫ヨリ申上済ニ有之候

九月十七日（火）曇 午後雨 冷

○七時四十分頃、山崎常磐氏ヲ訪問シ、内山翁贈位ノ件ニ付相談ス。

○八時五十三分發ニテ帰京ス。三時前帰宅ス。藤枝ヨリ静岡迄中村円一郎氏ト同車ス。

○要ヨリ昨日大江先生来訪ノ詳細ヲ聴ク。

○夕、昇三郎来泊。

○七時半ヨリ金久保氏方ニテ隣組会合アリ、出席ス。十月一日ヨリ開始ノ防空演習ニ際シ、警防団員一名ヲ選出ノ件ニ付相談アリ。其結果代理人一名ヲ雇入レ、其選任ヲ町分会長ニ依頼シ、謝礼ハ第三組各戸ヨリ均分負担スルニ決シ、之力執行方ヲ副組長金久保氏ニ依頼ス。

○夕、鈴木幸作氏夫人来訪ス。右件ニ付相談アリ。第二組長藤答吉氏及関根俊平氏ニ相談セラルルヤウ答フ。

○館林マス子、葉子同伴、午後三時頃出發前橋へ帰ル。

九月十八日（水）暴風雨 冷

○北白川宮永久王殿下ノ御葬儀ニ参列ス。八時二十分出發、バス、省電、市電ニテ豊島岡ニ九時二十分著。十時過靈柩車奉迎、十一時過葬儀場ニ著席、奉拝ノ上、十二時過散出、一時頃帰宅ス。風雨烈シク衣帽悉ク湿フ。

○帰宅ノ後、二時間計リ臥床ス。

○昇三郎ハ直子縁談ニ関シ、北支開發会社ニ〔空白〕氏ヲ訪ヒ、今西英一氏ノコトヲ取調ヘ、夕刻來訪ス。夕食ノ後意見ヲ交換ス。九時四十四分品川ニテ乗車帰西ス。

○北京伊林氏ヨリ電報ヲ以テ「元氣デツイタ」ト報告アリ。

九月十九日（木）雨 冷

○十一時頃貴族院ニ至リ、小林書記官ヲ訪ヒシニ不在ナリ。瀨古書記官長ニ面会ス。

○正午、中央亭ナル日本國際協會午餐会ニ出席ス。白耳義大使栗山茂氏ノブリュッセルヨリリスボンナル談話ヲ聴ク。欧州大戰進行ノ狀況耳ニ新ナリ。

○日本俱樂部ニ至リ小憩ス。其間藤井種太郎氏ニ電話ス。

○四時過、日本家政学院ニ大江先生ヲ訪問ス。縁談ニ付厚キ尽力ヲ深謝シ、今西英一氏ト会見ノ機ヲ与ヘラレンコトノ承認ヲ乞フ。

○五時ヨリ、軍人会館ナル静岡育英会理事会ニ出席ス。本月末任期終了トナルヘキ理事監事選任ノ件、育英会ノ事業方針ヲ

改定シ、軍人、技術者ニ重点ヲ置クヘシトノ柴田善三郎氏ノ提案ニ対シ、研究ノ為委員ヲ置クノ件、資金募集ノ件等ヲ相談シテ有志晚餐ヲ共ニス。八時散会ス。一木、山崎正副会長、久保、飯田、篠田、児玉、宇佐美、緒明、江藤各理事、増田監事出席ス。

〔欄外〕

○重要國務ニ関シ御前會議開会セラル。参謀総長、軍令部総長、首相、陸相、海相、外相、蔵相、星野無任所相、枢府議長、参謀次長、軍令部次長、~~中閣書記官長~~、列席ス。會議三時間ニ亘ル。

九月二十日（金）晴 冷

○海軍少将島内桓太氏昨日逝去セラレシ由、鷲野幸三郎氏ヨリ通知アリシヲ以テ弔問ス。

○貴族事務局ニ至リ読書室ニ於テ、新聞記事ノ取調ヲ為ス。十一時五十分頃、外務省ニ松田道一博士ノ都合ヲ問ヒシニ、直ニ往訪ヲ求メラレシニ由リ訪問ス。外交ノ近状ニ付、啓発スル所多シ。一時退去ス。

○レーンボー・グリルニ至リ中食ス。次ニ貴族院ニ至リ、新聞紙ニ就キ取調ヲ為ス。又、瀨古書記官長ニ面会シ、最近ノ狀況ヲ問フ。

○宮内省宗秩寮囑託木村宗吉氏ノ勅語及勅書ノ揮毫成リシ由ニ

テ、謝礼ノ額ヲ問ハレシヲ以テ、野口事務官ニ問合セタル上、貴族院近藤書記官ニ質シ金三十円ト決シ、其旨ヲ県庁教育課長河合喜代治氏ニ通知ス。

○金久保栄次郎氏ノ依頼ニ依リ、同氏ト共ニ松井秀五郎氏ヲ訪ヒ警防団員雇入ノ件ヲ問ヒ更ニ依頼ヲ為ス。

〔欄外〕

○小栗隆平氏ニ対シ、廿八日袋井町一円報徳社結成式ニ出席スヘキコトヲ返書ス。

○米山梅吉氏ヲ訪ヒ、静岡育英会監事継続ノコトヲ乞ヒ、承諾ヲ与ヘラル。

○午後、大江先生ヨリ電話アリ。昨日ノ予ノ申入ニ関シ、更ニ占筮ニ問ヒタルニ直子ニハ別ニ最上ノ縁談アルヘシトノコトナルヲ以テ、今西氏トノ問題ハ中絶スヘシト申越サレタリト云フ。

○夕、大森夫人健一郎ト共ニ来訪、一泊ス。

九月二十一日（土）晴 冷

○早朝、昇三郎ヨリ電話アリ。田辺氏ノ意向ヲ問フニ付、中止ヲ求メタル事由ヲ質サル。又、今西氏縁談進行ノ状況ヲ問ハル。依テ昨日大江先生ヨリ電話アリシ次第ヲ告ケ、不成立ニ帰シタルコトヲ明ニス。

○要ハ大森夫人ト共ニ高木一郎氏ヲ訪問ス。ソレヨリ三越へ赴

ク。大森夫人ハ沼津へ帰ル。

○午後一時過、故島内海軍少将邸ニ至リ、焼香ヲ為ス。

○午後読書ス。

○南郷村長ヨリ慰問袋ノ割当アリタルニ付、金二十円ヲ寄附アリタシトノ申越アリシニ対シ、振替貯金ヲ以テ送金ノ手續ヲ取ル。

〔欄外〕

○早朝、植村澄三郎氏ヨリ電話ニテ、同氏過日内閣書記官往訪ノ顛末ヲ報告セラル。

九月二十二日（日）晴 冷

○終日家居。読書ス。睡気強ク二時間計リ昼寝ス。

○朝、金久保栄次郎氏来訪。松井秀五郎氏ノ斡旋ニ依リ、第三群ヨリ出スヘキ防護団員ノ選定ヲ見タル由報告セラル。

○繁田誠一氏ノ父武平翁（七十四）、母こう子女史（六九）、此程結婚五十年ヲ迎へ、金婚式ヲ挙ケタリトテ、両親ノ写真及記念品ヲ贈リ来リ。予ニ揮毫ヲ求メラル。依テ直ニ執筆シ、祝賀状ヲ呈ス。

○気分宜シカラサルヲ以テ、明日ノ皇霊祭ニ不参ト決シ届書ヲ発ス。

九月二十三日（月）晴 冷

○早朝、新聞紙上ニ繁田武平氏狭心症ニテ急逝ノ由ヲ知ル。依テ九時池袋發電車ニテ豊岡町ニ至リ弔問ス。嗣子誠一氏及未亡人ニ面会シ焼香ス。又、昨日予ノ執筆セル書箋ヲ贈ル。十一時發ニテ帰京ス（香料五円ヲ呈ス）。

○木原清氏、今朝四時過簡野病院ニテ急逝セシ由、徳川公爵家ヨリ電話アリ。豊島町ヨリ帰宅ノ後、之ヲ聞ク。昼間ハ来客有リシ為、夜八時過弔問、九時過辞去ス。香料十円ヲ呈ス。夫人ハ一ヶ月許前ヨリ神經痛ニテ臥床シ居ルト云フ。男嗣ナシ。林弥三吉、宇佐美興屋、安井正吾諸氏ノ外徳川家家職ノ人々来集シ、執務ス。

○二時半頃、遠州学友会講演部幹事鈴木氏（帝大経済学部）来訪シ、今夏開催セシ講演会ノ状況ヲ報告ス。

○四時頃、久保春海氏来訪ス。応助君縁談ノ件ニ付相談アリ。夕食ヲ呈ス。七時過帰ル。予モ同行、代々木駅ニテ別ル。

〔欄外〕

○昨二十二日午後四時三十分、日、仏印現地軍事当局間ニ於テ、九月初旬以来交渉中ナリシ軍事問題協定成立シ、我陸海軍部隊ハ之ニ基キ本日仏印北部ニ平和的進駐ヲ開始シタリ。而シテ我部隊ノ国境通過ニ当リ、一部若干ノ紛争ヲ見タルモノノ如キモ、今後大ナル支障ナク進駐完了スルモノト期待ストノ發表アリ。

○此協定ハ仏国側ニ於テ、我陸海軍力支那事變完遂上、印度支

那ニ於テ必要トスル軍事上ノ便宜供与ヲ凡テ承認セシモノニシテ、皇軍ニハ仏領土侵略ノ意ナキモノト發表セラル。

九月二十四日（火）曇 冷

○十時青山斎場ニ赴キ、故紀俊秀男ノ告別式ニ臨ミ退出ス。

ソレヨリ、田中館博士ノ好意ニ依リ、博士ノ自動車ニ同乗シテ貴族院ニ登院ス。

○議長ノ招集ニ係ル各派交渉委員会ニ出席ス。(1)議會開設五十年記念式典挙行ノ為、準備委員ヲ各派ヨリ選定ノ件。(2)陸海軍傷病將兵慰問ノ為、議員団組織派遣ノ件ヲ決定ス。散会后旧同成会控室ニテ、伊澤、塚本、小坂三氏ト協議シ、右二件処理ノ方法ヲ決定シ、小坂氏ノ自動車ニテ昭和会館ニ至リ、案文ヲ作り、之ヲ發送方ヲ三浦氏ニ依頼ス。

○小坂氏ノ自動車ニ同乗、中央亭ナル日本國際協會午餐会ニ出席ス。村井倉松氏（元泰国公使）ノ泰国事情ニ関スル講話ヲ聴ク。

○貴族院ニ小林書記官ヲ訪ヒ、用務ヲ処弁ス。

○三時植村澄三郎氏ヲ訪ヒ、二千六百年祝典ニ際シ、贈位申請者ノ範圍ニ付協議ス。尾州家令、鈴木信吉氏来リ加ハル。四時半辞去ス。

○五時過、阿川昌朝氏ヲ訪ヒ、同氏ヨリ清風会ニ対スル町会ノ意向ヲ聴取ス。案外価値ナキ些事ナリ。町会振興策ニ付進言

ス。

〔欄外〕

○昨日、仏印ニ於ケル衝突ノ状況発表セラル。米國ノ態度宜シカラサルモ、仏國側ノ発表ニ依レハ、米國ニテモ已ムヲ得スト認メシ由ナリ。

○要ハ德力方ニ至リ、白金及金ノ全部ヲ売却ス（代、二九九円一五錢）。

九月二十五日（水）曇 冷

○午前九時半、徳川公爵邸ニ至リ安井家扶ニ面会ヲ求ム。敏子令嬢御結婚ニ付、家政相談人一同ヨリ御祝品贈呈ノ件ニ関シテナリ。而シテ出頭ノ時刻ト共ニ用件ヲ通告シ置キタルニ拘ラス、家正公ト会談中ナリトテ、正一時間待居タリ。依テ代人ニ面会ヲ求メ、用件ヲ果シテ退去ス。

○十一時過、同成会ノ例会ニ出席ス。出席者ハ入江、磯貝、伊澤、大谷、塚本、中川、熊谷、小坂、小坂、青木、柴田、平沼ノ十三名ナリ。昨日各派交渉委員会ニテ決定セシ件ニ付協議ス。又、月番幹事塚本氏ヨリ、紀元二千六百年記念祝賀会寄附金募集ノ披露アリシニ対シ、金十円ヲ呈出シ三浦事務員ニ託ス。ソレヨリ新体制問題等ニ付、意見ヲ交換ス。正午ヨリ幸俱樂部ノ午餐会アリ。

○一時頃、渡辺崋山遺作展覽会ヲ觀覽ス。実ニ驚歎スヘキ傑作

アリ。又、椿山ノ画ケル崋山肖像及自刃ノ時用キタル刀ハ最深ク注意ヲ惹キタリ。

○一木男爵ヲ訪問シ、静岡育英会副会長補欠ノ件及宮本甚七氏逝去ニ関シテ相談ス。

○帰途、長谷川將軍ヲ訪ヒ、昨夕阿川昌朝氏ト会談ノ内容ヲ報告ス。

〔欄外〕

○宮本甚七氏昨日逝去セラレシ由、新聞紙ニ記事アリ。又、横光浜松市長ヨリモ電報アリ。夕市長ニ対シ謝電ヲ發シ、葬儀ノ日時ヲ問ヒ、且叙位申請ヲ依頼セシニ、九時頃返電アリ。

○宮中顧問官渡辺勝三郎氏逝去ス。嗚呼、何ソ訃報ノ多キヤ。

九月二十六日（木）晴 冷

○朝、朝比奈策太郎氏ヨリ電話ニテ、文部大臣又ハ次官ヲ訪問ノコトヲ勸メラル。

○朝、里崎英藏氏ヲ訪ヒ、最近ノ清風会ノ會計状況ヲ問フ。氏ハ不在ナリシモ明瞭トナレリ。

○十時、家政学院ニ至リ大江先生ヲ訪問シ、なほ子縁談ニ付配慮セラレタルヲ深謝ス。其後ノ事情ニ付、先生ヨリ詳話アリ。

○午後三時、軍人会館ニ於ケル静岡育英会評議員会ニ出席ス。本月末日ヲ以テ、任期満了ニ至ルヘキ理事監事ノ選任ヲ行フ。柴田善三郎氏ノ發議ニテ会長指名ニ一任シ、会長ハ引続留任

ヲ宣ス。次テ山崎副会長ヨリ宮本甚七氏ノ逝去ヲ報告シ、同氏ノ功績ヲ述ヘテ、特ニ議決ヲ以テ弔辞ヲ呈センコトヲ發議セラレ、全会一致之ヲ可決ス。其文案ハ、予直ニ起草シテ一同ノ承認ヲ得タリ。

○予ハ廿九日会葬スヘキニ付、弔辞ヲ靈前ニ捧クルコトヲ託セラル。

○渡辺勝三郎氏逝去ニ付、弔問シテ焼香ス。

○朝比奈アキ子、由紀子同伴来泊ス。

〔欄外〕

○枢密院ハ午前十時ヨリ全院委員会ヲ開キテ、日独伊三国条約ニ付審議シ、八時過本會議ヲ開キ、〔闕字〕 天皇陛下御親臨ノ下ニ全会一致原案ヲ可決シ、十時散会シタリ。

九月二十七日（金）晴 冷

○朝、金久保栄次郎氏来訪、今夕隣組会合開催ノ由通知セラル。

○永村清氏夫人来訪、永村氏帰京ノ期遅ルル由ニテ、防空演習ニハ間ニ合ハズト告ケラル。今夕隣組会ニテ協議セラレンコトヲ乞フ。

○故木原清氏ノ葬儀ニ列スル為、十二時出發、青松寺へ赴ク。一時ヨリ葬儀アリ、焼香ス。終テ告別式アリ。列立三時半頃發柩ヲ見送りテ帰宅ス。長谷川直敏中将ト同道ス。

○朝比奈アキ子タ刻帰浜ス。

〔欄外〕

○夜九時十五分、日独伊三国条約締結成リシ由發表セラル。同時ニ詔書ヲ渙發セラレタリ。

九月二十八日（土）晴 薄暑

○午前五時起床、六時池ノ上ニテ電車ニ乗り渋谷經由六時半品川著、六時五十三分發ニ乗り十二時十二分袋井著。盈屋支店方ニ休息ス。掛川本社ヨリ岩竹信太郎氏同行ス。袋井ニテハ駅頭ニ杉山せい子出迎ヘラレ、又小栗隆平太田民次郎氏斡旋セラル。

○二時、東尋常高等小学校ナル袋井町一円報徳社結社式ニ臨席ス。一木社長代理トシテ祝辞ヲ朗読シ、又、来賓トシテ祝辞演説ヲ為ス。斯クテ二十三部落社ヲ単位トスル町報徳社成立ス。次ニ講演会ニ移リ、予ハ、三国条約ト報徳ノ実践トモ称スヘキ内容ニ付、一時間二十分斗リ講演ス。

○盈屋支店ニ歸リ、休息ノ上五時五十九分發六時十分掛川着ニテ帰宅。

九月二十九日（日）曇 夕雨 冷

○朝、小柳直吉氏来訪ス。

○十二時二分掛川發列車ニテ浜松へ赴ク。三橋、中田、尾崎、片岡諸氏及北河豊次郎氏同夫人等ト同車ス。浜松駅ヨリ北河

氏ノ車ニ同乗シ、宮本甚七氏ノ邸ニ至リ葬儀ニ列ス。宮本家ノ自動車ニテ天林寺ニ至リ、告別式ニ臨ム。永平寺貫主導師タリ。多数吊辞吊電アリ。予ハ静岡育英会ノ吊辞ヲ朗読シタリ。三時過式終リ退出ス。同寺内ノ故翁ノ銅像ヲ見、三橋氏ノ自動車ニ片岡氏ト共ニ同車シ、四時六分發四時四十二分掛川駅著ニテ帰宅ス。葬儀并告別式ハ故翁ノ風格現ハレ、鄭重ニシテ簡素且嚴肅ナリキ。

九月三十日（月） 九時迄雨 曇 冷

○八時頃原田村長來訪ス。米穀供出ノ件其他ニ付談話アリ。杉山太郎氏ノ父來訪、太郎氏凱旋セリトテ謝意ヲ表セラル。九時半頃、掛川報徳社本社ニ出頭ス。十一時六分發ニテ東上、四時頃帰宅ス。

○袴田銀藏氏ヨリ田辺氏トノ縁談ハ成立セサル由ヲ聞ク。

○夕刻、真島幸次郎氏來訪ス。数日前予カ往訪セシニ由ル町会長等ト会見セシ清風会会費ノ件ニ付報告ス。

○館林マス子來泊ス。

○昇三郎、夜九時東京駅著、帝国ホテル泊ノ由、芦屋ヨリ電話アリ。依テ重友泰治之ヲ駅頭ニ出迎フ。松茸ヲ贈ラル。

○来十月十一日、紀元二千六百年記念觀艦式ヲ行ハセラルルニ付、海軍省ヨリ陪觀券ヲ贈ラル。

○東京市電氣局ヨリ電車及自動車共通乗用券ヲ贈ラル。依テ旧

券ヲ返却ス。

○興三八御殿場野外演習ニ於テ、左手腕関節脱臼アリ。經過佳良ト云フ。

十月一日（火） 曇 冷

○国勢調査ノ申告ヲ為ス。

○防空訓練第一日開始。但本日ハ国勢調査ノ為、警戒警報ノミナリ。

○少シク感冒ノ気味アリ。依テ午前中臥床、熟眠ス。

○午後二時過、一木男爵ヲ訪問シ、袋井町一円報徳社結社式ノ報告ヲ為シ、同町ヨリ贈ラレタル菓子ヲ届ク。次ニ宮本甚七氏告別式ニ列席シ、弔辞ヲ朗読セシコトヲ報告ス。

男爵ヨリ静岡育英会副会長補選ノコトニ付意見ヲ求メラル。

○重友ハ今日、御茶水齒科医專ニ至リ齒根ヲ抜ク。

○午後ヨリ防空ニ付キ、各室ニ用意ヲ整フ。

十月二日（水） 曇 冷

○九時徳川公爵邸ニ至リ、家正公ヲ訪フ。家令補任ノ件ニ付意見ヲ求メラル。依テ率直ナル進言ヲ為ス。偶マ井出大将来邸、宇佐美興屋中將ヲ推薦ス。乃チ中將ニ付、研究ヲ進メ速ニ交渉セラレンコトヲ勸ム。十一時半辞去ス。井出大將ハ帰途宇佐美中將ヲ訪問ス。

○松平慶民子ノ令息ヲ徳川家ニ養子トシテ迎ヘラルルノ件進行シ、明日入籍ノ手續ヲ履行セラルト云フ。依テ井出大將ト相談シ、相談人等一同ヨリ祝品ヲ呈スルコトトシ、其取計ヲ安井家扶ニ依頼ス。安井氏不在ニ付伝言ヲ頼ム。

○疲労ノ気味アリ。午後一時ヨリ二時迄午睡ス。

○三時日本俱樂部ニ柴田善三郎氏ト会见シ、遠参信鐵道期成会ノ組織ニ付相談ス。其結果会長ニハ伊澤氏、副会長ニハ大口氏、太田正孝氏ヲ推スヲ可トスルニ意見一致ス。

○四時過浜松市助役山崎正義氏、日本俱樂部ニ来訪。故宮本甚七氏追賞ノ件進行セストテ配慮ヲ求メラル。依テ柴田氏ヲ煩ハシ、稲田書記官ニ其旨ヲ通セシニ、申請ハ叙勲トアリ、進行困難ナリト云フ。依テ贈位ヲ願フコトトシテ取計ハレタシト請フ。其旨ヲ山崎氏ニ告ケ、商工省及県知事ノ配慮ヲ乞フコトトス。

〔欄外〕

○夕七時、静岡育英会明德寮泉地正巳氏、日本電気会社入社希望ノ由ニテ配慮ヲ求メラル。依テ重友ヲシテ面会セシメ、紹介名刺ヲ与ヘシム。

○夜、鈴木正夫氏来訪ス。

十月三日（木） 小雨 冷

○朝九時半徳川公爵邸ニ至リ、御養子御入籍ヲ祝賀シ、御肴料

トシテ金五十円ヲ呈ス。家政相談人等一同ヲ代表セシナリ。

○十時半関屋貞三郎氏ヲ訪問シ、緩々談話ス。午餐ヲ饗セラル。パン、バター、缶詰、果物ヲ供セラル。一時半辞去ス。

○伊澤多喜男氏トノ約ニ従ヒテ、二時昭和会館ニ至リ同氏ヲ待ツ。然ルニ大蔵省ノ辺ニテ爆彈投下演習行ハレ、其結果若シ同館ニ居合ハセハ、負傷者トシテ何レカヘ救護ノ為運去ラルヘシト聴キ、貴族院へ避難ス。

○三時過昭和会館ニ至リ、伊澤氏ニ面会ス。塚本清治氏モ在リ。伊澤氏ニ対シテ信参遠ノ鐵道問題ニ関シ、速成会役員トシテ就任スヘキ候補者ハ遠州側ハ太田正孝氏ヲ適当トストノ結論ヲ進言ス。両氏ト共ニ渋谷マテ地下鉄ニテ帰ル。

○夕、浜松市助役山崎正義氏ヨリ電話ニテ故宮本甚七氏ニ対シ、本日從六位ヲ贈ラルルノ恩命ヲ拝シタリトテ謝意ヲ表セラル。直ニ柴田氏ニ報告セラルルヤウ勸告ス。

〔欄外〕

○閑院宮殿下、参謀総長御退任アラセラレ、杉山元大將参謀総長ヲ拝ス。

○静岡育英会総裁徳川公爵ヨリ、同会理事ノ任期ハ九月末日ヲ以テ満了ノ変更ニ引続キ、就任方委嘱ヲ受ク（十月一日附書状）。

十月四日（金） 快晴 冷

○昨夜ハ終ニ空襲警報發セラレス。八時ヨリ發令アリ。

○十時頃瀬古書記官長來訪ス。(1)最近ノ新体制ニ対スル貴族院各派ノ情勢ニ付、有力ナル談話ヲ聴ク。(2)石橋徳作氏令嬢縁談ノ件ニ付相談ス。

○故宮本甚七氏ニ対シ特ニ從六位ノ御贈位アリシヲ以テ、朝、横光浜松市長ヨリ、午後、嗣子伊兵衛氏ヨリ謝電ヲ受ク。

○静岡育英会理事中島資朋氏母堂去一日逝去、本日一時小石川伝通院ニテ密葬ヲ行フ由、塩島主事ヨリ内報アリシモ会葬セス。香料贈呈者ノ中間^{マヤ}入リヲ為ス。

○大日本山林会ヨリ來十九日、三重県宇治山田市ニテ行ハルル第四十八大会ニ招待セラレシモ、不参ノ届書ヲ同会宛、三重県山林会取扱ニテ發送ス。

○杉山大将邸ニ至リ、参謀総長拜命ヲ祝ス。

〔欄外〕

○戸塚重一郎氏ヨリ二日附書狀ヲ以テ、同氏ノ罹災住宅復興ノ為、平山第六号地所在杉天然木目通三尺ノモノ一本ヲ使用シタシト申入アリ。依テ同意ノ旨返書ス。

同書狀ニ依レハ橋本織作氏胃癌ノ為、病狀輕カラストアリ。

○島田町北河豊次郎氏ヨリ栗果ヲ贈ラレシニ対シ謝狀ヲ呈ス。

十月五日(土) 晴 暖

○防空演習ハ最後ノ一日トナリ劇烈トナル。正午終了ス。

○金久保栄次郎氏ヲ訪ヒ演習中ノ配慮ヲ謝シ、且謝礼手当等ノ件ヲ相談ス。

○午後二時出發。幡ヶ谷原町八〇〇ニ中島資朋氏ヲ訪問シ、母堂逝去ニ付悔ミヲ述フ。

○七時頃黒田新平氏來訪ス。直子ノ縁談ニ付配慮セラル。又氏ハ滿洲拓殖会社ニ入社ノ交渉ヲ受ケシモ、先方ニテ大事ヲ取リシ為、進捗思ハシカラストテ助力ヲ求メラル。

十月六日(日) 快晴 暖和

○橋本織作氏ノ病氣見舞ノ為、伊豆へ往復ス。池ノ上、渋谷ヲ經テ品川發六時五十三分、三島著九時廿一分、同發九時廿六分。修善寺著十時四分。

同發(バス)十一時四十分持越著一時、同發四時、修善寺、沼津發六時十一分、品川著八時五十七分、十時前帰宅ス。

橋本氏ハ去四月二十九日ヨリ發病、其時胃癌トノ診斷ヲ受ク。爾來静養ニ勉ムルモ近來大二疲労ヲ感シタリト云フ。然ルニ肉付宜シク元氣旺盛ナリ。床中ニ臥シテ三時間談話ス。食物ハ重湯、牛乳、鶏卵、味噌汁、果汁程度ナリ。予ハ見舞品トシテ仏国産赤葡萄酒一壘ヲ贈レリ。昨夜ハ劇痛アリテ終夜眠ラス。今朝医ヲ招キテ注射ヲ受ケタリト云フ。

橋本氏ハ六十九歳ニシテ既ニ長命ノ人ナリトテ感謝シ居リ。態度平常ノ如ク、修養深キヲ思ハシム。近來家計富裕トナリ、

子弟亦豊ナリト云フ。帰途バスヲ待チシニ遅ルルコト一時間、之ヲ利シテ緩々交話シタリ。

○沼津ニテハ連結ノ三等車ニ乗リシカ、小田原以東大ニ込ミ合ヒタリ。

○池ノ上ヨリ赤木正雄氏ト邂逅、同道ス。

〔欄外〕

○大藤亨壮氏、東拓本社へ転任着京セリトテ松茸一籠(七百目)ヲ贈ラル。

○橋本萬右衛門氏ヨリ梨一箱ヲ贈ラル。

十月七日(月) 晴 暖

○朝、久保春海氏ト打合セタル上、九時四十分頃日本俱樂部ニテ面会ス。令息縁談ニ関シテナリ。

○十一時頃柴田善三郎氏ト日本俱樂部ニテ会見ス。三信遠鉄道期成会副会長ノ選任方ニ付、伊澤氏ヨリノ申出ニ対シ協議ス。伊澤氏ハ横光市長ノ意見ヲ容レ、柴田氏又ハ予ヲシテ就任セシメントスルモ、斯クテハ事ノ成就ニ妨ケアリ。太田正孝、倉元要一両氏ノ関係ニ於テ困難ナラハ、飯田、豊橋、浜松三市長ニテ委員長、副委員長トナリ、関係貴衆両議員ハ之ヲ援助スヘシトノ案ヲ提出シテ意見一致ス。柴田氏ヨリ此事ヲ電話ニテ伊澤氏ニ報告スルコトナル。

○十二時日本国際協会午餐会ニ出席ス。山内繁雄氏(市俄古大

学教授)ノ在米所感談アリ。面白シ。氏ハ生物学者ニシテ談話ノ内容ハ純然タル学問的ナリ。時局問題ニハ触レス。

○散会后、徳川家正公ト会談ス。宇佐美中将家令就職拒絶ノ件。本田静六博士ノ公爵訪問内容ニ付、内話ヲ聴ク。

○榛原方ニテ用紙ヲ求メテ帰宅ス。

〔欄外〕

○重友本日ヨリ会社ニ出勤ス。

十月八日(火) 晴 薄暑

○早朝赤木正雄氏ヲ訪問シ、来十一日観艦式ニ付、治水砂防協会午餐会ニ出席シ難キ旨ヲ述フ。

○金久保栄次郎氏ヲ訪問セシモ、感冒臥床中ナルヲ以テ其俚帰ル。

○真島幸次郎氏ヲ訪問シ清風会幹事会開会日時ノコトヲ相談ス。又小畑敏四郎氏ヲ訪ヒシモ病臥中ニ付、回章ニテ幹事ノ差支アル日ヲ指示セラレンコトヲ求ム(十四、五、六、三日ノ中)。

○杉本良氏蘇茂鉦氏同伴来訪ス。蘇氏母堂今夏逝去セリト云フ。

○伊澤多喜男氏ヨリ電話ニテ信参遠鉄道委員会委員長副委員長選任ノ件ニ付、柴田氏ヨリノ意見アリシニ拘ラス所信ヲ申越サル。之ニ対シ予ノ意見ヲ述ヘタリ。柴田氏ハ伊澤氏ヲ訪問ス。

○一時過中央亭ナル日本國際協會ニ出席、安藤紀三郎中將ノ新民会ニ関スル講話ヲ聴ク。

○貴族院ニ瀨古書記官長ヲ訪問ス。石橋徳作氏ニ面会ス。久保氏トノ縁談ニ付テナリ。

○六時如水会館ニ於テ江口定條氏ニ招カル。西原亀三氏出京ニ付主賓トシテ招カレシナリ。赤木正雄氏モ出席ス。八時頃辞去ス。

〔欄外〕

○天皇陛下東京帝国大学へ行幸アラセラル。

○午後高子来訪ス。夕七時半頃昇三郎モ来ル。九時半頃伊澤氏方へ帰ル。

昇三郎ハ明日帰阪ス。

○黒田新平氏来訪ス。氏ノ進退ニ関スル件及直子縁談ノ件ニ付談話アリ。前者ハ昇三郎ニモ依頼ス。

○橋本織作氏ヨリ悲愴ナル謝状ヲ寄来ル。

十月九日（水）晴 冷

○久保春海氏ヨリ昨夜令息写真及履歴書ヲ速達便ニテ送付セラレタルニ付、今朝九時過瀨古書記官長ヲ訪ヒ、之ヲ石橋氏ニ取次ヲ乞フ。

○十時過同成会例会ニ出席ス。塚本、伊澤両氏ヨリ昨夜近衛首相ノ招待会ニ出席シ、出席者ト首相トノ間ニ於ケル談話ノ内

容ニ付報告アリ。三国条約及新体制ノ件ニ関シ意見ヲ交換ス。出席者ハ次田、入江、大谷、佐藤、塩田五氏ノ外、前記三名ナリ。

○日本俱樂部ニ至リ午餐ヲ為シ、情報部長須磨彌吉郎氏ノ三国条約締結ニ関スル講演ヲ聴ク。来会者多数ナリ。

○貴族院事務局ニ出頭、瀨古書記官長ニ面会ス。昭和十一年臨時議會ニ於テ貴族院ノ可決セル貴族院改革建議案ニ関シ質問ヲ為ス。次ニ調査課ニ立寄り、右件ニ付記録ノ閲覧ヲ求ム。

○四時徳川家家政相談人会ニ出席ス。各員出席相談。財産届出ノ基礎案ニ付審議ス。公爵ヨリ御養子御入籍ノコト、家令選任交渉進行ノコト等、御披露アリ。會議終了後、一同晚餐ヲ賜ハル（土方氏辞退）。塩谷博士ハ最近北京ヨリ帰途、曲阜ニ孔家、鄒県ニ孟家ヲ訪ヒタル状況ヲ報告セラル。博士モ晚餐ヲ饗セラル。

〔欄外〕

○信参遠鉄道期成会副会長ノ選定ニ付、伊澤氏ヨリ柴田氏、岡氏訪問ノ結果ヲ報告アリ。結局柴田氏及予ノ兩人ノ中ニテ決スヘシトノ決議ニ基キ、抽籤ヲ行ヒシニ柴田氏当籤シタリ。

○岡山藤井静一氏ヨリ松茸一籠、大阪大月伸氏ヨリ同上、浜松山崎正義氏ヨリ治郎柿一籠ヲ贈ラル。

○伊佐勇松氏来訪。予ノ見舞トシテ鮎ヲ贈ラル。

十月十日（木）晴 冷

○朝、赤木正雄氏ヨリ電話ニテ砂防事業予算ヲ政府ニ要求スル為、西原亀三、大河内輝耕子、松平外與麿男ト共ニ大蔵内務両大臣ヲ訪問センコトヲ求メラル。之ヲ諾ス。夕、書類ヲ送來ル。

○朝、藤井静一、大月伸、山崎正義三氏ニ対シ謝状ヲ認ム。

○朝、町会長鷺野孝三郎氏來訪。野村海軍中將、本日凱旋ニ付、清風園内国旗掲揚ノコトヲ勸メラル。大ニ厚意ヲ謝シ直チニ回章ヲ認メ、之ヲ持シテ小畑氏ヲ訪ヒテ發送ヲ頼ム。真島氏ニ報告ス。

○正午徳川家正公ヨリ植村甲午郎氏送別ノ為、午餐会ヲ催サルルニ付招待ヲ受ケ華族会館ニ至ル。大久保立子爵モ招カル。食後有益ナル談話アリ。尚、公爵ヨリ本日宮相往訪ノ結果ヲ報セラル。

○三時、華族会館ニ於ケル各派交渉委員懇親茶話会ニ出席ス。

(1)各派ヨリ二名乃至四名ノ連絡委員ヲ選定シ、各派間ノ連絡輯睦ヲ図ルコト、(2)世話役ヲ研究会トシ会場ヲ華族会館トス。了テ同成会事務所ニ至リ、会員全員ニ対シ十五日午前十時協議ノ為總會ヲ開クノ通知案ヲ作り、之ヲ三浦安藏氏ニ郵送（速達）ス。

〔欄外〕

○夕、館林三喜男來泊ス。

○村田辰三氏ヨリ養嗣子正氏ノ為、就職幹旋ヲ依頼アリ。

○鷺山恭平氏ヨリ明十一日報徳社ニ於テ掛川館所屬役員会ノ為、講演ヲ求メラル。電報ニテ之ヲ断ル。

○畠山敬氏一昨八日逝去ノ由、通知ヲ受ク。

○渡辺守三氏ヨリ栗ヲ贈ラル。夫人自転車ニテ持來ルト云フ。

十月十一日（金）晴 涼

○紀元二千六百年記念觀艦式陪觀ノ為、横浜港ニ至リ軍艦加古（七、一〇〇）ニ乗り、御召艦比叡ニ供奉シ十二時午餐ヲ饗セラレ、三時四十二分横浜港発車ニテ帰ル。品川ヨリ永村清氏ノ自動車ニ同乗、四時半頃帰宅ス。

○館林三喜男モ陪觀ノ為横浜迄同行ス。埠頭ニテ別レ軍艦高雄（先導艦）ニ乗ル。

十月十二日（土）晴 冷

○早朝小寺謙吉氏來訪ス。長谷川久一氏ノ紹介ニ依リテナリ。直子縁談ノコトニ付意向ヲ問ハル。

○十時半頃菅沼甚蔵氏、井谷^{（母）}谷春平氏未亡人ト來訪ス。菅沼氏ヨリ南郷村合併問題ニ付意向ヲ問ハル。

○松江侯松平直亮伯薨去セラレシニ付、午後往訪弔意ヲ表ス。

○東横ニテ斬髪ス。

○館林三喜男ハ朝、内務省、厚生省等ニ至リ、庶務ノ外檜垣氏

ニ関スル取調ヲ為ス。

○瀬古保次氏令嬢友子、津田次郎氏長男昇氏、結婚。五時半ヨリ帝国ホテルニ於テ披露会アリ。要、館林ト共ニ出席ス。席上媒酌人男爵穂積重遠氏ヨリ紹介辞アリ。之ニ対シ深井英吾^(五)、河井弥八、南条金雄三氏ヨリ祝詞アリ。来会者百二十名許リ。八時半退去ス。

十月十三日(日) 半晴 冷

○早曉心臓部ニ絞搾ヲ感ス。

○十一時過青山斎場ニ至リ、故松平直亮伯ノ告別式ニ焼香ス。

○午後館林多久次氏来訪ス。

○二時頃小林次郎氏来訪ス。直子縁談ニ付配慮セラル。四時頃帰ル。

○重友ハ郊外ニ、泰治ハ神宮野球見物ニ行ク。帝大早大ヲ破ル。

○静岡育英会塩島主事ヨリ、遠州織機会社社長阪本久五郎氏ヨリ昨年申入レタル寄附金三千円ヲ受領シタル由、通知ニ接ス。

依テ阪本氏ニ対シ謝状ヲ呈ス。

○杉山八平氏、夫人ト共ニ靖国神社合祀祭参列ノ為上京セシ由ニテ来訪ス。予ハ恰モ不在ナリシヲ以テ要ハ極力去ルヲ止メシメシモ、竟ニ聴カスシテ去ル。杉本良氏ヲ訪問スト云フ。又予ニ対シ墓誌揮毫料金ヲ贈ラントセシモ、之ヲ謝絶シテ受ケサリシト云フ。

〔欄外〕

○伊澤多喜男氏ヨリ大政翼賛会ニ黒田男就任ノ談アリ。又貴族院ノ大政翼賛組織ノ根本ニ付、首相、有馬伯等ノ意見ヲ報告セラル。

○横浜市清水及長岡市蔵王町細島松太郎氏ヨリ、何レモ柿実ヲ贈ラル。

○本日丸ノ内組合ヨリ天城木炭二十俵ヲ送付シ来ル。

十月十四日(月) 雨 冷

○男爵立花小一郎大将未亡人寛子刀自ノ葬儀ニ参列ス(午前九時自邸)。

○十一時頃故海軍少将佐倉信夫氏邸ヲ訪ヒ弔問ス(香料五円)。

○植村澄三郎氏ヨリ電話ヲ以テ、同氏今朝木戸内大臣ヲ訪問シタル由ニテ其状況ヲ報告シ、予ニ対シテ白根宮内次官訪問ノ為斡旋ヲ求メラル。之ヲ諾ス。

○午後五時頃館林三喜男来訪ス。明日ノ警察部長会議ニ出席ノ為ナリ。村上氏ヲ中心トスル晚餐会ニ出席ス。夜宿泊ス。

○要ハ午後矢田部盛枝氏夫妻ヲ出迎へ、之ヲ東京駅ニ見送ル。明日沼津へ赴キ、明後日土肥へ同道スル筈ナリ。

○午後七時清風会幹事会ヲ開ク。真島会長、小畑敏四郎(庶務)、黒崎英蔵(会計)、二見孝平(庶務)、宮崎堯(会計)、出席シ、前期担任者ヨリ後期担任者へ事務ノ引継ヲ為シ、九時散会ス。

〔欄外〕

○京都戸田八重子ヨリ松茸ヲ贈ラル。

十月十五日（火）朝雨 午頃ヨリ晴 涼

○八時頃植村澄三郎氏来訪ス。表彰申請ニ付、木戸内大臣往訪ノ始末ヲ報告セラル。近ク近衛首相へ書状ヲ呈スト云フ。

○植村氏ノ自動車ニ同乗、貴族院ニ至ル。ソレヨリ丸ビル榛原ニテ用紙十枚ヲ求メ（代一円八十錢）、昭和会館ニ来ル。

○同成会臨時会ニ出席ス。(1)塚本氏ヨリ議會開設五十年式典挙行方法ニ付、委員会ノ状況報告アリ。次ニ(2)去十日ノ交渉委員有志懇親会ノ状況ニ付報告シ、之ニ対シ各員ノ質問及意見ノ陳述アリ。結局三名ヲ選定スルコトトシ之ヲ伊澤、塚本両氏ニ依託ス。出席者ハ、伊澤、塚本、中川、丸山、次田、米山、入江、河井、磯貝、小坂、小坂、平沼ノ十二名ナリ。有志七名居残り昼食ス。

○一時議長応接室ニ於ケル内地陸海軍傷病兵慰問団打合会ニ出席ス。議長ノ挨拶、書記官長ノ説明アリ。各班ニテ打合せヲ為ス。予ハ第八班ニ属シ、富小路子、松平外与麿男ト共ニ、岡山、広島、山口、島根、鳥取へ赴クコトトナレリ。丸山氏ハ岡山、広島ノミニ参加ス。同行者ハ丸井正彦氏ナリ。

○書記官長ト新体制関係ニ付所見ヲ交換ス。橋本氏ノ為ニ揮毫ヲ乞フ。花房氏ノ各派沿革史ノ補助ヲ求ム。

〔欄外〕

○要ハ三時三十分新橋発ニテ沼津へ赴ク。明日土肥ニ至リ墓参ノ筈ナリ。

○泰治ハ秋季休暇ヲ利シテ上越方面ノ旅行ニ出ツ。

○重友ハ病氣全快ニ付、見舞ハレタル親友ニ晚餐ヲ饗ス。

○徳川公爵家ヨリ御養子縁組御祝ニ対シ、金十円ヲ酒肴料トシテ贈ラル。

○服部時計店へ修繕ヲ依頼シタルNardin懷中時計成ル。

十月十六日（水）晴 夜雨 涼

○朝、久保春海氏ニ対シ、電話ヲ以テ石橋氏トノ縁談ハ見込ナシト報告ス。

○朝、此程北支警備艦隊司令官タリシ海軍中将野村直邦氏来訪。謝意ヲ表セラル。

○成瀬達氏夫人、昨日午後一時過三番町ノ社長宅ニテ急逝セシ由、新聞紙ニ発表アリ。依テ取敢ヘス往訪、見舞ヲナス。香料十円ヲ呈ス。

○内務省土木局ニ赤木技師ヲ訪ヒ、砂防事業ニ付質問ヲ為シ有益ナル材料ヲ供セラル。

○館林マス子来訪ス。小林次郎氏ノ為ニ女中ヲ世話スル件ニ付、小林氏ニ説明ノ為ナリ。食後小林氏ヲ訪ヒ、夕刻ノ汽車ニテ前橋ニ帰ル。

○三時頃徳川公爵家ニ至リ、昨日酒肴料ヲ賜リシヲ謝ス。又相談人一同ヨリ贈呈セシ敏子姫御結婚祝品及御養子祝品ノ代金立替分ノ計算ヲ依頼ス。

○銀座ニ至リ旅行用品ヲ索メシモ適當ナルモノヲ得スシテ帰ル。

○館林三喜男ハ正午ニテ会議ヲ終了セシ由ニテ三時頃帰来ル。小畑敏四郎氏ヲ訪ヒ、夕刻帰ル。久シ振ニテ夕食ヲ共ニス。

〔欄外〕

○徳川公爵ヨリ電話ニテ公爵本日宮相ヲ往訪シ、宇佐美中将家務委嘱ノ件ニ付相談セラレシ結果ヲ報告セラル。其結果、将来ノ取扱方ニ関シ注意スヘキ廉アルニ付進言ス。

又植村澄三郎氏ニ対シ電話ニテ右ノ経過ヲ告ケ、第六天公爵家ノ快諾ヲ得ルヤウ依頼ス。

○在米救世軍少佐小林政助氏逝去ニ付、其追悼会ヲ十一月四日、日本基督教青年館ニテ挙行スル旨岡浪之助氏ヨリ通知ヲ受ク。

十月十七日（木）雨曇 夕晴 冷

○気分軽カラサルヲ以テ午前中臥床ス。十一時半頃堀医師ヲ訪ヒシニ、木曽方面診療旅行中ナリト云フ。

○館林三喜男ハ朝ヨリ松蔭神社、明治神宮、靖国神社等ヲ参拝シ三時頃帰宅ス。五時四十分發ニテ前橋へ帰ル。

○白柳恒吉氏逝去ノ報ニ接ス。葬儀ハ既ニ執行済ナリ。

○午後二時ヨリ静岡育英会入寮生宣誓式ヲ兼ネ明德寮記念会アリシモ所勞ノ為欠席ス。

○角替大郎市氏ヨリ松茸一籠ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○前庭ノ柿実一顆ヲ採ル。

十月十八日（金）晴 冷

○靖国神社臨時大祭ニ参列ス。八時半出發バスニテ渋谷ニ至リ、タクシーニテ神社ニ達ス。十時天皇陛下御出門行幸、十五分御拝遊ハサル。十時四十五分皇后陛下御出門御拝アラセラル。ソレヨリ皇族殿下御拝ノ後、首相、枢府議長、大臣以下拝礼退出ス。十二時十五分頃帰宅ス。

○八木雅夫、四郎両氏來訪ス。雅夫氏ハ日光へ遠足ノ途次ナリ。又四郎氏ハ来月ヨリ工場日野台ニ移転スルヲ以テ同所へ通勤スト云フ。

○徳田政信氏來訪ス。氏ハ近来大ニ健康ヲ回復シ勉学中ナリ。

○津田昇氏新夫人友子來訪ス。自動車ヲ用キサル所、感心ナリ。

○なほ子ハ、女中二人ヲ連レ午後靖国神社ヲ参拝ス。

○午後六時子爵大久保立氏ニ招カレテ氷川町三四、阿かね方ニ赴ク。徳川公爵、河田大藏大臣、石渡前書記官長ヲ招カル。緩々国家ノ現状ニ関シ意見ヲ交換ス。九時過散会、公爵ノ自動車ニ同乗ヲ許サレ、青山六丁目迄談話、同所ヨリ地下鉄、

帝都電鉄ニテ帰ル。

○泰治ハ四万、法師、草津ノ旅行ヲ終ヘテ九時頃帰宅ス。

〔欄外〕

○信遠三国鉄期成同盟会参与ヲ囑託セラル。

辰野豊橋間四私鉄国営移管、二俣佐久間間国鉄ノ敷設ヲ目的トス。

役員

会長 伊澤多喜男

副会長 大口喜六

〃 柴田善三郎

理事 市瀬泰一 飯田市長

〃 清水東洋雄 《上伊那町村長会長》

〃 大口喜六

〃 横光吉規

幹事 伊原五郎兵衛

賛助員 三県知事其他

参与 三県両議院議員

事務所 浅草区北三筋町六五、吉村元男商店内

十月十九日（土）晴 冷

○終日心気爽快ナリ。近来珍シキコトナリ。

○十時過大久保子爵ヲ往訪シ、昨夕ノ厚遇ヲ謝ス。

ソレヨリ徒歩、中延町四八二白柳恒男方ニ至リ、父君恒吉君ノ逝去ヲ弔フ。中延ヨリ電車ニテ五反田ニ出テ新橋ヨリバスニテ貴族院議長官舎ニ出頭ス。

○正午ヨリ南洋方面視察議員団ノ歓迎午餐会アリ。出席ス。食後、团长前田利為侯、丸山鶴吉君ノ報告アリシモ、前田侯ノ演説未了ノ間ニ退出ス。

○二時過青山斎場ニ於ケル成瀬達氏令夫人ノ告別式ニ臨ミ焼香ス。会葬者甚多シ。夫人齡四十五湓焉トシテ逝ク。氣ノ毒ニ堪ヘス。

○金澤善三郎氏母堂来訪セシモ面会セス。直子面会ス。

○八時過館林マス子来著ス。小林次郎氏へ周旋シタル女中ヲ連レテ同家ヲ訪ヘリト云フ。

〔欄外〕

○山崎常磐氏ヨリ治郎柿ヲ贈ラル。

○鈴木二平氏ヨリ伊勢蝦ノ大ナルモノ四尾ヲ贈ラル。

○小柳直吉氏ヨリ来廿七日甘藷收穫ヲ行フニ付、検分ヲ求メラル。然ルニ傷病将士慰問旅行ノ為、出席不能ナルヲ答フ。

十月二十日（日）晴 冷

○宮中顧問官田内三吉氏去十八日薨去セシ由、新聞紙ニ発表アリ。依テ九時頃西田町七九九ノ邸ヲ訪ヒ弔意ヲ表ス。

○柴田善三郎氏ヲ訪問ス。信遠三国鉄期成同盟会ノコト、最近

ノ經濟狀況ノコト、培本塾經營ノコト等ヲ談話ス。又峰野川崎町長ハ助役在任中セメントノ闇売買ヲ行ヒタル由ニテ辭職シタルコトヲモ聞ク。柴田氏ニ對シテ橋本織作氏ノ病狀ヲ告ケ、揮毫ヲ送リテ慰藉セラレンコトヲ乞フ。

○午後橋本氏ノ為ニ画箋紙半折ニ揮毫ヲ為ス。又曩ニ伊澤氏ヨリ託サレタル揮毫ト共ニ予ノ分ヲ送ル為、荷作ヲナス。重友ニ託シテ紙筒ヲ求メ画箋紙ノ揮毫送付ノ用意ヲ為ス。

○館林マス子ハ多久次氏ヲ訪問ス。八時過歸來ル。

十月二十一日(月)晴 夜雨暖

○早朝泰治ハ金丸原へ演習ニ赴ク。又興三ハ長瀨へ地質研究ノ修学旅行ヲ為ス。

○衆議院議員補闕選舉ニ付、八時半頃選舉投票所ニ至リ投票ヲ為ス。

○十時半頃要、沼津ヨリ歸來ル。大森夫人モ亦來ル。

○九時頃伯野廣次氏來訪ス。多久次氏ノ婚儀ニ列席ノ為ナリ。十時過多久次氏方へ歸ル。

○一時出發、学士會館へ赴ク。要、マス子同伴ス。

三時頃館林多久次氏ト本多兎美子嬢トノ結婚式ヲ行フ。高崎左衛門氏夫妻ノ媒酌ニ依ル。列席者ハ館林夫妻、伯野氏、福島氏、中澤氏夫妻及予等ナリ。新婦側ハ本多与八郎氏、同夫人、同氏長男、新婦妹、同氏女婿ナリ。

六時半頃ヨリ披露宴アリ。來会者約四十名。会社關係者及両家ノ親戚及親友ナリ。其中ニ松島肇氏、妻木栗藏氏アリ。九時東京駅ニ出テ館林及伯野氏ト別レテ省線ニテ帰宅ス。

〔欄外〕

○紀元二千六百年記念陸軍觀兵式ヲ行ハセラル。天候悪シキ為欠席ス。

十月二十二日(火)晴暖

○午前中出發ノ用意ヲ為ス。

○故田内三吉氏ノ告別式ニ至リ告別ス(青山斎場、二時半)。

○三時貴族院事務局委員課ニ出頭、丸井正彦氏ニ面会ス。旅行ニ付打合セヲナシ、寢台券ヲ受取ル。

○七時半出發八時廿分東京駅ニ至リ、八時四十分發下関行急行列車ニ乗込ミ、貴族院ノ内地傷病將兵慰問旅行ノ途ニ就ク。

團長子爵富小路隆直氏、男爵松平外與磨氏ト同行ス。委員課員丸井正彦氏同行世話セラル。瀨古書記官長、小林、近藤書記官、駅頭ニ見送ラル。小林氏ハ品川駅マテ同車ス。

十月二十三日(水)晴暖

○午前十時五十六分岡山駅著。県社会課長南益次郎氏等ノ出迎ヲ受ク。又丸山鶴吉、山上光二両氏モ一行ニ加ハル。直ニ岡山陸軍病院ニ至リ、見舞ヲ為ス。現在入院者約七百名、院長

中佐梶谷鉄雄氏ナリ。次ニ病院ノ付近ニ在ル分院ヲ見舞フ。

○後樂園へ入り、庭園ノ美ヲ賞ス。天気晴快ナリ。横溝知事モ来ラレ案内セラル。ソレヨリ知事ノ案内ニテ園内浩養軒方ニテ西洋料理ニ依ル午餐ヲ饗セラル。警察部長豊島章太郎、学務部長原保雄両氏モ出席セラル。

○一時五十三分岡山駅発、山上氏ト別ル。三時十四分福山著、直ニ陸軍病院ヲ見舞フ。在院数約二百名、院長中佐四方京一氏ナリ。ソレヨリ市長小林寿夫氏ノ案内ニテ福山城址ニ登リ天守台ヲ見物ス。眺望頗佳ナリ。海陸ノ美景ヲ絶賞ス。ソレヨリ丸山氏ノ厚意ニテ城址ノ一角ニ在ル一茶店ニ休憩ス。此建物ハ旧桃山城ノ御湯殿ナリシモノニシテ天守台其他ト共ニ国宝ナリ。

○福山發五時五十四分ニ乗リ出發。松永駅ニテ丸山氏ト別ル。車中ニテ福山市長ノ饗応ニ依リ弁当ヲ喫ス。八時廿八分広島著。学務部長福光正義氏等ノ出迎ヲ受ケ、旅館吉川方ニ投宿ス。

十月二十四日（木）雨 冷

○午前九時旅館吉川ヲ出發ス。福光学務部長ノ案内ニテ先ツ護国神社ニ参拝シ、次ニ師団司令部ニ至リ、師団長篠原次郎中將ヲ敬意ヲ表ス。司令部ニテ丸山鶴吉、松本勝太郎両氏ニ出会ヒ爾後本日ノ行動ヲ共ニス。其後引続キ左ノ各所ヲ見

舞フ。

広島陸軍病院 院長少將中島晴彦氏

基町第一分院 院長少佐

現在約一、六〇〇 累計七六、〇〇〇

基町第二分院 院長大佐

〃 六〇〇

三滝分院

院長大佐 伊佐信雄

〃 一、四〇〇 《結核等ヲ主トス》

次ニ知事ノ案内ニテ精養軒ニ招カレ午餐ヲ喫ス。知事ハ病氣ノ為、石井錦樹氏（総務部長）代テ接待セラル。食後

江波分院 院長大佐有本哲雄氏

〃 七〇〇

赤十字病院 院長少將竹内釵氏

〃 二三六 《内婦人二三十人アリ

結核患者ヲ收容ス》

○午後四時一旦帰宿、五時過ヨリ知事ニ招カレテ一同（除丸山氏、氏ハ帰郷セラル）羽田別荘方ニ至リ鄭重ナル晚餐ヲ饗セラル。石井総務部長、福光学務部長大ニ斡旋セラル。九時過帰宿ス。

十月二十五日（金）雨 歇ム 午後晴 冷

○昨夜多少ノ風雨アリ。睡眠ヲ妨ケラル。県庁ヨリ社寺兵事課

長河野正郎氏來訪セラレ、終日案内セラル。

○八時半一行三人出發、先ツ県庁ニ至リ相川知事ヲ訪ヒ挨拶ヲ述フ。ソレヨリ広島駅ニ至リ九時八分發、九時五十二分呉ニ著ス。松本議員、中川市助役、警察署長植木氏等出迎フ。直ニ鎮守府ニ赴キ、日比野司令長官ヲ訪ヒ敬意ヲ表ス。長官ヨリ海軍ノ一貫セル方針ニ付談話アリ。又大ニ謝意ヲ表セラル。ソレヨリ呉海軍病院ニ至リ見舞ヲ為ス。院長ハ少將〔空白〕ナリ。在院患者千二百名内二百名ハ外科ナリ。退出ノ後、松本氏ニ招カレテ華山方ニ至リ昼食ス。

○一時二十八分松本氏ト別レテ呉ヲ發シ、三時八分大野浦駅ニ下車ス。分院ヨリ特ニ大型車ヲ出シテ迎ヘラル。院長不在ノ為副院長〔空白〕代テ接迎セラル。此所ハ結核患者ノミヲ收容シ、現在二百六十九人、昭和十三年八月ヨリ本年八月マテニ收容セシ数一、二三人ト云フ。予後必シモ良好ナラス。退院者三ニ對シ死亡者一ノ割合ナリ。

○宮島駅マテ大型車ニテ送ラレ、同所發五時卅八分ノ急行車ニ乘リ九時五十分下関ニ著ス。警察署員及秋田三二氏代人來迎ス。山陽ホテルニ泊ル。

十月二十六日（土）晴暖

○九時自動車ニテ安徳天皇ヲ奉祀セル官幣大社赤間宮ニ赴キ正式参拝ヲ為シ、終テ阿弥陀寺陵ヲ奉拝ス。之ニテ予ハ御歴代

天皇皇后陵ヲ悉ク奉拝シタリ。

○九時半御陵ヲ辞シ、陸軍病院ニ至リ見舞ヲ為ス。院長中佐大内健太郎氏案内セラル。患者現員六十余名ト云フ。

○十時半山陽ホテルニ歸リ、警察署員ノ案内セラレシ人ニ謝シ、十一時二十分發小郡ニテ乗換ヘ一時廿五分湯田駅ニ下車ス。山口県社寺兵事課長水沼正一氏出迎フ。打合せノ結果、同地山水園ニ入り少憩ス。ソレヨリ山口市ニ入り毛利家墓所等ヲ案内セラレシ後、山口陸軍病院ヲ見舞フ。院長ハ中佐重富貫二氏ニシテ患者〔空白〕アリ。ソレヨリ湯田分院ニ至リ、院長稲原中尉ノ案内ニ依リテ見舞ヲ述フ。現在患者百卅一人ニシテ悉ク元氣旺盛ナリ。

○四時頃再ヒ山水園ニ還リ入浴シ、知事ヨリ晚餐ヲ饗セラル。学務部長渡辺信男氏臨席セラル。

○六時十五分山口駅發石見益田ニテ乗換ヘ十時十八分浜田著、龜山館ニ投宿ス。益田ヨリ県社会課属椋木豐文氏案内セラル。浜田ニテハ町長〔代主事〕宇谷常盤氏、憲兵隊長少佐〔空白〕氏等出迎フ。

十月二十七日（日）晴暖

○九時出發、浜田陸軍病院ニ赴キ見舞ヲ為ス。県属伊藤〔空白〕椋木属ト共ニ案内セラル。院長ハ中佐龜澤鹿郎氏ニシテ現在患者二百九十名ナリ。退出ノ後、一同ハ旧城址ナル護国神社

ニ参拝ス。ソレヨリ漁港ヲ視、烈女〔空白〕ノ墓ニ詣ツ。

○十一時二十八分浜田駅発二時三十九分松江ニ著ス。学務部長加藤精三氏、社会課長碓井貞雄氏、市助役〔空白〕氏等出迎フ。直ニ陸軍病院ヲ見舞フ。現在患者百九十七名ニシテ、此中七十七名ハ戦地ヨリ還送セラレシモノト云フ。此病院ハ事変以来約三千人ヲ收容セシ由ニテ、特殊ノ病氣トシテハ、カラザール、熱病アリ、マラリアニ似タリト云フ。病院長ハ中佐中原秀介氏ナリ。

○部長及市役所ノ厚意ニ依リ公園ナル旧城址天守閣ニ登臨ス。

ソレヨリ小泉八雲先生ノ記念館及旧宅ヲ案内セラレ、松江大橋ヲ徒歩ニテ過ギ、五時発五時四十七分米子ニ著ス。

○皆生分院長大尉須藤利一氏自動車ヲ以テ迎ヘラレ、同大尉及鳥取県社会課嘱託中尉山本宗吉氏ノ案内ニテ、皆生温泉東光園ニ入り一泊ス。晚餐ノ時山本中尉ト会食ス。中尉ヨリ大政翼賛会ノ陣容ニ付、適切ナル質問アリ。

十月二十八日(月) 晴暖

○昨夜山本中尉ノ質問ニ依リ人心ノ疑惧深キモノアルヲ感シ、皇国ノ将来ノ為、衷心憂慮ニ堪ヘス。仲々眠リ難シ。乃チHarrper著Government of Soviet Union ヲ読ム。皇国ノ前途ニ対シ強キ暗示ヲ与フルモノノ如ク感ス。

○六時起床、直ニ海岸ニ出テ散歩ス。大山ノ偉容山陰ヲ圧ス。

○九時旅館ヲ出テ徒歩ニテ皆生分院ヲ訪ヒ、見舞ヲ為ス。此所ニ在ルモノ百十三人、何レモ近ク全快シ夫々原隊ニ復スヘシト云フ。元氣潑刺タリ。院長大尉須藤利一氏ナリ。一旦帰宿ノ上出發、須藤大尉等ニ送ラレテ十一時廿八分米子ヲ發ス。

○車中ヨリ松平男爵ニ就キ、鳥取県ノ実情ヲ聞キ且見学ス。一時四十五分鳥取著。

○社寺兵事課長高田三郎氏ノ出迎ヲ受ケ直ニ鳥取陸軍病院ニ至リテ見舞フ。院長ヨリ本県出身兵士ノ強脚剛健ナルコト、結核患者ノ難治ナルコト等ヲ聴ク。又カラザール病ニ付説明アリ。無飾ノ真実ヲ直視スルヲ得タリ。

○之ニテ一行ノ使命ヲ終リ松平男爵ト別ル。県庁ノ案内ニテ浜坂ノ砂丘ヲ見、又玄忠寺ナル荒木又右衛門ノ墓ヲ弔フ。

○三時三十七分鳥取發十時十分京都ニ著ス。丸井氏ト別レ富小路子爵ノ配慮ニ依リ、子爵ト共ニステーション・ホテルニ投宿ス。

十月二十九日(火) 曇 午後雨 冷

○昨夜睡眠十分ナラス。疲労ヲ感ス。

○七時半食事ヲ為シ、富小路子爵ト別ル。

○八時七分京都駅發電車ニ乗ル。八時五十四分大阪駅著下車、荷物二箇ヲ一時預トス。

○住友本社ニ昇三郎ヲ訪ヒ少時面会ス。小倉正恒氏ニモ面会ス。

十時頃辞去シ、地下鉄及阪神電車ニテ芦屋昇三郎方ニ至ル。

○中食後入浴シ一時間計リ熟眠ス。

○五時遠部逸太郎、大月伸両氏ヨリ魚岩方ニ招カル。懷旧談尽キス。情誼ノ厚キヲ満喫ス。九時前辞去ス。両氏自動車ニテ同乗、阪神駅マテ見送ラル。十時頃昇三郎方ニ帰ル。閑談少時、就褥ス。

十月三十日（水）小雨 午後晴暖

○昨夜快眠ス。昇三郎ハ八時半頃出勤ス。

○九時過昇三郎方ヲ辞ス。公ニ大阪マテ見送ラル。十時過大阪駅著、直ニ預置キタル手荷物二箇ヲ受取り、乗車ス。

○十時二十分發急行ニ乗込ム。公ニ見送ル。三時四十七分浜松著。四時九分同所發、四時四十五分掛川著。大村留吉ノ出迎ヲ受ケ帰宅ス。

○夜、石野元治郎氏、小柳直吉氏来訪シ、明後一日挙行セラルヘキ甘藷收穫ニ付打合セヲナス。

○葵会ノ祝賀并懇親会アリシモ欠席ス。

〔欄外〕

○教育ニ関スル勅語渙發五十年記念式典ヲ十時ヨリ憲法記念館ニテ行ハル。

御名代閑院宮殿下台臨ノ上。優渥ナル勅語ヲ賜フ。

教育功労者数千名表彰セラル。

十月三十一日（木）晴冷

○朝、原田村長来訪ス。合併問題ニ付報告セラル。

予ハ明日丸山方作先生来村ノ旨ヲ告ケ、講演、座談会ニ付打合せヲ行ヒ村長ヲ初メトシテ有志ヲ晚餐会ニ招クコトヲ申入ル。

○石野元治郎、小柳直吉両氏ニ対シ村長ト会見ノ結果ヲ告ク。

小柳氏ハ一時廿二分ノ汽車ニ丸山先生ヲ迎ヘ打合ヲナシ、明日先生来村及予ノ宅ニ一泊スルニ決セル旨ヲ告ク。之ニテ諸般ノ手筈ヲ為ス。

○午後掛川報徳社本社ニ出頭ス。鷺山、田辺両理事ニ面会ス。

袴田銀藏氏ニ掛川町トノ合併問題ノ状況ヲ問フ。

山崎常磐氏ニモ面会ス。

○明日ハ午食ヲ丸山先生等約十名ニ呈スルコト、夕食ニハ約廿四五名ヲ招クコトニ決シ其用意ヲ命ス。

十一月一日（金）快晴冷

○南郷村甘藷收穫日ナルヲ以テ、丸山方作先生来臨ヲ迎フル為、早朝石野元治郎、小柳直吉両氏来訪シ種々準備ヲナス。西郷村松浦清三郎氏外四氏モ亦来ル。

○丸山先生八時二十九分著車、直ニ来訪セラル。諸氏ト共ニ之ヲ迎ヘ来村ヲ謝ス。

○九時過杉谷ナル青年試作畑ニ至リ採收ノ状況ヲ看ル。戸倉儀作氏亦来会ス。村方ニテハ村長、校長、農会技手、収入役、其他有志来看ス。青年ノ作柄ハ反当九百七八十貫ニ及ヒ頗上成績ナリ。

○先生及西郷諸氏并戸倉氏ハ奥ノ谷ノ芳次試作畑ニ至リ收穫ス。是亦好成绩ナリ。次ニ成績品ヲ小学校庭ニ持込ミ、更ニ前山ノ畑ヲ掘ル。此畑ハ最上ノ成績ニテ千貫ヲ超過ス。

○先生、戸倉氏、西郷五氏、石野、小柳両氏ニ午食ヲ呈ス。

○ソレヨリ一同小学校ニ至リ試食会ニ臨ミ、了テ先生ノ講演アリ。村内有志ト有益ナル意見ノ交換ヲナシ四時前散会ス。吉岡ノ有志三名モ来加ハル。

○村ニテ栽培セシ甘藷ノ互評会ヲナス。杉谷、合寺ノ出品優秀ナリ。四貫八五匁。

○五時半先生前記諸氏及村長、機長^{マキチ}、技手以下十三名、石野驥氏ニ晚餐ヲ呈シ、了テ座談会ヲ開ク。米、麦、柿、蜜柑等ニ付、有益ナル意見ノ交換アリ。十時散会ス。

○丸山先生ハ一泊セラル。今朝石野氏孫女、小柳氏娘来リ大ニ手伝フ。

十一月二日（土）快晴 冷

○朝、丸山方作先生ト食事ス。石野、小柳、石野驥三氏来訪ス。

○丸山先生ニ謝礼トシテ金十円ヲ呈ス。又昨夜ノ経費一切ハ予

ノ負担トシテ計算スヘキコトヲ命ス。

○静岡県知事ニ対シ、大村芳次ノ作レル甘藷一株分并西郷有志ノ作レル一株分ヲ贈呈スルヤウ命シタリ。

○丸山先生ハ掛川報徳社ヘ赴カル。ソレヨリ横地村ヘ出張スト云フ。

○八時五十五分發ニテ帰京ス。石野元治郎氏留吉ト共ニ駅ニ見送り呉レタリ。二時十二分品川著、帰宅ス。丸山先生ヨリ贈ラレタル甘藷ヲ持来リシ為、荷物一箇ヲ駅ニ預置キ帰宅ノ後、興三ヲシテ之ヲ受取り来ラシム。

○夕、二丁目有志和田謙三、大瀧靖両氏来訪シ、池ノ上小学校会ノ会長ニ推サル。固辞セシモ已ムヲ得サル事情アルヲ認メ承諾ス。

○夜、伊澤多喜男氏ヨリ大政翼賛会ニ対スル意見ヲ伝ヘラル。

○要ハ昨日ヨリ横浜朝比奈方ニ赴キ、今夕モ滞在スト云フ。重友ハ小田原ノ某寺ニ赴キ禅ヲ為スト云フ。一泊ス。

十一月三日（日）晴 冷

○朝、電話ニテ篠田治策氏ノ在否ヲ問フ。不在ナリ。東北ヘ旅行セリト云フ。

○朝、長谷川直敏將軍ヲ訪問シ、池の上小学校会々長就任ニ付意見ヲ問フ。

○十一時半出發。東京駅ヨリ自動車ニテ参内。東御寄ニテ記帳

シ奉賀ス。ソレヨリ宮内省ニ至リ皇太后陛下ニ奉賀ノ為記帳ス。

侍従職皇后宮職ニ至リ奉賀セントセシモ事務官悉ク不在ナリ。依テ事務室ニ入り属官ニ名刺ヲ託ス。

侍医寮ヲ訪ヒシニ村山侍医アリ。天皇陛下御風氣ノ御經過ヲ拝問ス。

○一時宮内省集会室ニ於ケル旧奉仕者ノ奉祝兼懇親会ニ出席ス。甚盛会ナリ。白根次官ノ挨拶、松平宮相ノ万歳三唱、荒木元学習院長ノ謝辞アリ。茶菓ヲ饗セラル。又宮内省ノ歌ヲレコードニテ聴ク。恩賜ノ御菓子ヲ頂戴シレコードヲ与ヘラル。

○矢田部昌子、大森夫人ト共ニ来訪ス。大森夫人ハ夕食ノ後下谷ヘ赴ク。

〔欄外〕

○下腹部左肋下ニ神経痛ノ如キモノアリ。旅行前ヨリ兆シアリ。日ヲ逐ヒテ益加ハリ左脚吊ルノ感アリ。起床ノ頃、殊ニ甚シ。依テ堀医師ヲ訪ヒシニ不在ナリ。

十一月四日(月)晴冷

○昨夜睡眠十分ナラス。不快ナルヲ以テ堀先生ヲ訪ヒ診察ヲ乞フ。左脚ノ疼痛ハ挫骨神経痛ナルコト判明ス。心臓ニハ異常ナシ。唯血圧高ク百八十二及フ。

静養ヲ要ストノコトナリ。

○朝、戸塚重一郎氏ヨリ書状ヲ受領ス。橋本氏病氣重体ナルヲ以テ海野氏ヲ遣ハシテ見舞ハシメ、金百円ヲ見舞トシテ贈呈セシコト、又万一ノ場合ニハ慰籍料ヲ呈スヘキヤ、又其額如何トノ照会ナリ。見舞金贈呈ニ付テハ適當ナル取計トシテ謝意ヲ表ス。又万一ノ場合ニ於ケル慰藉料贈呈ノ件ハ是亦取扱ハシタリ。其額八千円トシタシ。但シ適當額如何ニ付テハ所見ナキヲ以テ、三百円ニテモ五百円ニテモ自由ニ決定ヲ乞フ旨ノ返書ヲ呈シタリ。早朝静岡戸塚氏方ヘ電話セシモ戸塚氏ハ満洲ヘ出發セラレ、海野氏ハ其時不在ナリシニ依リ返書ヲ呈シタルナリ。

○六時半基督教青年会館ニ於テ故救世軍少佐小林政助氏ノ追悼会アリ。主催者平洋会員トシテ出席ス。会衆百余名、頗盛会ナリ。岡浪之助氏ノ挨拶。木下道雄氏開会ノ辞、児玉九十、香坂昌康両氏ノ追憶談ニ次ギ今井、小畑久五郎、額賀、矢吹大佐、山室令嬢ノ談話アリ。親戚総代坪井弥太郎氏ノ謝辞、木下道雄氏ノ閉会辞ニテ九時過散会ス。感慨甚深シ。

〔欄外〕

○内地傷病將兵慰問団第八班ヨリ同行者丸井正彦氏ニ対シ、記念品ヲ呈スルコトトナリシヲ以テ服部時計店ニ至リ、カフス鈕(代六円四十銭)ヲ求メ貴族院事務局ニ出頭シ之ヲ贈呈ス。○館林三喜男夜来泊ス。

○岡山県藤井静一氏ヨリ富有柿ヲ贈ラル。

十一月五日（火）晴 冷

○昨夜ハ睡眠薬ヲ服膺セシ為ニヤ、十分ニ睡眠ス。

○早朝植村澄三郎氏ヨリ電話アリ。叙爵贈位申請ノ件ニ付経過ヲ報告セラル。之ニ対シ予ハ一昨日、白根宮内次官ニ面会セシ時ノ談話ヲ詳報シ、今回ハ何レモ見込ナキヲ遺憾トスル旨ヲ答フ。

植村氏ノ熱誠、真ニ敬服ニ堪ヘス。

○朝、伊澤多喜男氏ヨリ新体制ニ参加スル為、貴族院ニテモ各派ヨリ夫々推薦セラレンコトヲ求メラレシ由ニテ、本日同成会ノ臨時会アリト報告セラル。

○十時過同成会臨時会ニ出席ス。協議ノ結果、準備委員三名ヲ選定シ、塚本、次田、小坂三氏ヲ煩ハスコトトシタリ。次ニ予ハ柴田氏ト相談ノ上、三橋四郎次氏ノ入会ヲ求ムヘシト発表シ、熱意アル同意ヲ得タリ。出席者ハ、伊澤、塚本、中川、青木、米山、建部、柴田、小坂、河井ナリ。

○三橋氏ニ対シテハ入会申込書ヲ調製セシメ、四時頃中央局ヨリ発信ス。

○丸ビル三階、磯部晋氏ニ就キ耳ノ診察ヲ求ム。之ハ日本俱樂部ニテ長延連氏ヨリ同氏ヲ紹介セラレシニ由ル。診察ノ後、少シク頭痛ヲ感ス。

〔欄外〕

○館林三喜男及矢田部昌子夫人ハ夫々帰宅ス。

○夕食後胆石痛ヲ感ス。夙ク寝ヌ。

十一月六日（水）曇 小雨 冷

○胆石痛ハ歇ミタルモ気分少シク勝レス。

○朝、伊澤氏ヨリ電話アリ。昨日ノ同成会例会ノ主題タリシ件ニ付、説明ヲ与ヘラル。又貴族院人事関係ニ付、所見ヲ求メラル。

○植村澄三郎氏ヨリ電話ニテ恩賞奏請ノ件ニ付報告アリ。

○九時半頃華族会館ニ至リ、子、大河内輝耕、男、松平外與麿、西原亀三、赤木正雄四氏ト会見ス。十一時前一同（除赤木氏）大蔵大臣ヲ官邸ニ往訪シ、治水事業ニ付予算編製上ノ要請ヲ為ス。十一時四十分頃退出ス。

○日本俱樂部ニ至リ大河内子ニ午餐ヲ呈ス。ソレヨリ同子ニ就キ、大政翼賛会ニ対スル研究会員ノ態度ニ付説明ヲ聴ク。〔空白〕ラトビア公使ヨリ同地方面ノ状況ヲ聴ク。蘇独関係ノ実質ハ大ニ参考トナレリ。

○丸ビルニ至リ磯部氏ノ診療ヲ受ク。

○月村秀信氏ノ求ニ依リ、同氏カ池ノ上小学校へ寄進スル国旗掲揚竿台石ニ揮毫ス。

〔欄外〕

○米国大統領ノ改選ノ結果、ルーズベルト氏当選（ウィルキーズ落選）ト決定ス。

○宇佐美興屋中将ヨリ徳川家家政相談人ニ就任セラレタル旨ノ挨拶状ヲ受ク。直ニ謝状ヲ呈ス。

十一月七日（木）雨 冷

○九時過、明治神宮表参道入ニ磯部医学士ヲ訪ヒ、耳ノ診療ヲ受ク。

○静岡育英会事務所ニ至リ、同会ノ沿革及現状ヲ調査ス。

○徳川公爵家ニ赴キ、令嬢敏子姫ノ御結婚ヲ祝賀ス。

○新宿中村屋ニ至リ中食ヲ為ス。露西亞流料理ヲ食フ。佳味ナリ。

○一時半頃一木男爵ヲ訪問ス。三時過マテ談話ス。男爵ハ少シク感冒ノ気味アリト云ハレシニ、計ラス長座シテ申訳ナク感シタリ。

○夕、赤木正雄氏来訪。来十七日秩父方面視察旅行ノ予定表ヲ渡サル。

○夜、明日ノ視察旅行ニ関シ用意ヲ整フ。

〔欄外〕

○午後四時半頃堀医師ニ就キ血压ヲ計リシニ、百四十六ナリ。

十一月八日（金）晴 冷

○昨夜睡眠十分ナラス。睡眠薬ヲ服用シタルニ効果顛倒シ、起床ノ頃眠気甚シ。六時起床ス。

○小坂順造氏ノ招待ニ応シ、田方郡西浦村久連、久連国民高等学校ノ視察ニ赴ク。七時出發東京駅ニテ八時發列車ニ乗り、十時三十九分沼津著下車、バスニテ御成橋下ニ至リ、發動機船ニ乗り江之ノ浦灣ヲ横断シテ久連ニ上陸、学校長大谷英一氏其他諸氏ニ迎ヘラレ、直ニ富士見館方ニ入り昼食ス。一時頃ヨリ校舎ヲ一巡シ作業場ヲ見、数丁ヲ距テタル教場所在地ニ達ス。

此所ニテ学校創設者渡瀬寅二郎氏夫妻ノ記念碑除幕式ニ臨ミ、教場ヲ見タル上、蜜柑園ヲ視察ス。了テ作業場所在地ニ歸リ、校長生徒及村民有志ニ別レ自動車ニテ沼津駅ニ歸ル。小坂順造氏、令夫人、令息、令夫人ノ姉妹数名、其夫両名、理事長白澤保美博士、名取和作氏、斎藤惣一氏、同婦人、菅儀一氏、関屋正彦氏等ト同行ス。又沼津ヨリ学務部長高野長春氏モ同船臨席セラル。

○四時三十分沼津發ニテ歸京ス。藤沢ヨリ山本信次郎少将ト同車ス。

〔欄外〕

○橋本織作氏逝去ノ由、電報ニ接ス。

○三澤政武氏逝去ノ由、通知ニ接ス。

○館林マス子、夕刻葉子同伴来京ス。二千六百年祝典参列ノ為

ナリ。

○貴族院事務局ヨリ予及要ニ対シ、紀元二千六百年祝典記念章ヲ授与セラルヘキ由、通知ニ接ス。

○甘藷栽培法ナル書物ヲ久連国民高等学校へ贈呈ス。

十一月九日(土) 曇寒

○朝、橋本紀平氏ニ対シ弔電ヲ發ス。又昇三郎へ電報ス。

○三澤政武氏嗣子國男氏ニ対シ弔電ヲ發ス。

○名取和作氏(国府津町住)ニ対シ甘藷栽培法一部ヲ贈ル。

○十時過ギ礪部氏方ニ至リ診察ヲ受ク。左耳通氣悪シ。

○十一時貴族院ニ至リ庶務課ニ就キ、紀元二千六百年祝典記念章ヲ拝受ス。

書記官長及小林書記官ヲ訪ヒシモ所用中又ハ不在ニテ面会セス。委員課ニ丸井正彦氏ヲ訪ヒ、病院慰問旅行中ノ要件ヲ問フ。又丸龜書記官ヨリ花房崎太郎氏ノ容体ヲ聴ク。

○正午議長ヨリ官舎ニテ午餐ヲ饗セラル。内地傷病將兵慰問ニ参加シタルヲ以テナリ。出席者多シ。

○銀座ニ出テ、蜂蜜二瓶、鼈スープ二瓶、牡蛎エキス一瓶ヲ求め、横浜千代崎町ニ花房崎太郎氏ヲ見舞フ。病状相当ニ重キカ如シ。切ニ快癒ヲ祈ル。花房氏ヨリ幸俱樂部沿革史ヲ託セラル。

○夜、明日ノ式典ニ参列スル為、諸般ノ用意ヲ整フ。

〔欄外〕

○三橋四郎次氏ヨリ同成会入会申込書及幸俱樂部入会申込書ヲ受領ス。

○一杉藤平氏来京セリトテ訪問ス。予不在ノ為面会セス。要面接ス。

十一月十日(日) 晴寒

○少シク感冒ノ気味アリシモ格別ノコトナシ。早起、先ツ応接室ノ裝飾ヲ改ム。

○紀元二千六百年式典ニ参列ノ為、要ト共ニ八時出發。帝都電車ニ依リ省線電車ニ乗換ヘ東京駅ニ下車ス。ソレヨリ徒歩、式場脇控室(テント)ニ入り、係員ノ誘導ヲ待ツ。十時五分ヨリ宮中席次ニ依リ氏名ヲ指呼セラレ、式場ニ参進シ所定ノ席ニ著ク。予等ハ第三列ノ中央ニ当リ、恰カモ 両陛下ノ直前ニ在リ。光榮欣喜諭フルニ辞ナシ。 両陛下十時五十分式場御車寄著御。 皇后陛下ニハ十一時十分頃式場玉座脇ニ出御アラセラレ、続イテ 天皇陛下出御、玉座ニ就カセラレ、皇后陛下亦御著席アラセラル。次ニ近衛首相中央階段ヲ登リ開式ヲ奏上、一同国歌奉唱、首相寿辞奏上アリシ後、畏クモ勅語ヲ御朗読遊ハサル。玉音朗々心肝ニ徹透ス。次ニ紀元二千六百年頌歌ハ東京音楽学校生徒ニ依リテ斉唱セラレ、了テ首相ノ發声ニテ一同万歳ヲ三唱シ奉ル。之ニテ諸員最敬礼

ノ裡ニ入御、十一時卅五分發御還幸啓ノ後、皇族王公族御退下、諸員退散ス。

○篠田京城大学長ノ好意ニ依リ自動車ニテ還ル。途中貴族院事務局ニ立寄り、要へ下賜セラレタル紀元二千六百年記念章ヲ拝受ス。十二時五十分帰宅ス。

〔欄外〕

○勅語

茲ニ紀元二千六百年ニ膺リ、百僚衆庶相会シ之レカ慶祝ノ典ヲ挙ケ、以テ肇國ノ精神ヲ昂揚セントスルハ朕深ク焉レヲ嘉尚ス。

今ヤ世局ノ激變ハ実ニ國運隆替ノ由リテ以テ判カル所ナリ。爾臣民其レ克ク嚮ニ降タシシ宣諭ノ趣旨ヲ体シ、我力惟神ノ大道ヲ中外ニ顯揚シ、以テ人類ノ福祉ト万邦ノ協和トニ寄与スルアラシコトヲ期セヨ。

○館林マス子ハ群馬県民代表トシテ式典ニ参列ス。

○八幡神社ニ奉祝会アリ。池ノ上小学校ニテモ之ヲ行ヒ、了テ学校及町民ノ運動競技会ヲ行フ。

十一月十一日（月）快晴 寒

○昨夜睡眠出来ス。午前一時頃マテ蓐中ニテ読書ス。

○九時半頃磯部医学士ニ就キ耳ノ診療ヲ受ク。

○紀元二千六百年奉祝会出席ノ為、要ト共二十一時半出發ス。

バス及省線電車ニテ東京駅ニ至リ、徒歩入場ス。宮中席次ニ依リ著席ス。昨日ト同シク正面ニ近ク 兩陛下ヲ奉拝ス。

十一月十二日（火）晴寒

○朝、磯部医学士ニ就キ診療ヲ受ク。

○同成会事務所ニ至リ、三浦安藏氏ニ託シテ三橋四郎次氏入会ノ手續ヲ了ス。又柴田善三郎氏ニ対シ三橋氏ノ手紙ヲ送ル。

○十時十五分頃外務省ニ松田道一博士ヲ訪問ス。

○丸ビルニテ昼食ノ後、松山高四郎氏ヲ訪問ス。

○一時頃銀座鳩居堂ニ於テ薰香二箱ヲ求メ、一ハ長谷川太郎吉氏へ送付ヲ頼ミ、一ハ鈴木男爵へ呈スルコトス。代金各五円送料二十二錢ナリ。

○鈴木男爵ヲ訪問ス。母堂紫雲院殿七回忌ニ付焼香ス。又今夕招待セラレシコトヲ深謝ス。

○一旦帰宅シタル上、衣ヲ更メテ五時丸ノ内会館ニ至リ、鈴木男爵ノ七回忌并令息凱旋披露宴ニ出席ス。会衆六十名許、席上男爵ノ挨拶、令息一氏ノ謝辞及戦歴略述アリ。之ニ対シ予ハ一同ヲ代表シテ謝辞ヲ述ヘ乾杯ヲ為シタリ。八時頃辞去ス。

○平洋会ノ加洲ヨリ来会者歓迎会ニ出席ス。晚餐後ニシテ談話ヲ交換ス。塚本松之助、金澤芳太郎（《桑港日本人会長》在米日本人会副会長）、畠山喜久治（《加洲サラトガ市》、鈴木亀之甫（在京）四氏 平洋会側 香坂、木下、角、西、岡、一

條諸氏出席ス。(会場丸ノ内会館)

〔欄外〕

○午後黒田照子夫人来訪ス。要面会ス。

○朝比奈アキ子、由紀子ヲ伴ヒ来泊ス。

十一月十三日(水)曇夕雨寒冷

○午前九時華族会館に至リ、大河内輝耕子、松平外与麿男、西原亀三氏、赤木正雄氏ト会シ、打揃ヒテ内務大臣官邸ニ至リ大臣ヲ訪ヒ、砂防事業ノ実施方ニ付所見ヲ述ヘテ大臣ノ配慮ヲ求ム。土木局長モ需ニ応シテ出席セラレ意見ヲ交換ス。十一時過退出ス。

○十一時半頃同成会例会ニ出席ス。伊澤氏ヨリ新体制ニ対スル見解ヲ説示セラル。出席者ハ伊澤、次田、丸山、中川、熊谷、諸氏ナリ。本日ハ佐藤、大谷両氏ノ希望ニ依リ、丸山氏ノ南洋視察談聴取ノ筈ナリシモ、都合ニ依リ両氏欠席シタル為延期セラレタリ。

○日本国際協会午餐会ニ出席、食後紐育ヨリ帰朝セシ総領事若杉要氏ノ米国ノ最近ノ状況談ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○帝国ホテルニ毛利伊賀氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。

○東横ビルニテ斬髪シテ帰宅ス。

○大邱ヨリ上京ノ永田仁助氏来訪セシモ不在ノ為面会セス。

十一月十四日(木)曇寒冷

○朝、礮部医学士ノ診療ヲ受ク。

○貴族院読書室ニ入り、昭和十五年米作第二回報告ヲ詳査ス。又小林書記官ニ面会ス。

内田明氏ヲ訪ヒ東京汎太平洋俱樂部ニ塚本松之助翁ヲ招待スル件ニ付相談ス。

○四時半ヨリ東京水交社ニ静岡育英会ノ総裁推戴式アリ、出席。又来会者ハ理事、監事、評議員ニシテ四五十人ニ達シ甚盛会ナリ。小濱知事、高野学務部長、三橋、尾崎、依田、松井、北河、片平等ノ諸氏モ態々列席セラル。一木会長ノ推戴辞、徳川総裁ノ挨拶二次キ小濱知事、柴田評議員ノ祝辞アリ。一同会食ヲ為シ、総裁ノ為ニ乾盃シテ健康ヲ祈ル。了テ理事会アリ。総会開催ノ件、基本財産トシテ満鉄株買入ノ件、軍人及理科方面志望学生奨励ノ件等ニ付協議シ、八時半頃散会ス。

○館林マス子、朝比奈アキ子ハ夫々帰宅ス。

十一月十五日(金)快晴冷

○終日家居。取調ヲ為ス。

○岡山県藤井静一氏十二時過來訪ス。快談四時ニ及フ。氏ハ老イテ倍々健康ヲ加ヘ、七十一歳ノ老翁トハ見え。帰途ハ淡島マテ同行見送ル。

〔欄外〕

○戸塚重一郎氏ヨリ十三日附書信来着。

橋本織作ノ功劳ニ酬イル為、金千円ヲ遺族ニ贈呈セリト報告セラル。

十一月十六日(土) 曇 寒冷

○九時四十分頃東京府養正館ニ出頭ス。平洋会員関屋、香坂、賀来、木下、児玉、西、角、諸氏来会ス。幹旋者岡、一条両氏ノ尽力ニ依レルナリ(《両氏出席》)。北米ヨリノ来会者ハ甚少ク畠山喜久治氏、清原團藏氏《ロスアンゼルス市 日米協会理事長》ノ両氏ナリ。塚本翁ハ病氣ノ為出席セス。一同記念ノ撮影ヲナス。ソレヨリ国史絵画館ノ壁画ヲ看覧ス。寿司ヲ饗セラル。

○関屋氏ノ好意ニ依リ自動車ニ同乗、霞山会館ニ至リ、春日駿記ノ展覽ヲ覧ル。真ニ国宝中ノ国宝ナリ。

○ソレヨリ更ニ同車、中央亭ニ至リ日本国際協会ニテ桑島大使ノブラジルヨリ帰りテナル講演ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○二時工業倶楽部ナル真野博士長寿祝賀会ニ出席ス。頗盛会ナリ。橋本圭三郎氏ノ挨拶ニ次キ橋田文相、徳川公、本多博士、九大総長、加茂博士等ノ祝辞アリ。中途ニテ退出ス。

○三時二十分華族会館ニ於ケル徳川慶光公令妹喜佐子姫ト榊原政春子トノ結婚披露ニ出席ス。

〔欄外〕

○今朝眼鏡ノ蔓ヲ折りタレハ、夕刻朝倉方ニ至リ蔓ノ取換ヲ為ス。代金五十銭ナリ。

○赤木正雄氏来訪。明日秩父方面河川砂防状況視察ニ付打合せヲ為ス。

○栗田徳次郎氏胃癌ニテ重体ノ由、通知アリ。

十一月十七日(日) 曇 次第二晴 冷

○赤木正雄氏ヨリ埼玉県下赤平川及荒川ノ上流ナル砂防状況視察ノ為、案内ヲ受ケ七時頃出發ス。七時四十五分巢鴨駅ニ下車、同所ヨリ内務技師岩澤忠恭氏ノ用車来レル自動車ニ乗ル。浦和ニテ県技師平尾鹿之助氏モ同車。熊谷、寄居ヲ経、樋口村滝上、小学校裏ナル寛保二年大出水ノ土砂軌過線ヲ見、赤平川上流ノ上吉田村塚越地内、両神村役場附近ヲ視察シ、車ヲ返シテ小鹿野町、長若村、田蒔村ヲ経テ、秩父町秩父会館著。土木課長緒方虎之助技師、県治水砂防協会副会長、県会議員岩田鹿太郎氏等ノ歓迎ヲ受ケ中食ス。一時半出發荒川本流ニ沿ヒテ遡リ県社三峰神社ニ参拝ス。

之ヨリ車ヲ還シテ再秩父町ニ入り右折、正丸峠ヲ越エ吾野溪谷ニ出テ、飯能、豊岡、所沢、田無、荻窪ヲ経テ七時四十分頃新宿著。駅ニテ岩澤、赤尾両技師ト別レ、更ニ渋谷ニテ下車。赤木氏ト共ニ帝都電車ニテ帰宅ス。時二八時過ナリ。走

行三百四十余キロ、大ニ疲労ス。

十一月十八日(月) 曇 寒冷

○昨夜熟眠セシ為、気分宜シ。耳鳴モ輕快トナル。朝、堀先生ヲ訪ヒ診察ヲ乞ハントセシモ、葉山御用邸へ出張中ナリト云フ。磯部先生ヲ訪ヒ診療ヲ受ク。耳内異状ナシト云フ。

○早朝内務技師岩澤忠恭氏、埼玉県技師平尾鹿之助氏、同土木課長技師緒方虎之助氏及同県治水砂防協会副会長、県會議員岩田鹿太郎氏ニ対シ謝意ヲ表スル為、夫々名刺ヲ郵送ス。

○大河内輝耕子ヲ訪ヒ、最近ノ情勢ヲ問フ。耳受療ノ序ナリ。

○石橋徳作氏ヲ貴族院ニ訪ヒ、令嬢ノ写真ヲ返却ス。又花房崎太郎氏ノ容体ヲ問フ。

○瀬古書記官長ヲ訪ヒ、大政翼賛会ニ関シ二三ノ質問ヲ為ス。

○小林書記官ニモ面会ス。

○池袋一ノ六四二栗田徳次郎氏ヲ訪ヒ、病氣見舞ヲ為ス。胃癌ニテ甚重体ナリ。見舞金五円ヲ呈ス。

○池ノ上小学校保護会組織ニ付打合会ヲ開ク件ニ付、和田謙三氏ノ求ニ依リ朝同氏ヲ訪ヒ、今夕集会ノ配慮ヲ乞ヒシニ、都合ニ依リ明夕ニ延期ス。

〔欄外〕

○貴族院事務局野田属ヲ煩ハシ、父上ノ履歷書ヲ衆議院事務局ヨリ借用シテ写取ル。

十一月十九日(火) 快晴 寒冷

○昨夜不眠甚シク終日耳鳴強シ。

○朝、貴族院庶務課野田属及帝室林野局土地課長高尾事務官ニ電話ニテ調査ノ件ヲ依頼ス。

○一時、貴族院事務局ニ野田属ヲ訪ヒ、川島瀧蔵、寺田彦太郎両氏ノ履歷書写及丸尾文六、岡田良一郎両氏ノ略歴ヲ受取ル。二時過、帝室林野局ニ高尾事務官ヲ訪ヒ、平山御料地、富幕御料地、霧山御料地拝借経営ノ件、板沢山払下ノ件等調書ヲ受ク。岡本監理部長ヲ訪ヒシニ頗元氣ナリ。四時過辞去、帰宅ス。

○六時過、朝比奈貞一來訪ス。鈴木正夫氏ニ面会ノ為ナリ。然ルニ正夫氏ハ遂ニ来ラス。

〔欄外〕

○山崎昇二郎ハ今朝九時発ニテ神戸へ赴キ明日乗船上海へ帰ル予定ナリ。見送りヲ為サス。

十一月二十日(水) 曇 冷

○昨夜モ睡眠十分ナラス。

○午前十時、同成会ノ例会ニ出席ス。三橋氏ヲ出席者ニ紹介ス。伊澤、次田、中川、丸山、柴田、小坂、小坂、三橋諸氏出席ス。次田、小坂両氏ヨリ、昨日午後議長官舎ニ於テ準備委員

ト近衛総裁并前田局長ト会見セシ交話ノ内容ヲ報告アリ。更ニ廿二日開カルヘキ準備委員ノ会合ニ於テ相談セラルヘキ事項ニ関シテ協議ス。

○中川氏ノ車ニ便乗シテ日本俱樂部ニ至リ中食ス。

○中央亭ナル日本国際協会午餐会ニ至リ、食後ノ講演ヲ聴ク。

墨国ノ近状ニ付テ越田佐一郎公使ノ談話アリ。有益ナリ。

○三時半、日本俱樂部ニ於テ水野鍊太郎、川村竹治、山岡萬之助、倉地鐵吉、岩田宙造、白根竹介六氏ト会合シ、大政翼賛会ニ関シ所見ヲ交換ス。(1)同会ハ国民全体運動ヲ統轄ストノ点、憲法違反ナラスヤ、(2)同会ハ治安警察法違反ナラスヤ、(3)議會制度ノ根本趣旨ニ違反シ、且両院ヲ置クノ精神ヲ蹂躪セスヤ等ニ付、意見ヲ述フ。結局憲法ノ精神ニ反シ治安警察法違反ナリトノ結論ニ達シタルモ、多数ハ大勢順応論者ナルカ如ク、山岡、倉知、川村諸氏、最急先鋒ナリ。四時半先ツ辞去ス。

〔欄外〕

○長谷川太郎吉氏亡夫人ノ七回忌アリ。帝国ホテルニ於テ晚餐会ヲ行ハレシヲ以テ出席ス。長谷川氏ノ謝辞、及追憶談ニ対シ、常盤大完師ノ挨拶、板谷取締役ノ追懷談アリ。新夫人ニ挨拶ヲ為シ、アキ子ト共ニ電車ニテ帰宅ス。

十一月二十一日(木) 快晴 午後北風強 寒

○朝九時、関屋正彦氏来訪ス。氏ハ明年一月北支、豊瀨中学校ニ奉職スト云フ。父君トノ関係ヲ問ヒ、予ノ意見ヲ述ヘ、微力ヲ吝マサルコトヲ告ク。

○早朝、電話ヲ以テ白根竹介氏ニ謝意ヲ表シ、且昨日ノ会合ノ其後ノ状況ヲ問フ。又次田大三郎、伊澤多喜男氏両氏ニ対シ会谈ノ大要ヲ電話ス。

○男爵鈴木貫太郎氏(謝状)、丸山方作氏(同上)、鷺山恭平氏(帰村時期等)、宮本伊兵衛氏(謝状)、遠州学友会編輯幹事長壽彦氏(会員異動報告等)等ニ対シ発信ス。

南郷村小学校長藤田一雄氏ニ対シ故父上ノ履歷書ヲ送付ス。

○午後家居。大政翼賛会ニ関スル各種ノ文書ヲ読ム。各種ノ疑問湧起シテ止マス。

○要ハ、アキ子、なほ子ト共ニ帝室博物館ニ赴キ、正倉院御物ヲ拝看ス。

〔欄外〕

○伊東卓治氏ニ対シ電話ヲ以テ、去十四日朝比奈策太郎氏ヨリ、氏カ明年三月北京大学教授ニ任命セラルヘキコト、并之ニ先チテ高等官ニ任用セラレタキコトノ内話アリシヲ告ケ、之ニ対スル準備トシテ速ニ令兄ノ同意ヲ得、且朝比奈氏ヲ訪問センコトヲ求ム。而シテ其結果ニ基キ、予ハ渡部総長ヲ往訪スヘシト告ク。

十一月二十二日（金）曇 寒冷

○朝、小林次郎氏来訪ス。正午、氏ヲ二葉亭ニ招シ昼食ヲ呈ス。

○一木男爵ヲ訪問セシニ不在ナリ。男爵ノ御健康ヲ察シテ伺ヒシニ、最近最佳良ナリト云フ。欣喜ニ堪ヘス。

○貴族院事務局ニ至リ小林書記官、内田明氏ニ面会ス。

○五時半関屋貞三郎氏ヲ往訪ス。昨朝正彦氏ト会谈ノ要旨ヲ告ケ、氏ノ決意牢固タルモノアルノミナラス、既ニ契約成立済ナレハ、氏ヲシテ十分ニ其志ヲ遂ケシムルヤウ配慮スルノ外ナシ。但氏ト御双親トノ間ニハ多少意思ノ未通点アルカ如キヲ以テ、万全ノ途ヲ講スル為適當ノ手段ヲ考慮セラレ、其中ニ就キ予ノ尽力スヘキ点アラハ、遠慮ナク命セラレンコトヲ希望シ置ケリ。

関屋氏ヨリ本日午後二時、議長官舎ニ各派連絡委員集会ノ状況ニ付談話アリ。又大政翼賛運動参加論ヲ話サル。六時半辞去、急キ帰ル。

○七時半池之上小学校会評議員会ニ出席ス。役員二十名ノ外、校長、首席訓導出席ス。会長トシテ挨拶、自己紹介アリ。国旗掲揚式挙行ノ件及会員（会費即寄附金）募集ノ件ヲ協議シ十時散会ス。各員腹藏ナキ意見ヲ述ヘ真摯敬賀スヘシ。

〔欄外〕

○鈴木正夫氏夕来泊ス。氏ハ来月一日入営ノ為、住友火災会社ヨリ休職トナリ、既二日光ヲ訪ヒテ来レルナリ。明日大森氏

ノ展墓ヲ為シ、沼津大森方ニ一泊、明後日土肥泊、廿五日興津泊、廿六日岐阜ニ帰ル予定ナリ。

十一月二十三日（土）曇 寒冷

○終日家居ス。午後二時ヨリ故父上伝記ノ一部ヲ起草シ、五時過ニ至ル。食後浄書ヲ終リ泰治ヲシテ複写セシム。十時頃成ル。依テ泰治ノ写取リシモノヲ南郷村小学校長藤田一雄氏宛郵函ニ投ス。

○鈴木正夫氏九時半頃出発ス。重友、泰治、興三、之ヲ見送ル。一同ハ大森健三氏ノ墓参ヲ為シ中食ノ上、正夫氏宅ニ至リ荷物ヲ纏メテ東京駅ニ至リ、品川マテ同車シテ五時頃帰宅ス。○要ハ関屋正彦氏ノ送別ノ為、直子同伴ニテ千葉県佐貫町所在東京某氏ノ別荘ニ赴ク。来衆三十一名ナリシト云フ。八時半出発、午後八時過帰宅ス。

○西園寺公爵本日午前十一時頃危篤ニ陥レリトノ新聞号外出ツ。

〔欄外〕

○神嘗祭ナルモ不参ス。自動車ナク参列困難ナルヲ以テナリ。終日謹慎ス。

○堀医学士ヲ訪ヒシコト二回、毎ニ不在、診察ヲ受クルヲ得ス。

十一月二十四日（日）曇 小雨 冷

○午前八時起床ス。

○九時過高橋雄豺氏ヲ訪ヒ、池之上小学校会成立ニ付会長受諾ノ事情ヲ述ヘ、評議員トシテノ援助ヲ乞フ。又設備其他ヲ援助スル為学区居住者全員ニ対シテ会員タラントコトヲ勧誘スルニ付、寄附金募集取締ニ触レサルヤウ取扱ヲ乞フ為、世田谷署長ヲ訪問スヘキニ付、氏ヨリ署長ニ対シテ紹介セラレンコトヲ乞フ。

後刻高橋氏ヨリ電話ニテ署長ニ説明セシ由、返事アリ。

○午後二時頃小澤徹二氏来訪ス。緩々旧話ヲ為ス。四時頃去ル村尾圭介氏方ヘ赴クト云フ。

○会計検査院勤務宮崎佐一郎氏(和田岡村出身)、山崎覚次郎博士ノ紹介ヲ以テ来訪ス。将来ノ進路ニ関シテ相談セラル。

○三時半頃千葉医大教授伊東弥恵治氏来訪ス。卓治氏北京大学教授就任ノ件ニ付、朝比奈氏、宇野博士、植田甫蔵教授ト交渉ノ結果ヲ告ケラル。之ニ対シ予ノ尽力スヘキ点アラハ申出テラレタシト述ヘ、其方面ニ付相談ス。夕食ヲ呈ス。快談八時頃帰ル。

○伊東教授ヨリ昨日、帝室博物館ニ於ケル多衆混雑ノ状況ヲ聞ク。深憂ニ堪ヘス。

〔欄外〕

○飯米昨日ヲ以テ尽ク。家庭購買組合ニ対シテ供給ヲ求メ置キシモ竟ニ得ス。依テ応急措置トシテ、少量ノ残米ニ甘諸ヲ加

ヘ粥ヲ作リテ食フ。

直子ハ組合ニ至リ供給ヲ要求セシニ、事務員ハ供給元ヨリ送付ナシト云ヒ、又現時ノ状況ハ昨年ノ此頃ニ比シテ寧ろ大ニ切迫スト告ケ、到着次第送届クヘシト答フ。直子帰途米穀商ニ寄リシニ亦得ル能ハス。附近ノ妻女数名来店シテ、悲痛ノ叫ヒヲ上ケ居タリト云フ。次ニ東横ニ至リパン三斤ヲ求メ得テ帰途ニ就キシニ、相島夫人ニ邂逅シ、其請ニ任セテ同情シ一斤ヲ頒テリ。重友、午後神田ノ某書店ニ至リ、帰途三斤ヲ索メタリ。

夕、斎藤店ヨリ特ニ二升ヲ購入スルヲ得タリ。又夜ニ入り組合ヨリ五升ノ配達ヲ受ケタリ。

十一月二十五日(月)晴 暖

○昨夜不眠甚シ。今朝八時過起床ス。頭痛耳鳴アリ。

○十時同成会例会ニ出席ス。次田大三郎氏ヨリ去二十二日大政翼賛会準備委員会ニ於ケル意見ノ内容ヲ報告シ、其結果トシテ同成会ヨリ小委員二名ヲ出スヘキヤニ付決定ヲ求ム。一同ハ伊澤多喜男氏ヲ座長ニ推シ、協議ノ結果之ヲ出スニ決シ、次田、小坂両氏ニ之ヲ託ス。次テ両氏ヨリ同会ノ組織ニ入ルヘキ議員ヲ決定セラレタシトノ希望ヲ提出シ、全員ヲ揃フルコトハ困難ナルヘキモ、セメテ三四名ハ之ヲ選定セラレタク、其選定ヲ右両氏ニ委任ス。五時過散会ス。

〔欄外〕

○西園寺公望公、昨二十四日午後九時五十四分、興津町ニ於テ薨去セラル。

本日特ニ国葬ヲ賜フノ勅書ヲ發セラル。

又二十四日附ヲ以テ従一位ニ叙ス（特旨ヲ以テ位一級ヲ追陞セラル）ルノ御沙汰アラセラレタリ。遺骸ハ二十八日午前特別車ニテ興津ヲ發シ午後東京著。外務大臣官邸ニ安置セラルコトニ決定ス。

○渡辺楷助氏ヨリ西別産鮭二尾ヲ贈ラル。

十一月二十六日（火）曇 午後晴 冷

○昨夜三時迄不眠。今朝少シク眠リシニ六時過覺眠ス。

右ニ付終日耳鳴強ク、気分甚重シ。

○十一時池之上小学校ニ至リ校長岸上先生ニ面会シ、本日世田谷警察署長往訪ノ予定ナリシモ阿川氏来訪ナシ。故ニ予、單獨訪問スヘキニ付、必要書類ヲ交付セラレンコトヲ申出ツ。種々打合せヲ為シテ帰宅ス。

○一時頃岸上校長来訪、大瀧靖氏、予ト同行セラルヘシト告ケラル。依テ直ニ大瀧氏ヲ訪ヒ、世田谷署へ同行ス。

署長不在ニ付、次席警部ニ来訪ノ趣旨ヲ告ケ署長ノ帰ルマテ散歩ス。松蔭神社ニ参詣シ区役所ノ辺ニ至リ再ヒ出頭ス。

署長ニ会见シ完全ニ了解ヲ得タリ。即勧誘方法トシテ各戸ヲ

歴訪シテ奉加帳ヲ示スハ不可ナリトノコトナリ。

帰りテ池之上小学校ニ岸上校長ヲ訪ヒテ其事ヲ報告シ、大瀧氏ト別レ帰宅ス。

○夜九時頃読売新聞地方經濟記者前島恒夫氏来訪シ、高橋雄豹氏ノ命ニ依リテ甘藷増産ニ関シテ質問ス。各種ノ成績ヲ示シ、結局丸山方作氏ニ就キテ記事ヲ編輯スルニ決ス。

〔欄外〕

○渡辺八太郎氏ヨリ蜜柑ノ巨大顆及治郎柿ヲ贈ラル。応接室ニ陳列ス。

三箇一枝ニテ二百九十匁アリ。最大ノ蜜柑ト云フヘシ。品種松木ト云フ。

十一月二十七日（水）晴 寒

○午前七時町内ヨリ出征兵士ノ為、八幡神社ニ集合シ武運長久ヲ祈リテ見送ル。

○七時四十分頃代沢小学校ニ至リ、区會議員選挙ノ投票ヲ為ス。

○十時貴族院議長室ニ於ケル各派交渉会ニ出席ス。西園寺公薨去ニ付、特別ノ弔辞ヲ贈呈スル件ニ付協議シ、其案文ヲ決定ス。議長ヨリ之ヲ贈呈方ニ付報告アリ。次ニ明後日ノ議會開設五十年記念式典ノ次第及心得ニ付、近藤書記官ヨリ報告アリテ散会ス。

○貴族院読書室ニ入り、丸山方作氏ニ対シ読書新聞社ヨリ甘藷

栽培方法等ニ付社員ヲ特派セラルヘキニ付、便宜ヲ与ヘラレ
ンコトヲ希望スルノ書状ヲ発ス。

○酒井忠正伯ニ対シ丸山方作氏ノ業績^{マヤ}ヲ告ケ、農産ノ増進ヲ図
ル為大ニ同氏ノ力ニ倚ランコトヲ希望シ、更ニ農会ノ腐敗ヲ
警告シタリ。

○正午中央亭ナル国際協会ニ出席シ午餐ヲ為シ、次ニ横山正幸
氏（《西班牙公使》）ノ地中海ニ於ケル争覇状勢ニ関スル講演
ヲ聴ク。

○一木男爵ヲ訪ヒ、新体制ト報徳社關係ニ付意見ヲ交換ス。

○五時半ヨリ飯田町大松閣ナル小坂梅吉氏ノ晚餐会ニ出席ス。
来会者、同成会員十三名、書記官二名、三浦氏ノ十七名ナリ。
席上次田氏ヨリ本日準備委員会ニ付報告アリ。

〔欄外〕

○小坂氏ノ晚餐会出席議員左ノ如シ。

入江氏 伊澤氏 大谷氏 河井 建部氏 塚本氏 次田氏
熊谷氏 丸山氏 小坂氏 佐藤氏 三橋氏 塩田氏 主人
書記官三名

小林氏 石橋氏 近藤氏

○本日ノ大政翼賛会貴族院準備委員会ノ決定ノ大要

- (1) 貴族院部ヲ置キ、之ヲ総務部、調査部及制度部トス。
- (2) 各部ニ部長、副部長ヲ置クコト、其割当ノ決定及推薦方
- (3) 部員ニ付テハ、大政翼賛会ヨリ直接ニ各議員ニ対シテ勧誘

状ヲ発スルニ付、諾否ハ直接ニ返答スヘキコト。

右ノ中(2)ニ付テハ三派ハ夫々推薦ニ尽力スヘキモ、果シテ承
諾ヲ得ヘキヤ否ヤ不明ナリト申出ツ。

十一月二十八日（木）曇 寒冷

○昨夜不眠三時ヲ過ク。七時起床、気分悪シ。

○八時過池之上尋常小学校ニ赴ク。八時三十分ヨリ月村秀信氏
寄贈ニ係ル国旗掲揚塔ノ掲揚式アリ。小学校会役員、東条陸
相代理、北澤小学校長等ト共ニ臨席ス。修祓、降神、祝詞奏
上、国旗掲揚等アリ。次テ予ハ月村氏ニ感謝状ヲ呈シ、月村
氏挨拶ヲ述ヘ、岸上校長ノ謝辞、北澤校長ノ祝詞アリ。予モ
亦簡單ナル祝詞ヲ述ヘ、了テ散会ス。

式後御神酒ヲ頂キテ散会ス。役員ノ誠心、甚心強シ。

小学校ニテハ引続キ運動会ヲ催セリ。寒冷甚シク戦慄ス。

○十一時皇后宮職ニ出頭シ、義宮殿下御袴着御式ニ付恐悦ス。

侍従長、大夫、事務官、藤井御養育掛長、侍医頭ニ面会ス。

○榛原ニテ封筒ヲ求メテ帰ル。

○西園寺公遺骸、十一時三十分興津発ノ特別列車ニテ二時三十
五分東京駅著。直ニ外務大臣官邸ニ安著セラル。依テ四時頃
同邸ニ至リ吊意ヲ述フ。大金事務官ノ計ヒテ特ニ許サレテ靈
柩ヲ拝ス。

入江貫一氏ノ自動車ニ同乗シテ青山三丁目ニ来リ、地下鉄ニ

テ帰ル。

十一月二十九日（金）曇 暖

○帝国議會開設五十年記念式典ヲ挙行セラルルニ付、九時十分貴族院ニ登院ス。

十時車駕宮城ヲ發セラレ式典ニ行幸アラセラル。閑院宮兩殿下、朝香宮殿下、東久邇殿下、竹田宮殿下ニモ台臨セラル。

式ハ貴族院議場ニ於テ左ノ順序ニ依リテ行ハル。

一、参列員入場 一、皇族方御臨場

一、出御 御先導貴族院議長（一同最敬礼）

一、貴族院議長式辞 一、衆議院議長式辞 一、内閣總理

大臣祝辞

一、万歳奉唱三回 発声貴族院議長（一同唱和）

一、入御 御先導衆議院議長（一同最敬礼）

一、皇族方御退場 一、参列者退場

陛下議院ニ御著ノ際及御還幸ノ際、両院議員ハ門内ニ整列奉迎奉送ス。

○右式典ニ付記念トシテ木杯一箇ヲ受ク。

○二時ヨリ貴族院予算委員室ニ於ケル帝国議會開設ニ関スル史料ヲ看覽ス。列品数百三十、尾佐竹博士ヨリ説明ヲ聴ク。

○瀬古書記官長ニ面会ス。

〔欄外〕

○三時五十分頃農林省山林局木材統制課ニ至リ、黒田新平氏ニ面会シテ同氏力計画ヲ立テタル東京高等学校ノ植林事業ニ付、説明ヲ聴ク。

○栗田徳次郎氏、昨日逝去。明日正午ヨリ一時マテノ間告別式ノ由、通知ヲ受ク。

十一月三十日（土）少雨 暖

○昨夜睡眠十分ナリ。只、夜心窩部ニ圧搾痛アリ。五分乃至十分間ニシテ止ム。軽度ノ痛ミナリ。十時迄臥床ス。

○ゴルフノ約束ヲ為セシモ降雨ノ為中止ス。遺憾ナリ。

○栗田徳次郎氏葬儀ニハ要、列席ス。又矢田長之助氏ノ告別式アリ。要、出席ス。

○二時貴族院ニ至リ瀬古書記官長ニ面談ス。

○三時黒田新平氏貴族院ニ来訪シ、昨日依頼セシ東京高等学校植林計画書ヲ持来リ、説明ヲ与ヘラル。氏ハ又五日市方面ノ

林地所有者ヲ知り居リ好都合ナリ。

○六時三十分外務大臣官邸ニ至ル。直ニ正寝ノ室ニ入り通夜ヲ為ス。八時退出、帰宅ス。

○佐々井信太郎ヨリ報徳社本社及支社ノ新体制関係ニ付、一月七八九日ノ間、一木社長宅ニテ研究会ヲ行フ旨通知アリシニ対シ、承諾ノ旨ヲ返事シ且明日本社へ出頭スル由ヲ告ク。

〔欄外〕

○日支關係ノ基本条約、十時二十五分南京国民政府大礼堂明志楼ニテ阿部大使ト汪行政院長ト調印式ヲ行フ。

○午後零時十時^{マイ}南京ニ於テ日滿華共同宣言ニ三国全權委員（阿部、汪、臧式毅滿洲国参議府議長）ノ署名調印ヲ了シタリ。

十二月一日（日） 快晴 寒冷

○早起ス。要ト共ニ食前ニ八幡神社ニ参詣ス。

○十時頃、高橋雄豺氏来訪ス。

○十一時頃、橋本紀平氏来訪ス。亡父君生前ノ厚誼ヲ謝セラル。病中ノコト等、詳シク聴取ス。昼食ヲ共ニス。一時頃帰ル。氏ハマオラン組合静岡愛知両県ノコトヲ主宰シ、原麻会社ニ対スル交渉ノ為、一昨日来京セリト云フ。

故織作氏ノ山崎昇二郎ニ対スル未済債務履行方ニ付テハ、明年中ニ完済スヘキ旨、紀平氏ヨリ昇二郎ニ返事セリト云フ。

○千葉市伊東弥恵治氏ヨリ卓治ノコトニ付来訪ノ照会電話アリシモ、帰国ノ予定ナルヲ告ケ之ヲ断ル。書面ニテ通信スヘシト云フ。

○関屋貞三郎氏ニ対シ電話ヲ以テ第一高等学校ノ植林計画ニ対スル参考資料入手ノ旨ヲ報告シ、近日会談ノコトヲ協議ス。

○大森夫人来訪ス。健一郎ノ健康ニ関シテナリ。根治方ニ付和田博士ニ相談セラルヘキヲ勸ム。

○三時二十五分東京駅発八時四十六分掛川著、帰宅ス。留吉出

迎フ。一同無事収納ス。多忙ナリ。一昨日葉書ヲ発シ三時帰宅ノ由ヲ通セシニ、昨夕橋本氏来訪ノ旨電話アリシニ由リ、掛川著時刻変更ノコトヲ今朝電報セリ。

十二月二日（月） 朝雨 九時頃ヨリ晴 寒冷

○昨夜快眠ス。

○朝、村役場ニ村長ヲ訪ヒ、出征兵士ノ動静ヲ問フ。松井勇氏ノ重患ヲ聞ク。

○挙張神社ニ参詣シ、村将兵ノ武運長久ヲ祈ル。

○松井勇氏方ニ至リ見舞フ。妹一人、親戚一人在リ。其他ハ豊橋へ行ケリト云フ。

○掛川町ニ至リ、報徳社ニ出頭ス。小野仁輔氏ニ就キ報徳社ノ将来ニ関スル諸問題ノ提示ヲ受ク。

○午後、鷺山理事出社セラル。台湾人蘇茂鉦氏ヲ伴ハル。蘇氏ノ為ニ記念トシテ報徳外記、報徳問答、原理二部ヲ呈ス。又其希望ニ依リ悪筆ヲ揮フ。

○二時ヨリ信用組合ニ至リ有志ト面談シ、時局ニ関シテ各種ノ意見ヲ聴ク。大ニ参考トナル。出席者、鷺山恭平、黒田芳松、黒田、吉岡八二郎、鈴木理一郎、山崎好知、小野仁輔七氏ナリ。四時半頃ヨリ和泉屋ニ招カレ、晚餐ヲ饗セラル（山崎氏ハ欠席）。八時二十分散会ス。

鷺山氏ノ自動車ニ同乗シテ帰宅ス。

〔欄外〕

○十一月二十八日参賀ノ時拝戴シタル御菓子ヲ信用組合ニ出席シタル諸氏ニ頒ツ。尚、其余ヲ組合及報徳社諸氏ニ呈ス。宅ノ者ヘモ一箇ヲ頒ツ。

○夜、石野元治郎、小柳直吉両氏来訪、予ノ帰ルヲ待チシモ、帰宅遅カリシニ依リ、石野氏ハ返リ、小柳氏在リテ面会ス。甘藷栽培普及ノ見込、麦作大増進ノ機運動クコト、米作増収実行計画等ニ付、談話アリ。

十二月三日（火）快晴 寒

○昨夜快眠ス。

○八時前、石野元治郎氏来訪ス。

○八時四十分頃、片平信通翁来訪ス。令孫之ニ随フ。徳川家正公御揮毫ノ軸物ニ予ノ箱書ヲ求メラル。自動車ニテ同乗シテ掛川報徳社ニ至リテ蓋裡ニ「公爵徳川家正閣下御筆河井弥八謹証」ト書ス。翁本年八十五才、頗健康ナリ。報徳ノ権化ト云フヘシ。

○二時、中等学校長トノ打合会アリ出席ス。鷲山田辺両理事、小野部長臨席。掛中校長代理〔空白〕教諭、掛川高女校長藤井祐正氏、中泉農学校長大石良五郎氏、小笠農学校長多田実氏、引佐農学校長中山純一氏、周智農学校長鈴木金作氏、袋井商業校長代教諭喜多山圭三郎氏、誠心女学校長長谷川鉄雄

氏出席。鷲山理事開会ノ辞ヲ述ヘ、予ハ挨拶ヲ述ヘ報徳ヲ学校教育ニ施用スル為本社ト学校トノ連絡共助ニ付配慮ヲ乞ヒ、且本社側ノ態度ヲ明ニス。結局、教授材料トシテノ著書ヲ提示シ、短期講習会開催ノ件等、具体的協議ヲ遂ケタル後、簡單ナル晚餐ヲ呈ス。其間、次回開会ノコトヲ協議ス。六時過散会。七時半帰宅ス。

○石野驄氏報徳社ニ来訪ス。二男某氏ヲ住友職工養成所へ紹介ノ件ニ付テナリ。

〔欄外〕

○永安善種金拾円ヲ報徳社に寄入ス。

十二月四日（水）晴 寒シ

○今晚三時覚眠。終日少シク懶シ。

○瀬古書記官^{〔枢密院〕}長賞勳局総裁ニ、小林書記官、書記官長ニ榮進。下條総裁貴族院議員ニ勅選セラルル由、新聞紙ニ発表アリ。瀬古、小林両氏ニ祝電ヲ呈ス。

○東京地方通信局員ノ為ニ報徳講習会ヲ可睡齋ニ開催セラルル由ニテ、鷲山理事其講師トシテ出席セラルト聞キ、八時廿九分掛川発ニテ同所ヘ赴ク。小野部長同行ス。九時十五分頃著。小憩ス。十一時頃挨拶ヲ述ヘ且現時^{マタ}状勢ノ一班ヲ説明ス。十二時一同ト共ニ午餐ヲ喫シ、自動車ニテ送ラレ袋井駅十二時五十分發ニ乗リ東京ニ帰ル。小野氏ト掛川ニテ別ル。又、同

駅ニテ山崎好知氏ト邂逅ス。七時頃帰宅ス。

○夜、電話ニテ瀬古、小林両氏ニ祝意ヲ表ス。

○関屋貞三郎氏ニ電話ニテ一高山林部創設ニ関シ会見ノ日時場所等ヲ打合ハス。

十二月五日（木）晴 寒

○故従一位大勲位公爵西園寺公望公ノ国葬ニ参列スル為、七時出發。日比谷公園ニ赴ク帝都線、地下鉄、バスニテ七時半公会堂ニ著。八時半頃幄舎ニ著ク。十時過、玉串ヲ捧ケ退出ス。

○関屋貞三郎氏ノ御宅ニ伺フ。同氏ト同道ニテ下落合四ノ十五〔空白〕番地ニ一高校長安倍能成氏ヲ訪問ス。東京高校ノ植林事業計画ヲ提示シテ説明ヲ為ス。十二時半頃辞去ス。

○目白駅附近東京パン方ニテ昼食ノ御馳走ニ為ル。ソレヨリ工藤壮平氏及令弟ノ御宅ニ至リ、工藤少将ヲ弔フ。工藤氏ニ面会ス。

○関屋氏ト別レテ帰宅ス。

○瀬古保次氏ヨリ交魚一籠ヲ贈ラル。

○重友胃痙攣ノ為、欠勤ス。

十二月六日（金）曇 冷

○朝十時半、宮中ニ参入シ 照宮殿下御誕辰奉賀ノ記帳ヲ為シ、廣幡大夫及事務官ニ面会シテ祝意ヲ表ス。大夫ヨリ榛葉康子

ノ身ノ上ニ付相談アリ。

野口事務官ニ面会シ、貴族院ノ組織改正ニ関連シテ華族ノ制度及其教育ニ及フヘキ旨ヲ告ケ、予メ用意セラルルヤウ進言ス。

吳竹寮ニ至リ、藤井御養育掛長ヲ訪ヒ、奉賀ス。

○十二時四十分頃帰宅シテ昼食ス。

○二時三十分日本俱樂部ニ至リ水野鍊太郎、川村竹治、岩田宙造、白根竹介四氏ト大政翼賛会ニ関シテ意見ヲ交換ス。其結果、勅選議員ノ懇親会ヲ開クコトニ決シ、来十九日午後五時半、丸ノ内会館ニ於テスヘク、發起人ハ本日ノ出席者ト倉知鐵吉、山岡萬之助両氏トヲ以テスルコトトシ、事務ノ取扱ヲ川村竹治氏ニ一任シ、四時過散会ス。

○夜。蘇茂鉦氏帰国ニ付、其兄ト共ニ杉本氏同道ニテ来訪ス。

蘇氏ニ報徳叢書一卷ヲ呈ス。

○朝、大瀧靖氏ヲ訪ヒ、明夕ノ池之上小学校舎ノ會議事項ニ付協議ス。

〔欄外〕

○夜、昇三郎ヨリ電話アリ。三島甫氏ヘ直子ヲ遣スヘキヤニ付、相談アリ。其結果、至急直子ヲ昇三郎方ヘ赴カシムルコトニ決ス。

○黒田新平氏ニ対シ来十六十七両日、奥多摩ヘ視察旅行ノ斡旋ヲ乞ヒシニ同意アリ。而シテ同氏ノ後任タル東京府技手〔空

白」氏ノ都合ヲ問ヒシ上、確答スヘシトノコトナリシモ竟ニ返答ナシ。然ルニ夜、関屋氏ヨリ電話ニテ安倍校長差支ヲ生シタルヲ以テ一応延期ヲ求メラル。

十二月七日(土) 曇 寒冷

○早起ス。

○朝、なほ子二三島甫氏ノコトヲ告ク。昇三郎ニ対シ「要及なほ子来十日其地ニ著ク」旨依頼ノ電報ヲ發ス。

○九時半瀬古保次氏ヲ貴族院官舎ニ往訪ス。氏ハ出勤ノ後ニシテ夫人ニ面会シテ祝意ヲ述ヘ、且從來ノ厚誼ヲ深謝ス。

○十時十五分頃、東大法学部研究室ニ小野塚先生ヲ訪問ス。大政翼賛会ノ法律的政治的性質ニ付、所見ヲ述ヘテ教ヲ請フ。十一時四十分頃辞去ス。

○正午、中央亭ニ於ケル日本國際協會午餐会ニ出席ス。ブラーグニ総領事タリシ市毛孝三氏ノ戦火ノ独逸一年ナル講演ヲ聴ク。

○要ハ直子ト共ニ瀬古、小林両氏ヲ訪問シテ榮任ヲ祝シ、又本間先生ヲ訪問ス。

○七時三十分ヨリ池之上小学校会役員会アリ、出席ス。出席者十六名。諸般ノ報告ノ後、副会长横堀善四郎氏退任ニ付挨拶ノ件及補欠ノ件。會員募集ノ方法ヲ協議決定シ、九時散会ス。

十二月八日(日) 晴 寒

○八時半頃亀井恒吉氏《近歩ニ上等兵》来訪ス。近日征途ニ就クヘシト云フ。昼食ヲ饗シ、又恩賜ノ御菓子ヲ頒ツ。餞別トシテ金三円ヲ呈ス。

重友、興三ト共ニ渋谷ニ至リ、活動写真 *Fete der Völker* ヲ看テ帰営ス。

○伊佐勇松氏来訪ス。夕刻迄談話シテ帰ル。

○落合英司氏来訪ス。夕食ヲ呈ス。氏ハ近ク商工省ニ転勤スルナラント云フ。

十二月九日(月) 晴 寒冷

○九時過出發。十時頃東京駅ニ至リ要及なほ子ノ為ニ明日午前九時發ノ特急券ヲ求ム。二等売切ノ為三等ヲ購フ。

○貴族院事務局ニ至リ読書室ニ於テ、昇三郎宛ノ書状ヲ認ム。小林書記官長ニ面会ス。榮任ノ祝詞ヲ述フ。書記官一同ト昼食ス。

○安倍能成氏ニ電話ニテ東京高校へ笹平植林視察ノ申込ヲ為スコトヲ依頼ス。地図青梅及五日市ヲ求ム。

○七時頃、杉本良氏来訪ス。郷里地方開發啓蒙ニ関シテ所見ヲ交換ス。

○四時頃、井上寿徳氏来訪ス。同氏来十五日結婚ニ付、披露会ニ招待セラル。

〔欄外〕

○早朝、赤木正雄氏来訪シ、明年度予算編成ニ付、砂防費ハ最初要求ノ通り金額ヲ承認セラレタル由ヲ報告セラル。至誠通神ト云フヘク、欣快ニ堪ヘス。蜜柑一箱ヲ呈ス。

十二月十日（火） 晴 寒

○昨夜二時過迄睡眠出来ス。放尿二十分毎ニ一回アリ。放尽シテ竟ニ眠ル。五時頃覚醒。終日、頭重耳鳴強シ。

○要、直子、芦屋ヘ赴クヲ以テ見送ル。八時池之上駅ニテ乗車ス。超満員ノ中ヘ後ヨリ押入レラル。渋谷ニテ下車ノ時ハ傍ニ置キタル Suit case 見エス。車外ニ蹴出サレタルナリ。省線電車ニテ東京駅ニ著。八時四十分、所定ノ Platform ニ登ル。九時發燕号五号車ニ乗込マシメテ去ル。岡田分平氏夫人京都ヘ赴クトテ挨拶セラル。駅ニテ芦屋ヘ電報ヲ發ス。

○貴族院ニ至リ十時ヨリ予算委員室ニ於テ前田議会議長ヨリ議會局ニ關スル説明ヲ聴ク。ソレヨリ大河内輝耕子、一條公、二荒伯、小坂梅吉氏、有田八郎氏等ノ質問アリ。十一時五十分頃散会ス。出席議員百六七十名。

○伊澤多喜男氏ノ求ニ応シ、右ノ内容ヲ電話ニテ報告ス。

○一時頃帰宅シテ中食ス。池之上小学校ニ至リ和田大瀧両氏ニ面会シテ事務ノ打合ヲ行ヒ、来十四日役員会招集ノコトニ決シ更ニ右二氏及首席〔空白〕ト共ニ副会長横堀善四郎氏ヲ訪

ヒ、氏ノ尽力ニ対シ深謝ス。

○五時半、紅葉館ナル直野文二博士ノ招待ヲ受ケ晚餐会ニ臨席ス。牧野伯ヲ初メトシテ四、五十名出席ス。九時帰宅ス。

〔欄外〕

○伊東弥恵治氏ヨリ蛤ヲ、尼崎伊三郎氏ヨリ奈良漬ヲ贈ラル。

○松山高四郎氏夫人来訪。歳末蒲鉾ヲ贈ラル。

○泰治住友伸銅所就職ニ關シ、三島教授ヨリ意嚮ヲ問ハル。依テ昇三郎ヘ長距離電話ニテ問合セヲ為シ決定ス。

十二月十一日（水） 晴 午後曇 寒

○昨夜睡眠十分ナリシモ、熟睡困難ナリ。六時半起床ス。

○朝、尼崎伊三郎、伊東弥恵治、松山高四郎三氏ヘ謝状ヲ認ム。

○十時、同成会例会アリ、出席ス。塚本、次田、中川、建部、小坂（順）、熊谷、大谷、三橋諸氏出席ス。大政翼賛会関係ニ付、交話ス。

十一時、幸俱樂部幹事会アリ、出席ス。月末開会セラルヘキ総会ニ報告附議スヘキ事項ニ付、協議決定ス。

○午後一時過、関屋正彦氏来訪ス。同氏北支行ノコトニ付、御両親ノ意向ヲ伝ヘ慎重ナル考慮ヲ求ム。三時辞去ス。

○夕食後、大政翼賛会ノ法律上ノ性質ニ付、研究ヲ開始ス。

○池之上小学校会ニ關シ二丁目清水丑之助氏来訪シ、質問ヲ為ス。同会ニ關スル誤解ヲ一掃シ、進ンテ一般ノ協力ヲ求ムヘ

キ絶好ノ機会ナリ。依テ会ノ性質、會員募集ノ趣旨、役員ノ無報酬、會計ノ明確ニ付説明シ、予力会長ヲ受諾シタル事情ヲ告ケシニ、満腔ノ賛同ヲ得タリ。氏ハ進ンテ附近有志ノ疑惑ヲ解消スルコトニ努力セラルヘシト言ハレタリ。

十二月十二日（木） 晴 寒

○昨夜亦睡眠自由ナラス。八時起床ス。

○十時、関屋正彦氏来訪ス。熟慮ノ結果、支那ニ赴キ終生ヲ支那人ノ教育ノ為ニ捧クルニ決シタリト云フ。両親ト十分ノ理解ヲ先要トスト告ク。

○十一時、第一高等学校事務官野村市治郎氏来訪ス。同校ノ林業経営ニ付、沿革ヲ説明セラレ、箱根金時山御料地買収ノコトヲ告ケラル。又、山中湖畔所有地ニ付テモ談話アリ。之ニ対シ予ハ奥多摩ニ経営開始ノ要ナカルヘシト答ヘ、速ニ資金ヲ募集シテ土地買収ニ着手スルコトヲ勸ム。

○午後一時四十分頃故中山佐之助氏ノ告別式ニ至リ焼香ス。

○三越ニテカフス釦（代六・五〇）ヲ求ム。井上寿徳氏ニ呈セシカ為ナリ。又、手袋ヲ求ム（三円）。

○徳川公爵家ヨリ使者ヲ以テ御養子縁組并敏子様御結婚ノ祝品ニ対シテ金三封ヲ下サル。

○夜八時過、催眠薬ヲ服用ス。

〔欄外〕

○野村直邦中将明日出發。欧州へ赴カルト云フ。依テ真島幸次郎氏ヲ訪ヒ、明朝中将宅ヲ訪問セラレンコトヲ乞フ。又、其席ヲ以テ池之上小学校会ノコトヲ説明ス。

○村田茂氏ヨリ林檎一箱（弘前産）ヲ、栗林我吉氏ヨリ大邱林檎ヲ、山田泰太郎氏ヨリ下仁田葱ヲ贈ラル。

○大村留吉ノ申越ニ依リ、小作米奨励金トシテ五十円ヲ振替ニテ送金ス。

十二月十三日（金） 快晴 寒

○朝、真野文二博士ヲ訪ヒ、去十日ノ好遇ヲ謝ス。又、博士ニ対シ池田金一郎氏ヨリ贈ラレタルメロン三箇ヲ呈ス。偶マ来訪シアリシ有賀光豊氏ノ自動車ニ同乗、千駄ヶ谷ニ至ル。

○徳川公爵家ヲ訪ヒ、昨日ノ賜品ヲ深謝ス。顕徳院殿伝記編纂所ニ至リ、若干ノ参考書類ヲ呈出ス。事務所ニテ宇佐美中将ニ面会ス。又、顕徳院殿へ供花（百日祭）料割当ヲ支払フ。

○寒冷ヲ感スルコト甚シキヲ以テ炬燵ニ潜入ル。

○大瀧靖氏来訪シ、池之上小学校会々員募集ニ付、配慮セラレシ成績ニ付、報告アリ。感謝ニ堪ヘス。打合セヲ為ス。

○六時過、伊東卓治氏来訪ス。北京大学就任ノコトニ付、其後ノ経過ヲ話サル。明日、帝室博物館ニ藤井事務官ヲ訪フコトトス。

○七時過、法務官高柳貞逸氏来訪ス。氏ハ最近、中支方面ヨリ

姫路へ転勤ヲ命セラレシニ依り、休暇ヲ得テ帰省セリト云フ。
中支在勤二年余ニ達セリト云フ。

〔欄外〕 右

○朝、野村中将邸ニ至リ挨拶ヲ述ヘシニ、既ニ出發ノ後ナリキ

〔欄外〕

○丸山方作氏ヨリ蜜柑一箱（四貫入）ヲ贈ラル。

○就寝ニ先チテ睡眠薬ヲ服用ス。

十二月十四日（土） 快晴 寒

○朝、伊澤多喜男氏ヲ訪問ス。大政翼賛会ニ付、意見ヲ交換ス。

○十一時半頃、帝室博物館ニ藤井事務官ヲ訪問ス。伊東卓治氏
北京大学教授ニ招聘セラルルニ付、了解ヲ求メ、赴任前奏任
官ニ起用セラレンコトヲ乞フ。渡部総長ハ奈良ヨリ未帰京セ
スト云フ。

○日本倶楽部ニ至リ少休ス。中川健蔵氏ニ出会フ。氏ハ熱心ニ
予ニ対シテ大政翼賛会ニ入会シ、貴族院部副部長タランコト
ヲ勧誘セラル。予ノ所信ヲ述ヘテ之ヲ謝絶ス。

○二時ヨリ文部省ニ於ケル報徳経済学研究会ニ臨席ス。米穀管
理令ノ施行ニ付テ発言ス。

○七時半ヨリ池之上小学校会役員会ニ出席ス。各種報告ノ後、
横堀副会長ノ補欠トシテ和田謙三氏当選ス。又、顧問ノ選任
ハ十二名トシ、内四名（二丁目分）ヲ決定セシモ、他ノ八名

ハ両町ノ役員ニテ^{〔銚カ〕}銚衡ノ上、会長ニ申出タル人ヲ選任スト
ノ決議ヲ為ス。最後ニ会計規定制定ノコトハ幹事会ニテ処理
スルコトトシ、九時散会ス。予ハ去十一日夜清水氏トノ対談
ノ内容ヲ報告シ置キタリ。

〔欄外〕

○浅野長光氏ヨリ塩鮭一尾ヲ贈ラル。

又、三ヶ日町大福寺高平勇氏ヨリ蜜柑一箱（四ベ目入）ヲ贈
ラル。

十二月十五日（日） 快晴 寒

○昨夜快眠ス。

○終日家居ス。池之上小学校会ノ為ニ顧問就任依頼状十二通、
多聞小学校保護者会長寺内錦一氏、横堀善四郎氏、片見勇氏
ニ対スル寄附金品謝状ヲ認ム。

○伊東弥恵治氏ニ対シ、昨日帝室博物館ニ藤井事務官往訪ノ内
容ヲ報告ス。

○十時頃藤井金吾氏来訪シ、農学士川野重任氏（帝大農学部那
須博士研究室在勤助手、三十四歳、鹿児島県土族）ヲ直子ノ
為ニ推薦セラル。好意ヲ謝シ現状ヲ告ケ将来ヲ依頼ス。

○四時、帝国ホテルニ於テ井上寿徳氏ト上條清子嬢トノ結婚披
露会アリ、臨席ス。予ハ来賓ヲ代表シテ祝詞ヲ述フ。北村勝
蔵氏及令夫人トモ出会フ。旧話甚興味アリ。東京駅マテ北村

氏ト散歩シ、同氏ノ八時發急行車ニ乗込ミマテ見送り、省線電車ニテ帰宅ス。

〔欄外〕

○浅野長光氏、高平勇氏ニ対シ謝状ヲ發ス。

○池之上小学校会會員タルコトヲ承諾シ、毎年會費金十円ヲ出スコトヲ約シ、本年分トシテ十円ヲ大瀧靖氏へ送付ス。

十二月十六日（月） 快晴 寒

○昨夜快眠ス。

○朝大瀧靖、和田謙三両氏ヲ訪問シ、池之上小学校會ノ事務ニ付相談シ、和田氏ノ行動ヲ依頼ス。又、池之上小学校ニ立寄り、會長ノ印章ヲ預ル。

○下條康麿氏ヲ訪ヒ、從來ノ厚意ヲ謝シ、勅選ヲ賀ス。氏ハ同成會入會ニ付決心ヲ述へ、種々談話ス。

○農林省山林局ニ黒田新平氏ヲ訪ヒ、一高山林計画ニ付、土地選定方針變更ノコトヲ告ケ、奥多摩視察ノ延期ヲ求メ了解ヲ得タリ。黒田氏ハ近ク住友會社山林部ニ転任スルニ内定シタリト云フ。

○帝室林野局ニ三浦新長官ヲ訪ヒ、祝賀ス。ソレヨリ高尾事務官ニ面會シ、御料地払下予定地ノコトヲ問ヒ、且之カ植林計画書ヲ借受ク。

○貴族院事務局ニ小林書記官長ヲ訪フ。貴族院改革案ニ關スル

各種ノ資料ヲ借用ス。

○植村澄三郎氏ヲ訪ヒ、二千六百年ヲ機トシテ、御贈位御叙爵申請ノ目的ヲ達スル能ハサリシ件ニ付善後処置ヲ相談ス。

〔欄外〕

○小坂順造氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。夫人ニ面會ス。夕刻、小坂氏ヨリ電話アリ。依テ片倉兼太郎氏ヲ同成會ニ誘引スル方法ヲ至急決行セラレンコトヲ求ム。

○夜、野口明氏來訪ス。華族制度ノ運用ニ付所見ヲ述ヘテ氏ノ意向ヲ質ス。有益ナリ。

○泰治ニ対シ住友支店ヨリ速達郵便ニテ明十七日午後二時出社スヘキ旨ノ通知狀ヲ受ク。

○平福未亡人來訪。贈品アリシモ不在ニテ面會セス。

○榛葉孝平氏ヨリ林檎一箱ヲ贈ラル。

十二月十七日（火） 氷雨 冷寒甚

○早朝、要、なほ子歸京ス。

○午後一時過、小坂順造氏ヲ訪ヒ夫人ニ松木蜜柑三箇一枝ヲ呈ス。

○ガーデンホーム理事会アリ。二時、関屋氏方ニ開會セラル。名称改称案其他ニ付、協議・決定ス。近ク評議員會ヲ招集ノ手續ヲ採ルコトトス。

○四時半、関屋氏ノ自動車ニ便乗シテA1.方ニ至ル。五時半ヨ

リ同所ニ一高同窓会アリ。特ニ招カレテ出席セシナリ。

安倍校長、教授、生徒主事等モ出席ス。席上校長歡迎ノ辞アリ。又、山林経営ニ関シテ相談ス。其結果、(1)富士岡村所在御料地ノ買受ヲ最良トス。(2)所要資金十万円ニ達スルモ之ハ巨額ニ失ス。(3)経営主任指導者ヲ得、学生全員ヲシテ進ンテ奉仕作業ニ従事セシムル方法ハ容易ニ非ス。(4)学生ノ往復汽車賃支給ヲ要ス、等ノコトアリ。又、近ク事務官其他実地視察ノコトヲ決シ、九時前散会ス。

○泰治ハ二時住友支社ニ至リ就職ノ件ニ付面会アリ。

〔欄外〕

○松井勇君戦病死セラレシニ付、二十三日村葬執行ノ由、通知書ヲ受ク。

十二月十八日(水) 晴 稍暖

○十時、厚生省前広場ニ於ケル和氣清麿公銅像除幕式ニ出席ス。

散会後、杉栄三郎氏ニ出会ヒ、伊東卓治氏ノコトヲ頼ム

○帝室林野局ニ高尾事務官ヲ訪ヒ、昨夕一高同窓会ノ結果ヲ内報シ、更ニ買受面積縮小ノ件、苗ヲ御料苗圃ヨリ供給ヲ受クル件等ニ付試案ヲ示シテ所見ヲ問フ。

○池之上小学校会顧問トシテ北沢四丁目側六人ニ対シ推薦状ヲ発ス。

○四時半ヨリ徳川公爵家ニ於ケル家政相談人会ニ出席ス。公爵

ヨリ、宇佐美氏ヲ相談人ニ選任シ、家務ヲ嘱託セシ件ニ付報告アリ。之ニ対シ成田氏ハ令扶会方面ニ不理解アル由ヲ告ク。次テ予算ヲ審議ス。最後ニ相続財産届出表ヲ示サル。之ニテ終了。晚餐ヲ饗セラル。

晚餐後、種々雑談アリ。又、顕徳院殿御墓様式及誄ノ碑建否ニ付、意見ヲ問ハル。

年末ノ服地料金三百円ヲ頂戴ス。

〔欄外〕

柴田善三郎氏ヨリ、培本塾出身勝間田村増田中尉ノ為、来二十一日午後一時村葬アル由電話アリ。弔電及香料五円ヲ呈スルコトトス。

十二月十九日(木) 晴 寒

○昨夜睡眠不十分ナリ。

○早朝、伊澤多喜男氏ヨリ電話アリ。氏ノ求ニ応シテ十一時頃往訪ス。二時迄談話ス。午食温飴ヲ饗ラセル。

○伊澤氏ノ自動車ニ同乗シ、二時半日本俱樂部ニ出頭ス。

○三時、日本俱樂部ニ於テ水野鍊太郎、川村竹治、白根竹介三氏ト会合シ、今夕開会ノ勅選議員会ノ順序ヲ決定ス。即チ水野氏ヲ兼發起人惣代トシテ開会ノ趣旨ヲ述フルコト、食後各自ノ意見ヲ陳フルノ機会ヲ与フルコト、此会ハ一時中止セラレシ有樂会ノ再興トシテ、今後適時開会セラルヘキコト、

其世話係ハ現發起人ニテ引受クルコト。

○四時半、丸ノ内会館ニ至ル。出席者六十一名。頗盛会ナリ。食前水野氏發起人ヲ代表シテ挨拶ヲ述フ。食後別室ニテ各自ノ意見発表アリ。伊澤氏、岡氏、水野氏、織田氏、松本（丞）氏、岩田氏、澤田氏、千石氏、関屋氏、下村氏、木場氏ノ發言アリ。最後ニ会名再興、今後引続キ開会、發起人ハ現任者ト決定シ、九時頃散会ス（会費六円、丸の内会館支払三五八円、残金十二円ヲ事務費補填ノ為、川村氏ニ渡ス）。

〔欄外〕

○木村通氏夫人ヨリ栗実ヲ贈ラル。

十二月二十日（金） 晴 寒

○昨夜快眠ス。

○朝、伊澤氏ト電話ニテ昨夜ノ勅選会ノ効果ニ付所見ヲ交換ス。其結果、本日岩田宙造氏ニ面会スルコトトス。

○朝、池之上小学校会顧問トシテ下代田町真島幸次郎、松尾玄吾、和田正雄、清水錠三、田中長茂五氏ニ対スル囑託状ヲ発ス。

○十時、貴族院各派交渉委員会ニ出席ス。国民服甲号礼装ハ議場ニテ「フロクコート」「モーニングコート」ト同様着用ヲ認ムルノ申合セヲ為ス。

○読書室ニ入り、右ノ件ヲ同成会員一般ニ通知スルヤウ三浦氏

ニ電話ス。

○正午、中央亭ニテ開会ノ日本国際協会午餐会ニ出席ス。外務省通商局第六課長鈴木書記官ノ仏印事情ニ関スル講話ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○四時、昭和会館ニ於テ関屋貞三郎氏ト会談ス。氏ハ勅選会ヲ度々開催スヘシトノ意見ヲ述ヘ、大ニ昨夜ノ会合ノ有益ナリシコトヲ主張セラル。

○五時、海軍大臣官舎ニ至リ各派交渉委員ニ対スル海軍省所管予算ノ説明ヲ聴ク。大臣及経理局長ノ説明アリ。支那食ヲ饗セラル。食後、国防計画、航空兵力等ニ付、率直ナル質疑応答ヲ為ス。

〔欄外〕

○貴族院議員全般ノ団結ヲ造リ、衆議院ニ於ケルカ如ク議員俱樂部ヲ組織スヘキヤニ付、岩田宙造、松村義一両氏ト会見ス。

○岡喜七郎氏ニ面会シテ三派聯盟結成運動ノ促進ヲ問フ。来廿七日午後五時ヨリ三派交渉委員懇親会ヲ開ク由ノ決定ヲ告ケラル。

○山崎はま子来訪ス。

○館林多久次氏夫人来訪ス。

○徳田義信氏夫人来訪ス。長女ノ聾ヲ離縁シタル由報告アリ。氣ノ毒ニ堪ヘス。

十二月二十一日(土) 晴 寒

○昨夜、快眠ス。

○朝、電話ニテ伊澤氏ト談話シ、昨日岩田、松村、関屋、岡諸氏ト会見セシ顛末ヲ報告ス。其結果、三派聯盟ト勅選懇親トヲ先決スヘキコトニ決ス。

○勝間田村、増田(一男氏、培本塾出身)中尉ノ村葬ヲ行ハルルニ付、役場氣付弔電ヲ發ス。

○松井勇氏(伍長)戦病死ニ付、明後日村葬ヲ行ハルルニ依リ、吊詞ヲ認メ村長宛ニ速達郵便ヲ發ス。

○伊澤氏ヨリ電話ニテ水野鍊太郎氏大政翼賛会ヘ入会ノ由ヲ通セラル。

○小坂順造氏ヨリ電話ニテ片倉兼太郎氏同成会入会ノ由ヲ通シ来ル。

○午後一時、北沢小学校ニ至リ御真影及勅語謄本拝戴式ニ臨席ス。式後、校長ノ求ニ依リ陛下ノ御日常ニ付謹話ス。

○昇三郎ニ対シ直子縁談ニ付一層ノ配慮ヲ求ム。又、泰治ノ住友就職内定ニ付、謝意ヲ表ス。

〔欄外〕

○戸塚重一郎氏ヘ海苔(十円)、海野真岳氏ヘ海苔(四円)ヲ贈ル。

○石河正徳氏ヘ鯉節ヲ贈ル。

○長谷川赳夫氏ヘ令嬢結婚祝品トシテ鯉節(切手十円)ヲ呈ス。

○昨今兩日飯米ナシ。温飩及パンヲ食フ。

十二月二十二日(日) 快晴 寒

○昨夜不眠甚シ。

○九時過重友興三同伴、多摩陵ヲ参拝ス。十一時頃著、直二正式参拝ヲ為ス。帰途ハ吉祥寺ニテ下車シ、久我山マテ徒歩。ソレヨリ帝都電車ニテ帰宅ス。

○伊佐勇松氏来訪シ、要ノ病氣ヲ慰ム。

○戸塚重一郎、海野真岳兩氏ニ歳末ノ挨拶状ヲ呈ス。又、佐藤助九郎氏ヨリ干柿ヲ贈ラレタルニ対シ、謝状ヲ發ス。

○坂田房次氏来訪ス。歳暮品ヲ贈ラル。

○渡辺史郎氏来訪ス。歳末トシテ「チヨコレート」ヲ贈ラル。

○五時半、芝公園三縁亭ニ於テ、全国治山砂防協会ノ晚餐会アリ出席ス。末次会長、赤木技師、小泉《又》、俵、植原、江口、大河内、松平、大森、保科、青山《士》等、約三十名出席ス。末次会長挨拶、小泉氏謝辞、赤木技師報告、江口、俵、河井、青山、堤等ノ發言アリ。八時頃散会ス。

○帰途、杉本方ニテ斬髪ス。

〔欄外〕

○京城志賀信光氏ヨリ饅頭ヲ、久能山社務所ヨリ興津鯛ヲ、伊澤氏ヨリポン柑ヲ贈ラル。

十二月二十三日(月) 曇 冷

○皇太子殿下御誕辰ニ付、午前十時参内奉賀ス。侍従長、石川傳育官長ニモ面会ス。

赤坂離宮内東宮御所ニ立寄り奉賀ス。

○午後、徳田政信氏来訪ス。昨日帰国スト云フ。

○四時半、華族会館ニ赴キ高楠博士ノ講話ヲ傍聴セントセシニ、日間違ヒノ為、目的ヲ達セス。

銀座亀屋ニ至リサントリールウイスキー(十年)ヲ求ム。

○夜、堀先生来リ、要ヲ診察ス。格別ノコトナシト云フ。催眠薬ヲ与ヘラル。

○池之上小学校会幹事会ニ於テ、阿川〔空白〕氏力創立以来非常ニ尽力セラレシヲ以テ、年末ノ謝礼トシテ金二十円ヲ贈呈スルニ決シタリトテ、予ノ同意ヲ求メ来ル。予ハ之ニ対シ電話ニテ同意ヲ与ヘ、且書面ヲ和田副会長ニ送リテ、右ハ(1)阿川氏ノ面目ヲ傷ケ(2)将来、会ニ対スル非難ノ原因ナルヲ以テ、同封ノ金員ニテ処理セラレンコトヲ求メ金二十円ヲ送附ス。

十二月二十四日(火) 曇 小雨 寒冷

○第七十六議会召集ニ付、午前七時五十分出發、八時四十分登院ス。

○開会前議長室ニ至リ、両議長及書記官長ニ挨拶ス。

○九時著席。部属ノ決定アリ。休憩中、部長理事ノ互選ヲ為ス。

予ハ第二部ニ属シ、理事ニ指名セラル。九時四十分頃散会ス。

○控室ニテ同成会ノ総会ヲ開ク。伊澤氏ヲ座長ニ推シ同成会新入会員三橋、下条、片倉三氏ノ紹介アリ。又、一年間ノ庶務会計報告アリ。次ニ次田氏ヨリ大政翼賛会トノ關係ニ付説明アリ。又、中川健蔵氏ヨリモ、同会貴族院部關係ノ報告アリテ散会ス。ソレヨリ座談会ニ移リ、予ハ一同ノ希望ニ依リテ勅選会ノ状況ヲ報告シ、次テ小坂氏ハ多額議員会ノ状況ヲ報告セリ。

○正午、首相官邸ニ於ケル予算説明会ニ出席ス。首相ノ挨拶、蔵相ノ説明アリテ午餐ヲ饗セラル。予ハ石黒農相ト同席シ、世田谷方面ノ米ノ配給停頓ノ状況ヲ告ケ、至急措置ヲ促シタリ。

○一時半、研究会事務所ニ於ケル各派交渉委員会ニ出席ス。先ツ研究会ニテ作成セル委員割当数ヲ承認シ、全院委員長ニハ徳川圀順公ヲ推スニ決シ、常任委員ノ選定ハ同成会ハ本日中ニ報告スルヲ約ス。了テ議事処理ニ関シ各種ノ意見ヲ交換ス。予ハ實際ニ適切ナル意見ヲ提出シタリ。

〔欄外〕

○二時過、同成会ニ歸リ、伊沢、塚本両氏ト交渉。委員、幹事及常任委員ヲ決定シ、之ヲ研究会ヘ提出ス。

○三時頃、湯浅倉平氏本日午後二時薨去ノ由ヲ聴キ、塚本清治氏ト同車シテ同邸ニ至リ、見舞ヲ為ス。

○五時廿分頃、陸相官邸ニ出頭シ、陸相ノ予算内示会ニ臨ム。
陸相ノ挨拶、軍事課長ノ陸軍、国防ノ現状、経理局長ノ予算
ノ説明アリテ夕食ヲ饗セラル。了テ活動写真ヲ看覽シ八時過
散会ス。

○堀庫一氏ヨリ米一斗ヲ融通セラル。代金ヲ支払フ。

十二月二十五日(水) 曇午後晴 寒冷

○朝、長谷川直敏氏ヲ訪ヒ小学校会顧問ノコトヲ依頼ス。又正
月一日新年拝賀参内ノ節、自動車ニ同乗ヲ申入ル。

○朝、赤木正雄氏来訪ス。砂防ニ関シ談話ス。

○朝、中川健蔵氏来訪ス。大政翼賛会へ入会ノ件ニ付、予ノ意
向ヲ質ス。予ノ所信ヲ告ケ且最近貴族院内ノ情勢ヲ談話ス。

○松尾玄吾氏来訪ス。小学校会顧問タルノ件ニ付相談アリ。結
局、承諾ス。

○瀬古保次氏来訪ス。新任ニ付、挨拶ヲ述ヘラル。

○村松幸一氏来訪。歳末ノ挨拶ヲ述フ。

○午後二時頃、齋藤守圀氏ヲ訪ヒ、夫人ニ面会シ歳末ノ挨拶ヲ
述フ。昨日、興津鯛ヲ贈呈シ置キタリ。

○長谷川赳夫氏ヲ訪ヒ、令嬢結婚ニ付、祝賀ス。夫人、二令息、
一令嬢ニ面会ス。長谷川氏ニ対シテ同成会へ入会ヲ勧誘ス。

○湯浅家ヲ弔問ス。七時頃読経ノ席ニ列シ、焼香ノ上帰宅ス。

○山崎昇二郎昨日帰京セリトテ来訪セシモ面会セス。

○伊佐勇松氏来リ、要ヲ慰問ス。

○館林マス子、両児ヲ同伴シテ来京ス。

○毛ノ下衣成ル。

十二月二十六日(木) 曇夜晴 甚寒

○朝、伊澤多喜男氏ヨリ電話アリ。今朝ノ朝日新聞ニ同氏枢密
院ニ入ルヘシトノ記事アリ。右ハ全然同氏ノ関知セサル所ナ
ルモ、開院式後、首相ト会見ノコトトナリタレハ、首相ヨリ
意向ヲ問ハルルニ於テハ、首相ノ談話内容ニ依リテ諾否ヲ決
スヘシト告ケラル。

○十時登院ス。十一時 天皇陛下貴族院式場ニ親臨アラセラレ、
優渥ナル勅語ヲ賜フ。

○還幸奉送後、議長室ニ部長及理事并各派交渉委員参集シ、勅
語奉答書案ニ付協議決定ス。次テ交渉委員会ヲ開キ陸海軍ニ
対スル感謝ノ決議ヲ為スコト及案文ヲ決定シ提案ノ方法、説
明議員、日程ノ箇所等ヲ決定ス。議長ヨリ、本年ハ昨日ヲ以
テ議事ヲ終了シ、明年一月二十日迄休会スヘシトノ内意ヲ伝
ヘラル。

○要ハ気分軽カラス。依テ堀先生ヲ招キ、診察ヲ乞フ。

○餘木幸作夫人、盲腸炎手術ノ為、四十日間入院セシモ全快退
院セリト聞キ、往訪シテ見舞フ。又、果物一籠ヲ呈ス。

○昇三郎来京ノ由電話アリ。依テ電話ニテ打合セノ上伊澤氏方

ニ至リ面会ス。直子縁談ノコト、泰治就職後ノコトヲ依頼シ、新体制ニ付談話ス。九時辞去、十時頃帰宅ス。

[欄外]

○伊澤多喜男氏午後三時枢密顧問官ニ親任セラル。

夕食後同氏ヲ往訪、祝賀ス。興津鯛二尾ヲ呈ス。氏ハ不在ナリ。

○湯浅男爵葬儀委員ヲ囑託セラル。伊澤氏ヨリノ帰途、通夜セント欲セシモ遅クナリシヲ以テ不参ス。

○歳費半期分(一、四一〇)ヲ支給セラル。

十二月二十七日(金) 晴 寒

○十時本会議アリ出席ス。勅語奉答書案ヲ可決ノ上、全院委員長選挙(徳川圀順公当選)ノ後、休憩。各部ニ於テ常任委員ヲ選挙ス。十一時二十五分頃再開。勅語奉答ノ報告ニ次キ優渥ナル勅語ヲ賜ハル。之ニ次キ陸海軍ニ対スル決議アリ。常任委員ノ報告ヲ了へ、明年一月廿日迄休会ヲ議決ス。

○十一時半、中川健蔵氏ノ自動車ニ乗リテ築地本願寺ニ至リ、故湯浅倉平氏ノ葬儀ニ列ス(塚本、次田、柴田三氏同車)。

二時過、発柩ヲ見送リタル上帰宅ス。

○朝比奈アキ子、由紀子同伴来訪。一泊ス。

十二月二十八日(土) 晴 寒

○六時起床、七時出発、九時過大和田駅下車。鷹の台ゴルフ場ニ至リゴルフヲ為ス。次田大二郎氏ト half round ヲ為ス。66。次ノ half ハ田口、長岡氏ト回ル。68。昼食ヲ喫シタル後、次田氏ト同車、帰ル。

○四時、小坂順造氏ニ招カレテ同氏邸ヲ訪問ス。美濃部亮吉氏ノ世界ニ於ケル重要鉱産物ノ分布ニ関スル講話アリ。甚有益ナリ。ソレヨリ阿かね方調理ニ係ル支那料理ヲ饗セラル。食後、時事ニ付談話シ、九時半散会ス。佐藤尚武、後藤文夫、後藤隆之助、丸山鶴吉、次田大二郎、小山邦之助、名取和作、内田信也其他衆議院議員、銀行家四五名出席ス。甚有益ナリシ会合ナリ。

○館林マス子、朝比奈アキ子、午後帰宅ス。

○徳川公爵家へ椎茸一籠ヲ贈呈ス。本年ハ少量ナリ。

十二月二十九日(日) 晴 寒

○朝、小坂順造氏ヲ訪ヒ、昨夜ノ有益ナル会合ニ招カレシヲ謝ス。

○十時半頃、田口弼一氏ヲ訪ヒ、時局対処方ニ付意見ヲ交換ス。十二時辞去ス。忠経一部ヲ恵マル。

○東横ニテ中食ス(代六五銭)

○一時半頃、一木男爵ヲ訪問ス。男ハ理髪中ナリシヲ以テ輒太郎氏ニ面会ス。ソレヨリ緩々男爵ニ面会ス。切ニ男爵ノ健康

ヲ祈ル。

○銀座ニ出テヅボン釣一箇《一・八〇》、唐辛子一袋《一〇〇》、齒刷子一本《四〇》、運動靴用ゴムstud《一・〇〇》ヲ求メテ帰宅ス。

○戸塚重一郎氏ヨリ鯉節及清酒ヲ贈ラル。

○夜、ゴルフ靴ノ底ニゴムStudヲ打着ク。道具ナキヲ以テ畢ニ靴屋ニ依頼シテ之ヲ得タリ。

十二月三十日(月) 晴 寒

○七時十五分出発、鷹之台ニ至リ、ゴルフヲ為ス。長世吉、瀬古保次両氏ト plays。Cut ノ course ノハ一回ス。63、62。

二時三十五分ノ電車ニテ帰宅ス。

○六時、徳川公爵家御養子忠永君御披露会アリ帝国ホテルニ参宴ス。来賓ハ御一門及最深縁故者関係ノミ七十名計リ出席ス。卓上、公爵ヨリ御披露ノ挨拶アリ。島津忠重公之二答ヘ乾杯ヲ為ス。八時頃散会ス。

○夕刻ヨリ感冒ノ気味アリ。帝国ホテルヨリノ帰途、堀医学士ヲ訪ヒシニ侍医寮ニ当直ノ為不在。依テ入浴夙寝ス。

○夕刻、落合英司氏来訪ス。靴底用鯨皮ニ足分ノ代金三円十銭ヲ支払フ。

○大瀧靖氏ヨリ池之上小学校会々費北沢二丁目ノ分ヲ報告セラ。百七十二名ニテ一、三三三円三〇銭ニ達シタリト云フ。

之ニ下代田、北沢四丁目ヲ加フレハ優ニ四五千円ニ達スヘシト云フ。

○内田重成氏ヨリ過般山口県ニテ物議ヲ起シタル岡田忠彦氏ノ講演ノ要旨ヲ贈ラル。頗穩健ニテ何等非難ノ余地ナシト云フヘシ。

〔欄外〕

○百武侍従長ヨリ東宮殿下御外遊記成レリトテ、挨拶状ヲ寄セラル。

○大日本報徳社ヨリ年末慰労金百円ヲ贈ラル。之ハ受クヘキモノニ非ス。

十二月三十一日(火) 晴 寒

○昨夜悪寒アリ。咳出ツ。屡睡眠ヲ破ラル。

八時頃体温三七・八。十時三七・〇。アスピリンヲ服用ス。食欲衰ヘス。午後堀先生来診ス。体温三七・六。心臓部ニ雑音アリ。絶対静養ヲ要ス。

○関屋夫人、伊澤氏、米山氏等ト要ヲシテ電話セシム。電話及一切ノ来訪ヲ謝絶ス。体温四時三八・二。六時半三八・〇。○小林次郎氏来訪ス。面会セス。瀬古保次氏モ来訪セラル。亦会ハス。杉山東一氏来訪ス。要応対ス。

○西澤善三郎氏母堂来訪。飯米ノ融通ヲ申出テラル。好意ヲ謝ス。

○明日参内ノ為自動車ヲ雇ヒ、長谷川直敏將軍ノ同乗ヲ乞置キシニ、外出不能トナリシヲ以テ、予ノ負担ニ於テ將軍ノ利用ヲ求メタルニ、謝絶セラル。依テ自動車營業者ニ対シ解約ヲ申入レ、相当ノ賠償ヲ出スヘキヲ告ク。賠償ヲ取ラズ。

○服部方ニ修繕ヲ依頼セシ懷中時計 *Waltham* 成ル。

〔欄外〕

○石野元治郎氏、去廿四日ニ負傷、肋骨ヲ折りタル由、ます枝ヨリ通知アリ。

1 9 4 0 年日記 人名索引

人名索引凡例

- 1 配列は、五十音を基本とした。苗字のみで名前が不明の場合には、その苗字の末尾とした。
- 2 「記載月日」は、日記記載月日であり、2桁で示した。
- 3 アルファベット表記・皇族関係・朝鮮王室は、全体の末尾にまとめた。
- 4 人名字体は、日記記載に準じた字体を使用した。

人 名	記載月日	人 名	記載月日
相川 勝六	10.24 10.25		06.22 07.24 08.27 08.29
相島夫人	11.24		08.31 11.02 11.19 11.24
愛新覺羅 溥儀	06.22 06.26	朝比奈 アキ子	01.05 05.21 05.27 07.24
青木 親治	09.11		08.31 09.13 09.26 09.27
青木 信光	09.07		11.12 11.14 11.20 11.21
青木 安治	07.07 07.08		12.27 12.28
青木 周三	02.26 11.05	朝比奈 瑛子	06.21 06.22
青木 一男	04.14 09.25	朝比奈 策太郎	05.07 09.02 09.07 09.14
青野 実平	02.24 03.24		09.26 11.21
青柳	06.03 06.06	足立	06.24
青山 士	12.22	阿南 惟幾	04.01
赤尾 敏	08.31	姉崎 正治	03.06
赤木 正雄	01.28 02.14 02.19 02.22	安部 磯雄	05.07
	02.23 03.02 03.20 03.22	安倍 輔	07.18 07.20
	03.28 04.25 05.14 05.17	阿部 信行	01.01 04.14 11.30
	05.18 05.20 05.21 05.24	安倍 能成	12.05 12.06 12.09 12.17
	06.22 06.23 06.27 06.30	尼崎 伊三郎	12.01 12.11
	07.03 07.05 07.06 07.07	荒川 文六	11.16
	07.08 07.20 07.27 08.31	荒木 貞夫	01.03
	09.12 09.14 10.06 10.08	荒木 寅三郎	11.03
	10.10 10.16 11.06 11.07	荒木 又右衛門	10.28
	11.13 11.16 11.17 12.09	有賀 光豊	12.13
	12.22 12.25	有賀	04.16
明石 元長	05.16	有田 八郎	01.24 02.01 02.06 06.29
赤沼 千尋	07.03 07.04 07.05 07.07		07.01 07.10 12.10
	07.08 07.27	有馬 良橘	07.19
赤堀 永佐	05.02	有馬 頼寧	10.13
赤堀 和子	05.02	有本 哲雄	10.24
阿川 昌朝	07.25 07.26 09.24 09.25	淡近 澄	06.23
	11.26 12.23	庵地 洋子	04.26
秋田 三一	10.25	安藤 紀三郎	10.08
秋葉 隆氏	08.30	安藤 広太郎	05.04
秋山次郎	05.13 05.16	安藤	04.24
安居院 庄七	04.06 08.13	安楽 兼久	04.02
浅井 治平	01.01	飯島 之男	08.14
朝田 又七	05.04	飯田 英作	01.10 02.29 05.02 05.06
朝田 又七未亡人	05.04		05.23 05.24 07.16 08.14
浅野 長光	12.14 12.15		09.19
朝比奈 貞一	01.03 01.25 02.09 02.12	飯沼	03.21
	02.14 03.27 06.17 06.21	飯沼 一省	08.21 08.23

人 名	記載月日	人 名	記載月日
飯村 五郎	04.06 04.10	石田 礼助	02.29 05.07 07.24
井伊谷春平未亡人	10.12	石野 幾太郎	01.29
池尾 芳蔵	02.20	石野 元治郎	01.07 01.08 01.19 01.12
池田 金一郎	12.13		01.16 01.17 01.29 04.08
池田 秀雄	03.24		04.22 06.20 08.04 09.16
伊佐 信雄	10.24		10.30 10.31 11.01 11.02
伊佐 勇松	01.05 01.20 03.15 04.04		12.02 12.03 12.31
	05.09 05.26 06.22 08.22	石野元治郎孫	11.01
	10.09 12.08 12.22 12.25	石野 聡	11.01 11.02 12.03
伊澤 多喜男	01.01 01.22 02.01 02.04	石野 正作	01.08
	02.06 02.07 02.08 02.13	石野 弘重	01.29
	02.15 02.19 02.21 02.22	石野 正義	01.29
	02.26 02.27 03.04 03.12	石橋 徳作	03.04 07.18 08.16 08.20
	03.14 03.22 03.24 03.30		08.21 10.04 10.08 10.09
	04.16 04.17 04.18 04.19		10.16 11.18 11.27
	04.20 04.24 05.06 05.08	石橋徳作娘	08.16 08.20 10.04 11.18
	05.09 05.22 06.03 06.05	石間 信夫	07.01
	06.05 06.08 06.19 06.26	石間 尚	01.09 01.15 01.27 04.06
	07.02 07.05 07.09 08.24		05.09 07.01
	09.10 09.24 09.25 10.02	石間 壬生弥	02.17 02.19 02.18 03.01
	10.03 10.07 10.08 10.09	石渡 莊太郎	10.18
	10.13 10.15 10.18 10.20	泉地 正巳	10.02
	11.02 11.05 11.06 11.13	磯貝 浩	09.25
	11.19 11.21 11.25 11.27	磯部 利雄	08.13
	12.10 12.14 12.19 12.20	磯部 喜作	01.11
	12.21 12.22 12.24 12.26	磯部 幸一郎	04.24
	12.31	磯部 晋	11.05 11.06 11.18
伊澤夫人	05.10		11.07 11.09 11.11 11.12
伊澤某	01.28	磯部	11.14
石井 清	05.01	井田 磐楠	03.07
石井英之助母	01.21	板垣 與一	04.13
石井 錦樹	10.24	板谷 波山	08.17
石井 忠純	09.11	板谷	11.20
石井 菊次郎	05.03	市川 藤五郎	01.18
石井	01.26	一條 秀美	01.01 08.24
石川 岩吉	12.23	一條秀美子息	01.01
石川 半三郎	12.24	一條秀美夫人	01.01
石川	01.07	一條 實孝	02.06 02.08 02.10 02.13
石河 正徳	12.21		12.10
石黒 忠篤	12.24	一條	11.12 11.16

人 名	記載月日	人 名	記載月日
市瀬 泰一	10.07 10.18	井上 匡四郎	03.15 06.14 06.16 06.17
一木 喜徳郎	01.23 02.04 02.28 02.29		06.26 06.27 06.28 06.29
	03.01 03.22 04.02 04.03		06.30 07.02 07.05 07.08
	04.05 04.06 04.08 05.01		07.13 07.17 08.16 08.17
	05.06 05.24 05.25 05.27		08.19
	06.03 06.05 06.16 06.29	井上 寿徳	12.09 12.12 12.15
	07.02 07.05 07.09 08.20	井上 通泰	02.06 02.07 03.14
	08.21 08.23 09.14 09.19	井上	04.17 04.20
	09.25 09.28 10.01 11.07	伊野邊 茂雄	04.15 06.22
	11.14 11.22 11.27 11.30	伊林 嘉三郎	09.11
	12.29	伊林 順平	09.11
一木喜徳郎亡夫人	03.22	伊林 初四郎	08.25 08.29
一木 輶太郎	06.16 12.29	伊林 初次郎	02.19 02.20 03.27 04.04
一木若夫人	05.01 05.24		04.11 04.14 07.17 07.24
井出 謙治	05.25 06.11 07.09 07.15		09.01 09.02 09.03 09.03
	07.29 07.23 07.29 09.12		09.05 09.10 09.11 09.12
	10.02		09.18
伊東 卓治	01.01 01.22 02.04 03.31	伊林 房江	09.12 09.13
	11.21 11.24 12.01 12.13	伊林 六郎平	09.11
	12.14 12.18	伊林	03.13 03.14
伊東 弥恵治	11.21 11.24 12.01 12.10	伊原 五郎兵衛	10.18
	12.11 12.15	今井 五助	05.25
伊藤 東一郎	05.20	今井	11.04
伊藤 文一郎	05.28	今泉 國太郎	09.01
伊藤 正徳	05.25	今井田 清徳	05.10
伊藤 保三郎	03.10 03.19	今園 国貞	02.06
伊藤 睦子	02.16	今西 英一	08.30 09.01 09.05 09.06
伊藤 和三郎	05.07		09.18 09.19 09.20 09.21
伊藤 博文	03.29	今西 嘉藏	08.30 09.01
伊藤 良治	02.16	今西 嘉彦	08.17
伊藤夫人	05.08	今野 順吉	01.25 01.26 01.27
伊藤未亡人	07.22	入江 貫一	01.10 02.12 02.13 02.26
伊藤	10.27		03.30 05.08 06.12 07.10
稲田 敬蔵	03.17		07.20 07.23 08.21 09.07
稲田 周一	01.10 01.11 08.16 09.07		09.25 10.09 10.15 11.27
	10.26		11.28
稲森 誠次	02.10 03.21	入江 幹一郎	03.28
犬養 健	05.29	入田整三	05.21
井上 武夫	09.11	岩井 六郎	01.08
		岩井	04.28

人 名	記載月日
岩井	09.07
岩倉 道俱	02.01 02.19
岩崎 雄治	05.19
岩澤 忠恭	11.17 11.18
岩田 宙蔵	02.08 02.22 02.23 03.18 11.20 12.19 12.20 12.21
岩竹 信太郎	05.31 09.28 12.06
上田 辰之助	02.10
上田	03.13 07.26
植田 甫蔵	11.24
植原 悦二郎	05.17 05.20 12.22
植村 家治	03.15
植村 甲午郎	10.10
植村 澄三郎	03.30 04.02 04.03 04.12 05.27 05.28 05.29 06.30 07.14 08.19 09.02 09.05 09.07 09.21 09.24 10.14 10.15 10.16 11.05 11.06 12.16
宇佐見 興屋	01.04 02.29 03.19 05.06 06.09 07.15 09.19 09.23 10.02 10.07 10.16 11.06 12.13 12.18
碓井 貞雄	10.27
内田 明	02.12 11.44 11.22
内田 重成	03.20 12.30
内田 信也	12.28
内田	07.14
内山 竹蔵	04.17
内山 豊太郎	01.08
内山 真龍	01.07 01.08 01.10 02.06 02.07 02.09 03.14 04.02 04.03 08.02 08.04 08.16 08.19 08.20 08.21 08.23 08.26 08.27 08.28 09.02 09.03 09.16
内山 基康	01.08
鵜殿 霞舟	01.03 01.28 04.16 05.03
宇野	11.24
梅小路 定行	03.18 03.20

人 名	記載月日
宇谷 常盤	10.26
海野 真岳	01.30
海野	01.17
海野	11.04
榮木 忠常	07.19
江川	06.30 07.14
江口 定條	05.17 05.18 05.19 05.20 06.04 06.22 06.23 06.29 06.30 07.03 07.04 07.07 07.09 07.19 07.29 08.16 12.22
江口息子夫人	07.07
江藤 得三	02.29 03.01 03.19 09.19
江藤	01.04
遠藤 一夫	04.06
遠藤 柳作	01.10
緒明 太郎	02.29 08.14 09.19
及川 古志郎	12.20
汪 精衛	01.23 02.08 02.21 02.29 03.26 03.30 04.14
大石 仙作	05.11
大石 良五郎	12.03
大石 廉一	05.04 05.11 05.16
大石 三郎	07.20
大石 源太郎	04.18 04.20
大石 分平	03.02
大石 三良	07.19 07.20 07.25 08.16
大内 健太郎	10.26
大江 すみ子	08.17 08.30 09.05 09.17 09.19 09.20 09.21 09.26
大江すみ子妹	08.17
大金 益次郎	04.02 04.03 06.19 11.28
大河戸 龍秀	04.21
大木 操	12.24
大木	05.30
大口 喜六	01.23 02.05 04.19 04.21 10.02 10.07 10.19
大久保 立	02.07 06.07 06.08 06.09 06.11 06.27 09.09 10.10 10.18 10.19

人 名	記載月日	人 名	記載月日
大久保立令夫人	02.07	大村 留吉	01.09 01.10 01.16 01.19
大久保立令息	02.07		02.07 02.23 04.04 04.05
大久保 利賢	06.30		04.06 05.14 05.29 06.19
大隈 信常	03.20 03.24		06.21 07.14 08.02 08.05
大蔵 公望	02.27		10.3 11.02 12.01 12.12
大河内 輝耕	02.02 02.08 02.27 05.17	大村 ますえ	04.23 09.16
	05.20 06.27 10.10 11.06	大村 芳次	09.16 11.02
	11.13 11.18 12.10 12.22	大森 元一郎	06.26
大河内 正倫	06.25	大森 しづ子	01.04 04.16 05.26 09.20
大河内 寿美子	06.25 06.30		09.21
大河内 正敏	02.01 02.02	大森 健一郎	05.03 05.04 05.05 08.28
大島 徹雄	07.09		09.20 12.01
大島 健一	03.24	大森 健三	11.22 11.23
太田 民次郎	09.28	大森夫人	04.16 05.26 10.21 11.03
太田 正孝	07.22 10.02 10.03 10.07		12.01
太田	05.30 05.31	大森	05.01
太平 駒槌	01.15	大森	12.22
大鷹 正次郎	11.06	岡 喜七郎	12.20 12.21
大滝 靖	09.07 11.02 11.26 12.06	岡 浪之助	11.04
	12.10 12.13 12.15 12.16	岡	10.09
	12.30	岡	11.12 11.16
大竹 十郎	02.29	岡田 啓治郎	05.17 05.19
大竹 武太郎	03.21	岡田 周造	01.01
大谷 英一	11.08	岡田 忠彦	05.23 12.30
大谷 五平	02.26 06.19 07.20 09.07	岡田 佐平治	04.06
	09.25	岡田 正吉	01.21
大谷 仙次郎	09.16	岡田 武松	06.15 06.26
大谷 八平	05.08 10.09 11.13 11.27	岡田 文秀	04.02 04.04 4.26
	12.11	岡田分平夫人	12.10
大塚 博	05.06	岡田 良一郎	04.06 11.19
大月 伸	10.09 10.10 10.29	岡田 良平	04.06
大橋 亦兵衛	08.19	緒方 虎之助	11.17 11.18
大橋某	07.11	岡浪 三助	10.16
大畠 徹雄	03.14 03.15 03.21 03.23	岡野 順吉	06.26
	04.10	岡部 長景	01.10
大藤 亨壮	10.06	岡元 傳一	01.13 01.22 01.29 02.24
大村 清一	01.06		04.20 04.22 05.30 08.02
大村 武雄	01.25 01.28 04.25 05.03		09.16
大村 善平	04.06 04.08	岡本 得一	04.20
		岡本 愛祐	01.02 04.30 05.23

人 名	記載月日	人 名	記載月日
岡本	01.22 04.02 04.30 05.02 05.24	小畑 敏四郎	04.25 04.27 07.27 09.02 10.08 10.10 10.16
小川 郷太郎	02.01 05.03 05.18 05.19 05.20	小濱 八弥	01.17 03.21 04.06 04.08 04.24 05.16 06.05 08.14 08.23 08.26 08.27 09.04 10.02 11.14
小川 やえ	08.29		
小川	05.07		
奥田 剛郎	05.16	海江田 幸吉	03.26 03.28
奥村 鉄三	05.20	賀来	11.16
小倉 庫次	01.06 06.06 06.08 06.09 06.11	笥 克彦	06.23
		笥 繁	05.08 05.25 06.23
小倉 正恒	02.13	笥夫人	05.08
小栗 隆平	09.16 09.20 09.28	景山 正治	07.05
尾崎	03.21	笠井 重治	08.16 08.17
尾崎 孝一	06.24 08.08	笠井	07.08
尾崎孝一夫人	07.12	風見 章	07.22
尾崎 元次郎	01.17 02.24 02.27 02.28 06.24 07.12 08.24 09.29 11.14	加瀬	02.25
		片岡 録朗	01.17 01.30 06.01
尾崎元次郎夫人	07.12	片岡	09.29
尾崎父子	04.08	片岡	06.24 07.10
尾佐竹 猛	11.29	片倉 兼太郎	12.16 12.21 12.24
長船 克巳	01.17 08.26	片平 信通	01.15 01.21 02.14 03.28 03.30 12.03
小澤 徹二	11.24		
小田 平四郎	08.11	片平信通の孫	12.03
織田 萬	02.06 02.13 03.24 12.19	片平	01.10 04.06 05.30 11.14
小田原 勇	05.03 05.06 05.11	片見 勇	12.15
落合 伊作	05.02	勝 正憲	02.13 02.15 03.08 03.14 07.09
落合伊作夫人	05.02		
落合伊作子供	05.02	桂 定治郎	08.30
落合 裏次	01.23	加藤 安吉	05.31
落合 英司	01.01 03.24 12.08 12.30	加藤 五郎	03.31
落合 友三郎	01.14 04.06 08.05	加藤 精三	10.27
小野田 潔	05.09	加藤 虎之亮	02.29 03.01 03.10 03.16 03.19 04.03 05.24 05.28 05.29 06.02
小野田 安雄	07.17		
小野田	04.25	加藤 仁平	04.07
小野 仁輔	04.21 05.30 05.31 12.02	加藤 政之助	02.01 02.09
小野	12.03 12.04	加藤 弥一	02.02
小野塚 喜平次	12.07	加藤 泰通	01.30
小畑 忠	05.04	角倉 志朗	04.02
小畑 久五郎	11.04		

人 名	記載月日	人 名	記載月日
金久保 栄次郎	09.03 09.06 09.07 09.13 09.14 09.17 09.20 09.22 09.27 10.05 10.08		07.23 07.24 07.25 07.31 08.09 08.20 08.22 08.24 08.27 08.30 09.01 09.03 09.04 09.11 09.13 09.13 09.17 09.21 09.24 10.12 10.13 10.14 10.15 10.21 11.08 11.10 11.11 11.12 11.21 11.23 11.30 12.01 12.07 12.10 12.17 12.22 12.23 12.25 12.26 12.31
金澤善三郎母	10.19		
金澤 芳太郎	11.12		
金森 清茂	04.17		
金子 堅太郎	03.05		
金子 武麿	03.05		
兼堀 昇	01.29		
蒲田 夫人	09.05		
上條 清子	12.15	河井 公二	05.27
神谷 文平	07.11 08.24	河井 興三	01.01 01.04 01.05 02.07 02.18 02.19 03.21 03.27 03.28 04.04 04.05 05.05 05.06 05.22 06.26 07.03 07.14 07.17 07.23 07.24 08.25 09.01 09.30
神谷 八太郎	01.29		
神谷八太郎母	01.27		
神谷 吉藏	01.29		
紙谷 齊治	05.17		
亀井 恒吉	01.29 12.08		
亀澤 鹿郎	10.27	河井 重友	01.02 01.03 01.04 01.20 01.21 02.09 02.13 02.14 02.16 02.17 02.18 03.01 03.02 03.21 03.31 04.11 04.12 04.13 04.14 04.15 04.23 04.26 05.01 05.06 05.08 05.12 05.13 05.15 05.25 06.23 06.26 07.14 07.19 07.26 07.28 08.01 08.22 08.24 09.01 09.09 09.16 09.30 10.01 10.02 10.07 10.13 10.15 10.20 11.02 11.23 11.24 12.05 12.08 12.09 12.22
加茂	11.16		
唐沢	05.17		
川合 改次郎	03.10		
川合 治榮	08.27		
川合 彰武	03.30		
河合 喜代治	09.20		
河合 多三	01.02		
河合 亮之助	01.12 02.29 03.02 05.13 05.30		
河井 一友	05.12		
河井 一也	01.01 02.21 03.21 03.27 03.28 07.21 07.22 07.23 07.24 07.30 07.31		
河井 要	01.02 01.05 01.13 01.19 01.22 01.26 01.31 02.01 02.08 02.15 02.16 03.02 03.04 03.11 03.13 03.21 03.25 03.27 03.30 04.04 04.14 04.16 04.25 05.04 05.05 05.06 05.08 05.09 05.15 05.24 05.27 06.14 07.08 07.14 07.17 07.22	河井 重蔵 河井 昇三郎	01.01 11.18 11.21 01.09 01.14 01.18 01.19 01.21 01.24 02.20 03.11 03.12 04.13 04.23 05.26 05.27 05.27 06.29 06.30 07.01 07.30 08.01 08.17 08.18 08.30 09.17 09.18 09.21 09.30 10.08 10.29

人 名	記載月日	人 名	記載月日
河井 泰治	10.30 11.09 12.06 12.09	菊池 豊三郎	09.26
	12.10 12.21 12.26	木澤	09.11
	01.01 01.04 01.05 02.18	岸上 京三	11.22 11.26 11.28
	03.15 03.21 03.27 03.29	北大路 信明	05.16
	04.05 04.12 04.14 04.15	北河 豊次郎	09.29 11.14
	04.23 04.27 05.05 05.22	北河豊次郎夫人	09.29
	05.26 06.16 07.10 07.13	北河	11.14
	07.14 07.19 07.23 07.24	北島貴孝	05.16
	07.26 07.28 08.13 08.14	北原	04.17
	08.15 08.19 08.22 09.10	北村 勝蔵	12.15
河井 高子	09.30	北村勝蔵夫人	12.15
	05.10 05.15 05.27	喜多山 圭三郎	12.03
河井 直子	01.01 01.03 01.05 01.12	木戸 幸一	06.02 07.17 10.14 10.15
	01.13 01.17 01.18 01.19	木戸 三郎	05.16 05.17
	01.20 01.31 03.15 03.21	城所 和一	05.02
	04.04 04.14 04.25 05.05	城所 長六	05.02
	05.15 05.26 05.27 06.17	城所 元七	05.02 08.29
	06.21 06.23 06.26 07.25	樹下 快淳	08.20
	08.17 08.22 08.27 09.08	木下 信	04.17
	09.18 09.20 09.25	木下 蔭高	03.10 03.13
	02.10 04.06 04.07 04.17	木下蔭高夫人	03.10
	05.11 05.15 05.16 05.25	木下 某	03.10
河井 弥八	06.09 06.11 06.20 06.24	木下 道雄	04.02 08.20 11.04
	06.28 06.29 07.15 07.23	木下 矢助	03.10 03.21
	07.29 08.13 09.16 10.12	木下	01.22
	10.15 11.05 11.27 12.22	木下	11.12 11.16
	07.17	木原 清	02.03 02.12 02.26 02.29
	07.29 08.16 08.17		03.01 03.06 03.09 03.11
	08.19		03.21 03.23 03.30 04.10
	03.05		05.03 06.03 06.05 06.11
	11.19		06.14 06.17 06.28 07.29
	03.06 07.22 09.19 10.09		09.02 09.07 09.23 09.27
河田 烈	10.18 11.06 12.24	木原夫人	06.03 09.23
	04.11	木村 恵直	06.03
河田 杰	05.17	木村 宗吉	02.07 02.08 09.03 09.20
川西 実三	12.06 12.19 11.20	木村 通	05.23 05.27
川村 竹治	10.25	木村 通夫人	12.19
河野 正郎	09.10	木村 尚達	02.05
河原田 稼吉	05.22	清井 正	04.10
紀 華	09.24	清原 團蔵	11.16
紀 俊秀			

人 名	記載月日
櫛田 政雄	01.29 02.03
櫛木 幹雄	01.15
工藤 壮平	02.07 12.05
工藤弟	12.05
工藤	12.05
久野 勘	08.22
久保 春海	03.13 03.30 03.31 04.02
	04.10 05.06 05.23 07.16
	08.01 08.14 08.16 08.21
	09.02 09.19 09.23 10.07
	10.08 10.09 10.16
久保 春海夫人	03.30 03.31 04.02 04.10
	07.16 08.01
久保令息	10.07 10.09
[久保カ]応助	09.23
久保	04.24
久保田 恭	05.09 05.16
久保田	08.08
熊谷 三太郎	01.01 02.26 03.30 05.12
	05.13 06.26 09.25 11.13
	11.27 12.11
熊谷 年郎	03.30
倉知 鉄吉	02.01 11.20 12.06
倉元 要一	10.07
栗田 徳次郎	11.16 11.19 11.29 11.30
栗林 我吉	12.12
栗山 茂	09.19
黒川 渉	07.20
黒崎 英蔵	04.25 10.14
黒田 節三	04.07 05.31
黒田テル子	06.20 11.12
黒田 吉松	05.31 12.02
黒田 新平	02.18 03.01 10.05 10.08
	11.29 11.30 12.06 12.16
黒田	12.02
黒田	10.13
桑島 主計	11.16
桑原 虎雄	03.01 03.29
顕徳院殿	12.13
呉 兆連	05.22

人 名	記載月日
小池 正直	09.12
小泉 又	12.22
小泉 八雲	10.27
小出 英経	06.06 06.08 06.09 06.11
耿 善颺	05.22
高 宗武	02.13
黄 興	01.31 03.21
高皇后	04.12
高 勝岳	05.22
郷 誠之助	07.05
郷 秀雄	07.21
郷秀雄夫人	07.21
郷秀雄子息	07.21
郷	09.07
香坂 昌康	04.11 11.04 11.12 11.16
香坂	09.04
國府 種徳	08.19
國府 犀東	08.20
木檜 三四郎	05.17 05.20 06.27
小坂 梅吉	02.26 05.16 05.17 05.22
	10.15 11.19 11.27 12.10
小坂 順造	01.10 01.22 02.07 02.08
	02.21 02.26 03.14 03.22
	03.30 06.26 08.24 09.24
	09.25 10.15 11.05 11.08
	11.19 11.25 11.27 12.11
	12.17 12.21 12.24 12.28
	12.29
小坂順造令息	11.08
小坂	01.22 04.15
小塩 孫八	06.24
越田 佐一郎	11.20
古島 一雄	08.24
児島 惟謙	02.17
児玉 九十	01.01 02.29 05.06 08.14
	09.19
児玉 秀雄	02.15 02.29 03.05 03.07
	04.13
児玉	11.16
小塚 宗憲	05.04

人 名	記載月日	人 名	記載月日
ゴットル	04.13	小山 松吉	04.06
小寺 謙吉	10.12	近藤 慈弥	04.30
後藤 茂	04.30 05.24	近藤 信竹	05.02 09.19
後藤 文夫	12.28	近藤信竹夫人	05.02
後藤 隆之助	12.28	近藤 英明	04.26 09.11 09.20 10.22
近衛 文麿	01.12 06.05 06.24 07.17		11.27
	07.20 07.22 09.05 09.14	西園寺 公望	07.17 11.23 11.25 11.27
	09.19 10.09 10.13 10.15		11.28 12.05
	10.17 11.10 11.19 11.30	斎藤 一治	09.11
	12.24 12.26	斎藤 輝宇良	04.15
木場 貞長	03.05 12.19	齋藤 常三郎	05.23
小林 一三	07.22	齋藤 隆夫	02.02 02.03 02.29 03.05
小林 次郎	01.22 02.03 02.07 02.08		03.06 03.07
	02.15 02.22 04.14 04.26	齋藤 洋	05.14 05.23
	05.27 05.28 07.08 07.18	齋藤 守圀	12.25
	07.22 07.30 08.09 08.16	酒井 忠正	11.27
	08.18 08.30 09.05 09.09	彭城	05.04 05.24
	09.11 09.14 09.19 09.24	榊原 昇造	09.11
	10.13 10.16 10.19 10.22	榊原 政春	11.16
	11.08 11.14 11.18 11.22	坂田 房次	12.22
	11.27 12.04 12.07 12.09	阪谷 芳郎	02.10
	12.16 12.24 12.31	阪本 久五郎	10.13
小林次郎夫人	06.29	坂本 正雄	06.23
小林 太吉	02.16	坂本	03.21
小林 哲司	05.04 05.24	向坂 均一	01.21
小林 正	02.16	向坂 保治	01.21
小林 寿夫	10.23	佐久	09.11
小林 政助	10.16 11.04	佐久夫人	09.11
小村 捷治	04.30	佐倉 信夫	10.14
薦野 孝卿	03.03	桜井 久彦	06.24
小柳 直吉	01.08 04.08 04.09 04.21	櫻内 幸雄	02.01 02.23 03.08 03.14
	06.02 06.20 08.03 08.07		04.24
	09.16 09.29 10.19 10.30	佐々井 信太郎	01.06 01.07 01.10 02.10
	10.31 11.01 11.02 12.02		02.25 03.02 03.06 04.06
小柳孫娘	11.01		04.07 05.06 05.09 06.19
小山 邦之助	12.28		08.04 08.28 09.14 11.30
小山 隆	03.20 03.26 04.10	佐々木 行忠	02.06 04.13 05.30 09.09
小山 正	09.03		09.14
小山 松壽	02.05 03.05 04.13 05.22	笹藪 金作	01.29 09.16
	06.11 11.29 12.24		

人 名	記載月日	人 名	記載月日
佐藤 章	08.13	重光簇令娘	02.08
佐藤 一郎	07.10	志田 収	01.01 01.13 05.15
佐藤 銀五郎	05.24 06.14	篠田 治策	02.29 04.01 04.03 04.14
佐藤 助九郎	01.01 01.10 01.23 02.02 02.26 04.26 04.27 05.02 07.17 07.31 09.07 10.09 11.13 11.27 12.22	篠田 次助	04.27 05.13 06.19 11.03 11.10 01.17 02.29 05.06 08.14 09.19 10.24
佐藤 善治郎	06.13	芝 葛盛	08.20
佐藤 恒丸	01.03 01.24 01.31 09.12	柴田 善三郎	01.10 02.08 02.20 02.26
佐藤 尚武	12.28		02.29 03.04 03.06 03.09
佐藤 信淵	04.07		03.14 04.13 04.20 04.24
佐藤 秀雄	02.03		05.02 05.06 05.11 05.22
佐藤 雅雄	08.02		06.13 06.18 06.24 06.26
佐藤 泰一郎	08.13		07.02 07.08 07.10 07.11
佐藤 六蔵	07.10		07.13 07.14 07.15 07.16
佐藤	01.08		07.19 07.19 07.20 07.26
佐藤	07.19 07.20		08.24 09.03 09.19 09.25
佐藤	09.07		09.26 10.02 10.07 10.08
里崎 英蔵	04.28 09.26		10.18 10.20 11.05 11.12
里田 新平	07.08		11.14 11.20 12.18 12.28
真田 秀吉	05.17 05.20	柴田 善三郎兄	07.10
佐野 忠義	07.15	柴田 はま子	04.18
佐野 與市	08.13 09.16	柴田 彦平	01.09 04.16
佐野次郎妻	03.25	柴田 要次郎	04.03
澤田 愛蔵	06.23	柴田家主人	04.18
澤田 牛麿	12.19	柴田未亡人	04.18
沢田 茂	09.19	柴田	02.16
紫雲院殿	11.12	柴田	03.21
塩島 金一郎	01.20 03.19 03.31 05.28 06.13 10.04 10.13	柴田	04.17 04.18 10.09
塩田 團平	02.26 10.09 11.27	柴山 昌生	03.26 05.17 05.20 09.07
塩谷 温	07.17 07.29	洪澤 信一	05.24
塩谷	10.09	島内 恒太	09.08 09.20 09.21
志賀 信光	12.22	島内夫人	09.08
志方	05.09 05.10	島内子息	09.08
繁田 こう子	09.22 09.23	島田 俊雄	03.08 03.14 03.20 04.06 04.10 06.12
繁田 誠一	06.13 09.22 09.23		
繁田 武平	09.22 09.23 09.23	島津 忠重	12.30
重富 貫二	10.26	清水 丑之助	12.11 12.14
重光 簇	02.08 02.09	清水 東洋雄	10.18

人 名	記載月日	人 名	記載月日
清水 錠三	12.20	榛葉夫人	01.25 01.26
清水	06.24 07.12 07.14	榛葉 良男	02.12 02.28 05.06 08.18
清水	10.13	榛葉	05.30
清水	07.15	末次 信正	02.27
清水	09.11	末次	12.22
清水代議士夫人	09.11	菅 儀一	11.08
清水市長代理	08.14	菅澤 重雄	02.06
下川 儀太郎	08.18	菅沼 甚藏	10.12
下條 康麿	06.16 12.04 12.16 12.24	杉 栄三郎	12.18
下村 宏	01.23 12.19	杉浦 実	02.02
周 東伯	05.22	杉溪 由言	05.16
俊答剛秀居士	07.05	杉村 七太郎	01.27 03.27 04.12
徐 世清	05.22	杉本 良	01.09 01.14 01.17 02.10
徐 本謙	05.22		02.12 02.13 02.24 03.13
鐘 任寿	05.22		03.15 03.24 04.12 04.13
蔣 介石	06.20 07.13		04.27 05.11 05.24 07.02
小路 七郎	01.11		07.10 08.22 10.08 10.13
白井 貢	02.24 03.06 03.22 03.24		12.09
	08.01	杉本	12.06
白川 應則	05.16	杉本	01.14
白澤 保美	11.08	杉本	05.30
白根 松介	02.06	杉山 元	10.03 10.04
白根 竹介	11.20 11.21 12.06 12.19	杉山 せい子	09.28
白根	03.21	杉山 宗次郎	04.17
白柳 恒男	10.19	杉山 太郎	01.29 04.08 09.30
白柳 恒吉	10.17 10.19	杉山太郎父	09.30
榛葉 謙吉	05.31	杉山 東一	01.21 03.27 03.30
榛葉 孝平	01.21 02.11 02.21 02.22		04.11 12.31
	06.24 06.27 12.16	杉山 徳一	01.29 02.24
榛葉 志朗	01.15	杉山 島吉	01.29 02.03
榛葉 士郎	01.22	杉山 八平	10.13
榛葉 忠藏	01.15 09.07	杉山八平夫人	10.13
榛葉 春子	01.19 01.20 01.21 01.25	杉山 春子	09.14
	01.26 01.31 02.08 02.11	杉山春子妹	09.14
	02.22 03.07 03.25 03.27	杉山 幸男	05.17 05.19
	03.29 03.30 04.11	杉山 隆一	01.26
榛葉 康子	06.22 12.06	杉山	01.04
榛葉 勇次郎	01.13 01.18 01.26 02.11	杉山	01.08
	03.29	鈴木 一郎	05.02 05.12 05.21
榛葉勇次郎母	01.20	鈴木 梅太郎	03.21 08.18

人 名	記載月日	人 名	記載月日
鈴木 英	08.28	鈴木與平第二子	07.12
鈴木 嘉一	07.15	鈴木 理一郎	02.24 04.08 4.18 04.20
鈴木 嘉作	01.11		05.31 08.13 12.02
鈴木 亀之甫	11.12	鈴木 良平	04.06
鈴木 寛一	01.19 01.20 01.21 01.25	鈴木 六郎	12.20
	02.07 02.10 02.29 03.01	鈴木夫人	04.16
	03.02 06.03 06.04 06.23	鈴木	08.28
鈴木 貫太郎	02.04 03.06 07.02 07.05	鈴木	09.23
	07.09 11.12 11.21	須藤 利一	10.27 10.28
鈴木 金作	08.13 12.03	須原 芳雄	01.12 02.24 03.17 05.06
鈴木 敬三	07.27		05.30 06.09 07.08
鈴木 幸作	03.03 04.17 04.19 06.21	須磨 彌吉郎	10.09
	07.26 09.11 09.13 09.17	角	11.12 11.16
鈴木幸作夫人	07.26 09.17	住友 縫之助	06.22
鈴木 高次	04.30	頭本 元貞	06.29 06.30 07.02
鈴木 俊一	01.23 01.28 02.13 03.06	須山 温圭	02.07 03.12 03.26 04.01
	03.09 11.12		04.10 04.11 04.23 05.01
鈴木 信吉	09.02 09.24		05.15
鈴木 信太郎	03.22	須山夫人	04.16
鈴木信太郎母堂	03.22	清閑寺 良貞	06.06 06.09 06.11
鈴木 たか	02.04 03.06 07.02	瀬川 弥右衛門	09.03
鈴木 太郎	01.29	関 義寿	01.28 04.30 05.20
鈴木 哲郎	03.11 03.19	関口	07.14
鈴木 二平	02.26 02.27 05.02 05.03	関根 俊平	09.13 09.17
	08.28 08.29 10.19	関屋 貞三郎	02.10 03.03 03.13 05.02
鈴木 登	03.24 05.21		06.08 07.08 10.03 11.16
鈴木 八郎左衛門	06.24		11.22 12.01 12.04 12.05
鈴木 文吉	06.24 08.11		12.17 12.19 12.20 12.21
鈴木 正夫	03.29 03.31 04.01 04.23	関屋貞三郎夫人	03.13 03.15 04.04 12.31
	04.25 04.27 05.03 05.09	関屋 友彦	06.25 06.30
	05.15 06.03 06.16 06.23	関屋 正彦	11.08 11.21 11.22 11.23
	07.24 08.30 10.02 11.19		12.11 12.12
	11.22 11.23	瀬古 保次	01.22 01.23 01.24 01.27
鈴木 みさ子	04.23		02.03 02.07 02.08 02.10
鈴木 與志郎	03.17		02.16 02.19 02.20 02.21
鈴木 与(與)平	01.02 01.10 01.20 01.28		02.22 03.01 03.06 03.08
	01.31 03.03 05.02 05.12		03.13 03.14 03.27 04.04
	05.21		04.11 04.13 04.14 04.15
鈴木 与(與)平	07.12 08.24		05.08 05.14 06.03 06.04
鈴木与(與)平夫人	03.03 05.02 05.12 07.12		06.05 06.08 06.12 06.14

人 名	記載月日	人 名	記載月日
	06.17 06.22 06.27 06.28	高橋 正八	07.26
	06.29 07.02 07.08 07.18	高橋 雄豺	11.24 11.26 12.01 11.26
	07.24 08.16 08.20 08.21	高林 兵衛	01.10 07.11 07.11 07.15
	09.02 09.03 09.05 09.07	高平 勇	12.14 12.15
	09.08 09.11 09.14 09.19	高部	08.14
	09.20 10.04 10.08 10.09	高柳 貞逸	12.13
	10.12 10.15 10.22 11.09	高山 昇	02.09
	11.18 11.29 11.30 12.04	高山 三平	04.27
	12.05 12.07 12.25 12.30	多木 悦造	03.07 04.08
	12.31	田口 弼一	12.28 12.29
瀬古保次夫人	04.14 12.07	武居	05.09
セナ, ピヤスリ	06.11	竹内 釧	10.24
千秋 季隆	02.06	竹越 與三郎	02.06 02.13
千田 嘉平	05.16 12.19	武富 時敏	03.24
蘇 茂鉦	02.10 02.12 02.13 02.24	竹中 貫一	05.11
曾我 祐邦	03.07	建部 遯吾	02.26 03.12 11.05 11.27
孫 湜	05.22		12.11
孫 理甫	05.22	武村 知雄	06.06 06.13 07.17
大後 美保	06.15 06.17 06.26 07.13	田子 一民	04.13 05.17
田内 三吉	10.20 10.22	田澤 義鋪	02.27 02.28
高井 孝蔵(幸蔵)	02.08 03.17 04.04 04.14	館	05.09 05.10
	04.27 04.28 09.07	立花一郎未亡人寛子	10.14
高尾 亮一	11.19 12.16 12.18	辰野 澄	05.23
高尾	04.02	館林 多久次	01.26 09.05 09.08 09.11
高木 一郎	09.21		10.13 10.20 10.21
高木 糸太郎	03.04	館林多久次夫人	12.20
高楠 順次郎	04.30 05.14 05.28 06.25	館林 ふさえ子	02.19 03.06 04.11 04.12
	07.09 12.23		04.14 04.15 07.24 09.01
高崎 佐右エ門	09.11		09.04 09.05 09.09 09.11
高崎 弓彦	05.16 07.18		09.12
高崎弓彦夫人	07.18	館林 マス子	01.31 01.31 02.21 03.03
高階 虎治郎	08.14		03.15 03.27 03.31 04.11
高田 耘平	02.05		04.12 04.14 04.15 04.29
高田 三郎	10.28		04.30 05.23 05.27 07.02
鷹司 信輔	03.15		07.08 07.30 07.31 08.05
高野 長春	01.17 04.08 08.14 08.23		08.06 08.07 08.09 08.10
	08.27 09.03 11.08 11.14		08.27 08.28 08.29 08.30
高橋 吉十	09.16		08.31 09.01 09.04 09.05
高橋 左衛門	10.21		09.09 09.11 09.13 09.17
高橋左衛門夫人	10.21		09.30

人 名	記載月日	人 名	記載月日
舘林 三喜男	01.01 01.10 02.05 02.17 02.19 02.20 03.03 03.04 03.27 04.10 04.12 04.13 04.14 04.15 04.29 04.30 05.14 05.15 05.20 07.24 08.28 08.29 08.31 09.03 09.08 09.11 09.13 10.10 10.11 10.12 10.14 10.16 10.17 10.20 11.05	陳 源頭	08.22
		陳 公博	05.21 05.22
		陳 伯藩	05.22
		塚本 準蔵	02.09 02.14 02.12 02.15
		塚本 清治	01.10 02.08 03.30 04.13 05.08 06.26 07.10 07.20 08.24 09.05 09.07 09.24 09.25 10.03 10.09 10.15 11.05 11.27 12.11 12.24
舘林 葉子	03.25 04.29 04.30 05.23 07.02 07.08 07.30 07.31 09.01 09.11 09.13 09.17		12.28
		塚本清治夫人	05.08
		塚本 松之助	11.12 11.14 11.16
田中 好	05.17	次田 大三郎	02.08 02.16 02.26 08.17 09.07 10.15 11.05 11.13 11.20 11.21 11.25 11.27 12.11 12.24 12.28
田中 廣太郎	07.11 07.15 07.22 08.30		
田中 長茂	12.20		
田中 義男	09.02		
田中館 愛橘	09.24	月村 秀信	11.06 11.28
田辺 郁太郎	08.09 08.13 09.15 09.21 09.30	津倉 亀作	04.17 04.19 04.20 07.11
		津田 次郎	10.12
田辺郁太郎夫人	09.15	津田 昇	10.12
田辺 一郎	07.30 08.01 08.16	津田 友子	10.18
田辺 三郎平	01.07 01.29 05.30 10.31 12.03	土田 仲江	01.19 01.25 01.26 01.27 03.27 06.16
谷口	02.14	土屋 正三	04.30
田淵 壽郎	05.20	堤	12.22
玉木	01.13	角皆 清吉	05.31
田村 角太郎	01.31 02.13 03.14 04.15	角替 恭子	05.10
俵 孫一	05.17 05.20 12.22	角替 太郎市	01.09 02.09 02.24 10.17
譚 覚眞	05.22	角替 文子	01.13 01.21 01.26 05.10
楮 民誼	05.22	角替 利策	01.14 01.21 04.28 05.05 05.07 05.10 08.14 08.18 08.27
長 世吉	01.27 02.10 09.11 09.11 12.28 12.30		
長 壽彦	05.06 11.21	角替夫婦	01.21 03.30
長 福人	04.25	角替	01.11
長	03.21 04.23	角替	05.04 05.09 07.24
長	05.28	椿 椿山	09.25
張 而康	05.22	坪井 弥太郎	11.04
張 超	05.22	妻木 栗蔵	10.21
陳 君慧	05.22	出渕 勝次	02.27 03.01
陳 群	05.22		

人 名	記載月日	人 名	記載月日
出村 要三郎	05.16	徳川 敏子	05.25 09.25 10.16 11.07
寺内 錦一	12.15		12.12
寺田 五郎平	04.22 09.16	徳川 泰子	03.11 06.09 06.28
寺田 彦太郎	11.19	徳川 正子	07.13
寺田	09.16	徳川 宗敬	01.01 06.07
土井 久之	03.29	徳川 義親	04.23
陶 希聖	02.13	徳川 慶光	01.03 01.04 01.31 03.19
湯 澄波	05.22		06.05 06.18 10.16
道元	03.10	徳川慶光夫人	01.31
東郷 実	02.02	徳川 頼貞	02.02 06.28
東條 英機	07.22 09.19 11.28 12.24	徳田 義信氏夫人	12.20
遠部 逸太郎	10.29	徳田 義信氏長女	12.20
土岐 政夫	04.02 06.12 06.23	徳田 政信	03.10 03.16 04.01 04.02
常盤 大完	11.20		04.03 04.28 05.27 05.28
徳川 家達	01.01 02.03 02.12 02.26		05.29 06.02 06.05 06.27
	02.29 03.01 03.03 03.06		07.16 09.14 10.18 12.23
	03.09 03.11 03.19 03.30	徳田政信祖父	09.14
	04.15 05.03 05.25 06.03	徳田政信母	06.27
	06.04 06.05 06.06 06.07	戸倉 儀作	11.01
	06.09 06.11 06.12 06.14	豊島 章太郎	10.23
	06.16 06.17 06.18 06.22	戸田 八重子	10.14
	06.26 06.27 06.28 07.05	戸塚 廣二	01.29
	07.09 07.10 07.13 07.17	戸塚 重一郎	01.16 01.17 01.30 02.28
	07.18 07.23 07.24 07.25		03.14 06.27 07.15 07.25
	07.27 07.28 07.29 08.16		08.24 10.04 11.04 11.15
	08.17 09.12 09.25		12.21 12.22 12.29
徳川 家正	02.14 03.09 03.10 03.11	戸塚 長四郎	05.17
	03.19 03.28 03.30 04.15	戸塚 宏昌	06.21
	05.01 06.03 06.05 06.06	戸塚 九一郎	03.24
	06.11 06.14 06.28 07.09	戸塚	04.09
	07.13 07.15 07.17 07.24	戸塚	05.31
	07.29 08.16 08.17 08.18	富小路 隆直	10.15 10.22 10.28 10.29
	08.19 09.02 09.26 10.02	富田 高慶	03.19 04.06
	10.07 10.09 10.10 10.18	富藤 洋	05.24
	11.14 11.16 12.03 12.18	富藤夫人	05.24
	12.30	留岡 幸男	08.20
徳川 喜佐子	11.16	鳥山 徳司	09.11
徳川 圀順	06.11 12.24 12.28	内藤 久寛	02.02 02.06
徳川 忠永	12.30	中井 一夫	03.05 05.17

人 名	記載月日	人 名	記載月日
長尾	03.01 07.02	中村 幸八	07.28
中川 健藏	01.10 01.25 04.10 07.10 07.20 09.07 09.25 10.15 11.13 12.11 12.14 12.24 12.27	中村 達一郎	04.06
中川 滋治	10.25	中村 秀平	05.16 06.21 06.24
中川 望	06.04 06.05 06.06 06.07 06.08 06.11 11.20	永村 清	09.03 09.05 09.08 09.13 09.14 09.27 10.11
中川	02.01	永村清夫人	09.27
中澤 静子	09.11	長屋 順耳	07.19
中澤	10.21	中山 佐之助	12.12
中澤氏妻	10.21	中山 章二	01.29
中島 吉太郎	03.17	中山 純一	12.03
中島 資朋	10.04 10.05	中山 太一	02.27
中島資朋母堂	10.04 10.05	中山 博	01.18
中島 晴彦	10.24	那須 皓	03.14
中島	06.09	名取 和作	11.08 11.09 12.28
中島	02.29	檜崎 善一	05.06
中田 騷郎	07.20 08.08 08.14 09.29	成田 勝郎	05.25 06.11 06.23 07.09 07.15 07.23 12.18
永田 仁助	11.13	成田 雄三	01.31
中津川 長治	07.10 07.11 08.24	成瀬 達	07.24 07.29
中西 音吉	05.11 05.12	成瀬達夫人	10.16 10.19
中野 敏雄	02.11	南条 金雄	10.12
中野 正永	09.10	西 晋一郎	05.24
中原 秀介	10.27	西	11.12 11.16
中御門 経恭	09.09	西尾 忠方	03.06 03.22
長嶺 要	05.17	西ヶ谷	05.30
中村 円一郎	01.10 01.17 01.30 04.23 04.27 05.02 05.03 05.09 05.16 05.17 05.29 06.05 06.21 06.24 07.08 07.10 07.11 07.12 07.14 07.15 07.16 07.19 07.20 07.22 07.25 07.26 08.08 08.11 08.19 08.20 08.30 09.17	西川 藤作(藤一)	01.29 02.24
中村 勝平	05.16	西澤 善三郎氏母	12.31
中村 勝五郎	02.10 02.14 02.25 03.03 05.21	西原 亀三	05.18 05.19 08.25 10.08 10.10 11.06 11.13
中村 嘉平	04.30 05.04 05.09	西俣	09.07
中村 源左衛門	07.21	二宮 尊徳	01.01 01.22 01.23 01.28 04.07 05.01 08.13
		根津 嘉一郎	01.05
		野口 明	01.22 02.07 02.08 02.21 03.02 05.01 05.25 06.03 09.03 09.20 12.06 12.16
		野田 廣作	11.18 11.19
		野村 市次郎	12.12
		野村 直邦	10.10 10.16 12.12
		野村 洋三	05.12

人 名	記載月日	人 名	記載月日
乗松	01.07	バック, パール	04.13 04.27 05.03
乗松	05.31	八田 善之進	06.03 06.04 11.28
袴田 銀蔵	01.14 01.18 02.28 05.31	服部 富士雄	02.26
	06.20 08.01 08.09 08.13	服部	04.21
	09.15 09.30 10.31	花房 崎太郎	05.25 08.16 10.15 11.09
萩田 長太郎	08.08		11.18
伯野 廣次	10.21	馬場 辰二	03.30
橋田 邦彦	07.22 09.05 09.26 11.16	林 博太郎	02.06 02.10
羽島 連	05.16 11.16	林 與之助	02.07 03.01 03.02 09.03
橋本 織作	10.04 10.06 10.08 10.15	林 茂淳	03.03
	10.20 11.08 11.15 12.01	林 弥三吉	09.23
橋本 紀平	11.09 12.01	葉山	09.11
橋本 圭三郎	11.16	原 邦造	02.12
橋本 實斐	02.13 03.20 03.22	原 惣兵衛	03.23
橋本 萬右衛門	10.06	原 保雄	10.23
橋本	08.28	原 嘉道	06.24 07.17 09.19 10.18
蓮沼 蕃	03.02	原田 喜之助	02.05
長谷川 鉄雄	12.03	原田 九郎左衛門	01.09 01.14 01.16 01.19
長谷川 直敏	02.09 02.11 05.10 08.30		01.23 01.29 02.25 04.08
	09.02 09.04 09.06 09.14		04.09 06.01 09.07 09.21
	09.27 11.03 12.25 12.31		09.30 10.31 11.01 12.21
長谷川 久一	10.12	原田 清四郎	01.13 04.08 05.31 08.12
長谷川 赳夫	01.24 01.25 02.03 02.10	原田 惣右衛門	01.08 04.09
	03.04 03.12 04.23 04.24	原田 惣吉	01.18
	12.21 12.25	原田 太郎右衛門	06.01
長谷川赳夫夫人	12.25	原田 萬四郎	04.09
長谷川赳夫令嬢	12.25	原田 光吉	08.12
長谷川赳夫令息	12.25	伴 信友	08.20
長谷川太郎吉夫人	11.12 11.20	坂西 利八郎	02.12
長谷川太郎吉新夫人	11.20	檜垣	10.12
長谷川	03.21	東久世 秀雄	02.01 02.10
長谷川	09.25	土方 久徴	05.25 06.11 07.09 07.15
畑 董	05.19		07.23 07.29 10.12
畑 俊六	02.01 02.06	一杉 慶平	02.19
秦 慧昭	09.29	一杉 藤平	11.09
畠山 敬	10.10	人見 次郎	02.20 02.21
畠山 喜久治	11.12 11.16	日比野 正治	10.25
畠田 昌福	09.15	百武 三郎	09.06 11.28 12.23 12.30
八条 隆正	02.13 03.15	平井	06.04
蜂須賀 正氏	06.25 06.28	平尾 鹿之助	11.17 11.18

人 名	記載月日	人 名	記載月日
平塚	08.18	二荒 芳徳	12.10
平沼 亮三	09.07 09.25 10.15	舟橋 清賢	02.02
平野 敏央	04.08	古川 澄雄	01.31
平野 伊三郎	04.07	古沢	03.19
平野伊三郎妻女	04.07	古田 豊平	04.24
平野 伊太郎	04.09	古谷	05.09 05.16
平野 忠五郎	01.08 01.11 01.13 01.16	古谷	07.14
	06.01 06.02	坊城 俊賢	05.16
平福未亡人	12.16	宝蔵寺 幸雄	02.28 03.01 03.02
平松 八平次	04.25	宝蔵寺幸雄息	03.01
平山 省斎	05.27 08.19	宝蔵寺幸雄夫人	03.01
平山 洋三郎	05.29 06.03	保科 正昭	05.17 09.14 12.22
廣澤 繁夫	05.16	星野 直樹	07.22 09.19
廣幡 忠隆	09.06 09.16 11.28 12.06	細川 護立	08.18
深井 英五	10.12	細川護立嗣子	08.18
福島夫人	04.25 05.06 05.09	細川護立嗣子夫人	08.18
福島	10.21	細島 松太郎	10.13
福住 正兄	03.19 04.06	穂積 重遠	10.12
福田 武三	01.21 01.29	堀	01.19 01.26 01.26 02.07
福富	03.13		02.13 02.14 02.18 05.13
福原 修	09.02		06.26 07.17 08.01 08.24
福光 正義	10.23 10.24		08.31 09.07 09.08 10.17
藤 答吉	09.17		11.03 11.07 11.18 11.23
藤井 宇多治郎	12.13 12.14 12.15		12.23 12.26 12.30 12.31
藤井 金吾	08.30 09.06 12.15	堀 維孝	05.24
藤井 治三郎	04.09	堀 庫一	03.17 03.21 03.25 04.12
藤井 静一	05.21		04.13 04.14 05.06 05.12
藤井 種太郎	03.07 05.24 09.01 09.19		12.24
藤井 弘	01.04 04.02	本田 静六	10.07
藤江 誠作	08.13	本田 兎美子	10.21
藤岡 光敏	04.11	本田 兎美子の妹	10.21
藤田 一雄	04.06 04.09 11.01 11.21	本田 与八郎	10.21
	11.23	本田 与八郎夫人	10.21
藤田 安次郎	11.28	本田 与八郎の長男	10.21
藤原銀治郎夫人	06.30	本田 与八郎の女婿	10.21
藤原 銀治郎	02.01 02.06 02.13 03.18	本多 猶一郎	06.23
	06.12 06.30	本多	11.16
二上 兵一	03.08	本間	01.12 03.04 03.21 12.07
二見 孝平	04.25 04.28 10.14	前川 貫一	06.27
二見	08.28	前島 恒夫	11.26

人 名	記載月日	人 名	記載月日
前田 多門	07.19	松岡 均平	04.23 04.24 04.30 05.09
前田 虎雄	07.05		05.16 06.21
前田	11.20 12.10	松岡 鈴子	04.24
牧野 伸顕	07.05 12.10	松岡 洋右	01.23 07.22 09.19
真崎 脩	05.24 09.01	松岡	01.04
桵谷 鉄雄	10.23	松坂	07.20
眞島 幸次郎	03.17 04.14 04.16 05.10	松下 麟一	03.17
	08.30 09.02 09.04 09.06	松城 兵作	07.26
	09.30 10.08 10.10 10.14	末多王	08.28
	12.12 12.2	松田 道一	09.20 11.12
増田 一男	02.02 12.18 12.21	松平 恒雄	01.02 01.23 04.01 05.15
増田 次郎	07.19 07.20 08.23		05.23 06.05 06.06
増田	01.19 06.24	松平 繁子	03.09
増田	09.19	松平繁子息女	03.09
町田 忠治	07.05	松平 外與麿	10.10 10.15 10.22 10.28
町田 徳之助	01.09 01.19		11.06 11.13
松井 勇	01.29	松平 直亮	10.12 10.13
松井 健	05.23	松平 康昌	06.06 07.17
松井 三郎	11.14	松平 慶民	10.02
松井 茂	02.06 02.08 04.06 08.13	松平 頼寿	01.22 01.24 01.30 02.05
	08.16		02.06 02.08 02.10 02.13
松井 すみえ子	05.23		02.16 03.18 03.26 03.27
松井 孝	04.08		04.13 04.14 04.15 05.08
松井 肇	10.21		05.22 06.05 06.06 06.08
松井 秀五郎	09.20 09.22		06.11 06.25 07.23 09.07
松井 穰	01.06		09.09 09.14 10.15 11.29
松井 康昭	05.21		12.24 12.26
松井 康輝	05.21	松野 鶴平	02.06 03.08 03.14
松井	03.21	松村 榮次	03.17
松浦 嘉三郎	04.07	松村 義一	02.06 12.20 12.21
松浦 和雄	01.19	松村	03.21
松浦 興市	05.14	松本 甲太郎	02.28
松浦定吉息	01.19	松本 烝治	12.19
松浦 清三郎	04.08 04.09 04.21 06.02	松本 誠三	03.14
	08.07 11.01	松本	10.25
松浦 鎮次郎	04.06 04.10	松山 高四郎	06.15 06.17 07.16 07.18
松尾 玄吾	12.20 12.25		07.19 07.20 07.25 08.20
松尾 長造	03.06		11.12 12.11
松尾	04.06	松山 高四郎夫人	12.10
		松山 幹之	07.03 07.04 07.07 07.08

人 名	記載月日	人 名	記載月日
松山	07.24		08.25 08.30 09.03 09.11
真鍋 勝	05.17		09.14 09.29 11.09 11.12
真野 文二	05.25 06.11 06.18 07.09		11.14 11.20 12.11 12.24
	07.15 07.23 07.29 11.16	三橋 達郎	04.24
	12.10 12.13	三橋	01.17
真野文二夫人	07.23	三矢 宮松	02.11 05.24
丸井 正彦	10.15 10.22 11.09	南 益次郎	10.23
丸井	10.28	峰野 喬太郎	10.20
丸尾 亨	08.22	美濃部 亮吉	12.28
丸山 秀夫	05.14	三宅 福馬	06.21 09.08
丸山 方作	01.08 01.09 01.11 01.12	三宅 盛利	05.26
	01.13 01.14 01.23 02.04	三宅 利平次	05.26
	02.06 02.12 03.03 04.21	宮崎 堯	04.28 10.14
	04.24 05.09 05.14 06.02	宮崎 佐一郎	11.24
	06.13 08.22 10.31 11.01	宮崎	07.11
	11.02 11.21 11.26 12.13	宮澤 崑	01.08 08.04 08.05 08.26
丸山 鶴吉	01.10 02.08 02.15 02.16		09.04
	03.09 10.15 10.19 10.23	宮田 光雄	01.19 02.10
	10.24 11.13 11.20 12.28	宮田	04.23 04.24
三浦 孫平次	05.12	宮野 省三	05.19
三浦 安藏	02.08 04.10 05.04 09.24	宮本 甚七	02.25 02.29 05.25 06.06
	09.25 10.10 11.12 12.20		07.15 08.09 09.25 09.26
三浦	03.22		09.29 10.01 10.02 10.03
三浦	12.16		10.04
三島 徳七	12.10	宮本 雄一郎	05.04 05.09 05.16 05.29
三島 甫	12.06 12.07		06.02 06.13
三須 精一	05.16	宮本	03.21
水谷 元吉	01.24 01.31	三輪 修三	04.16
水野 鍊太郎	11.20 12.06 12.19 12.21	椋木 豊文	10.26 10.27
溝口 晴男	01.29 08.08 09.06 09.07	武者小路 公共	07.19
溝口 駒造	03.18	武藤	01.17 01.18 01.19
溝口 直亮	04.23	村井 倉松	09.24
味知 瀬平	03.10 3.28 03.30	村井 周一	01.10
光澤 春男	07.20	村井 修一	01.26
三橋 四郎次	04.27 05.03 05.04 06.03	村尾 圭介	11.24
	06.13 06.18 06.23 06.24	村上 徳太郎	09.11
	06.26 07.02 07.10 07.11	村上徳太郎夫人	09.11
	07.12 07.13 07.19 07.22	村上	10.14
	07.25 07.27 08.08 08.14	村田 五郎	08.21
	08.20 08.21 08.23 08.24		

人 名	記載月日
村田 茂	09.13 12.12
村田 省蔵	07.22
村田 辰三	10.10
村田 正	10.10
村田 保定	05.16
村松 啓一	01.19
村松 幸一	01.08 12.25
村松 良平	01.29
村松	01.17
村松	07.12
村松	08.19
村山 浩一	11.03
室伏	05.02
毛利 伊賀	11.13
望月 軍四郎	02.03
望月	04.08
望月	06.08
森田 茂介	04.26
守屋 榮夫	06.20
茂呂	05.04
諸川 雄二郎	05.16 05.17 05.24
八木 四郎	10.18
八木 俊夫	03.17
八木 雅夫	10.18
八木 三男	05.17
八木	01.17 01.20
八代 五郎造	05.16
安井 英二	07.22 10.01 11.13
安井 正吾	01.17 03.11 05.25 06.03
	06.04 06.22 07.13 07.15
	07.15 09.23 09.25 10.02
保井 誠一郎	08.24
安永 隆	01.31
安場 保健	02.15 06.25
矢田 長之助	11.30
矢田部 盛枝	01.05 05.23 09.11 09.12
	10.14
矢田部 昌子	05.20 05.26 07.07 07.08
	11.03 11.05

人 名	記載月日
矢田部	03.27
矢吹 省三	02.10 02.13 03.18 05.02
	05.16
矢部 不二子	08.07
矢部 善兵衛	04.06
矢部	04.06
山内 繁雄	10.07
山内 義文	04.25
山内	03.21
山岡 萬之助	02.06 11.20 12.06
山上 光二	10.23
山川 洵	05.23
山川	05.25
山口 金吾	05.02
山口 錦洲	04.16
山口 忠五郎	01.10 07.08 07.11 07.15
	07.19 07.20 07.22 07.25
	07.26 08.19 08.26
山口	1.28
山隈 康	02.10 02.12
山崎	05.04
山崎 覚次郎	06.16 07.24 09.19 09.26
	11.24
山崎 かつ子	07.30
山崎 金五郎	04.04
山崎 健太郎	01.08
山崎 順一郎	03.07 04.20 05.31
山崎順一郎夫人	03.07 04.09
山崎 昇二郎	01.01 01.09 01.14 01.21
	01.24 03.07 04.06 04.18
	04.26 05.01 10.02 10.03
	10.09 10.10 11.19 12.01
	12.25
山崎 朝雲	01.22 02.06 02.08 02.21
山崎 常磐	01.07 01.08 01.11 02.09
	02.24 08.02 08.06 08.28
	09.17 10.19 10.31
山崎 はま子	07.30 12.20
山崎 正義	10.02 10.03 10.09 10.10
山崎 好敏	03.07 03.24 04.08

人 名	記載月日	人 名	記載月日
山崎 好知	03.13 03.24 04.08 05.31 12.02 12.04	吉岡 八二郎	01.14 02.24 04.20 05.31 06.02 12.02
山下 寅雄	04.11	吉岡	01.08
山田 寛司	01.01	吉岡	08.18
山田 琢雄	07.13	芳澤 謙吉	08.24
山田 平四郎	05.09 05.12 05.13 05.16 06.02	芳澤	02.22
山田 元治	01.09 01.14 01.15 02.07 08.13	吉島 六一郎	02.06
山田元治夫人	01.09	吉田 茂	04.01 04.06 04.10
山田 泰太郎	12.12	吉田 善吾	01.24 02.01 07.22 09.19
山田 豊	05.10	吉田 増蔵	02.06 02.10
山田	03.21	吉田 善佐	04.24
山田	04.19 04.20	吉村 元男	10.18
山本 三省	05.19	依田 四郎	03.19 08.02
山本 達雄	03.05 04.07	米内 光政	01.24 01.30 02.01 02.06 02.13 02.15 02.16 02.19 02.20 02.21 02.22 02.23 02.27 03.27 05.04 07.16 07.17 07.20
山本 巴水	05.25	米山 梅吉	02.22 03.19 04.15 05.07 05.08 06.26 07.10 07.20 09.07 09.20 10.15 11.05 12.31
山本 泰次郎	06.23	四方 京一	10.23
山本 幸雄	05.06	李 蔭南	05.22
山本 米吉	01.16	梁 鴻志	01.31
湯浅 倉平	01.12 01.23 03.02 03.14 03.21 03.22 05.30 06.02 06.03 06.09 07.02 07.05 07.08 07.17 08.22 12.24 12.26 12.27	林 柏生	05.22
湯浅倉平夫人	07.02	若杉 要	11.13
油井 佐太郎	01.25 01.28 02.04	若杉夫人	03.07 06.22
結城 安次	04.30 05.02 05.24	若槻 某	05.21
楊 鴻烈	05.22	脇田 信吾	07.22 08.26
餘木幸作夫人	12.26	和氣 清麿	12.18
横田 進	09.08	鷺野 幸三郎	09.04 09.05 09.06 09.07 09.11 09.20 10.10
横田	01.07 05.30 08.13	鷺山 喜十郎	04.22
横田	02.21	鷺山 恭平	01.07 01.09 01.10 01.11 01.16 02.25 02.29 03.24 04.12 05.30 05.31 06.02 06.20 08.04 08.20 08.21 09.14 09.15 10.10 10.31 11.21 12.02 12.03 12.04
横堀 善四郎	12.10 12.14 12.15		
横溝 光暉	10.23		
横光 伊兵衛	10.04		
横光 吉規	02.25 04.17 04.18 04.19 04.20 05.12 09.25 10.04 10.07 10.18		
吉岡 直富	08.18		

人 名	記載月日
和田 謙三	11.02 11.18 12.10 12.14 12.16 12.23
和田 正雄	12.20
和田	01.22
和田	05.24
和田	12.01
渡辺 崋山	09.25
渡辺 勝三郎	09.25 09.26
渡辺 史郎	01.01 07.20
渡辺 史朗	01.19 01.21
渡辺史朗母堂	01.21
渡辺 信男	10.26
渡部 信	01.22
渡辺 守三	01.01 10.10
渡辺守三夫人	10.10
渡部	11.21 12.14
渡邊 千冬子	03.03
渡邊千冬子息	03.03

役職名のみ

検事	08.30
清水駅長	01.15
関東断食寮寮長	06.14
大東館主人	01.17
沼津市長代理	08.14
三菱重役	07.22

アルファベット表記

Ott, Eugen	06.07 06.11
Carol al II-lea	09.06
Grew, Joseph Clark	06.07 06.11 06.26 06.28 07.05 07.13
Grew 夫人	06.11
Craigie,Roberte Leslie	06.07 06.11
Dooman	06.22 06.28 06.29
Hull, Cordell	06.07
Frazer	05.01
Mihai I	09.06

姓不明

人 名	記載月日
見太郎	03.07
皇族関係	
神武天皇	02.11
武烈天皇	08.28
明治天皇	03.10 03.18
昭和天皇裕仁	01.01 01.03 01.29 02.11 03.16 06.06 06.10 06.11 06.12 06.13 06.14 06.26 09.06 09.16 09.26
皇后	01.01 01.05 01.07 01.29 02.11 03.06 03.16 04.12 06.06 09.16
皇太后	01.03 01.29 02.11 03.16 06.06 06.07 06.25
清宮	03.01
順宮	03.07
朝香宮 鳩彦	01.03 02.11 03.16
朝香宮 孚彦	01.03 02.11 03.16
朝香宮 湛子	03.16
賀陽宮 恒憲	01.03 02.11 03.16
賀陽宮 敏子	02.11 03.16
閑院宮 載仁	02.11 03.16 06.11 09.19
閑院宮 春仁	02.11 03.16
閑院宮 直子	02.11
北白川宮 輝久	03.16
北白川宮 永久	01.03 02.11 03.16 09.05 09.06 09.07 09.18
久邇宮 朝融	02.11 03.16
久邇宮 昶子	02.11
久邇宮 静子	03.16 06.06
高松宮 宣仁	02.04 02.06 02.12 03.16 04.30 07.09
高松宮 喜久子	03.16 06.05 06.10
竹田宮 恒徳	01.03 02.11 03.16
竹田宮 光子	01.03
竹田宮 昌子	02.11 03.08 03.16
秩父宮 雍仁	01.03 02.11 03.16 06.11
秩父宮 勢津子	01.03 02.11 03.16
梨本宮 守正	03.16 06.12 06.14

人 名	記載月日
梨本宮 伊都子	02.11 03.16
東久邇宮 稔彦	01.03 02.11 03.16
東久邇宮 聡子	02.11
東久邇宮 盛厚	01.03 02.11 03.16
東久邇宮 彰常	03.16
東伏見宮 周子	03.16
久宮	03.08 03.14
伏見宮 博恭	03.16 06.11 07.09 09.19
伏見宮 朝子	03.16
三笠宮 崇仁	01.03 02.11 03.16
三笠宮 百合子	03.16
山階宮 武彦	03.16

朝鮮王室

李王	02.11 03.16 08.14
李 方子	02.11
李 鍵	02.11
李 誠子	02.11
李 錫	02.11
李〔空白〕	03.16
李〔空白〕妃	03.16

人 名 記載月日

河井弥八日記 一九四〇年

2016年3月31日 第一刷発行

編集・解題 前山亮吉

森山 優

校訂 河井重蔵・弥八研究会

発行者 静岡県立大学大学院国際関係学研究科

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

本ワーキングペーパーにおける議論は、研究会の見解であり、研究科を代表するものではない。